

添付資料 2 伊方発電所 第 3 号機 保全計画（第 1 4 保全サイクル）

伊 方 発 電 所

第 3 号機

保全計画

目 次

I. 保守管理の実施に関する計画の始期（施設定期検査の開始する日をいう。） 及び期間	1
II. 発電用原子炉施設の保安のための点検，検査（定期事業者検査を含む。）及び 補修等の方法，実施頻度及び時期	1
1. 点検計画	1
2. 補修，取替え及び改造計画	1
3. 保全に関する実施体制	2
4. 特別な保全計画	3
III. 発電用原子炉施設の保安のための点検等を実施する際に行う保安の確保の ための措置	3

別紙－1 伊方発電所第3号機 点検計画（第14保全サイクル）

別図 伊方発電所第3号機 第14回施設定期検査時の安全管理の計画

参考資料－1 計画期間中における点検の実施状況等

参考資料－2 保全に関する実施体制

I 保守管理の実施に関する計画の始期（施設定期検査の開始する日をいう。）及び期間

本保守管理の実施に関する計画の適用期間は、第14回施設定期検査開始日から第15回施設定期検査開始日の前日までの期間（第14回施設定期検査終了日以降13ヶ月までの間（※））とし、以降、この期間を第14保全サイクルという。

ただし、この期間内に第15回施設定期検査を開始した場合には、その前日までの期間とする。

※：第14回施設定期検査終了日以降13ヶ月までの間を『実運転期間』という。

II 発電用原子炉施設の保安のための点検、検査（定期事業者検査を含む。）及び補修等の方法、実施頻度及び時期

1. 点検計画

施設定期検査中及びプラント運転中の点検について、予め保全方式を設定し、点検の方法並びにそれらの実施頻度及び時期を定めた点検計画を「伊方発電所保守内規」に従い策定した。

点検計画のうち、定期事業者検査対象機器等に係る主要な点検の計画に基づく点検計画を別紙－1に記載する。

なお、附帯設備も含めた各機器の詳細な点検計画は、「伊方発電所保守内規」に規定している。

点検計画を策定又は変更するにあたっては、保全活動から得られた情報等から、保全の有効性を評価し、保全が有効に機能していることを確認すると共に、継続的に改善につなげている。

なお、保全の有効性評価は、以下の情報を適切に組み合わせて行った。

- ・保全活動管理指標の監視結果
- ・保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績
- ・トラブルなどの運転経験
- ・高経年化技術評価及び定期安全レビュー結果
- ・他プラントのトラブル及び経年劣化傾向に係るデータ
- ・リスク情報、科学的知見

更に、設備の保全方式及び点検間隔は、以下の観点を考慮し、信頼性向上を目指した。

- ・状態監視による異常兆候の早期把握

2. 補修、取替え及び改造計画

(1) 原子炉容器上蓋取替工事

(平成29年2月1日付 原子力発第16332号にて工事計画認可申請済み)

(平成29年6月1日付 原子力発第17065号にて工事計画認可補正申請済み)

○工事概要

伊方3号機第14回定検において、原子炉容器上蓋取替工事を行う。

取替えにあたり、蓋用管台およびJ溶接部の材料を、600系ニッケル基合金から、耐食性に優れた690系ニッケル基合金に変更する等、1、2号機と同様の最新設計とする。また、撤去した旧原子炉容器上蓋は、既設の蒸気発生器保管庫に貯蔵・保管する。

○予定時期

第14回施設定期検査期間中（原子炉停止中）

(2) 1次系配管取替え工事

(平成29年2月1日付 原子力発第16335号, 原子力発第16336号, 原子力発第16337号, 原子力発第16338号にて工事計画認可申請及び届出済み)

(平成29年2月27日付 原子力発第16355号, 原子力発第16356号にて工事計画認可補正申請及び届出済み)

(平成29年4月24日付 原子力発第17053号にて工事計画認可補正申請済み)

○工事概要

伊方3号機第14回定検において、加圧器スプレイライン、抽出ラインおよび充てんラインA系統（常用系）の配管および弁の取替えを実施する。配管の取替えにあたっては、硬化層が形成されない曲げ管またはエルボに取替える。また、充てんラインB系統（待機系）を撤去し、充てんラインを1系列とする。

○予定時期

第14回施設定期検査期間中（原子炉停止中）

(3) 原子炉容器冷却材管台溶接部等保全工事

○工事概要

伊方発電所においては、応力腐食割れ（PWSCC）の発生可能性のある600系Ni基合金使用箇所に対して計画的に予防保全工事を実施しており、残る原子炉容器管台溶接部等について、伊方3号機第14回定検においてウォータジェットピーニングによる応力改善を実施し、耐PWSCC性を向上させる。

○予定時期

第14回施設定期検査期間中（原子炉停止中）

(4) 無停電電源装置取替工事

(平成29年2月1日付 原子力発第16333号にて工事計画認可申請済み)

(平成29年6月2日付 原子力発第17066号にて工事計画認可補正申請済み)

○工事概要

伊方発電所第3号機の非常用の無停電電源装置については、製造から約25年を経過しており、主要部品が製造中止となっている。

このため、信頼性および保守性の観点から無停電電源装置の一式取替えを行う。

○予定時期

第14回施設定期検査期間中（原子炉停止中）

(5) 三菱マテリアル子会社の不適切行為に係るポンプ追加点検工事

○工事概要

伊方発電所第3号機については、三菱マテリアル株式会社の子会社の不適切行為に関する調査の結果、1次系のポンプ（高圧注入ポンプ3A・3B、格納容器スプレイポンプ3A、余熱除去ポンプ3B）に使用している三菱電線工業株式会社製のシール材（Oリング）について、製造記録の保有期限が満了しており、不適切行為の有無が確認できないものがあつたため、当該シール材を念のため取替える。

なお、格納容器スプレイポンプ3A、余熱除去ポンプ3Bについては、保全時期を繰り上げて分解点検を行う。

○予定時期

第14回施設定期検査期間中（原子炉停止中）

3. 保全に関する実施体制

第14保全サイクルにおける保全については、「伊方発電所原子炉施設保安規定」第4条（保安に関する組織）、第5条（保安に関する職務）に基づく事業者管理体制により実

施する。

また、第14保全サイクルの保全の実施にあたり、協力事業者に役務を調達する場合には、当該点検及び工事に関する作業経験等の技術的要件（力量）も考慮のうえ、「伊方発電所原子炉施設保安規定」第119条（保守管理計画）に基づき調達要求事項等を定める「原子力部 設計／調達管理標準」及び「伊方発電所調達管理内規」の規定に従い調達する。

なお、第14保全サイクルにおいて、協力事業者から役務を調達する予定の主要な工事等を以下に示す。

（調達予定の主要な工事等）

- ・ 原子炉設備定期点検工事
- ・ タービン発電機定期点検工事
- ・ 計装設備定期点検工事
- ・ 原子炉容器上蓋取替工事
- ・ 1次系配管取替え工事
- ・ 原子炉容器冷却材管台溶接部等保全工事
- ・ 計装用電源装置更新工事

4. 特別な保全計画

なし

III 発電用原子炉施設の保安のための点検等を実施する際に行う保安の確保のための措置

施設定期検査停止時における、保安規定の運転上の制限を遵守するための計画は、別図のとおり。

伊方発電所第 3 号機
点検計画
(第 1 4 保全サイクル)

点検計画の記載について

1. 点検計画については以下の方針に従い記載している。

(1) 記載している設備について

点検計画には発電所設備の主要機器として以下の設備を対象に記載している。

①核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の14第1項に規定する技術基準が適用される設備

a. 定期事業者検査の対象となる設備

b. 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則別表第2において工事計画書に記載が要求されている設備

なお、工事計画書において仕様が記載されていない設備については、日常の管理の中で健全性が確認でき、かつ、取替が可能な下記のものについて除外する。

(a) 防保護具、現地操作時に用いる工具類、固縛用ナイロンスリング類

(b) 一般消耗品（電池類他）

(c) 一般産業品（可搬型照明、電話・ファックス他）

②保全の重要度が高い設備

(2) 記載している点検について

点検計画には上記設備の主要な点検として以下を記載している。

- ・定期事業者検査に係る点検
- ・施設定期検査の都度性能維持のための措置を伴う点検
- ・施設定期検査対象機器に係る点検のうち定期事業者検査に係る点検の実施頻度より短い実施頻度で行う性能維持のための措置を伴う点検
- ・記載対象設備において上記に該当する点検がない設備については主要な点検

上記以外の点検（主要機器の上記条件以外の点検や附帯設備^{※1}の点検等）については、「伊方発電所保守内規」に定めている。

※1 附帯設備の例

潤滑油、潤滑水、シール水、冷却設備、電源、制御回路、オリフィス、レデューサ、サイトグラス等

(3) 保全の重要度について

機器レベルの保全の重要度は、「伊方発電所保守内規」により定義されている G1～G5 の5段階で表記する。5段階のうち、G1、G2、G3 は、保全重要度「高」、また、G4、G5 は、保全重要度「低」として取り扱うこととする。

ただし、構築物の保全の重要度については、系統レベルの影響度評価結果に基づき、「高」又は「低」と記載している。

なお、保全重要度「高」の設備については保全方式として予防保全（時間基準保全、状態基準保全）を選定し、事後保全は選定していない。

(4) 保全方式について

保全方式について以下のとおり記載している。

- ・時間基準保全を採用しているもの：点検頻度
- ・状態基準保全を採用しているもの：CBM
- ・事後保全を採用しているもの：BDM

なお、休止設備については使用時に保全方式を決定するため「－」と表示している。

(5) 点検頻度について

次の整理により「C」：保全サイクル、「M」：月、「Y」：年、「Y P」：年、「B」：状態監視の結果で表記している。

- ・施設定期検査中に実施する性能維持のための措置を伴う点検及びそれに伴い実施する点検については、「M」又は「Y P」により表記している。
なお、「M」により表示された頻度は、原子炉の運転期間（総合負荷性能検査～解列）に対応した値を示している。
- ・「供用期間中検査」や「蒸気タービン開放検査」のように施設定期検査中に実施するもので年度管理するものについては、「Y P」により表記している。
- ・換気空調設備のようにプラント運転中に点検を実施するもので年度管理するものについては、「Y」により表記している。
- ・施設定期検査中に実施する性能維持のための措置を伴わない点検については、「C」※2により表記している。
また、「燃料取扱設備検査」のようにプラント運転中に実施しているものでも施設定期検査に合わせて実施しているものは「C」により表示している。
- ・このほか肉厚管理指針に従い管理する肉厚測定は、検査箇所ごとの管理となるため、本表では、“2次系配管肉厚検査計画による”と表記している。
- ・状態監視の結果実施した機器の分解点検等の後に実施する機能・性能試験については、「B」により表記している。

※2：「C」により表記している「機能・性能試験」、「漏えい試験」、「外観点検」等は、性能維持のための措置を予定していない点検であり、劣化進展がごく軽微なため、分解・開放点検やプラント施設定期検査停止時期に合わせた実施管理が適しているものを対象としている。

(6) 点検時期について

時間基準保全の点検については、“定検起動後”、“プラント運転中”の表現により、備考欄に実施時期を記載している。

なお、これらの記載のないものについては、定検停止中に実施することとしている。

(7) 状態監視方法の記載について

- ・保全方式として状態基準保全を用いる機器については、経年劣化事象等による劣化の有無・劣化の傾向を監視する方法（状態監視技術、定例試験、巡視点検等）並びにその頻度を備考欄に記載している。
- ・保全方式として時間基準保全を採用している機器については、保全をより充実する観点で採用している状態監視技術について方法・頻度を備考欄に記載している。
- ・状態監視の結果に基づき分解点検の実施時期を定め、分解点検に合わせて機能・性能試験を定期事業者検査として実施する場合については、技術基準適合判断を伴う状態監視の頻度を一定の期間として扱い、機能・性能試験の頻度を「B」により表記している。

目 次

1. 点検計画 設計基準事故対処設備等

機器又は系統名	ページ
原子炉本体 [炉心]	別紙1-6
原子炉本体 [原子炉容器]	別紙1-6
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取扱設備]	別紙1-6
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料貯蔵設備]	別紙1-7
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]	別紙1-7
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取替用水設備]	別紙1-8
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	別紙1-9
原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備]	別紙1-11
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備]	別紙1-15
原子炉冷却系統施設 [燃料取替用水設備]	別紙1-20
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	別紙1-20
原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備]	別紙1-26
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備]	別紙1-27
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備]	別紙1-28
原子炉冷却系統施設 [原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置]	別紙1-30
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸]	別紙1-30
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁]	別紙1-30
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [復水器]	別紙1-32
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する熱交換器]	別紙1-33
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水处理設備]	別紙1-35
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する管等]	別紙1-37

機器又は系統名	ページ
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [その他設備]	別紙1-38
計測制御系統施設 [制御材]	別紙1-40
計測制御系統施設 [制御棒駆動装置]	別紙1-40
計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備]	別紙1-40
計測制御系統施設 [制御用空気設備]	別紙1-41
計測制御系統施設 [その他設備]	別紙1-42
計測制御系統施設 [発電用原子炉の運転を管理するための制御装置]	別紙1-43
放射性廃棄物の廃棄施設 [気体、液体、又は固体廃棄物貯蔵設備]	別紙1-43
放射性廃棄物の廃棄施設 [気体、液体、又は固体廃棄物処理設備]	別紙1-43
放射性廃棄物の廃棄施設 [原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置]	別紙1-48
放射線管理施設 [放射線管理用計測装置]	別紙1-48
放射線管理施設 [換気設備]	別紙1-48
原子炉格納施設 [原子炉格納容器]	別紙1-55
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	別紙1-63
原子炉施設 [その他設備]	別紙1-68
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) [非常用発電装置]	別紙1-69
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) [その他の電源装置]	別紙1-70
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) [その他機器]	別紙1-70
その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) [発電機]	別紙1-71
その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) [変圧器]	別紙1-71

機器又は系統名	ページ
その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) [しゃ断器]	別紙1-71
その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) [その他機器]	別紙1-71
その他発電用原子炉の附属施設 (補助ボイラー) [補助ボイラー]	別紙1-71
その他発電用原子炉の附属施設 (補助ボイラー) [補助ボイラーに属する燃料燃烧設備]	別紙1-71
その他発電用原子炉の附属施設 (火災防護設備) [消火設備]	別紙1-72
その他発電用原子炉の附属施設 (火災防護設備) [その他設備]	別紙1-72
その他発電用原子炉の附属施設 (浸水防護施設) [外郭浸水防護設備] [内郭浸水防護設備]	別紙1-72
その他発電用原子炉の附属施設 (浸水防護施設) [その他設備]	別紙1-73
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用取水設備) [取水設備]	別紙1-73
その他発電用原子炉の附属施設 (緊急時対策所)	別紙1-73
竜巻防護対策設備	別紙1-73
土木建築設備	別紙1-74
プラント総合	別紙1-74
全般機器	別紙1-74

2. 点検計画 重大事故等対処設備

機器又は系統名	ページ
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料貯蔵設備]	別紙1-75
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]	別紙1-75
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [その他設備]	別紙1-76
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	別紙1-76
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備]	別紙1-76
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備]	別紙1-77
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する管等]	別紙1-77

機器又は系統名	ページ
計測制御系統施設 [計測装置]	別紙1-77
計測制御系統施設 [工学的安全施設等の作動信号]	別紙1-78
計測制御系統施設 [制御用空気設備]	別紙1-78
計測制御系統施設 [その他設備]	別紙1-78
放射線管理施設 [放射線管理用計測装置]	別紙1-79
放射線管理施設 [換気設備]	別紙1-79
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	別紙1-81
原子炉格納施設 [その他設備]	別紙1-82
原子炉施設 [その他設備]	別紙1-82
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) [非常用発電装置]	別紙1-82
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) [その他の電源装置]	別紙1-85
その他発電用原子炉の附属施設 (浸水防護施設) [内郭浸水防護設備]	別紙1-86
その他発電用原子炉の附属施設 (緊急時対策所)	別紙1-86
全般機器	別紙1-87

3. 点検計画 1, 2, 3号機共用設備

機器又は系統名	ページ
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [その他設備]	別紙1-88
放射性廃棄物の廃棄施設 [気体、液体、又は固体廃棄物貯蔵設備]	別紙1-88
放射性廃棄物の廃棄施設 [気体、液体、又は固体廃棄物処理設備]	別紙1-88
放射線管理施設 [放射線管理用計測装置]	別紙1-88
放射線管理施設 [換気設備]	別紙1-89
その他発電用原子炉の附属施設 [電気設備]	別紙1-92
その他発電用原子炉の附属施設 (火災防護設備) [消火設備]	別紙1-93

4. 行政指導文書の点検指示による点検

機器又は系統名	ページ
原子炉本体 [炉心]	別紙1-94

1.点検計画 設計基準事故対処設備等

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
原子炉本体 [炉心]	照射済燃料集合体 ※1一式	外観点検	G3	1C	2 燃料集合体外観検査	※1 炉心設計による ※2 燃料集合体の不具合により 計画
		外観点検		1C	700 燃料集合体外観検査 ※2	
	照射済燃料集合体(取出し燃料) ※一式	外観点検	G3	1C	81 燃料集合体外観検査(取出し燃料)	※炉心設計による
	1.燃料集合体 157体 2.内挿物 48体 (1)制御棒クラスター ※一式 (2)バーナブルボイスン ※一式 (3)ブランキングデバイス ※一式 (4)2次中性子源 ※一式	外観点検	G3	1C	3 燃料集合体炉内配置検査	※炉心設計による
	原子炉本体のうち炉心	機能・性能試験	G3	1C	4 原子炉停止余裕検査	定検起動後
		機能・性能試験		1C	80 炉物理検査	定検起動後
原子炉本体 [原子炉容器]	原子炉容器	開放点検	G1	13M		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取扱設備]	燃料取替クレーン3号 1台	機能・性能試験	G3	1C	36 燃料取扱装置機能検査	(油分析:2C)
		機能・性能試験	G3	1C	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	
		簡易点検(点検手入れ)	G3	1C		
	使用済燃料ピットクレーン3号 1台	機能・性能試験	G3	1C	36 燃料取扱装置機能検査	
		機能・性能試験	G3	1C	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	プラント運転中
		簡易点検(点検手入れ)	G3	1Y		プラント運転中
	燃料取扱棟クレーン3号 1台	機能・性能試験	G3	1C	74 燃料取扱設備検査	プラント運転中
		機能・性能試験	G3	1C	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	プラント運転中
		簡易点検(点検手入れ)	G3	1Y		プラント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	燃料移送装置(FH/B側) 1台	機能・性能試験	G3	1C	36 燃料取扱装置機能検査	(油分析:2C)
		機能・性能試験	G3	1C	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	プラント運転中
		簡易点検(点検手入れ)	G3	1C		プラント運転中
	燃料移送装置(C/V側) 1台	機能・性能試験	G3	1C	36 燃料取扱装置機能検査	(油分析:2C)
		機能・性能試験	G3	1C	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	
		簡易点検(点検手入れ)	G3	1C		
	新燃料エレベータ 1台	機能・性能試験	G3	1C	74 燃料取扱設備検査	プラント運転中 (油分析:2C)
		機能・性能試験	G3	1C	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	プラント運転中
		簡易点検(点検手入れ)	G3	1C		プラント運転中
	燃料仮置ラック	外観点検	G3	1C	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	
	新燃料取扱工具 1台	外観点検	G3	1C	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	プラント運転中
	新制御棒クラスタ取扱工具 1台	機能・性能試験	G3	1C		プラント運転中
	使用済燃料取扱工具 3台	外観点検	G3	1C	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	一部プラント運転中
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取扱設備] その他機器 一式	機能・性能試験 他	G3	1C		一部プラント運転中
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料貯蔵設備]	新燃料貯蔵庫(ラック)	外観点検	G3	1C		プラント運転中
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]	使用済燃料ヒート浄化冷却設備	機能・性能試験	G3,G4	1C	75 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査	
	使用済燃料ヒートポンプ3A	分解点検	G3	130M		(振動診断:1M, 油分析:2C)
	使用済燃料ヒートポンプ3A電動機	分解点検	G3	130M		(振動診断:1M)
	使用済燃料ヒートポンプ3B	分解点検	G3	130M		(振動診断:1M, 油分析:2C)
	使用済燃料ヒートポンプ3B電動機	分解点検	G3	130M		(振動診断:1M)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	使用済燃料ヒート脱塩塔フィルタ3A	開放点検	G4	130M		
	使用済燃料ヒート脱塩塔フィルタ3B	開放点検	G4	130M		
	使用済燃料ヒート冷却器3A	開放点検	G3	195M	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		390M	91 1次系熱交換器検査	
	使用済燃料ヒート冷却器3B	開放点検	G3	195M	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		390M	91 1次系熱交換器検査	
	使用済燃料ヒート冷却器3C	開放点検	G3	130M		
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3,G4	144M～ 180M	84 1次系弁検査 86 1次系逆止弁検査	一部プラント運転中
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備] その他機器 一式	単体調整試験 他	G4	13M		
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取替用水設備]	機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:2C,赤外線診断1M)
		分解点検		130M		
		機能・性能試験	G3	6C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		78M		
		機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:2C,赤外線診断1M)
		分解点検		130M		
		機能・性能試験	G3	6C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		78M		
		核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取替用水設備] その他の弁 一式	G3,G4	130M～ 156M	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査	
		核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取替用水設備] その他機器 一式	G3	195M～ 390M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設 備]	蒸気発生器3A	開放点検(1次側マンホール)	G1	26M		
		増締め(1次側マンホール)		13M		
		非破壊試験		26M	6 蒸気発生器伝熱管体積検査	伝熱管数:3,382本
		開放点検(2次側マンホール)		65M		
		開放点検(2次側ハントホール)		39M		
	蒸気発生器3B	開放点検(1次側マンホール)	G1	26M		
		増締め(1次側マンホール)		13M		
		非破壊試験		26M	6 蒸気発生器伝熱管体積検査	伝熱管数:3,382本
		開放点検(2次側マンホール)		65M		
		開放点検(2次側ハントホール)		39M		
	蒸気発生器3C	開放点検(1次側マンホール)	G1	26M		
		増締め(1次側マンホール)		13M		
		非破壊試験		26M	6 蒸気発生器伝熱管体積検査	伝熱管数:3,382本
		開放点検(2次側マンホール)		65M		
		開放点検(2次側ハントホール)		39M		
	加圧器安全弁3A 3V-RC-055	機能・性能試験	G3	1C	8 加圧器安全弁機能検査	
		分解点検		13M	10 加圧器安全弁分解検査	
		漏えい試験		1C	9 加圧器安全弁漏えい検査	
	加圧器安全弁3B 3V-RC-056	機能・性能試験	G3	1C	8 加圧器安全弁機能検査	
		分解点検		13M	10 加圧器安全弁分解検査	
		漏えい試験		1C	9 加圧器安全弁漏えい検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	加圧器安全弁3C 3V-RC-057	機能・性能試験	G3	1C	8 加圧器安全弁機能検査	
		分解点検		13M	10 加圧器安全弁分解検査	
		漏えい試験		1C	9 加圧器安全弁漏えい検査	
	加圧器逃がし弁3A 3PCV-452A	機能・性能試験	G3	1C	11 加圧器逃がし弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		26M	13 加圧器逃がし弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		26M		
		漏えい試験		1C	12 加圧器逃がし弁漏えい検査	
	加圧器逃がし弁3B 3PCV-452B	機能・性能試験	G3	1C	11 加圧器逃がし弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		26M	13 加圧器逃がし弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		26M		
		漏えい試験		1C	12 加圧器逃がし弁漏えい検査	
	加圧器逃がし弁3A 3V-RC-054A	機能・性能試験	G3	1C	14 加圧器逃がし弁元弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		130M		
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	加圧器逃がし弁3B 3V-RC-054B	機能・性能試験	G3	1C	14 加圧器逃がし弁元弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		130M		
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	1次冷却材ポンプ3A	機能・性能試験	G1	1C	92 1次冷却材ポンプ機能検査	一部定検起動後
		分解点検		130M		
		軸封部点検		13M	90 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	1次冷却材ポンプ3A電動機	分解点検	G1	39M		(振動診断:1M、1C, 油分析:1C)
		非破壊試験(フライホイール)		130M		
	1次冷却材ポンプ3B	機能・性能試験	G1	1C	92 1次冷却材ポンプ機能検査	一部定検起動後
		分解点検		10YP		
		軸封部点検		13M	90 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	
	1次冷却材ポンプ3B電動機	分解点検	G1	39M		(振動診断:1M、1C, 油分析:1C)
		非破壊試験(フライホイール)		130M		
	1次冷却材ポンプ3C	機能・性能試験	G1	1C	92 1次冷却材ポンプ機能検査	一部定検起動後
		分解点検		130M		
		軸封部点検		13M	90 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	
	1次冷却材ポンプ3C電動機	分解点検	G1	39M		(振動診断:1M、1C, 油分析:1C)
		非破壊試験(フライホイール)		130M		
	加圧器3号	開放点検	G3	39M		
		マンホール増締め		13M		
	原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3	13M～ 156M	84 1次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備] その他機器 一式	分解点検 他	G1～G3	13M～ 325M	34 安全保護系設定値確認検査 35 プラント状態監視設備機能検査	
原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備]	主蒸気安全弁3A1 3V-MS-521A	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M		
		漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	主蒸気安全弁3B1 3V-MS-521B	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M		
		漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
	主蒸気安全弁3C1 3V-MS-521C	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M		
		漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
	主蒸気安全弁3A2 3V-MS-522A	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M		
		漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
	主蒸気安全弁3B2 3V-MS-522B	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M		
		漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
	主蒸気安全弁3C2 3V-MS-522C	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M		
		漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
	主蒸気安全弁3A3 3V-MS-523A	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M		
		漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
	主蒸気安全弁3B3 3V-MS-523B	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M		
		漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	主蒸気安全弁3C3 3V-MS-523C	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M		
		漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
	主蒸気安全弁3A4 3V-MS-524A	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M		
		漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
	主蒸気安全弁3B4 3V-MS-524B	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M		
		漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
	主蒸気安全弁3C4 3V-MS-524C	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M		
		漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
	主蒸気安全弁3A5 3V-MS-525A	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M		
		漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
	主蒸気安全弁3B5 3V-MS-525B	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M		
		漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
	主蒸気安全弁3C5 3V-MS-525C	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M		
		漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	主蒸気逃がし弁3A 3PCV-465	機能・性能試験	G3	1C	27 主蒸気逃がし弁機能検査 148 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査	
		分解点検(弁本体)		13M	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		52M		
		漏えい試験		1C	28 主蒸気逃がし弁漏えい検査	
	主蒸気逃がし弁3B 3PCV-475	機能・性能試験	G3	1C	27 主蒸気逃がし弁機能検査 148 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査	
		分解点検(弁本体)		13M	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		52M		
		漏えい試験		1C	28 主蒸気逃がし弁漏えい検査	
	主蒸気逃がし弁3C 3PCV-485	機能・性能試験	G3	1C	27 主蒸気逃がし弁機能検査 148 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査	
		分解点検(弁本体)		13M	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		52M		
		漏えい試験		1C	28 主蒸気逃がし弁漏えい検査	
	主蒸気隔離弁3A 3V-MS-528A	機能・性能試験	G3	1C	29 主蒸気隔離弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		26M	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		26M		
	主蒸気隔離弁3B 3V-MS-528B	機能・性能試験	G3	1C	29 主蒸気隔離弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		26M	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		26M		
	主蒸気隔離弁3C 3V-MS-528C	機能・性能試験	G3	1C	29 主蒸気隔離弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		26M	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		26M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備]	原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3	13M～ 195M	122 2次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備] その他機器 一式	単体調整試験 他	G2	13M		
	余熱除去ポンプ3A	機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:2C,赤外線診断1C)
		分解点検		130M	19 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 (低圧注入系ポンプ) 145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
	余熱除去ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G3	12C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:1C,赤外線診断1C)
		分解点検		156M		
		潤滑油入替		26M		
	余熱除去ポンプ3B	機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:2C,赤外線診断1C)
		分解点検		130M	19 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 (低圧注入系ポンプ) 145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
	余熱除去ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G3	12C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:1C,赤外線診断1C)
		分解点検		156M		
		潤滑油入替		26M		
	ループ3C余熱除去系第2入口弁 3V-RH-002A	分解点検(弁本体)	G3	130M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	ループ3B余熱除去系第2入口弁 3V-RH-002B	分解点検(弁本体)	G3	130M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	余熱除去ポンプ3A再循環サブ.RWST側入 口弁 3V-RH-024A	機能・性能試験	G3	10C,15C	84 1次系弁検査	弁本体, 電動機の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	余熱除去ポンプ3B再循環サブ.RWST側入 口弁 3V-RH-024B	機能・性能試験	G3	10C,15C	84 1次系弁検査	弁本体, 電動機の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	余熱除去クーラ3A出口弁 3V-RH-040A	機能・性能試験	G3	10C,15C	84 1次系弁検査	弁本体, 電動機の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	余熱除去クーラ3B出口弁 3V-RH-040B	機能・性能試験	G3	10C,15C	84 1次系弁検査	弁本体、電動機の分解点検に合わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	余熱除去ラインループ3A低温側入口第2逆止 弁 3V-RH-044A	分解点検	G3	78M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	余熱除去ラインループ3B低温側入口第2逆止 弁 3V-RH-044B	分解点検	G3	78M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	余熱除去ラインループ3C低温側入口第2逆止 弁 3V-RH-044C	分解点検	G3	78M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	余熱除去ラインループ3A低温側入口第1逆止 弁 3V-RH-047A	分解点検	G3	39M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	余熱除去ラインループ3B低温側入口第1逆止 弁 3V-RH-047B	分解点検	G3	39M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	余熱除去ラインループ3C低温側入口第1逆止 弁 3V-RH-047C	分解点検	G3	39M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	余熱除去系出口連絡ライン弁3A 3V-RH-051A	分解点検(弁本体)	G3	130M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	余熱除去系出口連絡ライン弁3B 3V-RH-051B	分解点検(弁本体)	G3	130M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	余熱除去ラインループ3A高温側注入弁 3V-RH-052A	分解点検(弁本体)	G3	130M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	余熱除去ラインループ3B高温側注入弁 3V-RH-052B	分解点検(弁本体)	G3	130M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	余熱除去ラインループ3B高温側入口逆止弁 3V-RH-053A	分解点検	G3	78M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	余熱除去ラインループ3C高温側入口逆止弁 3V-RH-053B	分解点検	G3	78M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	ループ3B余熱除去系第1入口弁 3PCV-420	分解点検(弁本体)	G3	130M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	ループ3C余熱除去系第1入口弁 3PCV-430	分解点検(弁本体)	G3	130M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	余熱除去冷却器3A出口流量調整弁 3HCV-603	機能・性能試験	G3	4C,8C	84 1次系弁検査	弁本体, 駆動部の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		104M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		52M		
	余熱除去冷却器3B出口流量調整弁 3HCV-613	機能・性能試験	G3	4C,8C	84 1次系弁検査	弁本体, 駆動部の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		104M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		52M		
	余熱除去ループ3A流量制御弁 3FCV-604	機能・性能試験	G3	4C,8C	84 1次系弁検査	弁本体, 駆動部の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		104M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		52M		
	余熱除去ループ3B流量制御弁 3FCV-614	機能・性能試験	G3	4C,8C	84 1次系弁検査	弁本体, 駆動部の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		104M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		52M		
	余熱除去冷却器3A	開放点検	G3	195M	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		390M	91 1次系熱交換器検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	余熱除去冷却器3B	開放点検	G3	195M	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		390M	91 1次系熱交換器検査	
	原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3,G4	104M～ 390M	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査 86 1次系逆止弁検査	
	原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] その他機器 一式	単体調整試験 他	G2	13M		
原子炉冷却系統施設 [燃料取替用水設備]	燃料取替用水タンク3号	開放点検	G3	195M		
	原子炉冷却系統施設 [燃料取替用水設備] その他機器 一式	単体調整試験 他	G2	13M		
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	高圧及び低圧注入系	機能・性能試験	G3	1C	16 非常用炉心冷却系機能検査 147 その他原子炉注水系機能検査	
	高圧及び低圧注入系	機能・性能試験(状態監視含む)	G3	6M	137 運転中安全系ポンプ機能検査	プラント運転中 [対象設備] ・高圧注入ポンプ3A, 3B ・余熱除去ポンプ3A, 3B
	高圧注入ポンプ3A	分解点検	G3	195M	17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 (高圧注入系ポンプ) 145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 油分析:2C)
	高圧注入ポンプ3A電動機	分解点検	G3	130M		(振動診断:1M)
	高圧注入ポンプ3B	分解点検	G3	195M	17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 (高圧注入系ポンプ) 145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 油分析:2C)
	高圧注入ポンプ3B電動機	分解点検	G3	130M		(振動診断:1M)
	高圧注入ポンプ3A入口弁 3V-SI-002A	分解点検(弁本体)	G3	156M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	高圧注入ポンプ3B入口弁 3V-SI-002B	分解点検(弁本体)	G3	156M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	高圧注入ポンプ3A封水注入ライン止弁 3V-SI-026A	機能・性能試験	G3	10C,15C	84 1次系弁検査	弁本体, 電動機の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	高圧注入ポンプ3B封水注入ライン止弁 3V-SI-026B	機能・性能試験	G3	10C,15C	84 1次系弁検査	弁本体, 電動機の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	高圧注入ライン隔離弁3A 3V-SI-062A	機能・性能試験	G3	10C,15C	84 1次系弁検査	弁本体, 電動機の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	高圧注入ライン隔離弁3B 3V-SI-062B	機能・性能試験	G3	10C,15C	84 1次系弁検査	弁本体、電動機の分解点検に合わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	高圧注入ポンプ出口連絡弁3A 3V-SI-066A	分解点検(弁本体)	G3	130M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	高圧注入ポンプ出口連絡弁3B 3V-SI-066B	分解点検(弁本体)	G3	130M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	高温側高圧注入ライン止弁3A 3V-SI-067A	分解点検(弁本体)	G3	130M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	高温側高圧注入ライン止弁3B 3V-SI-067B	分解点検(弁本体)	G3	130M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	高圧注入ラインループ3A低温側第2逆止弁 3V-SI-072A	分解点検	G3	260M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	高圧注入ラインループ3B低温側第2逆止弁 3V-SI-072B	分解点検	G3	260M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	高圧注入ラインループ3C低温側第2逆止弁 3V-SI-072C	分解点検	G3	260M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	高圧注入ラインループ3A低温側第1逆止弁 3V-SI-075A	分解点検	G3	260M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	高圧注入ラインループ3B低温側第1逆止弁 3V-SI-075B	分解点検	G3	260M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	高圧注入ラインループ3C低温側第1逆止弁 3V-SI-075C	分解点検	G3	260M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	高圧注入ラインループ3A高温側第2逆止弁 3V-SI-079A	分解点検	G3	260M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	高圧注入ラインループ3B高温側第2逆止弁 3V-SI-079B	分解点検	G3	260M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	高圧注入ラインA系ループ3C高温側第2逆止弁 3V-SI-079C	分解点検	G3	260M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	高圧注入ラインB系ループ3C高温側第2逆止弁 3V-SI-079D	分解点検	G3	260M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	高圧注入ラインループ3A高温側第1逆止弁 3V-SI-082A	分解点検	G3	65M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	高圧注入ラインループ3B高温側第1逆止弁 3V-SI-082B	分解点検	G3	65M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	高圧注入ラインループ3C高温側第1逆止弁 3V-SI-082C	分解点検	G3	65M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	格納容器再循環サンプ3A隔離弁 3V-SI-093A	分解点検(弁本体)	G3	156M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	格納容器再循環サンプ3B隔離弁 3V-SI-093B	分解点検(弁本体)	G3	156M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	蓄圧注入系	機能・性能試験	G3	1C	16 非常用炉心冷却系機能検査 147 その他原子炉注水系機能検査	
	蓄圧タンク3A出口弁 3V-SI-132A	分解点検(弁本体)	G3	130M	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	蓄圧タンク3B出口弁 3V-SI-132B	分解点検(弁本体)	G3	130M	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	蓄圧タンク3C出口弁 3V-SI-132C	分解点検(弁本体)	G3	130M	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	蓄圧タンク3A出口注入ライン第2逆止弁 3V-SI-134A	分解点検	G3	78M	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	蓄圧タンク3B出口注入ライン第2逆止弁 3V-SI-134B	分解点検	G3	78M	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	蓄圧タンク3C出口注入ライン第2逆止弁 3V-SI-134C	分解点検	G3	78M	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	蓄圧タンク3A出口注入ライン第1逆止弁 3V-SI-136A	分解点検	G3	39M	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	蓄圧タンク3B出口注入ライン第1逆止弁 3V-SI-136B	分解点検	G3	39M	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	蓄圧タンク3C出口注入ライン第1逆止弁 3V-SI-136C	分解点検	G3	39M	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	蓄圧タンク3A	開放点検	G3	195M		
	蓄圧タンク3B	開放点検	G3	195M		
	蓄圧タンク3C	開放点検	G3	195M		
	格納容器再循環サンプ3A	外観点検	G3	1C, 2C	89 1次系容器検査	
	格納容器再循環サンプ3B	外観点検	G3	1C, 2C	89 1次系容器検査	
	原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3,G4	78M～ 390M	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備]	原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他AM弁 一式	分解点検 他	G3	156M～ 208M	84 1次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他機器 一式	分解点検 他	G2,G3	13M～ 195M		
	充てんポンプ冷却材補給系	機能・性能試験	G3	1C	69 充てんポンプ冷却材補給系機能検査 147 その他原子炉注水系機能検査	
	充てんポンプ3A	分解点検	G3	65M	145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 油分析:3M)
	充てんポンプ3A電動機	分解点検	G3	130M		(振動診断:1M, 油分析:6M)
		潤滑油入替		13M		
	充てんポンプ3B	分解点検	G3	65M	145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 油分析:3M)
	充てんポンプ3B電動機	分解点検	G3	130M		(振動診断:1M, 油分析:6M)
		潤滑油入替		13M		
	充てんポンプ3C	分解点検	G3	65M	145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 油分析:3M)
	充てんポンプ3C電動機	分解点検	G3	130M		(振動診断:1M, 油分析:6M)
		潤滑油入替		13M		
	体積制御タンク3号	開放点検	G3	195M		
	冷却材フィルタ3号	開放点検	G3	130M		
	非再生冷却器3号	開放点検	G3	195M	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		390M	91 1次系熱交換器検査	
	原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3,G4	13M～ 390M	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査 86 1次系逆止弁検査	
	原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備] その他機器 一式	分解点検 他	G2～G4	13M～ 390M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備]	原子炉補機冷却系	機能・性能試験	G3	1C	15 原子炉補機冷却系機能検査	
	原子炉補機冷却水ポンプ3A	機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:1C,赤外線診断:1M)
		分解点検		130M	82 1次系ポンプ分解検査	
	原子炉補機冷却水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:2C)
		分解点検		130M		
		潤滑油入替		26M		
	原子炉補機冷却水ポンプ3B	機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:1C,赤外線診断:1M)
		分解点検		130M	82 1次系ポンプ分解検査	
	原子炉補機冷却水ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:2C)
		分解点検		130M		
		潤滑油入替		26M		
	原子炉補機冷却水ポンプ3C	機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:1C,赤外線診断:1M)
		分解点検		130M	82 1次系ポンプ分解検査	
	原子炉補機冷却水ポンプ3C電動機	機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:2C)
		分解点検		130M		
		潤滑油入替		26M		
	原子炉補機冷却水ポンプ3D	機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:1C,赤外線診断:1M)
		分解点検		130M	82 1次系ポンプ分解検査	
	原子炉補機冷却水ポンプ3D電動機	機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:2C)
		分解点検		130M		
		潤滑油入替		26M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	原子炉補機冷却水冷却器3A	開放点検	G3	26M	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		26M	91 1次系熱交換器検査	
		漏えい試験		2C	91 1次系熱交換器検査	
	原子炉補機冷却水冷却器3B	開放点検	G3	26M	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		26M	91 1次系熱交換器検査	
		漏えい試験		2C	91 1次系熱交換器検査	
	原子炉補機冷却水冷却器3C	開放点検	G3	26M	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		26M	91 1次系熱交換器検査	
		漏えい試験		2C	91 1次系熱交換器検査	
	原子炉補機冷却水冷却器3D	開放点検	G3	26M	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		26M	91 1次系熱交換器検査	
		漏えい試験		2C	91 1次系熱交換器検査	
	原子炉補機冷却水サージタンク3号	開放点検	G3	195M		
	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3,G4	52M～ 390M	85 1次系安全弁検査 84 1次系弁検査 87 1次系真空破壊弁検査	
	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備] その他AM弁 一式	分解点検 他	G3	130M～ 156M	84 1次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備] その他機器 一式	単体調整試験 他	G2	13M		
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水 設備]	海水ポンプ3A	機能・性能試験	G3	2C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
		分解点検		26M	120 2次系ポンプ分解検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	海水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G3	8C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:1C)
		分解点検		104M		
		潤滑油入替		26M		
	海水ポンプ3B	機能・性能試験	G3	2C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
		分解点検		26M	120 2次系ポンプ分解検査	
	海水ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G3	8C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:1C)
		分解点検		104M		
		潤滑油入替		26M		
	海水ポンプ3C	機能・性能試験	G3	2C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
		分解点検		26M	120 2次系ポンプ分解検査	
	海水ポンプ3C電動機	機能・性能試験	G3	8C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:1C)
		分解点検		104M		
		潤滑油入替		26M		
	海水ポンプ3D	機能・性能試験	G3	2C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
		分解点検		26M	120 2次系ポンプ分解検査	
	海水ポンプ3D電動機	機能・性能試験	G3	8C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:1C)
		分解点検		104M		
		潤滑油入替		26M		
	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3	26M～ 195M	122 2次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備] その他機器(海水配管含む) 一式	分解点検 他	G3	26M～ 156M		一部点検実施

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
原子炉冷却系統施設 [原子炉格納容器内の 一次冷却材の漏えいを 監視する装置]	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び 格納容器内凝縮液量測定装置	機能・性能試験	G2	1C	78 格納容器サンプ水位上昇率測定装 置及び格納容器内凝縮液量測定装置 漏えい検出器機能検査	
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [車室, 円板, 隔板, 噴 口, 翼, 車軸]	高圧タービン	機能・性能試験	G1	1C	55 総合負荷性能検査 129 蒸気タービン性能検査(保安装置検 査)	
		開放点検		4YP	128 蒸気タービン開放検査	
		部分点検		26M		
	低圧第1タービン	機能・性能試験	G1	1C	55 総合負荷性能検査	
		開放点検		4YP	128 蒸気タービン開放検査	
		部分点検		26M	128 蒸気タービン開放検査	
	低圧第2タービン	機能・性能試験	G1	1C	55 総合負荷性能検査	
		開放点検		4YP	128 蒸気タービン開放検査	
		部分点検		26M	128 蒸気タービン開放検査	
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [調速装置及び非常調 速装置並びに調速装 置で制御される主要弁]	主蒸気止め弁3A	機能・性能試験	G3	1C	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検 査)	
		開放点検		4YP	128 蒸気タービン開放検査	
	主蒸気止め弁3B	機能・性能試験	G3	1C	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検 査)	
		開放点検		4YP	128 蒸気タービン開放検査	
	主蒸気止め弁3C	機能・性能試験	G3	1C	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検 査)	
		開放点検		4YP	128 蒸気タービン開放検査	
	主蒸気止め弁3D	機能・性能試験	G3	1C	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検 査)	
		開放点検		4YP	128 蒸気タービン開放検査	
	蒸気加減弁 第1弁	機能・性能試験	G3	1C	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検 査)	
		開放点検		4YP	128 蒸気タービン開放検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	蒸気加減弁 第2弁	機能・性能試験	G3	1C	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		4YP	128 蒸気タービン開放検査	
	蒸気加減弁 第3弁	機能・性能試験	G3	1C	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		4YP	128 蒸気タービン開放検査	
	蒸気加減弁 第4弁	機能・性能試験	G3	1C	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		4YP	128 蒸気タービン開放検査	
	再熟蒸気止め弁3A	機能・性能試験	G3	1C	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		4YP	128 蒸気タービン開放検査	
	再熟蒸気止め弁3B	機能・性能試験	G3	1C	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		4YP	128 蒸気タービン開放検査	
	再熟蒸気止め弁3C	機能・性能試験	G3	1C	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		4YP	128 蒸気タービン開放検査	
	再熟蒸気止め弁3D	機能・性能試験	G3	1C	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		4YP	128 蒸気タービン開放検査	
	インターセプト弁3A	機能・性能試験	G3	1C	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		4YP	128 蒸気タービン開放検査	
	インターセプト弁3B	機能・性能試験	G3	1C	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		4YP	128 蒸気タービン開放検査	
	インターセプト弁3C	機能・性能試験	G3	1C	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		4YP	128 蒸気タービン開放検査	
	インターセプト弁3D	機能・性能試験	G3	1C	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		4YP	128 蒸気タービン開放検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [復水器]	蒸気タービン附属設備	機能・性能試験	G3	1C	142 蒸気タービン附属設備機能検査	
	復水器ホットウェル3A	開放点検	G3	13M	128 蒸気タービン開放検査	
	復水器ホットウェル3B	開放点検	G3	13M	128 蒸気タービン開放検査	
	復水器出入口水室3A	開放点検	G3	13M	128 蒸気タービン開放検査	
	復水器出入口水室3B	開放点検	G3	13M	128 蒸気タービン開放検査	
	復水器出入口水室3C	開放点検	G3	13M	128 蒸気タービン開放検査	
	復水器出入口水室3D	開放点検	G3	13M	128 蒸気タービン開放検査	
	復水ポンプ3A	分解点検	G4	78M		
	復水ポンプ3A電動機	分解点検	G4	78M		(振動診断:1M, 油分析:1C)
		潤滑油入替		26M		
	復水ポンプ3B	分解点検	G4	78M		
	復水ポンプ3B電動機	分解点検	G4	78M		(振動診断:1M, 油分析:1C)
		潤滑油入替		26M		
	復水ポンプ3C	分解点検	G4	78M		
	復水ポンプ3C電動機	分解点検	G4	78M		(振動診断:1M, 油分析:1C)
		潤滑油入替		26M		
	復水器真空ポンプ3A	分解点検	G4	78M		(振動診断:1M, 油分析:1C, 赤 外線診断:1M)
	復水器真空ポンプ3A電動機	分解点検	G4	130M		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
	復水器真空ポンプ3B	分解点検	G4	78M		(振動診断:1M, 油分析:1C, 赤 外線診断:1M)
	復水器真空ポンプ3B電動機	分解点検	G4	130M		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
	復水ろ過器3号	開放点検	G3	104M	124 2次系容器検査	
	循環水ポンプ3A	分解点検	G3	39M		(油分析:1C)
	循環水ポンプ3A電動機	分解点検	G3	78M		(振動診断:1M, 油分析:6M)
		潤滑油入替		39M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	循環水ポンプ3B	分解点検	G3	39M		(油分析:1C)
	循環水ポンプ3B電動機	分解点検	G3	78M		(振動診断:1M, 油分析:6M)
		潤滑油入替		39M		
	復水器真空ポンプセパレータタンク3A逃がし弁 3V-BS-657A	機能・性能試験	G4	10C	123 2次系安全弁検査	
		分解点検		130M		
		漏えい試験		10C	123 2次系安全弁検査	
	復水器真空ポンプセパレータタンク3B逃がし弁 3V-BS-657B	機能・性能試験	G4	10C	123 2次系安全弁検査	
		分解点検		130M		
		漏えい試験		10C	123 2次系安全弁検査	
	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン[復水器] その他機器 一式	分解点検	G3	CBM		(振動診断:1C[復水器水室空気 抜ポンプ,復水器水室空気抜ポンプ 電動機])
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する 熱交換器]	湿分分離加熱器3A	開放点検(GEN側蒸気室)	G3	104M	128 蒸気タービン開放検査	
		開放点検(GOV側蒸気室)		104M	128 蒸気タービン開放検査	
		開放点検(胴側蒸気室)		52M	128 蒸気タービン開放検査	
		非破壊試験		104M	128 蒸気タービン開放検査	
		漏えい試験		8C	128 蒸気タービン開放検査	
	湿分分離加熱器3B	開放点検(GEN側蒸気室)	G3	104M	128 蒸気タービン開放検査	
		開放点検(GOV側蒸気室)		104M	128 蒸気タービン開放検査	
		開放点検(胴側蒸気室)		52M	128 蒸気タービン開放検査	
		非破壊試験		104M	128 蒸気タービン開放検査	
		漏えい試験		8C	128 蒸気タービン開放検査	
	脱気器3A	開放点検	G3	104M	124 2次系容器検査	
	脱気器3B	開放点検	G3	104M	124 2次系容器検査	
	脱気器タンク3号	開放点検	G3	26M	124 2次系容器検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	グラント蒸気復水器3号	開放点検	G3	130M	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		10C	125 2次系熱交換器検査	
	第1低圧給水加熱器3A	開放点検	G3	52M	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	125 2次系熱交換器検査	
	第1低圧給水加熱器3B	開放点検	G3	52M	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	125 2次系熱交換器検査	
	第2低圧給水加熱器3A	開放点検	G3	52M	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	125 2次系熱交換器検査	
	第2低圧給水加熱器3B	開放点検	G3	52M	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	125 2次系熱交換器検査	
	第3低圧給水加熱器3A	開放点検	G3	52M	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	125 2次系熱交換器検査	
	第3低圧給水加熱器3B	開放点検	G3	52M	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	125 2次系熱交換器検査	
	第4低圧給水加熱器3A	開放点検	G3	52M	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	125 2次系熱交換器検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	第4低圧給水加熱器3B	開放点検	G3	52M	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	125 2次系熱交換器検査	
	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する熱交換器] その他の弁 一式	分解点検 他	G4	52M～ 65M		
	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する熱交換器] その他の機器 一式	開放点検 他	G4,G5	104M		一部BDMあり
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する 給水ポンプ及び貯水設 備並びに給水処理設 備]	補助給水系	機能・性能試験	G3	1C	23 補助給水系機能検査	
	タービン動補助給水ポンプ3号	機能・性能試験	G3	10C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:3M)
		分解点検		130M	24 補助給水系ポンプ分解検査	
	電動補助給水ポンプ3A	分解点検	G3	130M	24 補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 油分析:2C)
	電動補助給水ポンプ3A電動機	分解点検	G3	130M		(振動診断:1M, 油分析:1C)
		潤滑油入替		26M		
	電動補助給水ポンプ3B	分解点検	G3	130M	24 補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 油分析:2C)
	電動補助給水ポンプ3B電動機	分解点検	G3	130M		(振動診断:1M, 油分析:1C)
		潤滑油入替		26M		
	蒸気タービン附属設備	機能・性能試験	G3	1C	142 蒸気タービン附属設備機能検査	
	復水プースタポンプ3A	分解点検	G4	117M		(振動診断:1M, 油分析:2C)
	復水プースタポンプ3A電動機	分解点検	G4	78M		(振動診断:1M)
	復水プースタポンプ3B	分解点検	G4	117M		(振動診断:1M, 油分析:2C)
	復水プースタポンプ3B電動機	分解点検	G4	78M		(振動診断:1M)
	復水プースタポンプ3C	分解点検	G4	117M		(振動診断:1M, 油分析:2C)
	復水プースタポンプ3C電動機	分解点検	G4	78M		(振動診断:1M)
	給水プースタポンプ3A	分解点検	G3	78M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	給水ブースタポンプ3A電動機	分解点検	G3	78M		(振動診断:1M, 油分析:1C)
		潤滑油入替		13M		
	給水ブースタポンプ3B	分解点検	G3	78M		
	給水ブースタポンプ3B電動機	分解点検	G3	78M		(振動診断:1M, 油分析:1C)
		潤滑油入替		13M		
	給水ブースタポンプ3C	分解点検	G3	104M	120 2次系ポンプ分解検査	
	給水ブースタポンプ3C電動機	分解点検	G3	104M		(振動診断:6M, 油分析:2C)
		潤滑油入替		52M		
	電動主給水ポンプ3号	分解点検	G3	130M	120 2次系ポンプ分解検査	(振動診断:6M, 油分析:1C)
		ロータ精密点検		260M	120 2次系ポンプ分解検査	
	電動主給水ポンプ3号電動機	分解点検	G3	130M		(振動診断:6M)
	タービン動主給水ポンプ3A	機能・性能試験	G3	6C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:3M)
		分解点検		78M		
	主給水ポンプタービン3A	機能・性能試験	G3	4C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
		分解点検		52M	120 2次系ポンプ分解検査	
	タービン動主給水ポンプ保安装置・調速装置 3A	機能・性能試験	G3	1C	121 2次系ポンプ機能検査	
		分解点検		52M		
	タービン動主給水ポンプ3B	機能・性能試験	G3	6C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:3M)
		分解点検		78M		
	主給水ポンプタービン3B	機能・性能試験	G3	4C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
		分解点検		52M	120 2次系ポンプ分解検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	タービン動主給水ポンプ保安装置・調速装置 3B	機能・性能試験	G3	1C	121 2次系ポンプ機能検査	
		分解点検		52M		
	補助給水タンク3号	開放点検	G3	104M		
	第6高圧給水加熱器3A	開放点検	G3	52M	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	125 2次系熱交換器検査	
	第6高圧給水加熱器3B	開放点検	G3	52M	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	125 2次系熱交換器検査	
	復水脱塩塔3A	開放点検	G3	130M	124 2次系容器検査	
	復水脱塩塔3B	開放点検	G3	130M	124 2次系容器検査	
	復水脱塩塔3C	開放点検	G3	130M	124 2次系容器検査	
	復水脱塩塔3D	開放点検	G3	130M	124 2次系容器検査	
	復水脱塩塔3E	開放点検	G3	130M	124 2次系容器検査	
	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン[蒸気ター ビンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並 びに給水処理設備] その他機器 一式	分解点検 他	G3,G4	13M～ 195M		(振動診断:1M[アンモニア注入ポンプ] 電動機,希ト「ラジ」ン注入ポンプ電動 機) (振動診断:1C[濃ト「ラジ」ン注入ポ ンプ電動機,予備薬注ポンプ電動 機]) (振動診断:1C,油分析:1C[蒸気 発生器水張ポンプ,蒸気発生器水 張ポンプ電動機])
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する 管等]	主な配管(主蒸気系統・再熱蒸気系統・抽 気系統) 一式	開放点検(非破壊試験)	G3	※1	128 蒸気タービン開放検査	※1 2次系配管肉厚検査計画に よる。
		目視点検		1C	128 蒸気タービン開放検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	2次系配管等※2(上記以外の主蒸気系統・再熱蒸気系統・抽気系統・復水系統・給水系統・トリップ系統・その他の系統) 一式 ※2 配管の他,ポンプ,熱交換器,弁等を含む。	非破壊試験	G3	※1	126 2次系配管検査	※1 2次系配管肉厚検査計画による。
		外観点検		1C	126 2次系配管検査	
	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する管等] その他機器 一式	開放点検 他	G3,G4	52M～104M		
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [その他設備]	蒸気タービンおよびその附属設備	機能・性能試験	G1,G3	1C	55 総合負荷性能検査	定検起動後
		機能・性能試験		1C	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	一部定検起動後
	主蒸気タンク弁3A 3TCV-500A	機能・性能試験	G3	1C	61 主蒸気タンク弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		13M	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	主蒸気タンク弁3B 3TCV-500B	機能・性能試験	G3	1C	61 主蒸気タンク弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		13M	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	主蒸気タンク弁3C 3TCV-500C	機能・性能試験	G3	1C	61 主蒸気タンク弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		52M	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
		グラントパッキン取替		13M		
	主蒸気タンク弁3D 3TCV-500D	機能・性能試験	G3	1C	61 主蒸気タンク弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		52M	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
		グラントパッキン取替		13M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	主蒸気タンブ弁3E 3TCV-500E	機能・性能試験	G3	1C	61 主蒸気タンブ弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		52M	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
		グラントパッキン取替		13M		
	主蒸気タンブ弁3F 3TCV-500F	機能・性能試験	G3	1C	61 主蒸気タンブ弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		52M	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
		グラントパッキン取替		13M		
	主蒸気タンブ弁3G 3TCV-500G	機能・性能試験	G3	1C	61 主蒸気タンブ弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		52M	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
		グラントパッキン取替		13M		
	主蒸気タンブ弁3H 3TCV-500H	機能・性能試験	G3	1C	61 主蒸気タンブ弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		52M	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
		グラントパッキン取替		13M		
	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン[その他 設備]その他の弁 一式	分解点検 他	G3,G4	13M～ 390M	122 2次系弁検査 123 2次系安全弁検査	
	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン[その他 設備] その他機器 一式	分解点検 他	G2～G4	13M～ 260M		(ターニク油ポンプ電動機 振動診 断:6M 他)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
計測制御系統施設 [制御材]	制御棒クラス 48体	機能・性能試験	G2	1C	106 制御棒クラス動作検査	
	制御棒クラス バーナブルボイスン ブランキングデバイス 2次中性子源 ※一式 ※一式 ※一式	外観点検	G3	1C	107 制御棒クラス検査	※ 炉心設計による
計測制御系統施設 [制御棒駆動装置]	制御棒駆動系 48本	機能・性能試験	G2	1C	30 制御棒駆動系機能検査	
		機能・性能試験		1C	106 制御棒クラス動作検査	
	制御棒駆動用電源M-Gセット3A 発電機	分解点検	G3	39M		(振動診断:1M, 油分析:1C, 赤 外線診断:1M)
		潤滑油入替		26M		
	制御棒駆動用電源M-Gセット3A 電動機	分解点検	G3	39M		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
	制御棒駆動用電源M-Gセット3B 発電機	分解点検	G3	39M		(振動診断:1M, 油分析:1C, 赤 外線診断:1M)
		潤滑油入替		26M		
	制御棒駆動用電源M-Gセット3B 電動機	分解点検	G3	39M		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
	ほう酸ポンプ3A	機能・性能試験	G3	1C	31-2 ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:2C)
		分解点検		156M	31-1 ほう酸ポンプ分解検査	
		メカニカルシール取替		78M		
計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備]	ほう酸ポンプ3A電動機	分解点検	G3	156M		(振動診断:1M)
	ほう酸ポンプ3B	機能・性能試験	G3	1C	31-2 ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:2C)
		分解点検		156M	31-1 ほう酸ポンプ分解検査	
		メカニカルシール取替		78M		
	ほう酸ポンプ3B電動機	分解点検	G3	156M		(振動診断:1M)
	1次系補給水ポンプ3A	機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:2C)
		分解点検		130M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	1次系補給水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G3	6C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
		分解点検		78M		
	1次系補給水ポンプ3B	機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:2C)
		分解点検		130M		
	1次系補給水ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G3	6C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
		分解点検		78M		
	ほう酸タンク3A	開放点検	G3	195M		
	ほう酸タンク3B	開放点検	G3	195M		
	1次系純水タンク3号	開放点検	G3	195M		
	ほう酸フィルタ3号	開放点検	G3	130M		
計測制御系統施設 [制御用空気設備]	計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3,G4	13M～ 195M	84 1次系弁検査 86 1次系逆止弁検査 87 1次系真空破壊弁検査	
	計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備] その他機器 一式	漏えい試験	G3	10YP		
	制御用空気圧縮機3A	機能・性能試験	G2	1C	32 制御用空気圧縮系機能検査	(振動診断:1M, 油分析:1C, 赤 外線診断:1M)
		部分点検		13M		
		分解点検		26M		
	制御用空気圧縮機3A電動機	分解点検	G3	130M		(振動診断:1M)
	制御用空気圧縮機3B	機能・性能試験	G2	1C	32 制御用空気圧縮系機能検査	(振動診断:1M, 油分析:1C, 赤 外線診断:1M)
		部分点検		13M		
		分解点検		26M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	制御用空気圧縮機3B電動機	分解点検	G3	130M		(振動診断:1M)
	計測制御系統施設 [制御用空気設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3,G4	13M～ 312M	85 1次系安全弁検査 84 1次系弁検査	
	計測制御系統施設 [制御用空気設備] その他機器 一式	分解点検 他	G2,G3	13M～ 39M		
計測制御系統施設 [その他設備]	1.原子炉保護系ロジック回路 27回路 2.安全防護系ロジック回路 34回路	機能・性能試験	G2	1C	33 安全保護系機能検査	
	1.原子炉トリップ,工学的安全施設の始動,原 子炉格納容器隔離等を行うためのすべ ての伝送器,設定器及び保護継電器 (1)1次冷却材等計測装置 伝送器 55個 設定器(保護継電器含む) 132個 (2)核計装装置 設定器 20個 2.重要な指示計器 (1)1次冷却材等計測装置 中央指示計 16個 現場指示計 9個 現場記録計 4個 (2)核計装装置 中央指示計 8個 現場記録計 1個	特性試験	G1～G4	13M	34 安全保護系設定値確認検査	
	事故時監視計器 圧力監視計器 7個 水位監視計器 20個 流量監視計器 9個 温度監視計器 10個	特性試験 他	G2,G4	13M	35 フラント状態監視設備機能検査	
	事故時試料採取設備 格納容器雰囲気ガス試料採取設備 1台	機能・性能試験	G3	13M	35 フラント状態監視設備機能検査	
	1.制御棒制御系 2.加圧器水位制御系 3.加圧器圧力制御系 4.蒸気発生器水位制御系 一式	機能・性能試験	G2,G3	1C	71 計測制御系機能検査	
	1.1次系計測制御装置 2.2次系計測制御装置 一式	特性試験	G1～G4	12M～ 104M	72 計測制御系監視機能検査	一部プラント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
計測制御系統施設[発 電用原子炉の運転を管 理するための制御装 置]	炉外核計測装置 1.線源領域計測装置 2台 2.中間領域計測装置 2台 3.出力領域計測装置 4台	特性試験	G1,G2	13M～ 26M	105 核計装設備検査	一部起動後
	炉内核計測装置 一式	機能・性能試験	G2	1C	105 核計装設備検査	
	制御棒位置指示装置 48個	特性試験	G2	13M	108 制御棒位置指示装置設定値検査	
	IISシンプ'ルチューブ' 50本	非破壊試験	G3	78M	109 炉内計装用シンプ'ルチューブ'体積検査	
	パーミッシ'ロジック回路 1.原子炉保護系ロジック関連 5回路 2.安全保護系ロジック関連 2回路	機能・性能試験	G2	1C	110 安全保護系機能検査(パーミッシ 'ロジック検査)	
	総合インターロック 1.原子炉トリップ'によるタービン, 発電機トリップ' 検査 2.タービントリップ'による原子炉, 発電機トリップ' 検査 3.発電機トリップ'による原子炉, タービントリップ' 検査 一式	機能・性能試験	G1～G3	1C	112 総合インターロック検査	
	計測制御系統施設 その他機器 一式	単体調整試験 他	G1～G5	12M～ 169M		一部プラント運転中 一部BDMあり
計測制御系統施設[発 電用原子炉の運転を管 理するための制御装 置]	中央制御室外原子炉停止盤補機操作回路 44回路	機能・性能試験	G2	1C	73 原子炉の停止制御回路健全性確認 検査	
放射性廃棄物の廃棄 施設[気体, 液体又は 固体廃棄物貯蔵設備]	放射性廃棄物の廃棄施設 [気体, 液体又は固体廃棄物貯蔵設備] 一 式	開放点検	G3,G5	216M		プラント運転中 一部BDMあり
放射性廃棄物の廃棄 施設[気体, 液体又は 固体廃棄物処理設備]	ガス圧縮装置 2台	機能・性能試験(電動機含む)	G4	1C	42 気体廃棄物処理系機能検査	
		分解点検 他		78M～ 156M		(振動診断:1C, 油分析:2C)
	ガス圧縮装置電動機 2台	分解点検	G4	130M		
	水素再結合ガス圧縮装置 1台	機能・性能試験(電動機含む)	G4	1C	42 気体廃棄物処理系機能検査	
		分解点検 他		104M～ 208M		(振動診断:1C, 油分析:2C)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	水素ガス圧縮装置電動機 1台	分解点検	G4	130M		(振動診断:1C)
	水素再結合装置 1台	機能・性能試験	G4	1C	42 気体廃棄物処理系機能検査	
	ガス減衰タンク圧力制御弁 6台	機能・性能試験(駆動部含む)	G3	1C	42 気体廃棄物処理系機能検査	
		機能・性能試験(駆動部含む)		52M～ 144M	84 1次系弁検査	
		分解点検(弁本体)		144M		
		分解点検(駆動部)		52M		
	ほう酸回収装置 1基	機能・性能試験	G4	2Y	64 液体廃棄物処理系機能検査	プラント運転中
	廃液蒸発装置 2基	機能・性能試験	G4	2Y	64 液体廃棄物処理系機能検査	プラント運転中
	ガス圧縮装置3A気水分離器破壊板	分解点検	G4	195M	88 1次系破壊板検査	
	ガス圧縮装置3B気水分離器破壊板	分解点検	G4	195M	88 1次系破壊板検査	
	水素再結合ガス圧縮装置気水分離器破壊板	分解点検	G4	195M	88 1次系破壊板検査	
	水素再結合装置破壊板	分解点検	G4	195M	88 1次系破壊板検査	
	モニタタンクポンプ3A	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 油分析:2C)
		分解点検		CBM		
	モニタタンクポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM		
	モニタタンクポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 油分析:2C)
		分解点検		CBM		
	モニタタンクポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM		
	ほう酸回収装置給水ポンプ3A	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 油分析:2C)
		分解点検		CBM		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	ほう酸回収装置給水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM		
	ほう酸回収装置給水ポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 油分析:2C)
		分解点検		CBM		分解未実施
	ほう酸回収装置給水ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM		
	廃液蒸留水ポンプ3A	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 油分析:2C)
		分解点検		CBM		
	廃液蒸留水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM		
	廃液蒸留水ポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 油分析:2C)
		分解点検		CBM		
	廃液蒸留水ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM		
	洗浄排水ポンプ3A	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 油分析:2C)
		分解点検		CBM		
	洗浄排水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM		
	洗浄排水ポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 油分析:2C)
		分解点検		CBM		分解未実施
	洗浄排水ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM		
	洗浄排水モニターポンプ3A	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 油分析:2C)
		分解点検		CBM		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	洗浄排水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM		
	洗浄排水ポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 油分析:2C)
		分解点検		CBM		
	洗浄排水ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM		
	強酸トレンポンプ3号(電動機含む)	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (ヘアリングモニタにより監視)
		分解点検		CBM		分解未実施
	格納容器冷却材トレンポンプ3A	機能・性能試験	G3	15C	96 液体廃棄物処理系設備検査	(振動診断:1C, 油分析:2C)
		分解点検		195M		
	格納容器冷却材トレンポンプ3A電動機	機能・性能試験	G3	15C	96 液体廃棄物処理系設備検査	(振動診断:1C)
		分解点検		195M		
	格納容器冷却材トレンポンプ3B	機能・性能試験	G3	15C	96 液体廃棄物処理系設備検査	(振動診断:1C, 油分析:2C)
		分解点検		195M		
	格納容器冷却材トレンポンプ3B電動機	機能・性能試験	G3	15C	96 液体廃棄物処理系設備検査	(振動診断:1C)
		分解点検		195M		
	格納容器サンプポンプ3A	機能・性能試験	G4	6C	96 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		78M		
	格納容器サンプポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	6C	96 液体廃棄物処理系設備検査	
		電動機取替		78M		
	格納容器サンプポンプ3B	機能・性能試験	G4	6C	96 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		78M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	格納容器サンプポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	6C	96 液体廃棄物処理系設備検査	
		電動機取替		78M		
	補助建屋サンプタンクポンプ3A	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (モータの振動により解析)
		分解点検		CBM		
	補助建屋サンプタンクポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM		
	補助建屋サンプタンクポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (モータの振動により解析)
		分解点検		CBM		分解未実施
	補助建屋サンプタンクポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM		
	廃液給水ポンプ3A	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 油分析:2C)
		分解点検		CBM		
	廃液給水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM		
	廃液給水ポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 油分析:2C)
		分解点検		CBM		
	廃液給水ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM		
	セメント固化装置	機能・性能試験	G4	2Y	115 固体廃棄物処理系セメント固化装置機能検査	プラント運転中
	放射性廃棄物の廃棄施設 [気体, 液体又は固体廃棄物処理設備] その他の弁一式	分解点検 他	G3,G4	52M～ 195M	84 1次系弁検査 86 1次系逆止弁検査 85 1次系安全弁検査 87 1次系真空破壊弁検査	一部プラント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	放射性廃棄物の廃棄施設 [気体, 液体又は固体廃棄物処理設備] その他機器 一式	開放点検 他	G3～G5	12M～ 444M		一部プラント運転中 一部BDMあり
放射性廃棄物の廃棄 施設 [原子炉格納容器本体 外の廃棄物貯蔵設備 又は廃棄物処理設備 からの流体状の放射性 廃棄物の漏えいの検出 装置又は自動警報装 置]	流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装 置及び警報装置 一式	機能・性能試験 他	G4	5Y	68 流体状の放射性廃棄物の漏えいの 検出装置及び警報装置機能検査 72 計測制御系監視機能検査	プラント運転中
	液体廃棄物貯蔵設備および処理設備の漏 えい防止に係わる警報装置 一式	機能・性能試験	G4	52M～ 60M	118 液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の 警報機能検査	一部プラント運転中
放射線管理施設 [放射線管理用計測装 置]	格納容器高レンジエリアモニタ 4個	特性試験	G2	13M	63-2 エリアモニタ機能検査	
	1.エリアモニタ 15台 2.プロセスモニタ 22台	特性試験	G2～G4	13M	76 放射線監視装置機能検査	
	モニタリングステーション及びモニタリングポスト専用の 5台 無線伝送装置	機能・性能試験	G4	2Y	62 野外モニタ機能検査	プラント運転中または定検停止中
	放射線管理施設 [放射線管理用計測装置] その他機器 一式	単体調整試験 他	G2,G3	13M～ 65M		
放射線管理施設 [換気設備]	中央制御室非常用循環系	機能・性能試験	G3,G4	1C	40 中央制御室非常用循環系機能検 査	
	中央制御室再循環ファン3A	機能・性能試験	G3	—		
	分解点検			156M		
	中央制御室再循環ファン3A電動機	機能・性能試験	G3	6C		(振動診断: 1M)
	分解点検			78M		
	中央制御室再循環ファン3B	機能・性能試験	G3	—		
	分解点検			156M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	中央制御室再循環ファン3B電動機	機能・性能試験	G3	6C		(振動診断:1M)
		分解点検		78M		
	中央制御室空調ファン3A	機能・性能試験	G3	—		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		195M		
	中央制御室空調ファン3A電動機	機能・性能試験	G3	6C		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		78M		
	中央制御室空調ファン3B	機能・性能試験	G3	—		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		195M		
	中央制御室空調ファン3B電動機	機能・性能試験	G3	6C		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		78M		
	中央制御室非常用給気ファン3A	分解点検	G3	390M		(振動診断:1M)
	中央制御室非常用給気ファン3A電動機	分解点検	G3	156M		(振動診断:1M)
	中央制御室非常用給気ファン3B	分解点検	G3	390M		(振動診断:1M)
	中央制御室非常用給気ファン3B電動機	分解点検	G3	156M		(振動診断:1M)
	中央制御室空調ユニット3A	開放点検	G3	78M		
	中央制御室空調ユニット3B	開放点検	G3	78M		
	中央制御室非常用給気フィルタユニット3号	機能・性能試験(よう素除去効率)	G3	1C	41 中央制御室非常用循環系フィルタ性能検査	
		機能・性能試験(漏えい率)		1C	41 中央制御室非常用循環系フィルタ性能検査	
		機能・性能試験		—		
		開放点検		390M		
	格納容器給気ファン3A	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (電動機の振動により解析)
		分解点検		CBM		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	格納容器給気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C)
		分解点検		CBM		プラント運転中
	格納容器給気ファン3B	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (電動機の振動により解析)
		分解点検		CBM		
	格納容器給気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C)
		分解点検		CBM		プラント運転中
	格納容器排気ファン3A	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C)
		分解点検		CBM		
	格納容器排気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C)
		分解点検		CBM		プラント運転中
	格納容器排気ファン3B	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C)
		分解点検		CBM		
	格納容器排気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C)
		分解点検		CBM		プラント運転中
	格納容器再循環ファン3A	分解点検	G4	156M		
	格納容器再循環ファン3A電動機	分解点検	G4	52M		(振動診断:1M, 油分析:1C)
	格納容器再循環ファン3B	分解点検	G4	156M		
	格納容器再循環ファン3B電動機	分解点検	G4	52M		(振動診断:1M, 油分析:1C)
	格納容器再循環ファン3C	分解点検	G4	156M		
	格納容器再循環ファン3C電動機	分解点検	G4	52M		(振動診断:1M, 油分析:1C)
	格納容器再循環ファン3D	分解点検	G4	156M		
	格納容器再循環ファン3D電動機	分解点検	G4	52M		(振動診断:1M, 油分析:1C)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	格納容器空気浄化ファン3A	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (電動機の振動により解析)
		分解点検		CBM		
	格納容器空気浄化ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM		
	格納容器空気浄化ファン3B	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (電動機の振動により解析)
		分解点検		CBM		
	格納容器空気浄化ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM		
	補助建屋給気ファン3A	機能・性能試験	G4	22Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
		分解点検		22Y		プラント運転中
	補助建屋給気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	7Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		7Y		プラント運転中
	補助建屋給気ファン3B	機能・性能試験	G4	22Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
		分解点検		22Y		プラント運転中
	補助建屋給気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	7Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		7Y		プラント運転中
	補助建屋排気ファン3A	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M)
		分解点検		CBM		プラント運転中
	補助建屋排気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	7Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		7Y		プラント運転中
	補助建屋排気ファン3B	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M)
		分解点検		CBM		プラント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	補助建屋排気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	7Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		7Y		プラント運転中
	補助建屋排気ファン3C	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M)
		分解点検		CBM		プラント運転中
	補助建屋排気ファン3C電動機	機能・性能試験	G4	7Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		7Y		プラント運転中
	燃料取扱建屋空気浄化系	機能・性能試験	G3	1C	77 1次系換気空調設備検査	
	放射線管理室給気ファン3A	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
		分解点検		15Y		プラント運転中
	放射線管理室給気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		15Y		プラント運転中
	放射線管理室給気ファン3B	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
		分解点検		15Y		プラント運転中
	放射線管理室給気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		15Y		プラント運転中
	放射線管理室排気ファン3A	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		15Y		プラント運転中
	放射線管理室排気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		15Y		プラント運転中
	放射線管理室排気ファン3B	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		15Y		プラント運転中
	放射線管理室排気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		15Y		プラント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	ペイラ排気ファン3号	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (モータの振動により解析)
		分解点検		CBM		
	ペイラ排気ファン3号電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1Y)
		分解点検		CBM		
	セメント固化装置オフガスファン3A	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM		
	セメント固化装置オフガスファン3A電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM		
	セメント固化装置オフガスファン3B	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM		
	セメント固化装置オフガスファン3B電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM		
	廃棄物処理室給気ファン3A	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	廃棄物処理室給気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	7Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		7Y		プラント運転中
	廃棄物処理室給気ファン3B	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	廃棄物処理室給気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	7Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		7Y		プラント運転中
	廃棄物処理室排気ファン3A	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM		
	廃棄物処理室排気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM		プラント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	廃棄物処理室排気ファン3B	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM		
	廃棄物処理室排気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM		プラント運転中
	廃棄物処理室排気ファン3C	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM		
	廃棄物処理室排気ファン3C電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM		プラント運転中
	換気空調設備のその他のファン 一式	分解点検 他	G3,G4	12M～ 300M		一部プラント運転中
	格納容器給気ユニット3A	開放点検	G4	7Y		プラント運転中
	格納容器給気ユニット3B	開放点検	G4	7Y		プラント運転中
	格納容器排気フィルタユニット3A	機能・性能試験	G4	18Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
		開放点検		18Y		プラント運転中
	格納容器排気フィルタユニット3B	機能・性能試験	G4	18Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
		開放点検		18Y		プラント運転中
	補助建屋給気ユニット3号(Aバンク側)	開放点検	G4	7Y		プラント運転中
	補助建屋給気ユニット3号(Bバンク側)	開放点検	G4	7Y		プラント運転中
	補助建屋排気フィルタユニット3A	機能・性能試験	G4	18Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	補助建屋排気フィルタユニット3B	機能・性能試験	G4	18Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	放射線管理室給気ユニット3号	開放点検	G4	7Y		プラント運転中
	放射線管理室排気フィルタユニット3A	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	放射線管理室排気フィルタユニット3B	機能・性能試験	G3	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	ペイラ排気フィルタユニット3号	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	ファン(CBM)の機能・性能試験に合 わせて実施

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	廃棄物処理室排気フィルタユニット3号(Aバンク側)	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	廃棄物処理室排気フィルタユニット3号(Bバンク側)	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	格納容器空気浄化フィルタユニット3号	機能・性能試験	G3	B	77 1次系換気空調設備検査	ファン(CBM)の機能・性能試験に合わせて実施
	格納容器減圧排気フィルタユニット3号	機能・性能試験	G4	15C	77 1次系換気空調設備検査	
		開放点検		195M		
	セメント固化装置オフガスフィルタユニット3A	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	ファン(CBM)の機能・性能試験に合わせて実施
	セメント固化装置オフガスフィルタユニット3B	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	ファン(CBM)の機能・性能試験に合わせて実施
	中央制御室	漏えい試験	高	6YP	139 中央制御室の居住性確認検査	
		外観点検(貫通部)		1C		
	タンバ(タンバオペレータ, 防火タンバ, 手動タンバ含む) 一式	機能・性能試験	G3,G4	13M～ 264M	77 1次系換気空調設備検査	一部プラント運転中
	放射線管理施設 [換気設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3,G4	26M～ 195M	85 1次系安全弁検査	一部プラント運転中
	放射線管理施設 [換気設備] その他AM弁 一式	分解点検	G3	195M		
	放射線管理施設 [換気設備] その他機器 一式	分解点検 他	G2～G4	12M～ 300M		一部プラント運転中
原子炉格納施設 [原子炉格納容器]	原子炉格納容器	漏えい率試験	G3	3C	43 原子炉格納容器全体漏えい率検査	
	通常用エアロック 1個	漏えい率試験	G3	2C/3C	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
		開放点検		130M		
		部分点検		1C		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕
	非常用エアロック 1個	漏えい率試験	G3	2C/3C	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
		開放点検		130M		
		部分点検		1C		
	格納容器機器搬入口 1個	漏えい率試験	G3	2C/3C	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
		開放点検		13M		
	配管貫通部(伸縮式配管貫通部、貫通配管フランジ部) 一式	漏えい率試験	G3	2C/3C	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	電気配線用貫通部 一式	漏えい率試験	G3	2C/3C	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	配管貫通部(伸縮式配管貫通部、貫通配管フランジ部)及び電気配線用貫通部 一式	開放点検	G3	13M～ 104M		
	原子炉格納容器隔離弁 一式	漏えい率試験	G3	2C/3C	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	格納容器隔離(T・V信号及びT+UV信号)により隔離される弁 65個	機能・性能試験	G3	1C	45 原子炉格納容器隔離弁機能検査	
	格納容器隔離(P・V信号)により隔離される弁 16個	機能・性能試験	G3	1C	45 原子炉格納容器隔離弁機能検査	
	格納容器冷却材ポンプ出口ライン第1隔離弁3号 3LCV-1000	分解点検(弁本体)	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		52M		
	SG-3Aサンプリング隔離弁 3V-BD-009A	分解点検(弁本体)	G3	78M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	SG-3Bサンプリング隔離弁 3V-BD-009B	分解点検(弁本体)	G3	78M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	SG-3Cサンプリング隔離弁 3V-BD-009C	分解点検(弁本体)	G3	78M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	SG-3Aフローダウン隔離弁 3V-BD-030A	分解点検(弁本体)	G3	78M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	SG-3Bフローダウン隔離弁 3V-BD-030B	分解点検(弁本体)	G3	78M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	SG-3Cプローダ'グン隔離弁 3V-BD-030C	分解点検(弁本体)	G3	78M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	C/V再循環ユニット3A,3B冷却水入口隔離弁 3V-CC-189A	分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	C/V再循環ユニット3C,3D冷却水入口隔離弁 3V-CC-189B	分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	C/V再循環ユニット3A冷却水出口隔離弁 3V-CC-198A	分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	C/V再循環ユニット3B冷却水出口隔離弁 3V-CC-198B	分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	C/V再循環ユニット3C冷却水出口隔離弁 3V-CC-198C	分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	C/V再循環ユニット3D冷却水出口隔離弁 3V-CC-198D	分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	CRDMおよび余剰抽出クーラ冷却水入口隔離弁3号 3V-CC-342	分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	CRDMおよび余剰抽出クーラ冷却水出口隔離弁3号	3V-CC-349 分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	RCP冷却水入口第2隔離弁3号	3V-CC-401 分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	RCP冷却水入口第1隔離弁3号	3V-CC-403 分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	RCP冷却水出口第1隔離弁3号	3V-CC-427 分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	RCP冷却水出口第2隔離弁3号	3V-CC-429 分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	DRPI冷却ユニット3号入口隔離弁	3V-CH-404 分解点検(弁本体)	G3	104M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
		グラントパッキン取替		52M		
	DRPI冷却ユニット3号出口隔離弁	3V-CH-410 分解点検(弁本体)	G3	52M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	抽出オフス隔離弁3A	3V-CS-004A 分解点検(弁本体)	G3	52M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	抽出オアフィス隔離弁3B 3V-CS-004B	分解点検(弁本体)	G3	52M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	抽出オアフィス隔離弁3C 3V-CS-004C	分解点検(弁本体)	G3	52M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	抽出ライン隔離弁3号 3V-CS-007	分解点検(弁本体)	G3	104M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		52M		
		グラントパッキン取替		52M		
	封水戻りライン第1隔離弁3号 3V-CS-213	分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	封水戻りライン第2隔離弁3号 3V-CS-214	分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	格納容器減圧装置第1隔離弁3号 3V-DP-001	分解点検(弁本体)	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		52M		
	格納容器減圧装置第2隔離弁3号 3V-DP-002	分解点検(弁本体)	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		52M		
	消火系格納容器隔離弁3号 3V-FS-503	分解点検(弁本体)	G3	104M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		52M		
		グラントパッキン取替		52M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	制御用空気供給ヘッダ3A格納容器隔離弁 3V-IA-508A	分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	制御用空気供給ヘッダ3B格納容器隔離弁 3V-IA-508B	分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	炉内核計装装置ガスパージライン第2隔離弁3号 3V-IG-008	分解点検(弁本体)	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		52M		
	炉内核計装装置ガスパージライン第1隔離弁3号 3V-IG-009	分解点検(弁本体)	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		52M		
	加圧器逃がしタンクガス分析ライン第1隔離弁3号 3V-RC-077	分解点検(弁本体)	G3	26M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		104M		
	加圧器逃がしタンクガス分析ライン第2隔離弁3号 3V-RC-078	分解点検(弁本体)	G3	52M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		104M		
	加圧器逃がしタンク窒素隔離弁3号 3V-RC-084	分解点検(弁本体)	G3	104M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		104M		
		グラントパッキン取替		52M		
	加圧器逃がしタンク補給水隔離弁3号 3V-RC-095	分解点検(弁本体)	G3	104M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
		グラントパッキン取替		52M		
	格納容器空気モニタリンク第1隔離弁3号 3V-RM-001	分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	格納容器空気モニタリング第2隔離弁3号 3V-RM-002	分解点検(弁本体)	G3	52M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		104M		
	格納容器空気モニタリング戻り隔離弁3号 3V-RM-018	分解点検(弁本体)	G3	52M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		104M		
	安全注入テストライン第1戻り弁3号 3V-SI-144	分解点検(弁本体)	G3	104M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		104M		
		グラントパッキン取替		52M		
	蓄圧タンク補給ライン隔離弁3号 3V-SI-145	分解点検	G3	52M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		104M		
	安全注入テストライン第2戻り弁3号 3V-SI-147	分解点検(弁本体)	G3	52M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		104M		
	蓄圧タンク窒素隔離弁3号 3V-SI-165	分解点検(弁本体)	G3	78M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	加圧器気相部サンプリング隔離弁3号 3V-SS-503	分解点検(弁本体)	G3	52M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	加圧器液相部サンプリング隔離弁3号 3V-SS-523	分解点検(弁本体)	G3	26M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	ループ3A高温側および加圧器サンプリング隔離弁 3V-SS-524	分解点検(弁本体)	G3	26M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	ループ3A高温側サンプリング隔離弁 3V-SS-543A	分解点検(弁本体)	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	ループ3B高温側サンプリング第1隔離弁 3V-SS-543B	分解点検(弁本体)	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	ループ3B高温側サンプリング第2隔離弁 3V-SS-544	分解点検(弁本体)	G3	26M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	蓄圧タンク3Aサンプリング隔離弁 3V-SS-563A	分解点検(弁本体)	G3	104M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	蓄圧タンク3Bサンプリング隔離弁 3V-SS-563B	分解点検(弁本体)	G3	78M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	蓄圧タンク3Cサンプリング隔離弁 3V-SS-563C	分解点検(弁本体)	G3	78M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	蓄圧タンクサンプリング隔離弁3号 3V-SS-564	分解点検(弁本体)	G3	78M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		104M		
	格納容器真空逃がし装置3A隔離弁 3V-VR-001A	分解点検(弁本体)	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		52M		
	格納容器真空逃がし装置3B隔離弁 3V-VR-001B	分解点検(弁本体)	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		52M		
	格納容器真空逃がし弁3A 3V-VR-003A	機能・性能試験	G3	1C	47 原子炉格納容器真空逃がし弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		156M		
	格納容器真空逃がし弁3B 3V-VR-003B	機能・性能試験	G3	1C	47 原子炉格納容器真空逃がし弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		156M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	格納容器冷却材ドレンポンプ出口ライン第2隔離弁3号 3V-WL-032	分解点検(弁本体)	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		52M		
	格納容器冷却材ドレンタンクガス分析ライン第1隔離弁3号 3V-WL-078	分解点検(弁本体)	G3	52M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		104M		
	格納容器冷却材ドレンタンクガス分析ライン第2隔離弁3号 3V-WL-079	分解点検(弁本体)	G3	52M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		104M		
	格納容器冷却材ドレンタンクヘント第1隔離弁3号 3V-WL-084	分解点検(弁本体)	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		52M		
	格納容器冷却材ドレンタンクヘント第2隔離弁3号 3V-WL-085	分解点検(弁本体)	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		104M		
	格納容器冷却材ドレンタンク窒素隔離弁3号 3V-WL-090	分解点検(弁本体)	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		104M		
	格納容器サンプポンプ出口第1隔離弁3号 3V-WL-124	分解点検(弁本体)	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		52M		
	格納容器サンプポンプ出口第2隔離弁3号 3V-WL-125	分解点検(弁本体)	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		52M		
原子炉格納施設[原子炉格納容器] その他の弁 一式	原子炉格納施設[原子炉格納容器] その他の弁 一式	分解点検 他	G3	13M～ 208M	84 1次系弁検査 86 1次系逆止弁検査	
		開放点検	G3	1C		[対象設備] ・アニュラスシール
	原子炉格納容器スプレイ系	機能・性能試験	G3	1C	48 原子炉格納容器安全系機能検査 147 その他原子炉注水系機能検査	
原子炉格納施設[圧力 低減設備その他の安全 設備]		機能・性能試験(状態監視含む)		6M	137 運転中安全系ポンプ機能検査	プラント運転中 [対象設備] ・格納容器スプレイポンプ3A,3B

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	格納容器スプレイ冷却器3A	開放点検	G3	195M	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		390M	91 1次系熱交換器検査	
	格納容器スプレイ冷却器3B	開放点検	G3	195M	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		390M	91 1次系熱交換器検査	
	格納容器スプレイポンプ3A	分解点検	G3	195M	49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解 検査	(振動診断:1M, 油分析:2C)
	格納容器スプレイポンプ3A電動機	分解点検	G3	130M		(振動診断:1M, 油分析:1C)
		潤滑油入替		26M		
	格納容器スプレイポンプ3B	分解点検	G3	195M	49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解 検査 145 その他原子炉注水系ポンプ分解 検査	(振動診断:1M, 油分析:2C)
	格納容器スプレイポンプ3B電動機	分解点検	G3	130M		(振動診断:1M, 油分析:1C)
		潤滑油入替		26M		
	よう素除去薬品タンク3号	開放点検	G3	390M	89 1次系容器検査	
	格納容器スプレイポンプ3A入口弁 3V-CP-001A	分解点検(弁本体)	G3	156M	50 原子炉格納容器安全系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	格納容器スプレイポンプ3B入口弁 3V-CP-001B	分解点検(弁本体)	G3	156M	50 原子炉格納容器安全系主要弁分解 検査 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	格納容器スプレイ冷却器3A出口弁 3V-CP-021A	分解点検(弁本体)	G3	156M	50 原子炉格納容器安全系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	格納容器スプレイ冷却器3B出口弁 3V-CP-021B	分解点検(弁本体)	G3	156M	50 原子炉格納容器安全系主要弁分解 検査 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	よう素除去薬品タンク出口第1弁3A 3V-CP-054A	分解点検(弁本体)	G3	156M	50 原子炉格納容器安全系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	よう素除去薬品タンク出口第1弁3B 3V-CP-054B	分解点検(弁本体)	G3	156M	50 原子炉格納容器安全系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	原子炉格納施設[圧力低減設備その他の 安全設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3,G4	13M～ 390M	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査 86 1次系逆止弁検査 87 1次系真空破壊弁検査	
	原子炉格納施設[圧力低減設備その他の 安全設備] その他AM弁 一式	分解点検	G3	130M	86 1次系逆止弁検査	
	格納容器再循環ユニット3A	開放点検	G3	78M	77 1次系換気空調設備検査	
	格納容器再循環ユニット3B	開放点検	G3	78M	77 1次系換気空調設備検査	
	アニュラス循環排気系	機能・性能試験	G3	1C	38 アニュラス循環排気系機能検査	
	アニュラス排気ファン3A	分解点検	G3	260M		(振動診断:1M)
	アニュラス排気ファン3A電動機	分解点検	G3	156M		(振動診断:1M)
	アニュラス排気ファン3B	分解点検	G3	260M		(振動診断:1M)
	アニュラス排気ファン3B電動機	分解点検	G3	156M		(振動診断:1M)
	アニュラス排気フィルタユニット3A	機能・性能試験(よう素除去効 率)	G3	1C	39 アニュラス循環排気系フィルタ性能検査	
		機能・性能試験(漏えい率)		1C	39 アニュラス循環排気系フィルタ性能検査	
		機能・性能試験		30C	77 1次系換気空調設備検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	アニュラス排気フィルタユニット3B	機能・性能試験(よう素除去効率)	G3	1C	39 アニュラス循環排気系フィルタ性能検査	
		機能・性能試験(漏えい率)		1C	39 アニュラス循環排気系フィルタ性能検査	
		機能・性能試験		30C	77 1次系換気空調設備検査	
	アニュラス排気弁3A	分解点検(弁本体)	G3	78M	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	アニュラス排気弁3B	分解点検(弁本体)	G3	78M	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	アニュラス全量排気弁3A	分解点検(弁本体)	G3	78M	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	アニュラス全量排気弁3B	分解点検(弁本体)	G3	78M	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	アニュラス少量排気弁3A	分解点検(弁本体)	G3	78M	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	アニュラス少量排気弁3B	分解点検(弁本体)	G3	78M	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	アニュラス戻り弁3A	分解点検(弁本体)	G3	78M	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	アニュラス戻り弁3B	分解点検(弁本体)	G3	78M	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	安全補機室空気浄化系	機能・性能試験	G3	1C	77 1次系換気空調設備検査	
	安全補機室排気ファン3A	分解点検	G3	260M		(振動診断:6M)
	安全補機室排気ファン3A電動機	分解点検	G3	156M		(振動診断:6M)
	安全補機室排気ファン3B	分解点検	G3	260M		(振動診断:6M)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	安全補機室排気ファン3B電動機	分解点検	G3	156M		(振動診断:6M)
	安全補機室排気フィルタユニット3号	機能・性能試験	G3	20C	77 1次系換気空調設備検査	
		開放点検		260M		
	タンパ(タンパオペレータ含む) 一式	機能・性能試験	G3	13M～ 144M	77 1次系換気空調設備検査	一部プラント運転中
	原子炉格納施設[圧力低減設備その他の 安全設備] その他機器 一式	開放点検 他	G3	390M	89 1次系容器検査	[対象設備] ・PH調整剤貯蔵タンク
原子炉施設 [その他設備]	クラス1機器(供用期間中検査対象) 一式	非破壊試験	G1,G3	10YP	1 クラス1機器供用期間中検査 144 重大事故等クラス2機器供用期間中 検査	
	(重大事故等クラス2機器供用期間中検査対 象を含む)	漏えい試験		1C		
	クラス2機器(供用期間中検査対象) 一式	非破壊試験	G3	10YP	5 クラス2機器供用期間中検査 144 重大事故等クラス2機器供用期間中 検査	
	(重大事故等クラス2機器供用期間中検査対 象を含む)	漏えい試験		10YP		
	クラス3機器(供用期間中検査対象) 一式	非破壊試験	G3	10YP	104 クラス3機器供用期間中検査	一部プラント運転中
	(重大事故等クラス3機器供用期間中検査対 象を含む)	漏えい試験		10YP		
	クラス1機器Ni基合金使用部位 一式 (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対 象を含む)	非破壊試験	G3	5YP～ 10YP	98 供用期間中特別検査のうちクラス1機 器Ni基合金使用部位特別検査 144 重大事故等クラス2機器供用期間中 検査	
	クラス2管(原子炉格納容器内) 一式 (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対 象を含む)	非破壊試験	G3	10YP	98 供用期間中特別検査のうちクラス2管 (原子炉格納容器内)特別検査 144 重大事故等クラス2機器供用期間中 検査	
	クラスMC容器(供用期間中検査対象)機器搬 入口の圧力保持用ボルト締付け部(ボルト、ナッ ト、ワッシャ、フランジ面) 一式 (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対 象を含む)	非破壊試験	G3	10YP	79 原子炉格納容器供用期間中検査	
	レストレイント 一式	外観点検	G3	10YP	113 レストレイント検査	
	クラス2機器及びクラス3機器(供用期間中検査 対象外)、クラス4管の耐圧部並びに排気筒 一式	外観点検	G3	10YP	103 構造健全性検査	格納容器排気筒、補助建屋排気 筒は5定検で100%検査 一部プラント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	原子炉施設[その他設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3,G4	52M～ 260M	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査 86 1次系逆止弁検査	
	原子炉施設[その他設備] その他AM弁 一式	分解点検	G3	156M		
	原子炉施設[その他設備] その他機器 一式	機能・性能試験	G3	12M～13M		プラント運転中
	耐震クラスS,Bに属する支持構造物 一式	外観点検	G1～G3	10YP	102 耐震健全性検査	クラス1,2,3機器供用期間中検査対象機器を除く
その他発電用原子炉の 附属施設(非常用電源 設備) [非常用発電装置]	ディーゼル発電機 2台	機能・性能試験	G3	1C	53-1 非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査) 53-2 非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機定格容量検査)	
	安全注入信号および格納容器スプレイ信号 発信時に非常用ディーゼル発電機に電源を 求める機器 48台	機能・性能試験	G2～G4	1C	53-1 非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査)	
	非常用ディーゼル発電機3A	分解点検	G3	52M		
	非常用ディーゼル発電機3B	分解点検	G3	52M		
	非常用ディーゼル機関3A	外観点検	G3	13M	133 非常用予備発電機付属設備検査	(油分析:1C, 赤外線診断:1C)
		非常調速装置試験		13M	133 非常用予備発電機付属設備検査	
		計測装置試験		13M	133 非常用予備発電機付属設備検査	
	ディーゼル機関A号機シリンダ(ピストン、連接棒、 シリンダカバー、クランク軸、吸気弁、排気弁、燃 料噴射弁)	分解点検	G3	13M～ 104M	54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	非常用ディーゼル機関3B	外観点検	G3	13M	133 非常用予備発電機付属設備検査	(油分析:1C, 赤外線診断:1C)
		非常調速装置試験		13M	133 非常用予備発電機付属設備検査	
		計測装置試験		13M	133 非常用予備発電機付属設備検査	
	ディーゼル機関B号機シリンダ(ピストン、連接棒、 シリンダカバー、クランク軸、吸気弁、排気弁、燃 料噴射弁)	分解点検	G3	13M～ 104M	54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	重油タンクA	開放点検	G3	156M	124 2次系容器検査	
	重油タンクB	開放点検	G3	156M	124 2次系容器検査	
	重油タンクC	開放点検	G3	156M	124 2次系容器検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	ディーゼル発電機附属設備 一式	分解点検 他	G3,G4	13M～ 260M	133 非常用予備発電機付属設備検査	(油分析:1C[空気圧縮機,調速機]) (振動診断:1M[潤滑油プライミングポンプ,温水循環ポンプ,D/G潤滑油プライミングポンプ電動機]) (振動診断:1M[燃料弁冷却水ポンプ,D/G燃料弁冷却水ポンプ電動機]) (振動診断:1M[D/G燃料油移送ポンプ電動機])
	その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備)[非常用発電装置] その他の弁 一式	分解点検 他	G3,G4	26M～ 390M	133 非常用予備発電機付属設備検査 85 1次系安全弁検査	
	その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備)[非常用発電装置] その他機器 一式	分解点検 他	G2～G4	13M～ 52M	133 非常用予備発電機付属設備検査	
その他発電用原子炉の 附属施設(非常用電源 設備) [その他の電源装置]	蓄電池(非常用) 2組(60個/組)	機能・性能試験	G3	1C	53-3 直流電源系機能検査 159 直流電源系作動検査	
		蓄電池点検		13M		
	計装用電源装置 4台	機能・性能試験 他	G3	13M	111 インバータ機能検査	
	その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備) [その他の電源装置] その他機器 一式	電気試験 他	G3	13M～ 78M		
	遮断器 一式	遮断器点検 他	G3	39M～ 96M		
その他発電用原子炉の 附属施設(非常用電源 設備) [その他機器]	その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備) [その他機器] その他機器 一式	特性試験 他	G3,G4	13M～ 104M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
その他発電用原子炉の 附属施設(常用電源設 備) [発電機]	発電機設備 一式	分解点検 他	G1,G3,G4	13M～ 130M		
その他発電用原子炉の 附属施設(常用電源設 備) [変圧器]	変圧器設備 一式	開放点検 他	G3	13M～ 195M		一部プラント運転中
その他発電用原子炉の 附属施設(常用電源設 備) [しゃ断器]	しゃ断器 一式	遮断器点検 他	G3	26M～ 108M		一部プラント運転中
その他発電用原子炉の 附属施設(常用電源設 備) [その他機器]	その他発電用原子炉の附属施設(常用電 源設備) その他機器 一式	内部・外部点検 他	G3,G4	12M～ 78M		一部プラント運転中
その他発電用原子炉の 附属施設(補助ボイラー) [補助ボイラー]	補助ボイラー設備 一式	開放点検 他	G4	144M～ 216M※1	130 補助ボイラー開放検査※1 131 補助ボイラー性能検査※2 132 補助ボイラー設備検査※2	プラント運転中 (振動診断:6M[補助ボイラー給水ポン プ]) ※1 前回の点検後の運転時間 が4000時間,又は起動回数が12 0回に達すると見込まれる時期ま でに定期事業者検査を実施す る。 ※2 補助ボイラー性能検査及び 設備検査は,補助ボイラー開放検 査に合わせて実施する。
その他発電用原子炉の 附属施設(補助ボイラー) [補助ボイラーに属する燃 料燃焼設備]	燃料噴燃ポンプ3A	分解点検	G4	12Y		プラント運転中 (振動診断:6M)
		機能・性能試験		12Y	132 補助ボイラー設備検査	
	燃料噴燃ポンプ3A電動機	分解点検	G4	CBM		(振動診断:6M)
		機能・性能試験		B	132 補助ボイラー設備検査	
	燃料噴燃ポンプ3B	分解点検	G4	12Y		プラント運転中 (振動診断:6M)
		機能・性能試験		12Y	132 補助ボイラー設備検査	
	燃料噴燃ポンプ3B電動機	分解点検	G4	CBM		(振動診断:6M)
		機能・性能試験		B	132 補助ボイラー設備検査	
	燃料噴燃ポンプ3C	分解点検	G4	12Y		プラント運転中 (振動診断:6M)
		機能・性能試験		12Y	132 補助ボイラー設備検査	
	燃料噴燃ポンプ3C電動機	分解点検	G4	CBM		(振動診断:6M)
		機能・性能試験		B	132 補助ボイラー設備検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
その他発電用原子炉の 附属施設(火災防護設 備) [消火設備]	消火ポンプ3A(電動)	機能・性能試験	G4	1Y		プラント運転中または定検停止中 (振動診断:1M)
		分解点検		10Y		プラント運転中または定検停止中
	消火ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	1Y		
	消火ポンプ3Bディーゼルエンジン	機能・性能試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中 (振動診断:1M, 油分析:1Y)
		部分点検		1Y		プラント運転中または定検停止中
	消火ポンプ3B(ディーゼル駆動)	機能・性能試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中 (振動診断:1M)
		分解点検		10Y		プラント運転中または定検停止中
	消火系統機器(AM機能範囲)一式	取替	G3	CBM ※1		※1 巡視点検(1M)結果により取 替実施 一部プラント運転中
その他発電用原子炉の 附属施設(火災防護設 備) [その他設備]	全域ハロン消火設備 一式	機能・性能試験	G3	12M～ 13M		一部プラント運転中
	防火タンク 一式	作動確認	G3, G4	130M～ 144M		プラント運転中
	煙等流入防止装置 一式	分解点検	G3	130M	84 1次系弁検査	
	可搬型排煙装置(中央制御室)	作動確認	G3	1C		
	可搬型排煙装置(中央制御室)電動機	作動確認	G3	1C		
		分解点検(本体)	G3	130M		
	可搬型の排煙装置	作動確認	G4	1C		
	ほう酸ポンプ室耐火障壁	外観点検	G4	1C		
	貫通部シール	外観点検	G4	10C		
	その他発電用原子炉の附属施設(火災防 護設備)[その他設備] その他機器 一式	特性試験 他	G4	12M～ 130M		
その他発電用原子炉の 附属施設(浸水防護施 設) [外郭浸水防護設備] [内郭浸水防護設備]	海水ポンプエリア水密ハッチ 一式	開放点検	G3	26M		
	海水ポンプエリア水密扉 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	原子炉補助建屋水密扉 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	原子炉建屋水密扉 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	海水ピットポンプ室防護壁3号	外観点検	G3	1C		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	浸水防護堰 一式	外観点検	G3	1C		
その他発電用原子炉の 附属施設(浸水防護施設) [その他設備]	ターミナルエント部カバー 一式	外観点検	G4	5C		
	床ドレンライン逆止弁 一式	分解点検	G3	130M	84 1次系弁検査	
	海面監視カメラ(監視含む) 一式	特性試験	G4	13M		
	耐震型海水ピット水位計(監視含む) 一式	特性試験	G4	13M	72 計測制御系監視機能検査	
	蒸気漏えいの自動検知・遠隔隔離システム 一式	機能・性能試験 他	G4	13M～ 130M	84 1次系弁検査	
	貫通部止水処置	外観点検	G3	1Y		プラント運転中
その他発電用原子炉の 附属施設(非常用取水 設備) [取水設備]	海水ピット堰3A	開放点検	G3	13M	167 海水ピット堰検査	
	海水ピット堰3B	開放点検	G3	13M	167 海水ピット堰検査	
その他発電用原子炉の 附属施設(緊急時対策 所)	緊急時対策所(EL.32m)	外観点検	高	1Y		
		非破壊試験		5Y		
		漏えい試験		6YP	140 緊急時対策所の居住性確認検査	
竜巻防護対策設備	補助給水タンクエリア防護壁3号	外観点検	G3	1C		
	重油タンクA(防護材)	外観点検	G3	1C		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	重油タンクB(防護材)	外観点検	G3	1C		
	重油タンクC(防護材)	外観点検	G3	1C		
	建屋開口部防護壁 一式	外観点検	G3	1C		
土木建築設備	原子炉格納施設	外観点検	高,低	1C		一部プラント運転中
		非破壊試験		5Y		一部プラント運転中
	原子炉建屋	外観点検	高,低	1Y		プラント運転中または定検停止中
		非破壊試験		5Y		プラント運転中または定検停止中
	原子炉補助建屋	外観点検	高,低	1Y		プラント運転中または定検停止中
		非破壊試験		5Y		プラント運転中または定検停止中
	取放水設備 一式	外観点検 他	高,低	1Y～5Y		プラント運転中または定検停止中
プラント総合	原子炉及びその附属設備(非常用予備発電装置を除く)	総合性能試験	G3	1C	55 総合負荷性能検査	定検起動後
全般機器	化学消防自動車	機能・性能試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	水槽付消防自動車	機能・性能試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	海水取水用水中ポンプ	外観点検	G4	1Y		プラント運転中または定検停止中
	諸機器	機能・性能試験 他	G3,G4	1Y		プラント運転中または定検停止中

2.点検計画 重大事故等対処設備

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料貯蔵設備]	使用済燃料ピット広域水位(AM)計測装置 一式	特性試験 他	G3	13M	72 計測制御系監視機能検査	
	使用済燃料ピット監視カメラ(可搬型の使用済燃料ピット監視カメラ冷却設備を含む。)一式	特性試験	G3	13M		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]	大型ポンプ車	機能・性能試験	G3	1Y	161 可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中または定検停止中
		分解点検		10Y		プラント運転中または定検停止中
	大型ポンプ車(泡混合機能付)	機能・性能試験	G3	1Y	161 可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中または定検停止中
		分解点検		10Y		プラント運転中または定検停止中
	中型ポンプ車 7台	機能・性能試験	G3	1Y	161 可搬型重大事故等対処設備機能検査 162 可搬型注水等設備機能検査	プラント運転中または定検停止中
		分解点検		10Y		プラント運転中または定検停止中
	加圧ポンプ車 3台	機能・性能試験	G3	1Y	161 可搬型重大事故等対処設備機能検査 162 可搬型注水等設備機能検査	プラント運転中または定検停止中
		分解点検		10Y		プラント運転中または定検停止中
	大型放水砲 2台	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	小型放水砲 3台	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備] 水源確保用ホース 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [その他設備]	小型船舶 一式	機能・性能試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	取水ピットシルトフェンス 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	海水ピットシルトフェンス 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	放水ピットシルトフェンス 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	放水ピットテントシート 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	雨水排水口海洋シルトフェンス 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	放射性物質吸着剤 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] 弁 一式	分解点検	G3	130M～ 156M		
	原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] デイスタンスペース 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備]	高圧注入ポンプ3B及び電動機冷却水屋外 放出用5mフレキシブルホース 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	マニホールド(原子炉補機冷却水サージタンク用) 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	原子炉補機冷却水サージタンク窒素供給用 14mフレキシブルホース 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	窒素ポンプ(原子炉補機冷却水サージタンク 用) 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	可搬型代替冷却水ポンプ接続用5mフレキシ ブルホース 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕
	格納容器雰囲気ガスサンプル冷却器冷却水 屋外放出用21mフレキシブルホース 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	可搬型代替冷却水ポンプ 一式	機能・性能試験	G3	1C	161 可搬型重大事故等対処設備機能検査	
		外観点検		1C		
	可搬型代替冷却水ポンプ電動機 一式	機能・性能試験	G3	1C		
	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備] 弁 一式	分解点検 他	G3	130M～ 156M	85 1次系安全弁検査	
	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備] ディスタンスピース 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水 設備]	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備] 弁 一式	分解点検	G3	156M		
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属す る管等]	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する管等] 弁 一式	分解点検	G3	156M		
計測制御系統施設 [計測装置]	事故時監視計器 圧力監視計器 1個 水位監視計器 5個 流量監視計器 2個 温度監視計器 2個 水素濃度監視計器 2個	特性試験 他	G3	13M	35 プラント状態監視設備機能検査 72 計測制御系監視機能検査	
	計測制御系統施設 [計測装置] 弁 一式	分解点検	G3	156M		
	計測制御系統施設 [計測装置] その他機器 一式	外観点検	G3	13M		プラント運転中または定検停止中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
計測制御系統施設 [工学的安全施設等の 作動信号]	ATWS緩和設備 一式	特性試験	G3	13M	149 重大事故時安全停止回路機能検査	
計測制御系統施設 [制御用空気設備]	計測制御系統施設 [制御用空気設備] 弁 一式	分解点検 他	G3	10C ～130M	85 1次系安全弁検査	
	窒素ボンベ(空気作動弁用) 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	マニホールド(空気作動弁用) 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	空気作動弁用フレキシブルホース 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
計測制御系統施設 [その他設備]	代替格納容器雰囲気ガスサンプリング圧縮装 置 一式	機能・性能試験	G3	1C	161 可搬型重大事故等対処設備機能検査	
		外観点検		1C		
	代替格納容器雰囲気ガスサンプリング圧縮装 置電動機 一式	機能・性能試験	G3	1C		
	中央制御室用可搬型照明 8台	外観点検	G4	1Y		プラント運転中または定検停止中
	可搬型計測器 一式	計器校正	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	酸素濃度計(中央制御室用)	単体調整試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	二酸化炭素濃度計(中央制御室用)	単体調整試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	緊急時用携帯型通話設備 (緊急時用携帯型通話装置) 一式	機能・性能試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	無線通信設備(無線通信装置(可搬型)) 一式	機能・性能試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	衛星電話設備(衛星電話(可搬型)) 一式	機能・性能試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕
	衛星電話設備(衛星電話(固定型)) 一式	機能・性能試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	統合原子力防災ネットワークに接続する通信 連絡設備 一式	機能・性能試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	計測制御系統施設 [その他設備] 弁 一式	分解点検	G3	156M		
放射線管理施設 [放射線管理用計装装 置]	緊急時対策所エアモニタ 一式	特性試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	可搬型使用済燃料ピットエアモニタ 一式	特性試験	G3	12M～ 13M	76 放射線監視装置機能検査	プラント運転中または定検停止中
	可搬型代替モニタ 一式	特性試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	可搬型モニタ 一式	特性試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	可搬型放射線計測器 一式	特性試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	可搬型ダストサンプラ 一式	機能・性能試験	G4	1Y		プラント運転中または定検停止中
	可搬型気象観測設備 一式	特性試験	G4	1Y		プラント運転中または定検停止中
放射線管理施設 [換気設備]	緊急時対策所空気浄化系	機能・性能試験	G3	1Y	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中
	緊急時対策所空気浄化ファンA	機能・性能試験	G3	1Y	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中
		分解点検		15Y		プラント運転中または定検停止中
	緊急時対策所空気浄化ファンA電動機	分解点検	G3	15Y		プラント運転中または定検停止中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕
	緊急時対策所空気浄化ファンB	機能・性能試験	G3	1Y	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中
		分解点検		15Y		プラント運転中または定検停止中
	緊急時対策所空気浄化ファンB電動機	分解点検	G3	15Y		プラント運転中または定検停止中
	緊急時対策所空気浄化ファンC	機能・性能試験	G3	1Y	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中
		分解点検		15Y		プラント運転中または定検停止中
	緊急時対策所空気浄化ファンC電動機	分解点検	G3	15Y		プラント運転中または定検停止中
	緊急時対策所空気浄化フィルタユニットA	機能・性能試験(よう素除去効 率)	G3	1Y	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中
		機能・性能試験(漏えい率)		1Y	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中
		機能・性能試験		30Y	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中
		開放点検		30Y		プラント運転中または定検停止中
	緊急時対策所空気浄化フィルタユニットB	機能・性能試験(よう素除去効 率)	G3	1Y	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中
		機能・性能試験(漏えい率)		1Y	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中
		機能・性能試験		30Y	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中
		開放点検		30Y		プラント運転中または定検停止中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	緊急時対策所空気浄化フィルタユニットC	機能・性能試験(よう素除去効率)	G3	1Y	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中
		機能・性能試験(漏えい率)		1Y	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中
		機能・性能試験		30Y	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中
		開放点検		30Y		プラント運転中または定検停止中
	緊急時対策所空気浄化フィルタユニット電気加熱コイル 一式	内部・外部点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	タンバ(防火タンバ) 一式	作動確認	G3	12Y		プラント運転中または定検停止中
	タケ 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	緊急時対策所加圧装置機器 一式	分解点検 他	G3	1Y～12Y	85 1次系安全弁検査	プラント運転中または定検停止中
	原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	機能・性能試験	G3	1C	48 原子炉格納容器安全系機能検査 147 その他原子炉注水系機能検査	(振動診断:1M, 油分析:2C)
		分解点検		130M	49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
	代替格納容器スプレイポンプ3号電動機	分解点検	G3	130M		(振動診断:1M)
	静的触媒式水素再結合装置3A	機能・性能試験	G3	3C	51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
	静的触媒式水素再結合装置3B	機能・性能試験	G3	3C	51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
	静的触媒式水素再結合装置3C	機能・性能試験	G3	3C	51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
	静的触媒式水素再結合装置3D	機能・性能試験	G3	3C	51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	静的触媒式水素再結合装置3E	機能・性能試験	G3	3C	51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
	静的触媒式水素再結合装置作動温度計 測装置 一式	特性試験	G3	13M	72 計測制御系監視機能検査	
	イグナイタ 13台	機能・性能試験	G3	1C	51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
	イグナイタ作動温度計測装置 一式	特性試験	G3	13M	72 計測制御系監視機能検査	
	格納容器再循環系ゲ外開放機構 一式	作動確認	G3	10C		
	原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] 弁 一式	分解点検 他	G3	13M～ 156M		
原子炉格納施設 [その他設備]	泡混合器 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	水成膜泡消火薬剤(泡コンテナ、希釈率1%) 一式	外観点検	G4	1Y		プラント運転中または定検停止中
原子炉施設 [その他設備]	重大事故等クラス2機器(供用期間中検査対 象) 一式	非破壊試験	G3	10YP	144 重大事故等クラス2機器供用期間中検査	
		漏えい試験		1C,10YP		
	重大事故等クラス3機器(供用期間中検査対 象) 一式	漏えい試験	G3	10Y	168 重大事故等クラス3機器供用期間中検査	
その他発電用原子炉 の附属施設(非常用電 源設備) [非常用発電装置]	空冷式非常用発電装置3号	機能・性能試験	G3	1C	158 その他非常用発電装置の機能検査 160 その他非常用発電装置の附属設備検査	
		分解点検		52M	157 その他非常用発電装置の分解検査	
		潤滑油入替		26M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	空冷式非常用発電装置4号	機能・性能試験	G3	1C	158 その他非常用発電装置の機能検査 160 その他非常用発電装置の付属設備検査	
		分解点検		52M	157 その他非常用発電装置の分解検査	
		潤滑油入替		26M		
	No.1 300kVA電源車	機能・性能試験	G3	1Y	163 可搬型代替電源設備検査	プラント運転中または定検停止中
	No.2 300kVA電源車	機能・性能試験	G3	1Y	163 可搬型代替電源設備検査	プラント運転中または定検停止中
	No.3 300kVA電源車	機能・性能試験	G3	1Y	163 可搬型代替電源設備検査	プラント運転中または定検停止中
	No.1 75kVA電源車	機能・性能試験	G3	1Y	163 可搬型代替電源設備検査	プラント運転中または定検停止中
	No.2 75kVA電源車	機能・性能試験	G3	1Y	163 可搬型代替電源設備検査	プラント運転中または定検停止中
	No.3 75kVA電源車	機能・性能試験	G3	1Y	163 可搬型代替電源設備検査	プラント運転中または定検停止中
	300kVA電源車用変圧器3A	内部・外部点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	300kVA電源車用変圧器3B	内部・外部点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	300kVA電源車用変圧器3C	内部・外部点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	300kVA電源車中継端子盤A-1	内部・外部点検	G3	1C		
	300kVA電源車中継端子盤A-2	内部・外部点検	G3	1C		
	300kVA電源車中継端子盤B-1	内部・外部点検	G3	1C		
	300kVA電源車中継端子盤B-2	内部・外部点検	G3	1C		
	300kVA電源車用電源接続ユニット1	コントロールセンタ点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	300kVA電源車用電源接続ユニット2	コントロールセンタ点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	300kVA電源車用電源接続ユニット3	コントロールセンタ点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	300kVA電源車用電源接続ユニット4	コントロールセンタ点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	緊急時対策所用発電機 6台	機能・性能試験	G3	1Y	163 可搬型代替電源設備検査	プラント運転中または定検停止中
	軽油タンク3号	開放点検	G3	156M	124 2次系容器検査	
	ミニローリー(ミニローリー車載送油用 19.5mまたは、20mホースを含む)	機能点検	G3	0.25Y		プラント運転中または定検停止中
	その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備)[非常用発電装置] 燃料補給用ホース等 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備)[非常用発電装置] 弁 一式	分解点検	G3	156M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
その他発電用原子炉 の附属施設(非常用電 源設備) [その他の電源設備]	代替動力変圧器3号	内部・外部点検	G3	4C		
	代替電気設備受電盤3号	遮断器点検	G3	52M		
	代替計装用変圧器盤3号	内部・外部点検	G3	1C		
	代替計装用分電盤3号	内部・外部点検	G3	1C		
	蓄圧タンク3B出口弁代替操作盤	内部・外部点検	G3	1C		
	蓄圧タンク3A,3C出口弁代替操作盤	内部・外部点検	G3	1C		
	緊急時対策所用発電機中継端子盤A	内部・外部点検	G3	1C		
	緊急時対策所コントロールセンタ	コントロールセンタ点検	G3	4C		
	緊急時対策所100V分電盤(1)	内部・外部点検	G3	1C		
	緊急時対策所100V分電盤(2)	内部・外部点検	G3	1C		
	緊急時対策所100V分電盤(3)	内部・外部点検	G3	1C		
	緊急時対策所100V分電盤(4)	内部・外部点検	G3	1C		
	緊急時対策所100V分電盤(5)	内部・外部点検	G3	1C		
	緊急時対策所100V分電盤(6)	内部・外部点検	G3	1C		
	緊急時対策所空調用分電盤	内部・外部点検	G3	1C		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	可搬型整流器3A	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	可搬型整流器3B	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	可搬型整流器3C	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	可搬型直流電源装置中継端子盤3号	内部・外部点検	G3	1C		
	可搬型直流電源装置切換盤3号	内部・外部点検	G3	1C		
	蓄電池切換盤3A	内部・外部点検	G3	1C		
	蓄電池切換盤3B	内部・外部点検	G3	1C		
	蓄電池(重大事故等対処用) 2組(60個/ 組)	機能・性能試験	G3	1C	53-3 直流電源系機能検査 159 直流電源系作動検査	
		蓄電池点検		13M		
その他発電用原子炉 の附属施設(浸水防護 施設) [内郭浸水防護設備]	その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備)[その他の電源装置] その他機器 一式	機能・性能試験 他	G3,G4	12M～ 13M	163 可搬型代替電源設備検査	プラント運転中または定検停止中
	余熱除去冷却器室漏えい防止堰3A,3B	外観点検	G3	1C		
その他発電用原子炉 の附属施設(緊急時対 策所)	格納容器スプレイ冷却器室漏えい防止堰 3A,3B	外観点検	G3	1C		
	酸素濃度計(緊急時対策所用) (予備含む) 2台	単体調整試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	二酸化炭素濃度計(緊急時対策所用) (予備含む) 2台	単体調整試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
全般機器	ホイールローダ 一式	機能・性能試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中

3. 点検計画(1,2,3号機共用設備)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [その他設備]	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [その他設備] その他の弁 一式	分解点検	G3	37Y		プラント運転中
	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [その他設備] その他機器 一式	目視点検	G4	5Y		プラント運転中
放射性廃棄物の廃棄 施設[気体,液体又は 固体廃棄物貯蔵設 備]	固体廃棄物貯蔵庫 (1,2,3号機共用) 2棟	外観点検 他	低	1Y～ 5Y		プラント運転中または定検停止 中
	蒸気発生器保管庫 (1,2,3号機共用) 1棟	外観点検 他	低	1Y～ 5Y		プラント運転中または定検停止 中
放射性廃棄物の廃棄 施設[気体,液体又は 固体廃棄物処理設 備]	雑固体焼却設備	機能・性能試験	G4	5Y	66 固体廃棄物処理系統焼却炉機能検査	プラント運転中または定検停止 中
	放射性廃棄物の廃棄施設 [気体,液体又は固体廃棄物処理設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G4	4Y～ 16Y		プラント運転中または定検停止 中
	放射性廃棄物の廃棄施設 [気体,液体又は固体廃棄物処理設備] その他機器 一式	分解点検 他	G3～G5, 低	1Y～ 12Y		プラント運転中または定検停止 中 一部CBMあり 一部BDMあり 一部点検実施
放射線管理施設 [放射線管理用計測 装置]	1.エリアモニタ 2.プロセスモニタ 3台 4台	特性試験	G3	13M	76 放射線監視装置機能検査	プラント運転中または定検停止 中
	モニタリングステーション 1台	特性試験	G4	2Y	62 野外モニタ機能検査	プラント運転中または定検停止 中
	モニタリングポスト 4台	特性試験	G4	2Y	62 野外モニタ機能検査	プラント運転中または定検停止 中
	移動式モニタリング設備 2台	特性試験	G4	2Y	62 野外モニタ機能検査	プラント運転中または定検停止 中
	放射線管理施設 [放射線管理用計測装置] その他機器 一式	単体調整試験 他	G3	1Y～ 5Y		プラント運転中または定検停止 中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕
放射線管理施設 [換気設備]	前処理室排気ファン	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中 (赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM		
	前処理室排気ファン電動機	機能・性能試験	G4	8Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中 (振動診断:1M,赤外線診断: 1M)
		分解点検		8Y		プラント運転中または定検停止 中
	焼却炉建家給気ファンA	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中 (振動診断:1M,赤外線診断: 1M)
		分解点検		CBM		
	焼却炉建家給気ファンA電動機	機能・性能試験	G4	8Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中 (振動診断:1M,赤外線診断: 1M)
		分解点検		8Y		プラント運転中または定検停止 中
	焼却炉建家給気ファンB	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中 (振動診断:1M,赤外線診断: 1M)
		分解点検		CBM		
	焼却炉建家給気ファンB電動機	機能・性能試験	G4	8Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中 (振動診断:1M,赤外線診断: 1M)
		分解点検		8Y		プラント運転中または定検停止 中
	焼却炉建家排気ファンA	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中 (振動診断:1M,赤外線診断: 1M)
		分解点検		CBM		
	焼却炉建家排気ファンA電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M,赤外線診断: 1M)
		分解点検		CBM		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕
	焼却炉建家排気ファンB	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中 (振動診断:1M,赤外線診断: 1M)
		分解点検		CBM		
	焼却炉建家排気ファンB電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M,赤外線診断: 1M)
		分解点検		CBM		プラント運転中または定検停止 中
	焼却炉建家排気ファンC	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中 (振動診断:1M,赤外線診断: 1M)
		分解点検		CBM		
	焼却炉建家排気ファンC電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M,赤外線診断: 1M)
		分解点検		CBM		
	高圧圧縮棟給気ファンA	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中
		分解点検		CBM		
	高圧圧縮棟給気ファンA電動機	機能・性能試験	G4	6Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中 (振動診断:1M,赤外線診断: 1M)
		分解点検		6Y		プラント運転中または定検停止 中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕
	高圧圧縮棟給気ファンB	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中
		分解点検		CBM		
	高圧圧縮棟給気ファンB電動機	機能・性能試験	G4	6Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中 (振動診断:1M,赤外線診断: 1M)
		分解点検		6Y		プラント運転中または定検停止 中
	高圧圧縮棟排気ファンA	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中
		分解点検		CBM		
	高圧圧縮棟排気ファンA電動機	機能・性能試験	G4	6Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中 (振動診断:1M,赤外線診断: 1M)
		分解点検		6Y		プラント運転中または定検停止 中
	高圧圧縮棟排気ファンB	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中
		分解点検		CBM		
	高圧圧縮棟排気ファンB電動機	機能・性能試験	G4	6Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中 (振動診断:1M,赤外線診断: 1M)
		分解点検		6Y		プラント運転中または定検停止 中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕
	前処理室排気フィルタユニット	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中
	焼却炉建家排気フィルタユニットA	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中
	焼却炉建家排気フィルタユニットB	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中
	高圧圧縮棟排気フィルタユニット	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中
	ダンパ(ダンパオペレータ,防火ダンパ,手動ダンパ含む) 一式	機能・性能点検 他	G4	4Y～ 15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中
その他発電用原子炉 の附属施設 [電気設備]	変圧器設備 一式	開放点検 他	G3	39M～ 182M		プラント運転中または定検停止中
	しゃ断器 一式	しゃ断器点検 他	G3	6Y		プラント運転中または定検停止中
	その他発電用原子炉の附属施設[電気設備] その他機器 一式	内部・外部点検 他	G3	6Y		プラント運転中または定検停止中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕
その他発電用原子炉 の附属施設(火災防 護設備) [消火設備]	ディーゼル駆動消火ポンプ [※] ディーゼルエンジン	機能・性能試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止 中 (振動診断:1M,油分析:1Y)
		分解点検		10Y		プラント運転中または定検停止 中
		部分点検		1Y		プラント運転中または定検停止 中
	ディーゼル駆動消火ポンプ [※]	機能・性能試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止 中
		分解点検		6Y		プラント運転中または定検停止 中
	電動消火ポンプ [※]	機能・性能試験	G4	1Y		プラント運転中または定検停止 中
		分解点検		6Y		プラント運転中または定検停止 中
	電動消火ポンプ [※] 電動機	機能・性能試験	G4	1Y		プラント運転中または定検停止 中
	消火系統機器(AM機能範囲) 一式	取替	G3	CBM ※1		※1 巡視点検(1M)結果により 取替実施

4.行政指導文書の点検指示による点検

	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕
原子炉本体 [炉心]	再使用予定の燃料集合体 ※一式	外観点検(最下部支持格子内 の隙間確認)	G3	1C		平成22・02・03原院第3号 (NISA-161a-10-1) ※漏えい事象に係る知見を踏 まえ選定

伊方発電所第3号機

第14回施設定期検査時の安全管理の計画

記載例

☐ : 機能要求なし

☒ : 機能要求あり

☐ : 機能要求あり（条件付）

なお、上記においても要求除外となる場合がある。詳細は、伊方発電所原子炉施設保安規定を参照。

伊方発電所第3号機 第14回 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程				解列 ▽ RCS降温 R/V開放 燃料取出 燃料装荷 各種試験 並列 ▽ 1次系弁機器点検 R/V復旧 起動試験 出力上昇試験																
RCS水位		キャビティ満水 RCS満水 ミッドループ RCS全ブロー																		
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モト'外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3	
未臨界維持機能	第19条 停止余裕	モード3、4	・停止余裕が1.8% Δk/k以上であること	—	×	×										×		×	×	
		モード5	・停止余裕が1.0% Δk/k以上であること	—			×	×						×	×		×			
	第21条 減速材温度係数	モード3	・減速材温度係数が $-78 \times 10^{-5} \Delta k/k/^{\circ}C$ 以上であること	—	×														×	
	第33条 計測および制御設備 (原子炉保護系計装)	モード3、4、5 (原子炉トリップしゃ断器が閉じ、制御棒の引抜きが行える場合)	・原子炉保護系論理回路が4系統動作可能であること ・手動原子炉トリップが2チャンネル動作可能であること ・線源領域中性子束高が2チャンネル動作可能であること	・原子炉保護系論理回路 ・手動原子炉トリップ信号検出、伝送ライン ・線源領域中性子束高信号検出、伝送ライン	Δ	Δ	Δ	Δ							Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ
		モード3、4、5 (原子炉トリップしゃ断器が開放されている場合)	・線源領域中性子束高が1チャンネル(監視機能のみ)動作可能であること	・線源領域中性子束高信号検出、伝送ライン	Δ	Δ	Δ	Δ							Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ
		モード6 (原子炉格納容器内での燃料移動中でない場合)	・線源領域中性子束高が1チャンネル(監視機能のみ)動作可能であること	・線源領域中性子束高信号検出、伝送ライン						Δ	Δ		Δ	Δ						
		モード6 (原子炉格納容器内での燃料移動中の場合)	・線源領域中性子束高が2チャンネル(監視機能のみ)動作可能であること	・線源領域中性子束高信号検出、伝送ライン						Δ	Δ		Δ	Δ						
	第80条 1次冷却材中のほう素濃度	モード6	・1次冷却材中のほう素濃度が4,400ppm以上であること	—					×	×		×	×							
放射性物質格納機能	第47条 蒸気発生器細管漏えい監視	モード3、4	・蒸気発生器細管に漏えいがないこと ・蒸気発生器細管漏えい監視装置である蒸気発生器ブローダウン水モニタが動作可能であること(プラント状態により監視できない場合または洗浄中は除く。)	・蒸気発生器細管 ・蒸気発生器ブローダウン水モニタ	×	×										×		×	×	
	第48条 余熱除去系への漏えい監視	モード3、4 (余熱除去系隔離弁が閉止している場合)	・1次冷却系から余熱除去系への漏えいがないこと(漏えいがないこととは、余熱除去系の逃がし弁が作動していないことをいう。)	・余熱除去系隔離弁 ・余熱除去系逃がし弁	×	Δ										Δ		Δ	×	
	第49条 1次冷却材中のよう素131濃度	モード3 (1次冷却材温度が260℃以上の場合)	・1次冷却材中のよう素131濃度が $3.2 \times 10^{-4} Bq/cm^3$ 以下であること	—	Δ														Δ	
	第55条 原子炉格納容器	モード3、4	・原子炉格納容器の機能が健全であること ・原子炉格納容器圧力が0.0098MPa[gage]以下であること ・エアロックが動作可能であること(動作可能であることとは、エアロックのインターロック機構が健全であること、およびエアロックが閉止可能(閉止状態であることを含む)であることをいう。)(モード4の原子炉格納容器バージ後、直ちに閉止できることを条件にエアロックの両方のドアを開放する場合、運転上の制限を適用しない。) ・格納容器隔離弁が動作可能であること(動作可能であることとは、閉止可能(閉止状態であることを含む)であることをいう。)	・原子炉格納容器 ・エアロック ・格納容器隔離弁	×	×										×		×	×	
	第57条 原子炉格納容器スプレイ系	モード3、4	・原子炉格納容器スプレイ系2系統が動作可能であること(原子炉格納容器スプレイ系の弁開閉点検を行う場合、2時間に限り、運転上の制限を適用しない。) ・よう素除去薬品タンクのヒドラジン濃度が35wt%以上であること ・よう素除去薬品タンクのヒドラジン溶液量(有効水量)が1.6m3以上であること	・格納容器スプレイ系 ・格納容器スプレイポンプ ・よう素除去薬品タンク	×	×										×		×	×	

伊方発電所第3号機 第14回 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程				解列 ▽ RCS降温 R/V開放 燃料取出 燃料装荷 各種試験 並列 ▽ 出力上昇試験 1次系弁機器点検 R/V復旧 起動試験																
RCS水位			キャビティ満水																	
			RCS満水																	
			ミッドループ																	
			RCS全ブロー																	
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モト'外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3	
放射性物質格納機能	第58条 アニュラス空気浄化系	モード3, 4	・アニュラス空気浄化系2系統が動作可能であること	・アニュラス空気浄化系 ・アニュラス排気ファン ・アニュラス排気フィルタ	×	×										×		×	×	
	第59条 アニュラス	モード3, 4	・アニュラスの機能が健全であること(アニュラス内点検, エアロック点検を行う場合, 運転上の制限を適用しない。)	・アニュラス ・アニュラス排気ファン	×	×										×		×	×	
	第61条 主蒸気隔離弁	モード3	・主蒸気隔離弁が閉止可能であること(閉止状態にある主蒸気隔離弁については, 運転上の制限を適用しない。)	・主蒸気隔離弁	×														×	
	第62条 主給水隔離弁, 主給水制御弁および主給水バイパス制御弁	モード3	・主給水隔離弁, 主給水制御弁および主給水バイパス制御弁が閉止可能であること(閉止または手動弁で隔離された状態にある主給水隔離弁, 主給水制御弁または主給水バイパス制御弁については, 運転上の制限を適用しない。)	・主給水隔離弁 ・主給水制御弁 ・主給水バイパス制御弁	×														×	
	第81条 原子炉キャビティ水位	モード6-2(キャビティ高水位:原子炉キャビティ水位がEL 31.7m以上)	・原子炉キャビティ水位がEL 31.7m以上であること(計画的な原子炉キャビティ水抜きによりモード6(キャビティ低水位)に移行する場合, 運転上の制限を適用しない。)	・原子炉キャビティ						△		△								
	第82条の2 原子炉格納容器貫通部	モード5, 6	・機器ハッチが全ボルトで閉じられていること(原子炉格納容器内で燃料移動を行っていない場合は, 速やかに閉止できることを条件(1次冷却材ポンプ停止中で余熱除去系による冷却時において, 加圧器安全弁が動作可能であることおよび加圧器水位が10%から30%の範囲内にある場合, 原子炉キャビティ水位がEL 31.7m以上である場合のいずれかを満足している場合)に開放することが許容される。この場合, 運転上の制限を満足していないとはみなさない。) ・各エアロックが1つ以上のドアで閉止可能であること(閉止可能であることとは, 閉止状態であることを含む。) ・その他の貫通部のうち, 隔離弁については閉止可能であること(閉止可能であることとは, 閉止状態であることを含む。) ・隔離弁以外については閉止フランジまたは同等なものによって閉じられていること(原子炉格納容器内で燃料移動を行っていない場合は, 速やかに閉止できることを条件に開放することが許容される。また, 原子炉格納容器内で燃料移動を行っている場合において, 燃料移送管については隔離弁により閉止可能であることを条件に開放することが許容される。この場合, 運転上の制限を満足していないとはみなさない。)	・機器ハッチ ・エアロック ・格納容器隔離弁 ・格納容器バウンダリ機器				△	△	△	△		△	△	△	△		△		
前壊熱除去機能	第83条 使用済燃料ピットの水位および水温	全モード	・使用済燃料ピット水位がEL 31.7m以上であること(照射済燃料の移動を行っていない場合は, 運転上の制限を適用しない。) ・使用済燃料ピット水温が65℃以下であること(照射済燃料の移動を行っていない場合は, 運転上の制限を適用しない。)	・使用済燃料ピット ・使用済燃料ピット冷却系	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	第36条 1次冷却系	モード3	・制御棒の引抜操作が行える状態である場合は, 蒸気発生器による熱除去系2系統以上が運転中であること(制御棒引抜操作が行える状態とは, 原子炉トリップしゃ断器が投入され, 制御棒クラスター駆動装置(MGセット)による電源が制御棒駆動装置に供給されている状態をいう。) ・制御棒の引抜操作が行える状態でない場合は, 蒸気発生器による熱除去系2系統以上が動作可能であり, そのうち1系統以上が運転中であること	・蒸気発生器 ・1次冷却系 ・1次冷却材ポンプ	×														×	
	第37条 1次冷却系	モード4	・余熱除去系または蒸気発生器による熱除去系のうち, 2系統以上が動作可能であり, そのうち1系統以上が運転中であること	・蒸気発生器 ・1次冷却系 ・1次冷却材ポンプ ・余熱除去系 ・余熱除去ポンプ		×										×		×		

伊方発電所第3号機 第14回 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程																				
RCS水位		キャビティ満水																		
		RCS満水																		
		ミッドループ																		
		RCS全ブロー																		
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モト'外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3	
崩壊熱除去機能	第38条 1次冷却系	モード5-1 (1次冷却系満水)	・余熱除去系1系統が運転中であること(計画的にモード4に加熱する場合は、蒸気発生器1基以上の水位(狭域)が計器スパンの5%以上であることを条件に、すべての余熱除去系を隔離することが許容される。この場合、運転上の制限を満足していないとはみなさない。)(計画的にモード4に加熱するために1次冷却材ポンプを起動する場合は、他の余熱除去ポンプが動作可能であることを条件に、1次冷却材ポンプの起動前から起動後までの1時間に限り、当該余熱除去ポンプを停止することが許容される。この場合、運転上の制限を満足していないとはみなさない。) ・他の余熱除去系が動作可能もしくは運転中であるか、2基以上の蒸気発生器の水位(狭域)が計器スパンの5%以上であることを(計画的にモード4に加熱する場合は、蒸気発生器1基以上の水位(狭域)が計器スパンの5%以上であることを条件に、すべての余熱除去系を隔離することが許容される。この場合、運転上の制限を満足していないとはみなさない。)	・蒸気発生器 ・1次冷却系 ・1次冷却材ポンプ ・余熱除去系 ・余熱除去ポンプ			×							×		×				
	第39条 1次冷却系	モード5-2 (1次冷却系非満水)	・余熱除去系2系統が動作可能であり、そのうち1系統以上が運転中であること(1次冷却材ポンプによる1次冷却系空気抜きを行う場合は、2時間に限り、すべての余熱除去系を隔離することが許容される。この場合、運転上の制限を満足していないとはみなさない。)(ポンプの切替を行う場合は、条件(炉心出口温度が飽和温度より5.6℃以上下回るように維持されていること、1次冷却材中のほう素濃度が低下する操作が行われていないこと、1次冷却系水量低下につながる操作が行われていないこと)のすべてを満足させることにより、15分に限り、すべての余熱除去ポンプを停止することが許容される。この場合、運転上の制限を満足していないとはみなさない。)(余熱除去ポンプを用いて1次冷却系の真空脱気運転を行っている場合は、余熱除去系への切替操作が可能であることおよび他の1系統が運転中であることを条件に、1系統を隔離することが許容される。この場合、運転上の制限を満足していないとはみなさない。)(1次冷却材ポンプのターニングトルクの計測を行う場合は、2時間に限り、すべての余熱除去ポンプを停止することが許容される。この場合、運転上の制限を満足していないとはみなさない。)	・1次冷却系 ・余熱除去系 ・余熱除去ポンプ				×						×						
	第40条 1次冷却系	モード6-2 (キャビティ高水位)	・余熱除去系1系統以上が運転中であること(1次冷却材中のほう素濃度を低下させる操作を行わないことを条件に、8時間あたり1時間に限り、余熱除去ポンプを停止することが許容される。この場合、運転上の制限を満足していないとはみなさない。) ・1次冷却材温度が65℃以下であること	・1次冷却系 ・余熱除去系 ・余熱除去ポンプ ・原子炉キャビティ						×		×								
	第41条 1次冷却系	モード6-1 (キャビティ低水位)	・余熱除去系2系統が動作可能であり、そのうち1系統以上が運転中であること(キャビティ水張りおよび水抜きを行っている場合は、余熱除去系への切替操作が可能であること、および他の1系統が運転中であることを条件に、1系統を隔離することができる。この場合、運転上の制限を満足していないとはみなさない。) ・1次冷却材温度が65℃以下であること	・1次冷却系 ・余熱除去系 ・余熱除去ポンプ ・原子炉キャビティ					×				×							
	第60条 主蒸気安全弁	モード3 (原子炉起動時のモード3から、主蒸気安全弁機能検査が完了するまでの間を除く)	・主蒸気安全弁が蒸気発生器毎に以下の個数以上が動作可能であること 原子炉熱出力が80%超 : 5個 原子炉熱出力が60%超で、かつ80%以下 : 4個 原子炉熱出力が40%超で、かつ60%以下 : 3個 原子炉熱出力が40%以下 : 2個	・主蒸気安全弁	×														△	
	第63条 主蒸気逃がし弁	モード3、モード4 (蒸気発生器が熱除去のために使用されている場合)	・主蒸気逃がし弁が手動での開弁ができること	・主蒸気逃がし弁	×	△											△		△	×
	第64条 補助給水系	モード3	・電動補助給水ポンプによる2系統およびタービン動補助給水ポンプによる1系統が動作可能であること(タービン動補助給水ポンプについては、原子炉起動時のモード3において試運転に係る調整を行っている場合、運転上の制限は適用しない。)	・補助給水系 ・電動補助給水ポンプ ・タービン動補助給水ポンプ	×														×	

伊方発電所第3号機 第14回 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程				解列 ▽ RCS降温 R/V開放 燃料取出 燃料装荷 各種試験 並列 ▽ 出力上昇試験 1次系弁機器点検 R/V復旧 起動試験																			
RCS水位																							
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モト'外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3				
崩壊熱除去機能	第64条 補助給水系	モード4 (蒸気発生器が熱除去のために使用されている場合)	・電動補助給水ポンプによる1系統以上が動作可能であること	・補助給水系 ・電動補助給水ポンプ			△										△		△				
	第65条 復水タンク	モード3、モード4 (蒸気発生器が熱除去のために使用されている場合)	・補助給水タンク水量(有効水量)が610m3以上であること	・補助給水タンク		×	△										△		△	×			
炉心冷却機能	第33条 計測および制御設備 (工学的安全施設等作動計装)	モード3、4	(1) 非常用炉心冷却系作動 ・非常用炉心冷却系作動論理回路が2系統動作可能であること (原子炉保護系論理回路の機能検査時においては、残り1系統が動作可能であることを条件に、2時間に限り、1系統をバイパスすることができる。この場合、バイパスした系統を動作不能とはみなさない。) ・非常用炉心冷却系作動手動起動が2チャンネル動作可能であること	・非常用炉心冷却系作動論理回路 ・非常用炉心冷却系作動手動起動信号検出、伝送ライン		×	×										×		×	×			
			(2) 原子炉格納容器スプレイ系作動 ・原子炉格納容器スプレイ系作動論理回路が2系統動作可能であること(原子炉保護系論理回路の機能検査時においては、残り1系統が動作可能であることを条件に、2時間に限り、1系統をバイパスすることができる。この場合、バイパスした系統を動作不能とはみなさない。) ・原子炉格納容器スプレイ系作動手動起動が4チャンネル動作可能であること	・原子炉格納容器スプレイ系作動論理回路 ・原子炉格納容器スプレイ系作動手動起動信号検出、伝送ライン		×	×												×		×	×	
			(3) 原子炉格納容器隔離(格納容器隔離A) ・格納容器隔離A作動論理回路が2系統動作可能であること(原子炉保護系論理回路の機能検査時においては、残り1系統が動作可能であることを条件に、2時間に限り、1系統をバイパスすることができる。この場合、バイパスした系統を動作不能とはみなさない。) ・格納容器隔離A手動起動が2チャンネル動作可能であること ・非常用炉心冷却系作動による格納容器隔離A作動：(1) 非常用炉心冷却系作動に同じ	・格納容器隔離A作動論理回路 ・非常用炉心冷却系作動論理回路 ・格納容器隔離A手動起動信号検出、伝送ライン ・非常用炉心冷却系作動手動起動信号検出、伝送ライン		×	×												×		×	×	
			(4) 原子炉格納容器隔離(格納容器隔離B) ・格納容器隔離B作動論理回路が2系統動作可能であること(原子炉保護系論理回路の機能検査時においては、残り1系統が動作可能であることを条件に、2時間に限り、1系統をバイパスすることができる。この場合、バイパスした系統を動作不能とはみなさない。) ・原子炉格納容器スプレイ系作動手動起動による格納容器隔離B作動：(2) 原子炉格納容器スプレイ系作動(手動起動)に同じ	・格納容器隔離B作動論理回路 ・原子炉格納容器スプレイ系作動論理回路 ・原子炉格納容器スプレイ系作動手動起動信号検出、伝送ライン ・格納容器圧力異常高(高3)信号検出、伝送ライン		×	×													×		×	×
			(5) 格納容器隔離Aと6.6kV非常用母線電圧低の一致による隔離 ・格納容器隔離Aと6.6kV非常用母線電圧低の一致による隔離作動論理回路が2系統動作可能であること ・格納容器隔離A作動：(3) 格納容器隔離Aに同じ ・6.6kV非常用母線電圧低計装が1母線あたり3チャンネル動作可能であること	・格納容器隔離Aと6.6kV非常用母線電圧低の一致による隔離作動論理回路 ・格納容器隔離A作動論理回路 ・非常用炉心冷却系作動論理回路 ・格納容器隔離A手動起動信号検出、伝送ライン ・非常用炉心冷却系作動手動起動信号検出、伝送ライン ・6.6kV非常用母線電圧低信号検出、伝送ライン		×	×														×		×

伊方発電所第3号機 第14回 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程				解列 ▽ RCS降温 R/V開放 燃料取出 燃料装荷 各種試験 並列 ▽ 出力上昇試験 1次系弁機器点検 R/V復旧 起動試験																						
RCS水位		キャビティ満水		RCS満水		ミッドループ		RCS全ブロー																		
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モト'外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3							
炉心冷却機能	第33条 計測および制御設備 (工学的安全施設等作動計装)	モード3, 4	(6) 格納容器換気系隔離 ・格納容器換気系隔離作動論理回路が2系統動作可能であること ・原子炉格納容器スプレイ系作動手動起動による格納容器換気系隔離作動: (2) 原子炉格納容器スプレイ系作動(手動起動)に同じ ・格納容器隔離A作動による格納容器換気系隔離作動: (3) 格納容器隔離A作動(手動起動)に同じ ・非常用炉心冷却系作動による格納容器換気系隔離作動: (1) 非常用炉心冷却系作動に同じ	・格納容器換気系隔離作動論理回路 ・非常用炉心冷却系作動論理回路 ・原子炉格納容器スプレイ系作動論理回路 ・格納容器隔離A作動論理回路 ・非常用炉心冷却系作動手動起動信号検出, 伝送ライン ・原子炉格納容器スプレイ系作動手動起動信号検出, 伝送ライン ・格納容器隔離A作動起動信号検出, 伝送ライン	×	×										×		×	×							
		モード3	(1) 非常用炉心冷却系作動 ・格納容器圧力高(高1)が4チャンネル動作可能であること(残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に, 1チャンネルをバイパスすることができる。この場合, バイパスしたチャンネルを動作不能とはみなさない。)	・格納容器圧力高(高1)信号検出, 伝送ライン	×															×						
			(2) 原子炉格納容器スプレイ系作動 ・格納容器圧力異常高(高3)が4チャンネル動作可能であること	・格納容器圧力異常高(高3)信号検出, 伝送ライン	×																×					
			(3) 格納容器隔離B ・格納容器圧力異常高(高3)による格納容器隔離B作動: (2) 原子炉格納容器スプレイ系作動に同じ	・原子炉格納容器スプレイ系作動論理回路 ・原子炉格納容器スプレイ系作動手動起動信号検出, 伝送ライン	×																×					
		モード3(P-11以上)	非常用炉心冷却系作動 ・原子炉圧力低および加圧器水位低が4チャンネル動作可能であること(残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に, 1チャンネルをバイパスすることができる。この場合, バイパスしたチャンネルを動作不能とはみなさない。) ・主蒸気ライン圧力低が主蒸気ライン毎に4チャンネル動作可能であること(残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に, 1チャンネルをバイパスすることができる。この場合, バイパスしたチャンネルを動作不能とはみなさない。)	・原子炉圧力低信号検出, 伝送ライン ・加圧器水位低信号検出, 伝送ライン ・主蒸気ライン圧力低信号検出, 伝送ライン	△															△						
		モード3 (全主蒸気隔離弁が閉じている場合を除く)	主蒸気ライン隔離 ・主蒸気ライン隔離作動論理回路が2系統動作可能であること(原子炉保護系論理回路の機能検査時においては, 残り1系統が動作可能であることを条件に, 2時間に限り, 1系統をバイパスすることができる。この場合, バイパスした系統を動作不能とはみなさない。) ・主蒸気ライン隔離手動起動が2チャンネル動作可能であること ・格納容器圧力異常高(高2)が4チャンネル動作可能であること(残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に, 1チャンネルをバイパスすることができる。この場合, バイパスしたチャンネルを動作不能とはみなさない。)	・主蒸気ライン隔離作動論理回路 ・主蒸気ライン隔離手動起動信号検出, 伝送ライン ・格納容器圧力異常高(高2)信号検出, 伝送ライン	△															△						
		モード3(P-11以上) (全主蒸気隔離弁が閉じている場合を除く)	主蒸気ライン隔離 ・主蒸気ライン圧力低が主蒸気ライン毎に4チャンネル動作可能であること(残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に, 1チャンネルをバイパスすることができる。この場合, バイパスしたチャンネルを動作不能とはみなさない。)	・主蒸気ライン圧力低信号検出, 伝送ライン	△																△					
モード3(P-11未満) (全主蒸気隔離弁が閉じている場合を除く)	主蒸気ライン隔離 ・主蒸気ライン圧力減少率高が主蒸気ライン毎に4チャンネル動作可能であること	・主蒸気ライン圧力減少率高信号検出, 伝送ライン	△																△							
モード3 (主給水隔離弁, 主給水制御弁および主給水バイパス制御弁が閉止または隔離されている場合を除く)	主給水隔離 ・主給水隔離作動論理回路が2系統動作可能であること ・蒸気発生器水位異常高が1基あたり4チャンネル動作可能であること ・非常用炉心冷却系作動による主給水隔離: モード3, 4(1)非常用炉心冷却系作動に同じ	・主給水隔離作動論理回路 ・非常用炉心冷却系作動論理回路 ・蒸気発生器水位異常高信号検出, 伝送ライン ・非常用炉心冷却系作動手動起動信号検出, 伝送ライン	△																△							

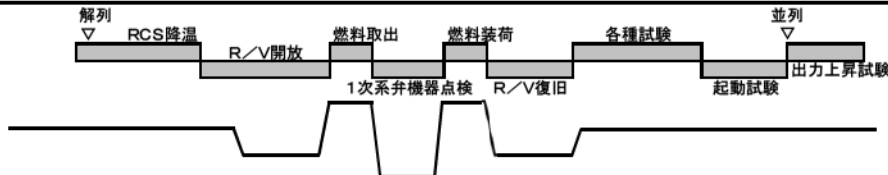
伊方発電所第3号機 第14回 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程				解列 ▽ RCS降温 R/V開放 燃料取出 燃料装荷 各種試験 並列 ▽ 出力上昇試験 1次系弁機器点検 R/V復旧 起動試験																		
RCS水位		キャビティ満水																				
		RCS満水																				
		ミッドループ																				
		RCS全ブロー																				
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モト'外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3			
炉心冷却機能	第33条 計測および制御 設備 (工学的安全施設等作動計装)	モード3 (主給水制御弁および主給水バイパス制御弁が閉止または隔離されている場合を除く)	主給水隔離 ・1次冷却材平均温度低が4チャンネル動作可能であることおよび原子炉保護系計装(原子炉保護系論理回路の4系統、手動原子炉トリップの2チャンネル、線源領域中性子束高の2チャンネル)が動作可能であること(残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に、1チャンネルをバイパスすることができる。この場合、バイパスしたチャンネルを動作不能とはみなさない。)	・主給水隔離作動論理回路 ・原子炉保護系論理回路 ・1次冷却材平均温度低信号検出、伝送ライン ・手動原子炉トリップ信号検出、伝送ライン ・線源領域中性子束高信号検出、伝送ライン	△														△			
		モード3(P-11以上)	インターロック ・P-11インターロックのため、加圧器圧力が4チャンネル動作可能であること	・加圧器圧力信号検出、伝送ライン	△															△		
	第33条 計測および制御 設備 (事故時監視計装)	モード3	(1) 1次冷却系計装 ・1次冷却材圧力が2チャンネル動作可能であること ・加圧器水位が2チャンネル動作可能であること ・1次冷却材温度(広域)(高温側)が3チャンネル動作可能であること ・1次冷却材温度(広域)(低温側)が3チャンネル動作可能であること	・1次冷却材圧力信号検出、伝送ライン ・加圧器水位信号検出、伝送ライン ・1次冷却材温度(広域)(高温側)検出、伝送ライン ・1次冷却材温度(広域)(低温側)検出、伝送ライン	×														×			
			(2) 化学体積制御系計装 ・ほう酸タンク水位が2チャンネル動作可能であること	・ほう酸タンク水位信号検出、伝送ライン	×															×		
			(3) 主蒸気および給水、補助給水計装 ・主蒸気ライン圧力が主蒸気ライン毎に2チャンネル動作可能であること ・補助給水タンク水位が2チャンネル動作可能であること ・蒸気発生器水位(広域)が3チャンネル動作可能であること ・蒸気発生器水位(狭域)が蒸気発生器毎に2チャンネル動作可能であること ・補助給水流量が3チャンネル動作可能であること	・主蒸気ライン圧力信号検出、伝送ライン ・補助給水タンク水位信号検出、伝送ライン ・蒸気発生器水位(広域)信号検出、伝送ライン ・蒸気発生器水位(狭域)信号検出、伝送ライン ・補助給水流量信号検出、伝送ライン	×														×			
			(4) 燃料取替用水系計装 ・燃料取替用水タンク水位が2チャンネル動作可能であること	・燃料取替用水タンク水位信号検出、伝送ライン	×															×		
			(5) 原子炉格納容器関連計装 ・格納容器再循環サンプ水位(広域)が2チャンネル動作可能であること ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)が2チャンネル動作可能であること ・原子炉格納容器内圧力が2チャンネル動作可能であること ・原子炉格納容器内温度が2チャンネル動作可能であること ・原子炉格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)が2チャンネル動作可能であること ・原子炉格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ)が2チャンネル動作可能であること	・格納容器再循環サンプ水位(広域)信号検出、伝送ライン ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)信号検出、伝送ライン ・原子炉格納容器内圧力信号検出、伝送ライン ・原子炉格納容器内温度信号検出、伝送ライン ・原子炉格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)信号検出、伝送ライン ・原子炉格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ)信号検出、伝送ライン	×															×		
			(6) 原子炉補機冷却系計装 ・原子炉補機冷却水サーージタンク水位が2チャンネル動作可能であること	・原子炉補機冷却水サーージタンク水位信号検出、伝送ライン	×																×	
			(7) 制御用空気系計装 ・制御用空気圧力が2チャンネル動作可能であること	・制御用空気圧力信号検出、伝送ライン	×																×	
			(8) 非常用炉心冷却系計装 ・高圧注入流量が2チャンネル動作可能であること ・低圧注入流量が2チャンネル動作可能であること	・高圧注入流量信号検出、伝送ライン ・低圧注入流量信号検出、伝送ライン	×																×	

伊方発電所第3号機 第14回 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程				解列 ▽ RCS降温 R/V開放 燃料取出 燃料装荷 各種試験 並列 ▽ 出力上昇試験 1次系弁機器点検 R/V復旧 起動試験																	
RCS水位		キャビティ満水		関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モト'外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3		
		RCS満水																			
		ミッドループ																			
		RCS全ブロー																			
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容																		
炉心冷却機能	第50条 蓄圧タンク	モード3 (1次冷却系圧力が6.89MPa [gage]を超える場合)	・蓄圧タンクのほう素濃度が4,400ppm以上であること ・蓄圧タンクのほう酸水量(有効水量)が29.0m3以上であること ・蓄圧タンクの圧力が4.04MPa[gage]以上であること ・蓄圧タンクの出口隔離弁が全開であること	・蓄圧タンク ・蓄圧タンク出口隔離弁	Δ														Δ		
	第51条 非常用炉心冷却系	モード3	・高圧注入系の2系統が動作可能であること(非常用炉心冷却系の弁開閉点検を行う場合、2時間に限り、運転上の制限を用しない。)(高圧注入ポンプを用いて蓄圧タンクの水張りを行う場合は、高圧注入系への切替操作が可能な状態であることを条件に、動作不能とはみなさない。) ・低圧注入系の2系統が動作可能であること(非常用炉心冷却系の弁開閉点検を行う場合、2時間に限り、運転上の制限を適用しない。)	・非常用炉心冷却系 ・高圧注入ポンプ ・余熱除去ポンプ ・原子炉格納容器再循環サンプ	×													×			
	第52条 非常用炉心冷却系	モード4	・高圧注入系または充てん系1系統以上が動作可能であること(非常用炉心冷却系の弁開閉点検を行う場合、2時間に限り、運転上の制限を適用しない。) ・低圧注入系1系統以上が動作可能であること(非常用炉心冷却系の弁開閉点検を行う場合、2時間に限り、運転上の制限を適用しない。)(余熱除去ポンプを用いて余熱除去運転を行っている場合は、低圧注入系への切替操作が可能な状態であることを条件に、動作不能とはみなさない。)	・非常用炉心冷却系 ・充てん系 ・高圧注入ポンプ ・余熱除去ポンプ ・充てんポンプ		×										×		×			
	第53条 燃料取替用水タンク	モード3, 4	・燃料取替用水タンクのほう素濃度が4,400ppm以上であること ・燃料取替用水タンクのほう酸水量(有効水量)が1,700m以上であること	・燃料取替用水タンク	×	×											×		×	×	
電源供給	第33条 計測および制御設備(非常用ディーゼル発電機起動計装)	モード3, 4	・非常用ディーゼル発電機起動論理回路が2系統動作可能であること ・非常用炉心冷却系作動論理回路が2系統動作可能であること (原子炉保護系論理回路の機能検査時には、残り1系統が動作可能であることを条件に、2時間に限り、1系統をバイパスすることができる。この場合、バイパスした系統を動作不能とはみなさない。) ・非常用炉心冷却系作動手動起動が2チャンネル動作可能であること	・非常用ディーゼル発電機起動論理回路 ・非常用炉心冷却系作動論理回路 ・非常用炉心冷却系作動手動起動信号検出、伝送ライン	×	×										×		×	×		
		モード3	・非常用ディーゼル発電機起動論理回路が2系統動作可能であること ・格納容器圧力高(高1)が4チャンネル動作可能であること(残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に、1チャンネルをバイパスすることができる。この場合、バイパスしたチャンネルを動作不能とはみなさない。)	・非常用ディーゼル発電機起動論理回路 ・格納容器圧力高(高1)信号検出、伝送ライン	×	×										×		×	×		
		モード3(P-11以上)	・非常用ディーゼル発電機起動論理回路が2系統動作可能であること ・原子炉圧力低および加圧器水位低が4チャンネル動作可能であること(残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に、1チャンネルをバイパスすることができる。この場合、バイパスしたチャンネルを動作不能とはみなさない。) ・主蒸気ライン圧力低が主蒸気ライン毎に4チャンネル動作可能であること(残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に、1チャンネルをバイパスすることができる。この場合、バイパスしたチャンネルを動作不能とはみなさない。)	・非常用ディーゼル発電機起動論理回路 ・原子炉圧力低信号検出、伝送ライン ・加圧器水位低信号検出、伝送ライン ・主蒸気ライン圧力低信号検出、伝送ライン	×	×									×		×	×			
	モード5, 6, 照射済燃料移動中	・非常用ディーゼル発電機起動論理回路が1系統動作可能であること	・非常用ディーゼル発電機起動論理回路			×	×	×	×	Δ	×	×	×	×		×					
	モード3, 4, 5, 6, 照射済燃料移動中	・6.6kV非常用母線電圧低検出が所要の1母線あたり3チャンネル動作可能であること	・6.6kV非常用母線電圧低検出、伝送ライン	×	×	×	×	×	×	Δ	×	×	×	×	×	×	×	×	×		

伊方発電所第3号機 第14回 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程																					
RCS水位		キャビティ満水		関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モト'外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3		
		RCS満水																			
		ミッドループ																			
		RCS全ブロー																			
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容																		
電源供給	第72条の3 外部電源	モード3, 4, 5, 6, および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・外部電源3回線以上が動作可能であること(外部電源の回線数は、当該原子炉に対する個々の非常用高圧母線すべてに対して電力供給することができる発電所外からの送電線の回線数とする。)(送電線事故の瞬停時は、運転上の制限を適用しない。) ・外部電源のうち、1回線以上は他の回線に対して独立性を有していること(独立性を有するとは、「送電線の上流において1つの変電所または開閉所のみに連系しないこと」をいう。)(1つの変電所または開閉所のルートにより供給または受電している場合であっても、設備構成として、別ルートでの連系が可能な状態であれば、独立性を有しているとみなすことができる。)	・外部電源(四国中央西幹線2回線、伊方北幹線2回線、伊方南幹線2回線) ・主変圧器 ・所内変圧器 ・予備変圧器	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	第73条 ディーゼル発電機	モード3, 4	・非常用ディーゼル発電機2基が動作可能であること(予備潤滑運転(ターニング、エアラン)を行う場合、運転上の制限を適用しない。) ・燃料油サービスタンクの貯油量(保有油量)が1,375L以上であること(非常用ディーゼル発電機が運転中および運転終了後の24時間は、運転上の制限を適用しない。)	・非常用ディーゼル発電機 ・非常用ディーゼル発電機燃料油サービスタンク	×	×											×		×	×	
	第74条 ディーゼル発電機	モード5, 6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・非常用ディーゼル発電機2基が動作可能であること(非常用ディーゼル発電機の予備潤滑運転(ターニング、エアラン)を行う場合、運転上の制限を適用しない。)(非常用ディーゼル発電機には、非常用発電機1基を含めることができる。非常用発電機とは、所要の電力供給が可能なものをいう。なお、非常用発電機は複数の号炉で共用することができる。) ・非常用ディーゼル発電機に対応する燃料油サービスタンクの貯油量(保有油量)が1,375L以上であること(非常用ディーゼル発電機が運転中および運転終了後の24時間は、運転上の制限を適用しない。)	・非常用ディーゼル発電機 ・非常用ディーゼル発電機燃料油サービスタンク				×	×	×	×	×	×	×	×		×				
	第75条 ディーゼル発電機の燃料油、潤滑油および始動用空気	モード3, 4, 5, 6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・所要の非常用ディーゼル発電機の燃料油貯油槽および重油タンクの油量(保有油量)が258kL以上であること(燃料油貯油槽129kL以上および重油タンク129kL以上をいう。) ・所要の非常用ディーゼル発電機の潤滑油タンクの油量(保有油量)が4,800L以上であること(予備潤滑運転(ターニング、エアラン)を行う場合、運転上の制限を適用しない。非常用ディーゼル発電機が運転中および運転終了後の24時間は、運転上の制限を適用しない。) ・所要の非常用ディーゼル発電機の起動用空気貯槽圧が2.50MPa以上であること(予備潤滑運転(ターニング、エアラン)を行う場合、運転上の制限を適用しない。非常用ディーゼル発電機が運転中および運転終了後の24時間は、運転上の制限を適用しない。)	・非常用ディーゼル発電機燃料油貯油槽 ・非常用ディーゼル発電機潤滑油タンク ・非常用ディーゼル発電機起動用空気貯槽 ・重油タンク	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	第76条 非常用直流電源	モード3, 4	・非常用直流電源2系統(蓄電池(非常用)および充電器が動作可能であること(充電器は充電器または後備充電器のいずれかをいい、両方が機能喪失となって動作不能とみなす。))	・蓄電池(非常用) ・非常用直流電源充電器 ・非常用直流電源後備充電器	×	×											×		×	×	
	第77条 非常用直流電源	モード5, 6および照射済燃料移動中	・所要の設備の維持に必要な非常用直流母線に接続する系統(蓄電池(非常用)および充電器が動作可能であること(充電器は充電器または後備充電器のいずれかをいい、両方が機能喪失となって動作不能とみなす。))	・蓄電池(非常用) ・非常用直流電源充電器 ・非常用直流電源後備充電器				×	×	×	×	△	×	×	×	×		×			
	第78条 所内非常用母線	モード3, 4	・非常用高圧母線2回線、非常用低圧母線4回線、非常用直流母線2回線および非常用計装用母線4回線が受電していること(所内非常用母線の電源の自動切替の間は、運転上の制限を適用しない。)	・非常用高圧母線 ・非常用低圧母線 ・非常用直流母線 ・非常用計装用母線	×	×											×		×	×	
	第79条 所内非常用母線	モード5, 6および照射済燃料移動中	・所要の設備の維持に必要な非常用高圧母線、非常用低圧母線、非常用直流母線および非常用計装用母線が受電していること(所内非常用母線の電源の自動切替の間は、運転上の制限を適用しない。)	・非常用高圧母線 ・非常用低圧母線 ・非常用直流母線 ・非常用計装用母線				×	×	×	×	△	×	×	×	×		×			
	海水系統他	第66条 原子炉補機冷却水系	モード3, 4	・原子炉補機冷却水系2系統が動作可能であること	・原子炉補機冷却水系 ・原子炉補機冷却水ポンプ	×	×											×		×	×

伊方発電所第3号機 第14回 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程																				
RCS水位		キャビティ満水																		
		RCS満水																		
		ミッドループ																		
		RCS全ブロー																		
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モト外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3	
海水系統他	自主保安 原子炉補機冷却水系	モード5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・原子炉補機冷却水系1系統が動作可能であること	・原子炉補機冷却水系 ・原子炉補機冷却水ポンプ			×	×	×	×	×	×	×	×	×		×			
	第67条 原子炉補機冷却海水系	モード3、4	・原子炉補機冷却海水系2系統が動作可能であること	・原子炉補機冷却海水系 ・海水ポンプ	×	×										×		×	×	
	自主保安 原子炉補機冷却海水系	モード5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・原子炉補機冷却海水系1系統が動作可能であること	・原子炉補機冷却海水系 ・海水ポンプ			×	×	×	×	×	×	×	×	×		×			
制御用空気系	第68条 制御用空気系	モード3、4	・制御用空気2系統の圧力が0.60MPa[gage]以上であること	・制御用空気系	×	×												×	×	
その他	第33条 計測および制御設備 (中央制御室換気系隔離計装)	モード3、4、使用済燃料ピットでの照射済燃料移動中	・中央制御室換気系隔離作動論理回路が2系統動作可能であること ・中央制御室換気系隔離作動手動起動が2チャンネル動作可能であること	・中央制御室換気系隔離作動論理回路 ・中央制御室換気系隔離作動手動起動信号検出、伝送ライン	×	×	△	△	△	△	△	△	△	△	△	×	△	×	×	
		モード3、4	・非常用炉心冷却系作動論理回路が2系統動作可能であること (原子炉保護系論理回路の機能検査時においては、残り1系統が動作可能であることを条件に、2時間に限り、1系統をバイパスすることができる。この場合、バイパスした系統を動作不能とはみなさない。) ・非常用炉心冷却系作動手動起動が2チャンネル動作可能であること	・非常用炉心冷却系作動論理回路 ・非常用炉心冷却系作動手動起動信号検出、伝送ライン	×	×										×		×	×	
		モード3	・格納容器圧力高(高1)が4チャンネル動作可能であること(残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に、1チャンネルをバイパスすることができる。この場合、バイパスしたチャンネルを動作不能とはみなさない。)	・格納容器圧力高(高1)信号検出、伝送ライン	×														×	
		モード3(P-11以上)	・原子炉圧力低および加圧器水位低が4チャンネル動作可能であること(残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に、1チャンネルをバイパスすることができる。この場合、バイパスしたチャンネルを動作不能とはみなさない。) ・主蒸気ライン圧力低が主蒸気ライン毎に4チャンネル動作可能であること(残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に、1チャンネルをバイパスすることができる。この場合、バイパスしたチャンネルを動作不能とはみなさない。)	・原子炉圧力低信号検出、伝送ライン ・加圧器水位低信号検出、伝送ライン ・主蒸気ライン圧力低信号検出、伝送ライン															△	
	第33条 計測および制御設備 (中央制御室外原子炉停止装置)	モード3、4	以下の設備が動作可能であること ・充てんポンプ ・加圧器後備ヒータ ・抽出オリフィス隔離弁 ・原子炉補機冷却水ポンプ ・海水ポンプ ・電動補助給水ポンプ ・蒸気発生器(広域)水位計 ・主蒸気圧力計 ・加圧器水位計 ・線源領域中性子束計 ・1次冷却材圧力計(広域) ・1次冷却材温度計(広域)(低温側)	・充てんポンプ ・加圧器後備ヒータ ・抽出オリフィス隔離弁 ・原子炉補機冷却水ポンプ ・海水ポンプ ・電動補助給水ポンプ ・蒸気発生器(広域)水位計 ・主蒸気圧力計 ・加圧器水位計 ・線源領域中性子束計 ・1次冷却材圧力計(広域) ・1次冷却材温度計(広域)(低温側)	×	×										×		×	×	
		モード4	・余熱除去ポンプが動作可能であること	・余熱除去ポンプ		×										×		×		
		モード3	・ほう酸ポンプが動作可能であること ・加圧器圧力計が動作可能であること	・ほう酸ポンプ ・加圧器圧力計	×														×	

伊方発電所第3号機 第14回 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程				解列 ▽ RCS降温 R/V開放 燃料取出 燃料装荷 各種試験 並列 ▽ 出力上昇試験 1次系弁機器点検 R/V復旧 起動試験																
RCS水位																				
キャビティ満水																				
RCS満水																				
ミッドループ																				
RCS全ブロー																				
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モト'外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3	
その他	第33条 計測および制御設備 (燃料落下および燃料取扱建屋空気浄化系計装)	使用済燃料ピットでの照射済燃料移動中 (照射終了後、所定の期間を経過した照射済燃料を取り扱う場合は除く)	・燃料取扱棟空気浄化系作動論理回路が2系統動作可能であること ・燃料落下検知が2チャンネル動作可能であること	・燃料取扱棟空気浄化系作動論理回路 ・燃料落下検知検出、伝送ライン	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
	第35条 1次冷却材の温度・圧力および1次冷却材温度変化率	通常の1次冷却系の加熱・冷却時 (原子炉起動、原子炉停止[異常時]を除く。)	(1) 1次冷却材温度・圧力が原子炉容器の非延性破壊防止のための1次冷却材温度・圧力の制限範囲内であること (2) 1次冷却材温度変化率が以下の制限値内であること 原子炉容器：55℃/h以下 加圧器加熱率：55℃/h以下 加圧器冷却率：110℃/h以下	—	×	×	×	×						×	×	×	×	×	×	
	第42条 加圧器	モード3	・加圧器の水位が計器スパンの94%以下であること ・所内非常用母線から受電している加圧器ヒータ2系統が動作可能であること	・加圧器 ・加圧器ヒータ	×														×	
	第43条 加圧器安全弁	モード3, 4 (1次冷却材温度が130℃を超える)	・加圧器安全弁すべてが動作可能であること	・加圧器安全弁	×	△										△		△	×	
	第44条 加圧器逃がし弁	モード3	・加圧器逃がし弁すべてが動作可能であること ・加圧器逃がし元弁すべてが動作可能であること	・加圧器逃がし弁 ・加圧器逃がし元弁	×														×	
	第45条 低温過加圧防護	モード4 (1次冷却材温度が130℃以下の場合、ただし加圧器逃がし弁が低圧設定になるまでの間を除く) モード5, 6 (原子炉容器のふたが閉められている場合)	・2台の加圧器逃がし弁が低圧設定で動作可能であり、2台の加圧器逃がし元弁が開放状態であること、または1台以上の加圧器安全弁が取り外されていること ・動作可能な高圧注入ポンプが1台以下であること ・蓄圧タンク全基が隔離されていること(1次冷却系の水張りを行う場合、1基毎に隔離を解除することが許容される。また、蓄圧タンク出口弁の開閉確認を行う場合は、蓄圧タンク圧力が1次冷却材圧力以下であることを条件に、1基毎に隔離を解除することが許容される。これらの場合、運転上の制限を満足していないとはみなさない。)	・加圧器逃がし弁 ・加圧器逃がし元弁 ・加圧器安全弁 ・高圧注入ポンプ ・蓄圧タンク			△	×	×	△	△		△	△	×	×	△	×	△	
	第46条 1次冷却材漏えい率	モード3, 4	・原子炉格納容器サンプ水位計または凝縮液量測定装置によって測定される漏えい率のうち、原子炉冷却材圧力バウンダリからの漏えいでないことが確認されていない漏えい率が0.23m3/h以下であること ・原子炉格納容器サンプ水位計または凝縮液量測定装置によって測定される漏えい率のうち、原子炉冷却材圧力バウンダリからの漏えいでないことは確認されているが1次冷却系からの漏えいでないことが確認されていない漏えい率が2.3m3/h以下であること ・原子炉格納容器サンプ水位計または凝縮液量測定装置が動作可能であること(凝縮液量測定装置の健全性を確認するための点検または洗浄により、原子炉格納容器サンプ水位計または凝縮液量測定装置の指示値が変動する場合を除く。)	・原子炉冷却材圧力バウンダリ ・原子炉格納容器サンプ ・凝縮液量測定装置	×	×										×		×	×	
	第56条 原子炉格納容器真空逃がし系	モード3, 4	・原子炉格納容器真空逃がし系2系統が動作可能であること(動作可能であることとは、真空逃がし機能が確保されていることをいう。)	・原子炉格納容器真空逃がし系 ・原子炉格納容器真空逃がし弁	×	×											×		×	×
	第69条 中央制御室非常用循環系	モード3, 4および使用済燃料ピットでの照射済燃料移動中	・中央制御室非常用循環系2系統が動作可能であること	・中央制御室非常用循環系 ・中央制御室非常用給気ファン ・中央制御室非常用給気フィルタ	×	×	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	×	△	×	×
第70条 安全補機室空気浄化系	モード3, 4	・安全補機室空気浄化系2系統が動作可能であること	・安全補機室空気浄化系 ・安全補機室排気ファン ・安全補機室排気フィルタ	×	×											×		×	×	

伊方発電所第3号機 第14回 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程				解列 ▽ RCS降温 R/V開放 燃料取出 燃料装荷 各種試験 並列 ▽ 出力上昇試験 1次系弁機器点検 R/V復旧 起動試験																
RCS水位		キャビティ満水																		
		RCS満水																		
		ミッドループ																		
		RCS全ブロー																		
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モト'外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3	
その他	第71条 燃料取扱建屋空 気浄化系	使用済燃料ピットでの照射 済燃料移動中	・燃料取扱建屋空気浄化系2系統が動作可能であること(照射終了後の所定期間を経過した照射済燃料を採取する場合、運転上の制限を適用しない。なお、所定期間については、原子燃料課長があらかじめ定め、原子炉主任技術者の確認を得て、所長の承認を得る。)	・燃料取扱建屋空気浄化系 ・アニュラス排気ファン	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
重大事故等対処 設備	第84条 (表84-3-1) 1次冷却系統の フィードアンドブ リード	モード3および4(蒸気発 生器が熱除去のために使 用されている場合)	・高圧注入系の2系統が動作可能であること(動作可能とは、ポンプが手動起動(系統構成含む)できることをいう。) ・加圧器逃がし弁2台による1次冷却系統の減圧系が動作可能であること	・高圧注入ポンプ ・加圧器逃がし弁 ・燃料取替用水タンク	×	△										△		△	×	
	第84条 (表84-4-1) 炉心注水および 再循環運転	モード3、4、5および6	・高圧注入系および高圧再循環系それぞれ1系統以上が動作可能であること(動作可能とは、ポンプが手動起動(系統構成含む)できること、または運転中であることをいう。) ・低圧注入系および低圧再循環系それぞれ1系統以上が動作可能であること(動作可能とは、ポンプが手動起動(系統構成含む)できること、または運転中であることをいう。)	・高圧注入ポンプ ・余熱除去ポンプ ・燃料取替用水タンク ・格納容器再循環サンプ ・格納容器再循環サンプスクリーン	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	
	第84条 (表84-4-2) 代替炉心注水 ー充てんポンプ (B、自己冷却 式)による代替炉 心注水ー	モード3、4、5および6	・充てんポンプ(B、自己冷却式)による代替炉心注水系が動作可能であること(動作可能とは、ポンプが手動起動(系統構成含む)できること、または運転中であることをいう。)	・充てんポンプ(B、自己冷却式) ・燃料取替用水タンク	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	
	第84条 (表84-4-3) 代替炉心注水系 ー中型ポンプ車 および加圧ポン プ車による代替 炉心注水ー	モード3、4、5および6	・中型ポンプ車および加圧ポンプ車による代替炉心注水系2系統が動作可能であること(1系統とは、中型ポンプ車1台および加圧ポンプ車1台をいう。)	・中型ポンプ車 ・加圧ポンプ車 ・軽油タンク ・ミニローリー	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	
	第84条 (表84-4-4) 代替再循環運転 ー格納容器スプ レイポンプ(B、 代替再循環配管 使用)による代替 再循環運転ー	モード3、4、5および6	・格納容器スプレイポンプ(B、代替再循環配管使用)による代替再循環系が動作可能であること(動作可能とは、ポンプが手動起動[系統構成含む]できることをいう。)	・格納容器スプレイポンプ(B、代替再循環配管使用) ・格納容器再循環サンプ(B系統) ・格納容器再循環サンプスクリーン(B系統)	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	
	第84条 (表84-4-5) 代替再循環運転 ー格納容器再循 環サンプB隔離 弁バイパス弁に よる代替再循環 運転ー	モード3、4、5および6	・格納容器再循環サンプB隔離弁バイパス弁が開弁できること	・格納容器再循環サンプ ・格納容器再循環サンプスクリーン ・格納容器再循環サンプB隔離弁バイパス弁	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	

伊方発電所第3号機 第14回 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程																				
RCS水位		キャビティ満水																		
		RCS満水																		
		ミッドループ																		
		RCS全ブロー																		
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モト'外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3	
重大事故等対処設備	第84条 (表84-4-6) 代替再循環運転—高圧注入ポンプ(B, 海水冷却)による高圧再循環および格納容器再循環ユニットによる格納容器内冷却—	モード3, 4, 5および6	・高圧注入ポンプ(B, 海水冷却)による高圧再循環系が動作可能であること(動作可能とは、ポンプが手動起動(系統構成含む)できる、または運転中であることをいう。)	・高圧注入ポンプ(B, 海水冷却) ・格納容器再循環サンプ ・格納容器再循環サンプスクリーン ・中型ポンプ車 ・軽油タンク ・ミニローリー ・格納容器再循環ユニット(AおよびB) ・可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット入口/出口用)		×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	
	第84条 (表84-5-1) 加圧器逃がし弁による減圧	モード3	・窒素ポンベ(加圧器逃がし弁用)および加圧器逃がし弁用可搬型蓄電池を使用した加圧器逃がし弁による1次冷却系統の減圧系が動作可能であること	・窒素ポンベ(加圧器逃がし弁用) ・加圧器逃がし弁用可搬型蓄電池		×													×	
	第84条 (表84-6-1) 原子炉格納容器スプレィおよびスプレィ再循環	モード3, 4, 5および6	・原子炉格納容器スプレィ系(よう素除去薬品タンクを除く)およびスプレィ再循環系の1系統以上が動作可能であること(動作可能とは、ポンプが手動起動(系統構成含む)できることをいう。)	・格納容器スプレィポンプ ・燃料取替用水タンク ・格納容器再循環サンプ ・格納容器再循環サンプスクリーン		×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	
	第84条 (表84-6-2) 代替原子炉格納容器スプレィ	モード3, 4, 5および6	・代替格納容器スプレィポンプによる代替原子炉格納容器スプレィ系が動作可能であること	・代替格納容器スプレィポンプ ・燃料取替用水タンク ・補助給水タンク		×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	
	第84条 (表84-7-1) 原子炉格納容器内自然対流冷却	モード3, 4, 5および6	・原子炉補機冷却水系による原子炉格納容器内自然対流冷却系が動作可能であること(動作可能とは、ポンプが手動起動(系統構成含む)できること、または運転中であることをいう。)	・格納容器再循環ユニット(AおよびB)(ダクト開放機構を含む) ・原子炉補機冷却水ポンプ ・原子炉補機冷却水サージタンク ・窒素ポンベ(原子炉補機冷却水サージタンク用) ・海水ポンプ ・可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット入口/出口用)								×	×	×	×	×	×	×	×	
	第84条 (表84-7-2) 中型ポンプ車による原子炉格納容器内自然対流冷却および代替補機冷却	モード3, 4, 5および6	・中型ポンプ車による海水供給系2系統が動作可能であること	・中型ポンプ車 ・格納容器再循環ユニット(AおよびB) ・軽油タンク ・ミニローリー ・可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット入口/出口用)		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	第84条 (表84-8-1) 2次冷却系からの除熱(注水)	モード3, 4および5(1次冷却系満水)	・補助給水タンクを水源とした電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への給水系1系統(本表に限り電動補助給水ポンプ2台で1系統とする)が動作可能であること(動作可能とは、ポンプが手動起動[系統構成含む]できること、または運転中であることをいう。)	・電動補助給水ポンプ ・補助給水タンク ・空冷式非常用発電装置		×	×	△	△					△	△	×	△	×	×	
		モード3および4(蒸気発生器が熱除去のために使用されている場合)	補助給水タンクを水源としたタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への給水系1系統が動作可能であること(動作可能とは、ポンプが手動起動[系統構成含む]できること、または運転中であることをいう。)(タービン動補助給水ポンプについては、原子炉起動時のモード3において試運転に係る調整を行っている場合および原子炉起動時のモード4は運転上の制限を適用しない。)(タービン動補助給水ポンプが動作可能とは、現場手動による起動を含む。)	・タービン動補助給水ポンプ ・タービン動補助給水ポンプ蒸気入口弁		×	△									△		△	×	

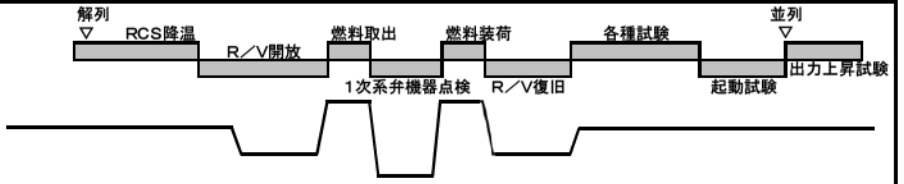
伊方発電所第3号機 第14回 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程																				
RCS水位		キャビティ満水																		
		RCS満水																		
		ミッドループ																		
		RCS全ブロー																		
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モト'外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3	
重大事故等対応設備	第84条 (表84-9-1) 2次冷却系からの除熱(蒸気放出)	モード3および4(蒸気発生器が熱除去のために使用されている場合)	・主蒸気逃がし弁が手動での開弁ができること(現場手動含む)	・主蒸気逃がし弁	×	△										△		△	×	
	第84条 (表84-10-1) 水素濃度低減	モード3, 4, 5および6	・静的触媒式水素再結合装置の所要数が動作可能であること ・イグナイタの所要数が動作可能であること	・静的触媒式水素再結合装置 ・静的触媒式水素再結合装置作動温度計測装置 ・イグナイタ ・イグナイタ作動温度計測装置 ・空冷式非常用発電装置	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	
	第84条 (表84-10-2) 水素濃度監視	モード3, 4, 5および6	・格納容器水素濃度計測装置等による水素濃度監視系が動作可能であること	・格納容器水素濃度計測装置 ・可搬型代替冷却水ポンプ ・代替格納容器雰囲気ガスサンプリング圧縮装置 ・格納容器雰囲気ガスサンプリング圧縮装置 ・窒素ポンベ(格納容器ガスサンプリングライン空気作動弁用) ・中型ポンプ車 ・空冷式非常用発電装置 ・軽油タンク ・ミニローリー	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	
	第84条 (表84-11-1) 水素排出	モード3, 4, 5および6	・アニュラス空気浄化系1系統以上が動作可能であること(動作可能とは、ファンが手動起動(系統構成含む)できること、または運転中であることをいう。) ・代替空気(窒素)系統が動作可能であること(窒素ポンベを含む)	・アニュラス排気ファン ・アニュラス排気フィルタユニット ・窒素ポンベ(アニュラス排気系空気作動弁用) ・空冷式非常用発電装置	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	
	第84条 (表84-11-2) アニュラス水素濃度監視	モード3, 4, 5および6	・アニュラス水素濃度(AM)計測装置の所要数が動作可能であること	・アニュラス水素濃度(AM)計測装置 ・空冷式非常用発電装置	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	
	第84条 (表84-12-1) 中型ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水	使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・中型ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水系2系統が動作可能であること	・中型ポンプ車 ・軽油タンク ・ミニローリー	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	第84条 (表84-12-2) 使用済燃料ピットへのスプレー	使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・中型ポンプ車および加圧ポンプ車による使用済燃料ピットへのスプレー系1系統が動作可能であること(1系統とは、中型ポンプ車1台、加圧ポンプ車1台および小型放水砲2台をいう。)	・中型ポンプ車 ・加圧ポンプ車 ・小型放水砲 ・軽油タンク ・ミニローリー	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

伊方発電所第3号機 第14回 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程																					
RCS水位																					
キャビティ満水																					
RCS満水																					
ミッドループ																					
RCS全ブロー																					
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モト'外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3		
重大事故等対応設備	第84条 (表84-12-3) 使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・使用済燃料ピット水位 (AM) が2個動作可能であること (使用済燃料ピット広域水位 (AM) が動作可能であれば動作不能とはみなさない。) ・使用済燃料ピット温度 (AM) が2個動作可能であること ・使用済燃料ピット監視カメラ (使用済燃料ピット監視カメラ冷却設備含む) が1個動作可能であること ・使用済燃料ピット広域水位 (AM) が2個動作可能であること ・可搬型使用済燃料ピットエリアモニタが2個動作可能であること ・空冷式非常用発電装置による電源系が動作可能であること	・使用済燃料ピット水位 (AM) 検出, 伝送ライン ・使用済燃料ピット温度 (AM) 検出, 伝送ライン ・使用済燃料ピット監視カメラ (使用済燃料ピット監視カメラ冷却設備含む) ・使用済燃料ピット広域水位 (AM) 検出, 伝送ライン ・可搬型使用済燃料ピットエリアモニタ ・空冷式非常用発電装置 ・重油タンク ・ミニローリー	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	第84条 (表84-13-1) 大気への拡散抑制, 航空機燃料火災への泡消火	モード3, 4, 5, 6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・大型ポンプ車 (泡混合機能付), または大型ポンプ車および泡混合器ならびに大型放水砲による放水系1系統が動作可能であること (1系統とは, 大型ポンプ車 (泡混合機能付) 1台, または大型ポンプ車1台および泡混合器1台ならびに大型放水砲1台をいう。)	・大型ポンプ車 (泡混合機能付) ・大型ポンプ車 ・泡混合器 ・大型放水砲 ・軽油タンク ・ミニローリー	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	第84条 (表84-13-2) 海洋への拡散抑制	モード3, 4, 5, 6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・所要数が使用可能であること	・放射性物質吸着剤 ・海水ビットシルトフェンス ・取水ビットシルトフェンス ・放水ビットシルトフェンス ・放水ビットテントシート ・雨水排水口海洋シルトフェンス ・小型船舶	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	第84条 (表84-14-1) 補助給水タンクへの補給	モード3, 4, 5および6	・中型ポンプ車による補助給水タンクへの補給系が動作可能であること	・中型ポンプ車 ・軽油タンク ・ミニローリー	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×		
	第84条 (表84-14-2) 燃料取替用水タンク	モード3, 4, 5および6 (キャビティ低水位)	・燃料取替用水タンク水量 (有効水量) が1,700m3以上であること (原子炉キャビティ水張り, 水抜き期間においては, 第84条に定める水源および炉心注水手段等が確保されていることを条件に, 運転上の制限を満足していないとはみなさない。原子炉キャビティ水張り期間とは, 原子炉キャビティ水張り作業開始から水張り完了までの期間をいう。また, 原子炉キャビティ水抜き期間とは, 原子炉キャビティ水抜き作業開始から燃料取替用水タンク水位を回復するまでの期間をいう。)	・燃料取替用水タンク	×	×	×	×	△				△	×	×	×	×	×	×		
	第84条 (表84-14-3) 補助給水タンク	モード3, 4, 5および6	・補助給水タンク水量 (有効水量) が610m3以上であること	・補助給水タンク	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	第84条 (表84-15-1) 空冷式非常用発電装置からの給電	モード3, 4, 5および6	・空冷式非常用発電装置による電源系が動作可能であること	・空冷式非常用発電装置 ・重油タンク ・ミニローリー	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		モード3, 4, 5, 6以外で 使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・空冷式非常用発電装置による電源系が動作可能であること	・空冷式非常用発電装置 ・重油タンク ・ミニローリー	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
第84条 (表84-15-2) 300kVA電源車からの給電	モード3, 4, 5, 6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・300kVA電源車による電源系2系統が動作可能であること (1系統とは, 300kVA電源車1台および300kVA電源車用変圧器1台をいう。)	・300kVA電源車 ・300kVA電源車用変圧器 ・軽油タンク ・ミニローリー	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		

伊方発電所第3号機 第14回 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程																				
RCS水位		キャビティ満水																		
		RCS満水																		
		ミッドループ																		
		RCS全ブロー																		
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モト'外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3	
重大事故等対応設備	第84条 (表84-15-3) 蓄電池(非常用)および蓄電池(重大事故等対応処用)からの給電	モード3, 4, 5, 6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・蓄電池(非常用)からの電源系1系統以上が動作可能であること ・蓄電池(重大事故等対応処用)からの電源系1系統以上が動作可能であること	・蓄電池(非常用) ・蓄電池(重大事故等対応処用)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	第84条 (表84-15-4) 可搬型直流電源装置(75kVA電源車および可搬型整流器)からの給電	モード3, 4, 5, 6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・可搬型直流電源装置(75kVA電源車および可搬型整流器)からの電源系2系統が動作可能であること(1系統とは、75kVA電源車1台および可搬型整流器1個をいう。)	・75kVA電源車 ・可搬型整流器 ・軽油タンク ・ミニローリー	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	第84条 (表84-15-5) 代替所内電気設備(代替電気設備受電盤、代替動力変圧器、空冷式非常用発電装置)からの給電	モード3, 4, 5, 6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・代替所内電気設備からの給電系が使用可能であること	・代替電気設備受電盤 ・代替動力変圧器 ・空冷式非常用発電装置 ・重油タンク ・ミニローリー	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	第84条 (表84-15-6) 重油タンク、軽油タンク、ミニローリーによる燃料補給設備	モード3, 4, 5, 6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・重油タンク、軽油タンクおよびミニローリーによる燃料補給系が使用可能であること	・重油タンク ・軽油タンク ・ミニローリー	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	第84条 (表84-16-1) 計装設備	モード3, 4, 5および6	(1)原子炉容器内の温度(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器漏えい率検査時に計器保護のため隔離している場合等は、運転上の制限を満足していないとはみなさない。) ・1次冷却材高温側温度(広域)が1チャンネル動作可能であること ・1次冷却材低温側温度(広域)が1チャンネル動作可能であること ・炉心出口温度が1チャンネル動作可能であること(多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない。)	・1次冷却材高温側温度(広域)検出、伝送ライン ・1次冷却材低温側温度(広域)検出、伝送ライン ・炉心出口温度検出、伝送ライン	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	
			(2)原子炉容器内の圧力(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器漏えい率検査時に計器保護のため隔離している場合等は、運転上の制限を満足していないとはみなさない。) ・1次冷却材圧力が1チャンネル動作可能であること ・加圧器圧力が1チャンネル動作可能であること(多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない) ・1次冷却材高温側温度(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・1次冷却材低温側温度(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ)	・1次冷却材圧力検出、伝送ライン ・加圧器圧力検出、伝送ライン ・1次冷却材高温側温度(広域)検出、伝送ライン ・1次冷却材低温側温度(広域)検出、伝送ライン	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	

伊方発電所第3号機 第14回 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程			解列 ▽ RCS降温 R/V開放 燃料取出 燃料装荷 各種試験 並列 ▽ 出力上昇試験 1次系弁機器点検 R/V復旧 起動試験																				
RCS水位			キャビティ満水	RCS満水	ミッドループ	RCS全ブロー																	
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モト'外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3				
重大事故等対処設備	第84条 (表84-16-1) 計装設備	モード3, 4, 5および6	(3)原子炉容器内の水位(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器漏えい率検査時に計器保護のため隔離している場合等は、運転上の制限を満足していないとはみなさない。) ・加圧器水位が1チャンネル動作可能であること ・原子炉容器水位が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・1次系冷却材圧力および1次冷却材高温側温度(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・R/Vフランジ面下水位(RCSノズルセンタ水位)が1チャンネル動作可能であること(多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない。)	・加圧器水位検出, 伝送ライン ・原子炉容器水位検出, 伝送ライン ・1次冷却材圧力検出, 伝送ライン ・1次冷却材高温側温度(広域)検出, 伝送ライン ・R/Vフランジ面下水位計	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×				
			(4)原子炉容器への注水量(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器漏えい率検査時に計器保護のため隔離している場合等は、運転上の制限を満足していないとはみなさない。) ・高圧注入ライン流量が1チャンネル動作可能であること ・余熱除去ループ流量が1チャンネル動作可能であること ・格納容器スプレイラインB積算流量が1チャンネル動作可能であること ・代替格納容器スプレイライン積算流量(AM)が1チャンネル動作可能であること ・充てんライン流量が1チャンネル動作可能であること(多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない。) ・蓄圧タンク圧力が1チャンネル動作可能であること(多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない。) ・蓄圧タンク水位が1チャンネル動作可能であること(多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない。) ・燃料取替用水タンク水位が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・加圧器水位が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・原子炉容器水位が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・格納容器再循環サンプル水位(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・余熱除去ループB流量が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・補助給水タンク水位が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・1次冷却材圧力が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・1次冷却材低温側(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ)	・高圧注入ライン流量検出, 伝送ライン ・余熱除去ループ流量検出, 伝送ライン ・格納容器スプレイラインB積算流量検出, 伝送ライン ・代替格納容器スプレイライン積算流量(AM)検出, 伝送ライン ・充てんライン流量検出, 伝送ライン ・蓄圧タンク圧力検出, 伝送ライン ・蓄圧タンク水位検出, 伝送ライン ・燃料取替用水タンク水位検出, 伝送ライン ・加圧器水位検出, 伝送ライン ・原子炉容器水位検出, 伝送ライン ・格納容器再循環サンプル水位(広域)検出, 伝送ライン ・余熱除去ループB流量検出, 伝送ライン ・補助給水タンク水位検出, 伝送ライン ・1次冷却材圧力検出, 伝送ライン ・1次冷却材低温側(広域)検出, 伝送ライン	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×				
			(5)原子炉格納容器への注水量(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器漏えい率検査時に計器保護のため隔離している場合等は、運転上の制限を満足していないとはみなさない。) ・格納容器スプレイラインB積算流量が1チャンネル動作可能であること ・代替格納容器スプレイライン積算流量(AM)が1チャンネル動作可能であること ・高圧注入ライン流量が1チャンネル動作可能であること ・余熱除去ループ流量が1チャンネル動作可能であること ・格納容器スプレイライン流量が1チャンネル動作可能であること(多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない) ・燃料取替用水タンク水位が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・格納容器再循環サンプル水位(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・補助給水タンク水位が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ)	・格納容器スプレイラインB積算流量検出, 伝送ライン ・代替格納容器スプレイライン積算流量(AM)検出, 伝送ライン ・高圧注入ライン流量検出, 伝送ライン ・余熱除去ループ流量検出, 伝送ライン ・格納容器スプレイライン流量検出, 伝送ライン ・燃料取替用水タンク水位検出, 伝送ライン ・格納容器再循環サンプル水位(広域)検出, 伝送ライン ・補助給水タンク水位検出, 伝送ライン	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×			
			(6)原子炉格納容器内の温度(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器漏えい率検査時に計器保護のため隔離している場合等は、運転上の制限を満足していないとはみなさない。) ・格納容器内温度が1チャンネル動作可能であること ・格納容器内圧力(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・格納容器内圧力(AM)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ)	・格納容器内温度検出, 伝送ライン ・格納容器内圧力(広域)検出, 伝送ライン ・格納容器内圧力(AM)検出, 伝送ライン	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		

伊方発電所第3号機 第14回 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程			解列 ▽ RCS降温 R/V開放 燃料取出 燃料装荷 各種試験 並列 ▽ 出力上昇試験 1次系弁機器点検 R/V復旧 起動試験																				
RCS水位			キャビティ満水	RCS満水	ミッドループ	RCS全ブロー																	
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モト'外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3				
重大事故等対応設備	第84条 (表84-16-1) 計装設備	モード3, 4, 5および6	(7)原子炉格納容器内の圧力(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器漏えい率検査時に計器保護のため隔離している場合等は、運転上の制限を満足していないとはみなさない。) ・格納容器内圧力(広域)が1チャンネル動作可能であること ・格納容器内圧力(AM)が1チャンネル動作可能であること ・格納容器内温度が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ)	・格納容器内圧力(広域)検出, 伝送ライン ・格納容器内圧力(AM)検出, 伝送ライン ・格納容器内温度検出, 伝送ライン	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×				
			(8)原子炉格納容器内の水位(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器漏えい率検査時に計器保護のため隔離している場合等は、運転上の制限を満足していないとはみなさない。) ・格納容器再循環サンプ水位(広域)が1チャンネル動作可能であること ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)が1チャンネル動作可能であること ・原子炉下部キャビティ水位が1チャンネル動作可能であること ・格納容器水位が1チャンネル動作可能であること ・燃料取替用水タンク水位が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・補助給水タンク水位が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・格納容器スプレイラインB積算流量が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・格納容器スプレイライン積算流量(AM)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ)	・格納容器再循環サンプ水位(広域)検出, 伝送ライン ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)検出, 伝送ライン ・原子炉下部キャビティ水位検出, 伝送ライン ・格納容器水位検出, 伝送ライン ・燃料取替用水タンク水位検出, 伝送ライン ・補助給水タンク水位検出, 伝送ライン ・格納容器スプレイラインB積算流量検出, 伝送ライン ・格納容器スプレイライン積算流量(AM)検出, 伝送ライン	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×				
			(9)原子炉格納容器内の水素濃度(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器漏えい率検査時に計器保護のため隔離している場合等は、運転上の制限を満足していないとはみなさない。) ・格納容器水素濃度が1チャンネル動作可能であること ・予備の格納容器水素濃度計測装置が動作可能であること(代替パラメータ) ・静的触媒式水素再結合装置作動温度計測装置が動作可能であること(代替パラメータ) ・イグナイタ作動温度計測装置が動作可能であること(代替パラメータ) ・格納容器内圧力(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ)	・格納容器水素濃度検出, 伝送ライン ・予備の格納容器水素濃度計測装置 ・静的触媒式水素再結合装置作動温度計測装置 ・イグナイタ作動温度計測装置 ・格納容器内圧力(広域)検出, 伝送ライン	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×			
			(10)アニュラス部の水素濃度(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器漏えい率検査時に計器保護のため隔離している場合等は、運転上の制限を満足していないとはみなさない。) ・アニュラス水素濃度(AM)が1チャンネル動作可能であること ・アニュラス水素濃度が1チャンネル動作可能であること(多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない。) ・予備のアニュラス水素濃度(AM)計測装置が動作可能であること	・アニュラス水素濃度(AM)検出, 伝送ライン ・アニュラス水素濃度検出, 伝送ライン ・予備のアニュラス水素濃度(AM)計測装置	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×			
			(11)原子炉格納容器内の放射線量率(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器漏えい率検査時に計器保護のため隔離している場合等は、運転上の制限を満足していないとはみなさない。) ・格納容器高レンジエリアモニタ(高レンジ)が1チャンネル動作可能であること ・格納容器高レンジエリアモニタ(低レンジ)が1チャンネル動作可能であること ・格納容器入口エリアモニタが1チャンネル動作可能であること(多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない。) ・炉内核計装区域エリアモニタが1チャンネル動作可能であること(多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない。) ・格納容器じんあいモニタが1チャンネル動作可能であること(多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない。) ・格納容器ガスモニタが1チャンネル動作可能であること(多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない。)	・格納容器高レンジエリアモニタ(高レンジ)検出, 伝送ライン ・格納容器高レンジエリアモニタ(低レンジ)検出, 伝送ライン ・格納容器入口エリアモニタ検出, 伝送ライン ・炉内核計装区域エリアモニタ検出, 伝送ライン ・格納容器じんあいモニタ検出, 伝送ライン ・格納容器ガスモニタ検出, 伝送ライン	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		

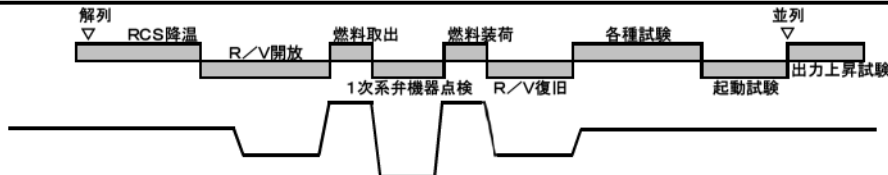
伊方発電所第3号機 第14回 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程				解列 ▽ RCS降温 R/V開放 燃料取出 燃料装荷 各種試験 並列 ▽ 1次系弁機器点検 R/V復旧 起動試験 出力上昇試験																
RCS水位		キャビティ満水																		
		RCS満水																		
		ミッドループ																		
		RCS全ブロー																		
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モト'外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3	
重大事故等対応設備	第84条 (表84-16-1) 計装設備	モード3, 4, 5および6	(12)未臨界の維持または監視(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器漏えい率検査時に計器保護のため隔離している場合等は、運転上の制限を満足していないとはみなさない。) ・線源領域中性子束が1チャンネル動作可能であること ・線源領域中性子束起動率が1チャンネル動作可能であること(多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない。) ・ほう酸タンク水位が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・線源領域中性子束が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ)(P-6以上において、線源領域中性子束は電源切となるが運転上の制限を満足していないとはみなさない。)	・線源領域中性子束検出、伝送ライン ・線源領域中性子束起動率検出、伝送ライン ・ほう酸タンク水位 ・線源領域中性子束	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	
			(13)最終ヒートシンクの確保(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器漏えい率検査時に計器保護のため隔離している場合等は、運転上の制限を満足していないとはみなさない。) ・格納容器内圧力(広域)が1チャンネル動作可能であること ・原子炉補機冷却水サージタンク水位が1チャンネル動作可能であること ・格納容器再循環ユニット入口温度および格納容器再循環ユニット出口温度が1チャンネル動作可能であること ・主蒸気ライン圧力が1チャンネル動作可能であること ・蒸気発生器狭域水位が1チャンネル動作可能であること ・蒸気発生器広域水位が1チャンネル動作可能であること ・補助給水ライン流量が1チャンネル動作可能であること ・主蒸気ライン流量が1チャンネル動作可能であること(多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない。) ・原子炉補機冷却水サージタンク広域圧力が1チャンネル動作可能であること(多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない) ・格納容器再循環ユニットA、B冷却水流量が1チャンネル動作可能であること(多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない) ・格納容器内圧力(AM)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・格納容器内温度が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・1次冷却材低温側温度(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・1次冷却材高温側温度(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ)	・格納容器内圧力(広域)検出、伝送ライン ・原子炉補機冷却水サージタンク水位検出、伝送ライン ・原子炉補機冷却水サージタンク広域圧力検出、伝送ライン ・格納容器再循環ユニットA、B冷却水流量検出、伝送ライン ・格納容器再循環ユニット入口温度および格納容器再循環ユニット出口温度検出、伝送ライン ・主蒸気ライン圧力検出、伝送ライン ・蒸気発生器狭域水位検出、伝送ライン ・蒸気発生器広域水位検出、伝送ライン ・補助給水ライン流量検出、伝送ライン ・主蒸気ライン流量検出、伝送ライン ・格納容器内圧力(AM)検出、伝送ライン ・格納容器内温度検出、伝送ライン ・原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力検出、伝送ライン ・1次冷却材低温側温度(広域)検出、伝送ライン ・1次冷却材高温側温度(広域)検出、伝送ライン	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	
			(14)格納容器バイパスの監視(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器漏えい率検査時に計器保護のため隔離している場合等は、運転上の制限を満足していないとはみなさない。) ・蒸気発生器狭域水位が1チャンネル動作可能であること ・主蒸気ライン圧力が1チャンネル動作可能であること ・1次冷却材圧力が1チャンネル動作可能であること ・補助建屋排気筒ガスモニタが1チャンネル動作可能であること(多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない。) ・補助建屋サンプタンク水位が1チャンネル動作可能であること(多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない。) ・余熱除去ポンプ出口圧力が1チャンネル動作可能であること(多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない。) ・蒸気発生器広域水位が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・補助給水ライン流量が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・格納容器再循環サンプ水位(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・1次冷却材高温側温度(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・1次冷却材低温側温度(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・加圧器水位が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ)	・蒸気発生器狭域水位検出、伝送ライン ・主蒸気ライン圧力検出、伝送ライン ・1次冷却材圧力検出、伝送ライン ・補助建屋排気筒ガスモニタ検出、伝送ライン ・補助建屋サンプタンク水位検出、伝送ライン ・余熱除去ポンプ出口圧力検出、伝送ライン ・蒸気発生器広域水位検出、伝送ライン ・補助給水ライン流量検出、伝送ライン ・格納容器再循環サンプ水位(広域)検出、伝送ライン ・1次冷却材高温側温度(広域)検出、伝送ライン ・1次冷却材低温側温度(広域)検出、伝送ライン ・加圧器水位検出、伝送ライン	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×

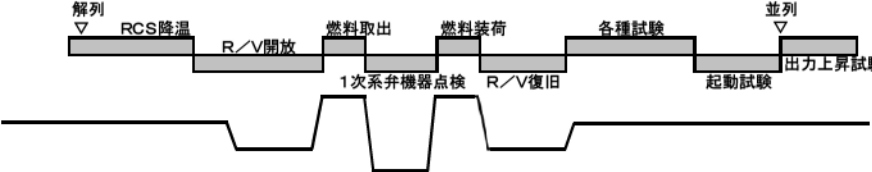
伊方発電所第3号機 第14回 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程				解列 ▽ RCS降温 R/V開放 燃料取出 燃料装荷 各種試験 並列 ▽ 1次系弁機器点検 R/V復旧 起動試験 出力上昇試験																							
RCS水位		キャビティ満水																									
		RCS満水																									
		ミッドループ																									
		RCS全ブロー																									
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モト'外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3								
重大事故等対処設備	第84条 (表84-16-1) 計装設備	モード3, 4, 5および6	(15)水源の確保(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器漏えい率検査時に計器保護のため隔離している場合等は、運転上の制限を満足していないとはみなさない。) ・燃料取替用水タンク水位が1チャンネル動作可能であること ・補助給水タンク水位が1チャンネル動作可能であること ・ほう酸タンク水位が1チャンネル動作可能であること ・格納容器再循環サンプ水位(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・格納容器スプレイラインB積算流量が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・高圧注入ライン流量が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・余熱除去ループ流量が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・代替格納容器スプレイライン積算流量(AM)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・補助給水ライン流量が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・出力領域中性子束が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・中間領域中性子束が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・線源領域中性子束が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ)(P-6以上において、線源領域中性子束は電源切となるが運転上の制限を満足していないとはみなさない)	・燃料取替用水タンク水位検出、伝送ライン ・補助給水タンク水位検出、伝送ライン ・ほう酸タンク水位検出、伝送ライン ・格納容器再循環サンプ水位(広域)検出、伝送ライン ・格納容器スプレイラインB積算流量検出、伝送ライン ・高圧注入ライン流量検出、伝送ライン ・余熱除去ループ流量検出、伝送ライン ・代替格納容器スプレイライン積算流量(AM)検出、伝送ライン ・補助給水ライン流量検出、伝送ライン ・出力領域中性子束検出、伝送ライン ・中間領域中性子束検出、伝送ライン ・線源領域中性子束検出、伝送ライン	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×								
		モード3および4	(1)格納容器バイパスの監視(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器漏えい率検査時に計器保護のため隔離している場合等は、運転上の制限を満足していないとはみなさない。) ・復水器排気ガスモニタが1チャンネル動作可能であること(多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない) ・蒸気発生器ブローダウン水モニタが1チャンネル動作可能であること(多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない) ・高感度型主蒸気管モニタが1チャンネル動作可能であること(多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない) ・蒸気発生器狭域水位が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・主蒸気ライン圧力が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ)	・復水器排気ガスモニタ検出、伝送ライン ・蒸気発生器ブローダウン水モニタ検出、伝送ライン ・高感度型主蒸気管モニタ検出、伝送ライン ・蒸気発生器狭域水位検出、伝送ライン ・主蒸気ライン圧力検出、伝送ライン	×	×											×		×	×							
		モード5および6	(1)原子炉容器内の水位(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器漏えい率検査時に計器保護のため隔離している場合等は、運転上の制限を満足していないとはみなさない。) ・R/Vフランジ面下水位(RCSノズルセンター水位)(多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない) ・1次冷却材高温側温度(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・1次冷却材低温側温度(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ)	・RCS水位計 ・1次冷却材高温側温度(広域)検出、伝送ライン ・1次冷却材低温側温度(広域)検出、伝送ライン				×	×	×	×		×	×	×	×		×									
	第84条 (表84-16-2) 可搬型計測器	モード3, 4, 5および6	・可搬型計測器が35台動作可能であること	・可搬型計測器	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×								
	第84条 (表84-16-3) 記録設備	モード3, 4, 5および6	・可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット入口/出口用)が1式動作可能であること ・SPDS表示端末が1台動作可能であること ・安全パラメータ表示システムが1系列動作可能であること	・可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット入口/出口用) ・SPDS表示端末 ・安全パラメータ表示システム	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×								
	第84条 (表84-17-1) 中央制御室居住性の確保および汚染の持ち込み防止	モード3, 4, 5, 6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・中央制御室非常用循環系1系統以上が動作可能であること(動作可能とは、ファンが手動起動(系統構成含む)できること、または運転中であることをいう。) ・中央制御室用可搬型照明、酸素濃度計および二酸化炭素濃度計の所要数が使用可能であること	・中央制御室非常用給気ファン ・中央制御室空調ファン ・中央制御室再循環ファン ・中央制御室非常用給気フィルタユニット ・中央制御室用可搬型照明 ・酸素濃度計 ・二酸化炭素濃度計 ・空冷式非常用発電装置	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×								

伊方発電所第3号機 第14回 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程																				
RCS水位																				
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モト'外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3	
重大事故等対応設備	第84条 (表84-18-1) 監視測定設備	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	(1)放射線物質の濃度および放射線量の測定 ・可搬型代替モニタが5個動作可能であること ・可搬型モニタが5個動作可能であること ・可搬型ダストサンブラが1個動作可能であること ・GM汚染サーベイメータが1個動作可能であること ・NaIシンチレーションサーベイメータが1個動作可能であること ・ZnSシンチレーションサーベイメータが1個動作可能であること ・電離箱サーベイメータが1個動作可能であること ・小型船舶が使用可能であること	・可搬型代替モニタ ・可搬型モニタ ・可搬型ダストサンブラ ・GM汚染サーベイメータ ・NaIシンチレーションサーベイメータ ・ZnSシンチレーションサーベイメータ ・電離箱サーベイメータ ・小型船舶	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
			(2)風向、風速その他の気象条件の測定 ・可搬型気象観測設備が1個動作可能であること	・可搬型気象観測設備	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	第84条 (表84-19-1) 緊急時対策所代替交流電源からの給電	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	緊急時対策所用発電機が2台動作可能であること	・緊急時対策所用発電機 ・軽油タンク ・ミニローリー	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	第84条 (表84-19-2) 緊急時対策所居住性の確保	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・緊急時対策所空気浄化系1系統以上が動作可能であること(1系統とは、緊急時対策所空気浄化ファン1台および緊急時対策所空気浄化フィルタユニット1基をいう。) ・緊急時対策所加圧装置(空気ポンプ)の所要数が使用可能であること ・酸素濃度計および二酸化炭素濃度計の所要数が使用可能であること ・緊急時対策所エリアモニタの所要数が動作可能であること	・緊急時対策所空気浄化ファン ・緊急時対策所空気浄化フィルタユニット ・緊急時対策所加圧装置(空気ポンプ) ・酸素濃度計 ・二酸化炭素濃度計 ・緊急時対策所エリアモニタ ・可搬型代替モニタ ・加圧判断に使用する可搬型モニタ ・可搬型気象観測設備のうち風向風速計	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	第84条 (表84-20-1) 通信連絡を行うために必要な設備通信連絡	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・衛星電話設備が12台動作可能であること(12台は固定型4台および可搬型8台をいう。) ・無線通信設備が4台動作可能であること ・緊急時月携帯型通話設備が13台動作可能であること ・SPDS表示端末が1台動作可能であること ・安全パラメータ表示システムが1系列動作可能であること((安全パラメータ表示システムについては、A系またはB系のいずれかにより有線系、無線系または衛星系回線で所内および所外へ伝送可能であることをいう。)) ・テレビ会議システムが1系列動作可能であること(統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備については、テレビ会議システム、IP-電話、IP-ファックスのいずれかにより通信可能であることをいう。) ・IP-電話が1系列動作可能であること(統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備については、テレビ会議システム、IP-電話、IP-ファックスのいずれかにより通信可能であることをいう。) ・IP-ファックスが1系列動作可能であること(統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備については、テレビ会議システム、IP-電話、IP-ファックスのいずれかにより通信可能であることをいう。))	・衛星電話設備 ・無線通信設備 ・緊急時月携帯型通話設備 ・SPDS表示端末 ・安全パラメータ表示システム ・テレビ会議システム ・IP-電話 ・IP-ファックス	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

伊方発電所第3号機 第14回 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程				解列 ▽ RCS降温 R/V開放 燃料取出 燃料装荷 各種試験 並列 ▽ 出力上昇試験 1次系弁機器点検 R/V復旧 起動試験 																
RCS水位		キャビティ満水																		
		RCS満水																		
		ミッドループ																		
		RCS全ブロー																		
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード'外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3	
重大事故等対応設備	第84条 (表84-21-1) 中型ポンプ車	モード3、4、5および6	・中型ポンプ車が6台動作可能であること	・中型ポンプ車	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×		
		モード3、4、5および6以外で使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・中型ポンプ車が2台動作可能であること	・中型ポンプ車							×									
	第84条 (表84-22-1) アクセスルートの確保	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・ホイールローダが2台動作可能であること	・ホイールローダ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	第84条 (表84-22-2) インターフェイスシステムLOCA時の1次冷却材の拡散防止	モード3	・ISLOCA床ドレン配管が使用可能であること(余熱除去冷却器室目皿～余熱除去ポンプ室漏えい検知ビット、格納容器スプレイ冷却器目皿および安全補機配管室(EL 3.3m)目皿～格納容器スプレイポンプ室漏えい検知ビットまでのドレン配管)	・余熱除去冷却器室目皿 ・格納容器スプレイ冷却器室目皿 ・安全補機配管室目皿	×													×		
	定期事業者検査以外の安全上重要な保守点検活動				該当なし															

本計画は安全確保の方法の基本方針を示すものであり、作業工程等の変更により計画の変更が生じる可能性があるが、仮に変更が生じた場合においても、保安規定の遵守を徹底し安全確保に努めるものとする。

計画期間中における点検の実施状況等

「伊方発電所第 3 号機 点検計画（第 1 4 保全サイクル）」

点検計画の記載について

1. 点検計画については以下の方針に従い記載している。

(1) 記載している設備について

点検計画には発電所設備の主要機器として以下の設備を対象に記載している。

①核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の14第1項に規定する技術基準が適用される設備

a. 定期事業者検査の対象となる設備

b. 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則別表第2において工事計画書に記載が要求されている設備

なお、工事計画書において仕様が記載されていない設備については、日常の管理の中で健全性が確認でき、かつ、取替が可能な下記のものについて除外する。

(a) 防保護具、現地操作時に用いる工具類、固縛用ナイロンスリング類

(b) 一般消耗品（電池類他）

(c) 一般産業品（可搬型照明、電話・ファックス他）

②保全の重要度が高い設備

(2) 記載している点検について

点検計画には上記設備の主要な点検として以下を記載している。

- ・定期事業者検査に係る点検
- ・施設定期検査の都度性能維持のための措置を伴う点検
- ・施設定期検査対象機器に係る点検のうち定期事業者検査に係る点検の実施頻度より短い実施頻度で行う性能維持のための措置を伴う点検
- ・記載対象設備において上記に該当する点検がない設備については主要な点検

上記以外の点検（主要機器の上記条件以外の点検や附帯設備^{※1}の点検等）については、「伊方発電所保守内規」に定めている。

※1 附帯設備の例

潤滑油、潤滑水、シール水、冷却設備、電源、制御回路、オリフィス、レデューサ、サイトグラス等

(3) 保全の重要度について

機器レベルの保全の重要度は、「伊方発電所保守内規」により定義されている G1～G5 の5段階で表記する。5段階のうち、G1、G2、G3 は、保全重要度「高」、また、G4、G5 は、保全重要度「低」として取り扱うこととする。

ただし、構築物の保全の重要度については、系統レベルの影響度評価結果に基づき、「高」又は「低」と記載している。

なお、保全重要度「高」の設備については保全方式として予防保全（時間基準保全、状態基準保全）を選定し、事後保全は選定していない。

(4) 保全方式について

保全方式について以下のとおり記載している。

- ・時間基準保全を採用しているもの：点検頻度
- ・状態基準保全を採用しているもの：CBM
- ・事後保全を採用しているもの：BDM

なお、休止設備については使用時に保全方式を決定するため「－」と表示している。

(5) 点検頻度について

次の整理により「C」：保全サイクル、「M」：月、「Y」：年、「YP」：年、「B」：状態監視の結果で表記している。

- ・施設定期検査中に実施する性能維持のための措置を伴う点検及びそれに伴い実施する点検については、「M」又は「YP」により表記している。
なお、「M」により表示された頻度は、原子炉の運転期間（総合負荷性能検査～解列）に対応した値を示している。
- ・「供用期間中検査」や「蒸気タービン開放検査」のように施設定期検査中に実施するもので年度管理するものについては、「YP」により表記している。
- ・換気空調設備のようにプラント運転中に点検を実施するもので年度管理するものについては、「Y」により表記している。
- ・施設定期検査中に実施する性能維持のための措置を伴わない点検については、「C」※2により表記している。
また、「燃料取扱設備検査」のようにプラント運転中に実施しているものでも施設定期検査に合わせて実施しているものは「C」により表示している。
- ・このほか肉厚管理指針に従い管理する肉厚測定は、検査箇所ごとの管理となるため、本表では、“2次系配管肉厚検査計画による”と表記している。
- ・状態監視の結果実施した機器の分解点検等の後に実施する機能・性能試験については、「B」により表記している。

※2：「C」により表記している「機能・性能試験」、「漏えい試験」、「外観点検」等は、性能維持のための措置を予定していない点検であり、劣化進展がごく軽微なため、分解・開放点検やプラント施設定期検査停止時期に合わせた実施管理が適しているものを対象としている。

(6) 点検時期について

時間基準保全の点検については、“定検起動後”、“プラント運転中”の表現により、備考欄に実施時期を記載している。

なお、これらの記載のないものについては、定検停止中に実施することとしている。

(7) 状態監視方法の記載について

- ・保全方式として状態基準保全を用いる機器については、経年劣化事象等による劣化の有無・劣化の傾向を監視する方法（状態監視技術、定例試験、巡視点検等）並びにその頻度を備考欄に記載している。
- ・保全方式として時間基準保全を採用している機器については、保全をより充実する観点で採用している状態監視技術について方法・頻度を備考欄に記載している。
- ・状態監視の結果に基づき分解点検の実施時期を定め、分解点検に合わせて機能・性能試験を定期事業者検査として実施する場合については、技術基準適合判断を伴う状態監視の頻度を一定の期間として扱い、機能・性能試験の頻度を「B」により表記している。

(8) 今回の実施計画について

第14保全サイクル中に点検を計画するものに「○」を記載している。

なお、複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目にあっては、本保全サイクル中に1つでも点検の計画があれば「○」としている。

(9) 前回実施時期について

当該点検の前回実績（実施時期）を記載。

なお、複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目にあっては、最新実績を記載している。

目 次

1. 点検計画 設計基準事故対処設備等

機器又は系統名	ページ
原子炉本体 [炉心]	参考1-6
原子炉本体 [原子炉容器]	参考1-6
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取扱設備]	参考1-6
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料貯蔵設備]	参考1-7
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]	参考1-7
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取替用水設備]	参考1-8
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	参考1-9
原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備]	参考1-11
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備]	参考1-15
原子炉冷却系統施設 [燃料取替用水設備]	参考1-20
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	参考1-20
原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備]	参考1-26
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備]	参考1-27
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備]	参考1-28
原子炉冷却系統施設 [原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置]	参考1-30
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸]	参考1-30
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁]	参考1-30
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [復水器]	参考1-32
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する熱交換器]	参考1-33
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水处理設備]	参考1-35
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する管等]	参考1-37

機器又は系統名	ページ
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [その他設備]	参考1-38
計測制御系統施設 [制御材]	参考1-40
計測制御系統施設 [制御棒駆動装置]	参考1-40
計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備]	参考1-40
計測制御系統施設 [制御用空気設備]	参考1-41
計測制御系統施設 [その他設備]	参考1-42
計測制御系統施設 [発電用原子炉の運転を管理するための制御装置]	参考1-43
放射性廃棄物の廃棄施設 [気体、液体、又は固体廃棄物貯蔵設備]	参考1-43
放射性廃棄物の廃棄施設 [気体、液体、又は固体廃棄物処理設備]	参考1-43
放射性廃棄物の廃棄施設 [原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置]	参考1-48
放射線管理施設 [放射線管理用計測装置]	参考1-48
放射線管理施設 [換気設備]	参考1-48
原子炉格納施設 [原子炉格納容器]	参考1-55
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	参考1-63
原子炉施設 [その他設備]	参考1-68
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) [非常用発電装置]	参考1-69
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) [その他の電源装置]	参考1-70
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) [その他機器]	参考1-70
その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) [発電機]	参考1-71
その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) [変圧器]	参考1-71

機器又は系統名	ページ
その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) [しゃ断器]	参考1-71
その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) [その他機器]	参考1-71
その他発電用原子炉の附属施設 (補助ボイラー) [補助ボイラー]	参考1-71
その他発電用原子炉の附属施設 (補助ボイラー) [補助ボイラーに属する燃料燃烧設備]	参考1-71
その他発電用原子炉の附属施設 (火災防護設備) [消火設備]	参考1-72
その他発電用原子炉の附属施設 (火災防護設備) [その他設備]	参考1-72
その他発電用原子炉の附属施設 (浸水防護施設) [外郭浸水防護設備] [内郭浸水防護設備]	参考1-72
その他発電用原子炉の附属施設 (浸水防護施設) [その他設備]	参考1-73
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用取水設備) [取水設備]	参考1-73
その他発電用原子炉の附属施設 (緊急時対策所)	参考1-73
竜巻防護対策設備	参考1-73
土木建築設備	参考1-74
プラント総合	参考1-74
全般機器	参考1-74

2. 点検計画 重大事故等対処設備

機器又は系統名	ページ
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料貯蔵設備]	参考1-75
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]	参考1-75
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [その他設備]	参考1-76
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	参考1-76
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備]	参考1-76
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備]	参考1-77
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する管等]	参考1-77

機器又は系統名	ページ
計測制御系統施設 [計測装置]	参考1-77
計測制御系統施設 [工学的安全施設等の作動信号]	参考1-78
計測制御系統施設 [制御用空気設備]	参考1-78
計測制御系統施設 [その他設備]	参考1-78
放射線管理施設 [放射線管理用計測装置]	参考1-79
放射線管理施設 [換気設備]	参考1-79
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	参考1-81
原子炉格納施設 [その他設備]	参考1-82
原子炉施設 [その他設備]	参考1-82
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) [非常用発電装置]	参考1-82
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) [その他の電源装置]	参考1-85
その他発電用原子炉の附属施設 (浸水防護施設) [内郭浸水防護設備]	参考1-86
その他発電用原子炉の附属施設 (緊急時対策所)	参考1-86
全般機器	参考1-87

3. 点検計画 1, 2, 3号機共用設備

機器又は系統名	ページ
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [その他設備]	参考1-88
放射性廃棄物の廃棄施設 [気体、液体、又は固体廃棄物貯蔵設備]	参考1-88
放射性廃棄物の廃棄施設 [気体、液体、又は固体廃棄物処理設備]	参考1-88
放射線管理施設 [放射線管理用計測装置]	参考1-88
放射線管理施設 [換気設備]	参考1-89
その他発電用原子炉の附属施設 [電気設備]	参考1-92
その他発電用原子炉の附属施設 (火災防護設備) [消火設備]	参考1-93

4. 行政指導文書の点検指示による点検

機器又は系統名	ページ
原子炉本体 [炉心]	参考1-94

1.点検計画 設計基準事故対処設備等

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
原子炉本体 [炉心]	照射済燃料集合体 ※1一式	外観点検	G3	1C	○	13回	2 燃料集合体外観検査	※1 炉心設計による ※2 燃料集合体の不具合により 計画
		外観点検		1C	○	13回	700 燃料集合体外観検査 ※2	
	照射済燃料集合体(取出し燃料) ※一式	外観点検	G3	1C	○	13回	81 燃料集合体外観検査(取出し燃料)	※炉心設計による
	1.燃料集合体 157体 2.内挿物 48体 (1)制御棒クラスター ※一式 (2)バーナブルボイスン ※一式 (3)ブランキングデバイス ※一式 (4)2次中性子源 ※一式	外観点検	G3	1C	○	13回	3 燃料集合体炉内配置検査	※炉心設計による
	原子炉本体のうち炉心	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	4 原子炉停止余裕検査	定検起動後
		機能・性能試験		1C	○	13回	80 炉物理検査	定検起動後
原子炉本体 [原子炉容器]	原子炉容器	開放点検	G1	13M	○	13回		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取扱設備]	燃料取替クレーン3号 1台	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	36 燃料取扱装置機能検査	(油分析:2C)
		機能・性能試験	G3	1C	○	13回	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	
		簡易点検(点検手入れ)	G3	1C	○	13回		
	使用済燃料ピットクレーン3号 1台	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	36 燃料取扱装置機能検査	
		機能・性能試験	G3	1C	○	13回	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	プラント運転中
		簡易点検(点検手入れ)	G3	1Y	○	2016年		プラント運転中
	燃料取扱棟クレーン3号 1台	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	74 燃料取扱設備検査	プラント運転中
		機能・性能試験	G3	1C	○	13回	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	プラント運転中
		簡易点検(点検手入れ)	G3	1Y	○	2016年		プラント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	燃料移送装置(FH/B側) 1台	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	36 燃料取扱装置機能検査	(油分析:2C)
		機能・性能試験	G3	1C	○	13回	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック 試験等)	プラント運転中
		簡易点検(点検手入れ)	G3	1C	○	13回		プラント運転中
	燃料移送装置(C/V側) 1台	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	36 燃料取扱装置機能検査	(油分析:2C)
		機能・性能試験	G3	1C	○	13回	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック 試験等)	
		簡易点検(点検手入れ)	G3	1C	○	13回		
	新燃料エレベータ 1台	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	74 燃料取扱設備検査	プラント運転中 (油分析:2C)
		機能・性能試験	G3	1C	○	13回	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック 試験等)	プラント運転中
		簡易点検(点検手入れ)	G3	1C	○	13回		プラント運転中
	燃料仮置ラック	外観点検	G3	1C	○	13回	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック 試験等)	
	新燃料取扱工具 1台	外観点検	G3	1C	○	13回	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック 試験等)	プラント運転中
	新制御棒クラスタ取扱工具 1台	機能・性能試験	G3	1C	○	13回		プラント運転中
	使用済燃料取扱工具 3台	外観点検	G3	1C	○	13回	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック 試験等)	一部プラント運転中
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取扱設備] その他機器 一式	機能・性能試験 他	G3	1C	○	13回		一部プラント運転中 有効性評価No.13の反映
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料貯蔵設備]	新燃料貯蔵庫(ラック)	外観点検	G3	1C	○	13回		プラント運転中
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [使用済燃料貯蔵槽冷却 浄化設備]	使用済燃料ピット浄化冷却設備	機能・性能試験	G3,G4	1C	○	13回	75 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能 検査	前回は,75 使用済燃料ピット関係 設備機能検査として実施
	使用済燃料ピットポンプ3A	分解点検	G3	130M	—	13回		(振動診断:1M, 油分析:2C)
	使用済燃料ピットポンプ3A電動機	分解点検	G3	130M	○	8回		(振動診断:1M)
	使用済燃料ピットポンプ3B	分解点検	G3	130M	—	13回		(振動診断:1M, 油分析:2C)
	使用済燃料ピットポンプ3B電動機	分解点検	G3	130M	—	9回		(振動診断:1M)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	使用済燃料ヒート脱塩塔フィルタ3A	開放点検	G4	130M	—	9回		
	使用済燃料ヒート脱塩塔フィルタ3B	開放点検	G4	130M	—	9回		
	使用済燃料ヒート冷却器3A	開放点検	G3	195M	—	12回	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		390M	—	12回	91 1次系熱交換器検査	
	使用済燃料ヒート冷却器3B	開放点検	G3	195M	—	13回	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		390M	—	13回	91 1次系熱交換器検査	
	使用済燃料ヒート冷却器3C	開放点検	G3	130M	—	11回		
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3,G4	144M～ 180M	—	13回	84 1次系弁検査 86 1次系逆止弁検査	一部プラント運転中
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備] その他機器 一式	単体調整試験 他	G4	13M	○	13回		
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取替用水設備]	機能・性能試験	G3	10C	—	13回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:2C,赤外線診断1M) 有効性評価No.17の反映
		分解点検		130M	—	13回		
		機能・性能試験	G3	6C	○	13回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 赤外線診断:1M) 有効性評価No.17の反映
		分解点検		78M	○	13回		
		機能・性能試験	G3	10C	—	13回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:2C,赤外線診断1M) 有効性評価No.17の反映
		分解点検		130M	—	13回		
		機能・性能試験	G3	6C	—	13回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 赤外線診断:1M) 有効性評価No.17の反映
		分解点検		78M	—	13回		
		核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取替用水設備] その他の弁 一式	G3,G4	130M～ 156M	—	13回	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査	
		核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取替用水設備] その他機器 一式	G3	195M～ 390M	—	9回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設 備]	蒸気発生器3A	開放点検(1次側マンホール)	G1	26M	○	12回		
		増締め(1次側マンホール)		13M	○	13回		
		非破壊試験		26M	○	12回	6 蒸気発生器伝熱管体積検査	伝熱管数:3,382本
		開放点検(2次側マンホール)		65M	○	9回		
		開放点検(2次側ハントホール)		39M	—	12回		
	蒸気発生器3B	開放点検(1次側マンホール)	G1	26M	—	13回		
		増締め(1次側マンホール)		13M	○	13回		
		非破壊試験		26M	—	13回	6 蒸気発生器伝熱管体積検査	伝熱管数:3,382本
		開放点検(2次側マンホール)		65M	○	9回		
		開放点検(2次側ハントホール)		39M	—	13回		
	蒸気発生器3C	開放点検(1次側マンホール)	G1	26M	—	13回		
		増締め(1次側マンホール)		13M	○	13回		
		非破壊試験		26M	—	13回	6 蒸気発生器伝熱管体積検査	伝熱管数:3,382本
		開放点検(2次側マンホール)		65M	○	9回		
		開放点検(2次側ハントホール)		39M	—	13回		
	加圧器安全弁3A 3V-RC-055	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	8 加圧器安全弁機能検査	
		分解点検		13M	○	13回	10 加圧器安全弁分解検査	
		漏えい試験		1C	○	13回	9 加圧器安全弁漏えい検査	
	加圧器安全弁3B 3V-RC-056	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	8 加圧器安全弁機能検査	
		分解点検		13M	○	13回	10 加圧器安全弁分解検査	
		漏えい試験		1C	○	13回	9 加圧器安全弁漏えい検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	加圧器安全弁3C 3V-RC-057	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	8 加圧器安全弁機能検査	
		分解点検		13M	○	13回	10 加圧器安全弁分解検査	
		漏えい試験		1C	○	13回	9 加圧器安全弁漏えい検査	
	加圧器逃がし弁3A 3PCV-452A	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	11 加圧器逃がし弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		26M	—	13回	13 加圧器逃がし弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		26M	—	13回		
		漏えい試験		1C	○	13回	12 加圧器逃がし弁漏えい検査	
	加圧器逃がし弁3B 3PCV-452B	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	11 加圧器逃がし弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		26M	○	13回	13 加圧器逃がし弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		26M	○	13回		
		漏えい試験		1C	○	13回	12 加圧器逃がし弁漏えい検査	
	加圧器逃がし元弁3A 3V-RC-054A	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	14 加圧器逃がし元弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		130M	—	12回		
		分解点検(駆動部)		130M	—	7回		
		分解点検(電動機)		195M	—	7回		
	加圧器逃がし元弁3B 3V-RC-054B	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	14 加圧器逃がし元弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		130M	—	13回		
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回		
		分解点検(電動機)		195M	—	3回		
	1次冷却材ポンプ3A	機能・性能試験	G1	1C	○	13回	92 1次冷却材ポンプ機能検査	一部定検起動後
		分解点検		130M	—	7回		
		軸封部点検		13M	○	13回	90 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	1次冷却材ポンプ3A電動機	分解点検	G1	39M	—	13回		(振動診断:1M、1C, 油分析:1C)
		非破壊試験(フライホイール)		130M	—	13回		
	1次冷却材ポンプ3B	機能・性能試験	G1	1C	○	13回	92 1次冷却材ポンプ機能検査	一部定検起動後
		分解点検		10YP	—	13回		
		軸封部点検		13M	○	13回	90 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	
	1次冷却材ポンプ3B電動機	分解点検	G1	39M	○	11回		(振動診断:1M、1C, 油分析:1C)
		非破壊試験(フライホイール)		130M	○	8回		
	1次冷却材ポンプ3C	機能・性能試験	G1	1C	○	13回	92 1次冷却材ポンプ機能検査	一部定検起動後
		分解点検		130M	—	7回		
		軸封部点検		13M	○	13回	90 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	
	1次冷却材ポンプ3C電動機	分解点検	G1	39M	—	12回		(振動診断:1M、1C, 油分析:1C)
		非破壊試験(フライホイール)		130M	—	9回		
	加圧器3号	開放点検	G3	39M	○	12回		
		マンホール増締め		13M	○	13回		
	原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3	13M～ 156M	○	13回	84 1次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備] その他機器 一式	分解点検 他	G1～G3	13M～ 325M	○	13回	34 安全保護系設定値確認検査 35 プラント状態監視設備機能検査	
原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備]	主蒸気安全弁3A1 3V-MS-521A	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	○	13回		
		漏えい試験		2C	○	13回	26 主蒸気安全弁漏えい検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	主蒸気安全弁3B1 3V-MS-521B	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	—	13回		
		漏えい試験		2C	—	13回	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
	主蒸気安全弁3C1 3V-MS-521C	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	—	13回		
		漏えい試験		2C	—	13回	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
	主蒸気安全弁3A2 3V-MS-522A	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	○	13回		
		漏えい試験		2C	○	13回	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
	主蒸気安全弁3B2 3V-MS-522B	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	—	13回		
		漏えい試験		2C	—	13回	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
	主蒸気安全弁3C2 3V-MS-522C	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	—	13回		
		漏えい試験		2C	—	13回	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
	主蒸気安全弁3A3 3V-MS-523A	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	○	13回		
		漏えい試験		2C	○	13回	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
	主蒸気安全弁3B3 3V-MS-523B	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	—	13回		
		漏えい試験		2C	—	13回	26 主蒸気安全弁漏えい検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	主蒸気安全弁3C3 3V-MS-523C	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	—	13回		
		漏えい試験		2C	—	13回	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
	主蒸気安全弁3A4 3V-MS-524A	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	○	13回		
		漏えい試験		2C	○	13回	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
	主蒸気安全弁3B4 3V-MS-524B	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	—	13回		
		漏えい試験		2C	—	13回	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
	主蒸気安全弁3C4 3V-MS-524C	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	—	13回		
		漏えい試験		2C	—	13回	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
	主蒸気安全弁3A5 3V-MS-525A	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	○	13回		
		漏えい試験		2C	○	13回	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
	主蒸気安全弁3B5 3V-MS-525B	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	—	13回		
		漏えい試験		2C	—	13回	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
	主蒸気安全弁3C5 3V-MS-525C	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	—	13回		
		漏えい試験		2C	—	13回	26 主蒸気安全弁漏えい検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	主蒸気逃がし弁3A 3PCV-465	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	27 主蒸気逃がし弁機能検査 148 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査	148 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査は、13回定検より検査追加
		分解点検(弁本体)		13M	○	13回	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		52M	—	13回		
		漏えい試験		1C	○	13回	28 主蒸気逃がし弁漏えい検査	
	主蒸気逃がし弁3B 3PCV-475	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	27 主蒸気逃がし弁機能検査 148 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査	148 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査は、13回定検より検査追加
		分解点検(弁本体)		13M	○	13回	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		52M	—	13回		
		漏えい試験		1C	○	13回	28 主蒸気逃がし弁漏えい検査	
	主蒸気逃がし弁3C 3PCV-485	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	27 主蒸気逃がし弁機能検査 148 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査	148 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査は、13回定検より検査追加
		分解点検(弁本体)		13M	○	13回	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		52M	—	13回		
		漏えい試験		1C	○	13回	28 主蒸気逃がし弁漏えい検査	
	主蒸気隔離弁3A 3V-MS-528A	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	29 主蒸気隔離弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		26M	○	13回	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		26M	○	13回		
	主蒸気隔離弁3B 3V-MS-528B	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	29 主蒸気隔離弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		26M	○	13回	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		26M	○	13回		
	主蒸気隔離弁3C 3V-MS-528C	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	29 主蒸気隔離弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		26M	—	13回	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		26M	○	13回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3	13M～ 195M	○	13回	122 2次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備] その他機器 一式	単体調整試験 他	G2	13M	○	13回		
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備]	余熱除去ポンプ3A	機能・性能試験	G3	10C	—	11回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:2C,赤外線診断1C) 有効性評価No.18の反映
		分解点検		130M	—	11回	19 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 (低圧注入系ポンプ) 145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	145 その他原子炉注水系ポンプ 分解検査は,13回定検より検査追加
	余熱除去ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G3	12C	○	—	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:1C, 赤外線診断:1C) 有効性評価No.18の反映
		分解点検		156M	○	7回		
		潤滑油入替		26M	○	13回		
	余熱除去ポンプ3B	機能・性能試験	G3	10C	○	8回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:2C,赤外線診断1C) 有効性評価No.18の反映
		分解点検		130M	○	8回	19 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 (低圧注入系ポンプ) 145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	145 その他原子炉注水系ポンプ 分解検査は,13回定検より検査追加
	余熱除去ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G3	12C	—	12回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:1C, 赤外線診断:1C) 有効性評価No.18の反映
		分解点検		156M	—	12回		
		潤滑油入替		26M	○	13回		
	ループ3C余熱除去系第2入口弁 3V-RH-002A	分解点検(弁本体)	G3	130M	—	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追加
		分解点検(駆動部)		130M	—	9回		
		分解点検(電動機)		195M	—	7回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	ループ3B余熱除去系第2入口弁 3V-RH-002B	分解点検(弁本体)	G3	130M	—	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低压注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
		分解点検(駆動部)		130M	—	7回		
		分解点検(電動機)		195M	—	8回		
	余熱除去ポンプ3A再循環サブ.RWST側入 口弁 3V-RH-024A	機能・性能試験	G3	10C,15C	—	13回	84 1次系弁検査	弁本体, 電動機の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	—	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低压注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回		
		分解点検(電動機)		195M	—	6回		
	余熱除去ポンプ3B再循環サブ.RWST側入 口弁 3V-RH-024B	機能・性能試験	G3	10C,15C	—	13回	84 1次系弁検査	弁本体, 電動機の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	—	7回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低压注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回		
		分解点検(電動機)		195M	—	6回		
	余熱除去クーラ3A出口弁 3V-RH-040A	機能・性能試験	G3	10C,15C	—	7回	84 1次系弁検査	弁本体, 電動機の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	—	7回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低压注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
		分解点検(駆動部)		130M	—	7回		
		分解点検(電動機)		195M	—	4回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	余熱除去クーラ3B出口弁 3V-RH-040B	機能・性能試験	G3	10C,15C	—	11回	84 1次系弁検査	弁本体、電動機の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	—	11回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
		分解点検(駆動部)		130M	—	8回		
		分解点検(電動機)		195M	—	4回		
	余熱除去ラインループ3A低温側入口第2逆止弁 3V-RH-044A	分解点検	G3	78M	—	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
	余熱除去ラインループ3B低温側入口第2逆止弁 3V-RH-044B	分解点検	G3	78M	—	10回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
	余熱除去ラインループ3C低温側入口第2逆止弁 3V-RH-044C	分解点検	G3	78M	○	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
	余熱除去ラインループ3A低温側入口第1逆止弁 3V-RH-047A	分解点検	G3	39M	—	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
	余熱除去ラインループ3B低温側入口第1逆止弁 3V-RH-047B	分解点検	G3	39M	—	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
	余熱除去ラインループ3C低温側入口第1逆止弁 3V-RH-047C	分解点検	G3	39M	○	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
	余熱除去系出口連絡ライン弁3A 3V-RH-051A	分解点検(弁本体)	G3	130M	—	12回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
		分解点検(駆動部)		130M	—	9回		
		分解点検(電動機)		195M	—	8回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	余熱除去系出口連絡ライン弁3B 3V-RH-051B	分解点検(弁本体)	G3	130M	—	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回		
		分解点検(電動機)		195M	—	3回		
	余熱除去ラインループ3A高温側注入弁 3V-RH-052A	分解点検(弁本体)	G3	130M	—	12回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
		分解点検(駆動部)		130M	—	9回		
		分解点検(電動機)		195M	—	7回		
	余熱除去ラインループ3B高温側注入弁 3V-RH-052B	分解点検(弁本体)	G3	130M	—	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回		
		分解点検(電動機)		195M	—	8回		
	余熱除去ラインループ3B高温側入口逆止弁 3V-RH-053A	分解点検	G3	78M	—	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
	余熱除去ラインループ3C高温側入口逆止弁 3V-RH-053B	分解点検	G3	78M	—	12回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
	ループ3B余熱除去系第1入口弁 3PCV-420	分解点検(弁本体)	G3	130M	—	11回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
		分解点検(駆動部)		130M	—	9回		
		分解点検(電動機)		195M	—	8回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	ループ3C余熱除去系第1入口弁 3PCV-430	分解点検(弁本体)	G3	130M	—	12回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低压注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回		
		分解点検(電動機)		195M	—	8回		
	余熱除去冷却器3A出口流量調整弁 3HCV-603	機能・性能試験	G3	4C,8C	○	13回	84 1次系弁検査	弁本体, 駆動部の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		104M	—	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低压注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
		分解点検(駆動部)		52M	○	13回		
	余熱除去冷却器3B出口流量調整弁 3HCV-613	機能・性能試験	G3	4C,8C	—	13回	84 1次系弁検査	弁本体, 駆動部の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		104M	—	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低压注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
		分解点検(駆動部)		52M	—	13回		
	余熱除去ループ3A流量制御弁 3FCV-604	機能・性能試験	G3	4C,8C	—	13回	84 1次系弁検査	弁本体, 駆動部の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		104M	—	12回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低压注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
		分解点検(駆動部)		52M	—	13回		
	余熱除去ループ3B流量制御弁 3FCV-614	機能・性能試験	G3	4C,8C	—	13回	84 1次系弁検査	弁本体, 駆動部の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		104M	—	11回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低压注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
		分解点検(駆動部)		52M	○	13回		
	余熱除去冷却器3A	開放点検	G3	195M	—	13回	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		390M	—	13回	91 1次系熱交換器検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	余熱除去冷却器3B	開放点検	G3	195M	—	13回	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		390M	—	13回	91 1次系熱交換器検査	
	原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3,G4	104M～ 390M	○	13回	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査 86 1次系逆止弁検査	
	原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] その他機器 一式	単体調整試験 他	G2	13M	○	13回		
原子炉冷却系統施設 [燃料取替用水設備]	燃料取替用水タンク3号	開放点検	G3	195M	—	13回		
	原子炉冷却系統施設 [燃料取替用水設備] その他機器 一式	単体調整試験 他	G2	13M	○	13回		
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	高圧及び低圧注入系	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	16 非常用炉心冷却系機能検査 147 その他原子炉注水系機能検査	147 その他原子炉注水系機能検査は、13回定検より検査追加
	高圧及び低圧注入系	機能・性能試験(状態監視含む)	G3	6M	○	13回	137 運転中安全系ポンプ機能検査	プラント運転中 [対象設備] ・高圧注入ポンプ*3A, 3B ・余熱除去ポンプ*3A, 3B
	高圧注入ポンプ*3A	分解点検	G3	195M	—	1回	17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 (高圧注入系ポンプ) 145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 油分析:2C) 145 その他原子炉注水系ポンプ 分解検査は、13回定検より検査追加
	高圧注入ポンプ*3A電動機	分解点検	G3	130M	○	9回		(振動診断:1M)
	高圧注入ポンプ*3B	分解点検	G3	195M	—	2回	17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 (高圧注入系ポンプ) 145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 油分析:2C) 145 その他原子炉注水系ポンプ 分解検査は、13回定検より検査追加
	高圧注入ポンプ*3B電動機	分解点検	G3	130M	—	12回		(振動診断:1M)
	高圧注入ポンプ*3A入口弁 3V-SI-002A	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	13回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、13回定検より検査追加
		分解点検(駆動部)		130M	○	7回		
		分解点検(電動機)		195M	—	6回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	高圧注入ポンプ3B入口弁 3V-SI-002B	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	11回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
		分解点検(駆動部)		130M	—	5回		
		分解点検(電動機)		195M	—	6回		
	高圧注入ポンプ3A封水注入ライン止弁 3V-SI-026A	機能・性能試験	G3	10C,15C	—	8回	84 1次系弁検査	弁本体, 電動機の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	—	6回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
		分解点検(駆動部)		130M	—	6回		
		分解点検(電動機)		195M	—	8回		
	高圧注入ポンプ3B封水注入ライン止弁 3V-SI-026B	機能・性能試験	G3	10C,15C	—	13回	84 1次系弁検査	弁本体, 電動機の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	—	9回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回		
		分解点検(電動機)		195M	—	8回		
	高圧注入ライン隔離弁3A 3V-SI-062A	機能・性能試験	G3	10C,15C	○	7回	84 1次系弁検査	弁本体, 電動機の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	○	4回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
		分解点検(駆動部)		130M	○	4回		
		分解点検(電動機)		195M	—	7回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	高圧注入ライン隔離弁3B 3V-SI-062B	機能・性能試験	G3	10C,15C	—	8回	84 1次系弁検査	弁本体、電動機の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	—	8回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、13回定検より検査追 加
		分解点検(駆動部)		130M	—	5回		
		分解点検(電動機)		195M	—	4回		
	高圧注入ポンプ出口連絡弁3A 3V-SI-066A	分解点検(弁本体)	G3	130M	○	4回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、13回定検より検査追 加
		分解点検(駆動部)		130M	○	4回		
		分解点検(電動機)		195M	—	8回		
	高圧注入ポンプ出口連絡弁3B 3V-SI-066B	分解点検(弁本体)	G3	130M	—	8回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、13回定検より検査追 加
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回		
		分解点検(電動機)		195M	—	8回		
	高温側高圧注入ライン止弁3A 3V-SI-067A	分解点検(弁本体)	G3	130M	—	11回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、13回定検より検査追 加
		分解点検(駆動部)		130M	—	10回		
		分解点検(電動機)		195M	—	7回		
	高温側高圧注入ライン止弁3B 3V-SI-067B	分解点検(弁本体)	G3	130M	—	6回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、13回定検より検査追 加
		分解点検(駆動部)		130M	—	6回		
		分解点検(電動機)		195M	—	8回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	高压注入ラインループ3A低温側第2逆止弁 3V-SI-072A	分解点検	G3	260M	—	12回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高压注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
	高压注入ラインループ3B低温側第2逆止弁 3V-SI-072B	分解点検	G3	260M	—	12回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高压注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
	高压注入ラインループ3C低温側第2逆止弁 3V-SI-072C	分解点検	G3	260M	—	10回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高压注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
	高压注入ラインループ3A低温側第1逆止弁 3V-SI-075A	分解点検	G3	260M	—	12回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高压注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
	高压注入ラインループ3B低温側第1逆止弁 3V-SI-075B	分解点検	G3	260M	—	12回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高压注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
	高压注入ラインループ3C低温側第1逆止弁 3V-SI-075C	分解点検	G3	260M	—	—	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高压注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	28回にて初回点検を計画 146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
	高压注入ラインループ3A高温側第2逆止弁 3V-SI-079A	分解点検	G3	260M	—	—	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高压注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	30回にて初回点検を計画 146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
	高压注入ラインループ3B高温側第2逆止弁 3V-SI-079B	分解点検	G3	260M	—	—	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高压注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	30回にて初回点検を計画 146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
	高压注入ラインA系ループ3C高温側第2逆止弁 3V-SI-079C	分解点検	G3	260M	—	—	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高压注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
	高压注入ラインB系ループ3C高温側第2逆止弁 3V-SI-079D	分解点検	G3	260M	—	—	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高压注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	30回にて初回点検を計画 146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
	高压注入ラインループ3A高温側第1逆止弁 3V-SI-082A	分解点検	G3	65M	—	13回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高压注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	高圧注入ラインループ3B高温側第1逆止弁 3V-SI-082B	分解点検	G3	65M	—	12回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
	高圧注入ラインループ3C高温側第1逆止弁 3V-SI-082C	分解点検	G3	65M	—	13回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
	格納容器再循環サンプ3A隔離弁 3V-SI-093A	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	4回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
		分解点検(駆動部)		130M	○	4回		
		分解点検(電動機)		195M	—	7回		
	格納容器再循環サンプ3B隔離弁 3V-SI-093B	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	10回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回		
		分解点検(電動機)		195M	—	3回		
	蓄圧注入系	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	16 非常用炉心冷却系機能検査 147 その他原子炉注水系機能検査	147 その他原子炉注水系機能検 査は,13回定検より検査追加
	蓄圧タンク3A出口弁 3V-SI-132A	分解点検(弁本体)	G3	130M	—	11回	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
		分解点検(駆動部)		130M	—	8回		
		分解点検(電動機)		195M	—	11回		
	蓄圧タンク3B出口弁 3V-SI-132B	分解点検(弁本体)	G3	130M	—	13回	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
		分解点検(駆動部)		130M	—	6回		
		分解点検(電動機)		195M	—	3回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	蓄圧タンク3C出口弁 3V-SI-132C	分解点検(弁本体)	G3	130M	—	13回	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回		
		分解点検(電動機)		195M	—	3回		
	蓄圧タンク3A出口注入ライン第2逆止弁 3V-SI-134A	分解点検	G3	78M	○	8回	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
	蓄圧タンク3B出口注入ライン第2逆止弁 3V-SI-134B	分解点検	G3	78M	—	10回	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
	蓄圧タンク3C出口注入ライン第2逆止弁 3V-SI-134C	分解点検	G3	78M	—	12回	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
	蓄圧タンク3A出口注入ライン第1逆止弁 3V-SI-136A	分解点検	G3	39M	—	13回	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
	蓄圧タンク3B出口注入ライン第1逆止弁 3V-SI-136B	分解点検	G3	39M	—	13回	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
	蓄圧タンク3C出口注入ライン第1逆止弁 3V-SI-136C	分解点検	G3	39M	○	13回	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
	蓄圧タンク3A	開放点検	G3	195M	—	1回		
	蓄圧タンク3B	開放点検	G3	195M	—	2回		
	蓄圧タンク3C	開放点検	G3	195M	—	3回		
	格納容器再循環サブ3A	外観点検	G3	1C, 2C	○	13回	89 1次系容器検査	
	格納容器再循環サブ3B	外観点検	G3	1C, 2C	○	13回	89 1次系容器検査	
	原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3,G4	78M～ 390M	○	13回	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他AM弁 一式	分解点検 他	G3	156M～ 208M	—	13回	84 1次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他機器 一式	分解点検 他	G2,G3	13M～ 195M	○	13回		有効性評価No.34の反映
原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備]	充てんポンプ冷却材補給系	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	69 充てんポンプ冷却材補給系機能検査 147 その他原子炉注水系機能検査	147 その他原子炉注水系機能検査は、13回定検より検査追加
	充てんポンプ3A	分解点検	G3	65M	○	12回	145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 油分析:3M) 14回定検より検査追加
	充てんポンプ3A電動機	分解点検	G3	130M	—	13回		(振動診断:1M, 油分析:6M)
		潤滑油入替		13M	○	13回		
	充てんポンプ3B	分解点検	G3	65M	—	13回	145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 油分析:3M) 14回定検より検査追加
	充てんポンプ3B電動機	分解点検	G3	130M	—	13回		(振動診断:1M, 油分析:6M)
		潤滑油入替		13M	○	13回		
	充てんポンプ3C	分解点検	G3	65M	—	13回	145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 油分析:3M) 14回定検より検査追加
	充てんポンプ3C電動機	分解点検	G3	130M	—	13回		(振動診断:1M, 油分析:6M)
		潤滑油入替		13M	○	13回		
	体積制御タンク3号	開放点検	G3	195M	—	8回		
	冷却材フィルタ3号	開放点検	G3	130M	—	9回		
	非再生冷却器3号	開放点検	G3	195M	—	10回	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		390M	—	10回	91 1次系熱交換器検査	
	原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3,G4	13M～ 390M	○	13回	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査 86 1次系逆止弁検査	
	原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備] その他機器 一式	分解点検 他	G2～G4	13M～ 390M	○	13回		有効性評価No.8,35の反映

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備]	原子炉補機冷却系	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	15 原子炉補機冷却系機能検査	
	原子炉補機冷却水ポンプ3A	機能・性能試験	G3	10C	—	13回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:1C,赤外線診断:1M) 有効性評価No.17の反映
		分解点検		130M	—	13回	82 1次系ポンプ分解検査	
	原子炉補機冷却水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G3	10C	—	13回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:2C)
		分解点検		130M	—	13回		
		潤滑油入替		26M	○	13回		
	原子炉補機冷却水ポンプ3B	機能・性能試験	G3	10C	—	13回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:1C,赤外線診断:1M) 有効性評価No.17の反映
		分解点検		130M	—	13回	82 1次系ポンプ分解検査	
	原子炉補機冷却水ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G3	10C	○	8回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:2C)
		分解点検		130M	○	8回		
		潤滑油入替		26M	○	13回		
	原子炉補機冷却水ポンプ3C	機能・性能試験	G3	10C	○	7回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:1C,赤外線診断:1M) 有効性評価No.17の反映
		分解点検		130M	○	7回	82 1次系ポンプ分解検査	
	原子炉補機冷却水ポンプ3C電動機	機能・性能試験	G3	10C	—	13回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:2C)
		分解点検		130M	—	13回		
		潤滑油入替		26M	○	13回		
	原子炉補機冷却水ポンプ3D	機能・性能試験	G3	10C	—	8回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:1C,赤外線診断:1M) 有効性評価No.17の反映
		分解点検		130M	—	8回	82 1次系ポンプ分解検査	
	原子炉補機冷却水ポンプ3D電動機	機能・性能試験	G3	10C	—	13回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:2C)
		分解点検		130M	—	13回		
		潤滑油入替		26M	○	13回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	原子炉補機冷却水冷却器3A	開放点検	G3	26M	○	13回	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		26M	○	13回	91 1次系熱交換器検査	
		漏えい試験		2C	○	13回	91 1次系熱交換器検査	
	原子炉補機冷却水冷却器3B	開放点検	G3	26M	○	13回	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		26M	○	13回	91 1次系熱交換器検査	
		漏えい試験		2C	○	13回	91 1次系熱交換器検査	
	原子炉補機冷却水冷却器3C	開放点検	G3	26M	○	13回	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		26M	○	13回	91 1次系熱交換器検査	
		漏えい試験		2C	○	13回	91 1次系熱交換器検査	
	原子炉補機冷却水冷却器3D	開放点検	G3	26M	○	13回	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		26M	○	13回	91 1次系熱交換器検査	
		漏えい試験		2C	○	13回	91 1次系熱交換器検査	
	原子炉補機冷却水サージタンク3号	開放点検	G3	195M	○	—		14回にて初回点検を計画
	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3,G4	52M～ 390M	○	13回	85 1次系安全弁検査 84 1次系弁検査 87 1次系真空破壊弁検査	
	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備] その他AM弁 一式	分解点検 他	G3	130M～ 156M	—	13回	84 1次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備] その他機器 一式	単体調整試験 他	G2	13M	○	13回		
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水 設備]	海水ポンプ3A	機能・性能試験	G3	2C	○	13回	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M) 有効性評価No.34の反映
		分解点検		26M	○	13回	120 2次系ポンプ分解検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	海水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G3	8C	○	13回	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:1C)
		分解点検		104M	○	13回		
		潤滑油入替		26M	○	13回		有効性評価No.6の反映
	海水ポンプ3B	機能・性能試験	G3	2C	○	13回	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M) 有効性評価No.34の反映
		分解点検		26M	○	13回	120 2次系ポンプ分解検査	
	海水ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G3	8C	—	13回	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:1C)
		分解点検		104M	—	13回		
		潤滑油入替		26M	○	13回		有効性評価No.6の反映
	海水ポンプ3C	機能・性能試験	G3	2C	○	13回	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M) 有効性評価No.34の反映
		分解点検		26M	○	13回	120 2次系ポンプ分解検査	
	海水ポンプ3C電動機	機能・性能試験	G3	8C	—	13回	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:1C)
		分解点検		104M	—	13回		
		潤滑油入替		26M	○	13回		有効性評価No.6の反映
	海水ポンプ3D	機能・性能試験	G3	2C	○	13回	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M) 有効性評価No.34の反映
		分解点検		26M	○	13回	120 2次系ポンプ分解検査	
	海水ポンプ3D電動機	機能・性能試験	G3	8C	—	13回	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:1C)
		分解点検		104M	—	13回		
		潤滑油入替		26M	○	13回		有効性評価No.6の反映
	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3	26M～ 195M	○	13回	122 2次系弁検査	有効性評価No.3の反映
	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備] その他機器(海水配管含む) 一式	分解点検 他	G3	26M～ 156M	○	13回		一部点検実施 有効性評価No.15,35,36の反映

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
原子炉冷却系統施設 [原子炉格納容器内の 一次冷却材の漏えいを 監視する装置]	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び 格納容器内凝縮液量測定装置	機能・性能試験	G2	1C	○	13回	78 格納容器サンプ水位上昇率測定装 置及び格納容器内凝縮液量測定装置 漏えい検出器機能検査	
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [車室, 円板, 隔板, 噴 口, 翼, 車軸]	高圧タービン	機能・性能試験	G1	1C	○	13回	55 総合負荷性能検査 129 蒸気タービン性能検査(保安装置検 査)	
		開放点検		4YP	—	13回	128 蒸気タービン開放検査	
		部分点検		26M	○	12回		
	低圧第1タービン	機能・性能試験	G1	1C	○	13回	55 総合負荷性能検査	
		開放点検		4YP	—	12回	128 蒸気タービン開放検査	
		部分点検		26M	○	13回	128 蒸気タービン開放検査	
	低圧第2タービン	機能・性能試験	G1	1C	○	13回	55 総合負荷性能検査	
		開放点検		4YP	○	12回	128 蒸気タービン開放検査	
		部分点検		26M	—	13回	128 蒸気タービン開放検査	
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [調速装置及び非常調 速装置並びに調速装 置で制御される主要弁]	主蒸気止め弁3A	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検 査)	
		開放点検		4YP	○	11回	128 蒸気タービン開放検査	
	主蒸気止め弁3B	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検 査)	
		開放点検		4YP	—	12回	128 蒸気タービン開放検査	
	主蒸気止め弁3C	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検 査)	
		開放点検		4YP	—	12回	128 蒸気タービン開放検査	
	主蒸気止め弁3D	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検 査)	
		開放点検		4YP	○	11回	128 蒸気タービン開放検査	
	蒸気加減弁 第1弁	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検 査)	
		開放点検		4YP	○	11回	128 蒸気タービン開放検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	蒸気加減弁 第2弁	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		4YP	—	12回	128 蒸気タービン開放検査	
	蒸気加減弁 第3弁	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		4YP	—	12回	128 蒸気タービン開放検査	
	蒸気加減弁 第4弁	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		4YP	○	11回	128 蒸気タービン開放検査	
	再熱蒸気止め弁3A	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		4YP	—	12回	128 蒸気タービン開放検査	
	再熱蒸気止め弁3B	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		4YP	—	12回	128 蒸気タービン開放検査	
	再熱蒸気止め弁3C	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		4YP	○	11回	128 蒸気タービン開放検査	
	再熱蒸気止め弁3D	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		4YP	○	11回	128 蒸気タービン開放検査	
	インターセプト弁3A	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		4YP	—	12回	128 蒸気タービン開放検査	
	インターセプト弁3B	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		4YP	—	12回	128 蒸気タービン開放検査	
	インターセプト弁3C	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		4YP	○	11回	128 蒸気タービン開放検査	
	インターセプト弁3D	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		4YP	○	11回	128 蒸気タービン開放検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [復水器]	蒸気タービン附属設備	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	142 蒸気タービン附属設備機能検査	13回定検より検査追加
	復水器ホットウェル3A	開放点検	G3	13M	○	13回	128 蒸気タービン開放検査	
	復水器ホットウェル3B	開放点検	G3	13M	○	13回	128 蒸気タービン開放検査	
	復水器出入口水室3A	開放点検	G3	13M	○	13回	128 蒸気タービン開放検査	
	復水器出入口水室3B	開放点検	G3	13M	○	13回	128 蒸気タービン開放検査	
	復水器出入口水室3C	開放点検	G3	13M	○	13回	128 蒸気タービン開放検査	
	復水器出入口水室3D	開放点検	G3	13M	○	13回	128 蒸気タービン開放検査	
	復水ポンプ3A	分解点検	G4	78M	—	9回		
	復水ポンプ3A電動機	分解点検	G4	78M	—	9回		(振動診断:1M, 油分析:1C)
		潤滑油入替		26M	—	13回		有効性評価No.5の反映
	復水ポンプ3B	分解点検	G4	78M	—	11回		
	復水ポンプ3B電動機	分解点検	G4	78M	—	11回		(振動診断:1M, 油分析:1C)
		潤滑油入替		26M	—	13回		有効性評価No.5の反映
	復水ポンプ3C	分解点検	G4	78M	—	13回		
	復水ポンプ3C電動機	分解点検	G4	78M	—	13回		(振動診断:1M, 油分析:1C)
		潤滑油入替		26M	—	13回		有効性評価No.5の反映
	復水器真空ポンプ3A	分解点検	G4	78M	—	11回		(振動診断:1M, 油分析:1C, 赤 外線診断:1M) 有効性評価No.17の反映
	復水器真空ポンプ3A電動機	分解点検	G4	130M	—	7回		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M) 有効性評価No.17の反映
	復水器真空ポンプ3B	分解点検	G4	78M	○	9回		(振動診断:1M, 油分析:1C, 赤 外線診断:1M) 有効性評価No.17の反映
	復水器真空ポンプ3B電動機	分解点検	G4	130M	○	8回		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M) 有効性評価No.17の反映
	復水ろ過器3号	開放点検	G3	104M	—	8回	124 2次系容器検査	
	循環水ポンプ3A	分解点検	G3	39M	—	13回		(油分析:1C)
	循環水ポンプ3A電動機	分解点検	G3	78M	—	13回		(振動診断:1M, 油分析:6M)
		潤滑油入替		39M	—	13回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	循環水ポンプ3B	分解点検	G3	39M	—	13回		(油分析:1C)
	循環水ポンプ3B電動機	分解点検	G3	78M	—	12回		(振動診断:1M, 油分析:6M)
		潤滑油入替		39M	—	13回		
	復水器真空ポンプセパレータタンク3A逃がし弁 3V-BS-657A	機能・性能試験	G4	10C	—	8回	123 2次系安全弁検査	
		分解点検		130M	—	8回		
		漏えい試験		10C	—	8回	123 2次系安全弁検査	
	復水器真空ポンプセパレータタンク3B逃がし弁 3V-BS-657B	機能・性能試験	G4	10C	—	9回	123 2次系安全弁検査	
		分解点検		130M	—	9回		
		漏えい試験		10C	—	9回	123 2次系安全弁検査	
	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン[復水器] その他機器 一式	分解点検	G3	CBM	—	8回		(振動診断:1C[復水器水室空気 抜ポンプ,復水器水室空気抜ポンプ 電動機])
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する 熱交換器]	湿分分離加熱器3A	開放点検(GEN側蒸気室)	G3	104M	—	7回	128 蒸気タービン開放検査	
		開放点検(GOV側蒸気室)		104M	—	9回	128 蒸気タービン開放検査	
		開放点検(胴側蒸気室)		52M	○	10回	128 蒸気タービン開放検査	
		非破壊試験		104M	—	9回	128 蒸気タービン開放検査	
		漏えい試験		8C	—	9回	128 蒸気タービン開放検査	
	湿分分離加熱器3B	開放点検(GEN側蒸気室)	G3	104M	—	8回	128 蒸気タービン開放検査	
		開放点検(GOV側蒸気室)		104M	○	6回	128 蒸気タービン開放検査	
		開放点検(胴側蒸気室)		52M	—	12回	128 蒸気タービン開放検査	
		非破壊試験		104M	○	8回	128 蒸気タービン開放検査	
		漏えい試験		8C	—	8回	128 蒸気タービン開放検査	
	脱気器3A	開放点検	G3	104M	○	6回	124 2次系容器検査	
	脱気器3B	開放点検	G3	104M	—	7回	124 2次系容器検査	
	脱気器タンク3号	開放点検	G3	26M	—	13回	124 2次系容器検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	グラント蒸気復水器3号	開放点検	G3	130M	—	7回	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		10C	—	7回	125 2次系熱交換器検査	
	第1低圧給水加熱器3A	開放点検	G3	52M	—	13回	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	—	13回	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	—	13回	125 2次系熱交換器検査	
	第1低圧給水加熱器3B	開放点検	G3	52M	○	10回	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	○	10回	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	○	10回	125 2次系熱交換器検査	
	第2低圧給水加熱器3A	開放点検	G3	52M	—	11回	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	—	11回	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	—	11回	125 2次系熱交換器検査	
	第2低圧給水加熱器3B	開放点検	G3	52M	—	12回	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	—	12回	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	—	12回	125 2次系熱交換器検査	
	第3低圧給水加熱器3A	開放点検	G3	52M	—	13回	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	—	13回	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	—	13回	125 2次系熱交換器検査	
	第3低圧給水加熱器3B	開放点検	G3	52M	○	11回	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	○	11回	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	—	11回	125 2次系熱交換器検査	
	第4低圧給水加熱器3A	開放点検	G3	52M	—	11回	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	—	11回	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	—	11回	125 2次系熱交換器検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	第4低圧給水加熱器3B	開放点検	G3	52M	—	12回	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	—	12回	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	—	12回	125 2次系熱交換器検査	
	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する熱交換器] その他の弁 一式	分解点検 他	G4	52M～ 65M	—	13回		
	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する熱交換器] その他の機器 一式	開放点検 他	G4,G5	104M	—	12回		一部BDMあり
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する 給水ポンプ及び貯水設 備並びに給水処理設 備]	補助給水系	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	23 補助給水系機能検査	
	タービン動補助給水ポンプ3号	機能・性能試験	G3	10C	—	13回	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:3M)
		分解点検		130M	—	13回	24 補助給水系ポンプ分解検査	
	電動補助給水ポンプ3A	分解点検	G3	130M	—	13回	24 補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 油分析:2C)
	電動補助給水ポンプ3A電動機	分解点検	G3	130M	—	13回		(振動診断:1M, 油分析:1C)
		潤滑油入替		26M	○	13回		
	電動補助給水ポンプ3B	分解点検	G3	130M	—	6回	24 補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 油分析:2C)
	電動補助給水ポンプ3B電動機	分解点検	G3	130M	—	13回		(振動診断:1M, 油分析:1C)
		潤滑油入替		26M	○	13回		
	蒸気タービン附属設備	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	142 蒸気タービン附属設備機能検査	13回定検より検査追加
	復水ブースタポンプ3A	分解点検	G4	117M	—	12回		(振動診断:1M, 油分析:2C)
	復水ブースタポンプ3A電動機	分解点検	G4	78M	—	12回		(振動診断:1M)
	復水ブースタポンプ3B	分解点検	G4	117M	—	13回		(振動診断:1M, 油分析:2C)
	復水ブースタポンプ3B電動機	分解点検	G4	78M	○	9回		(振動診断:1M)
	復水ブースタポンプ3C	分解点検	G4	117M	—	11回		(振動診断:1M, 油分析:2C)
	復水ブースタポンプ3C電動機	分解点検	G4	78M	—	13回		(振動診断:1M)
	給水ブースタポンプ3A	分解点検	G3	78M	—	12回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	給水ブースタポンプ3A電動機	分解点検	G3	78M	—	12回		(振動診断:1M, 油分析:1C)
		潤滑油入替		13M	○	13回		
	給水ブースタポンプ3B	分解点検	G3	78M	○	8回		
	給水ブースタポンプ3B電動機	分解点検	G3	78M	○	8回		(振動診断:1M, 油分析:1C)
		潤滑油入替		13M	○	13回		
	給水ブースタポンプ3C	分解点検	G3	104M	—	7回	120 2次系ポンプ分解検査	
	給水ブースタポンプ3C電動機	分解点検	G3	104M	—	13回		(振動診断:6M, 油分析:2C) 有効性評価No.12の反映
		潤滑油入替		52M	—	13回		有効性評価No.5の反映
	電動主給水ポンプ3号	分解点検	G3	130M	—	7回	120 2次系ポンプ分解検査	(振動診断:6M, 油分析:1C)
		ロータ精密点検		260M	—	—	120 2次系ポンプ分解検査	16回にて初回点検を計画
	電動主給水ポンプ3号電動機	分解点検	G3	130M	—	13回		(振動診断:6M)
	タービン動主給水ポンプ3A	機能・性能試験	G3	6C	○	8回	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:3M)
		分解点検		78M	○	8回		
	主給水ポンプタービン3A	機能・性能試験	G3	4C	—	13回	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
		分解点検		52M	○*	13回	120 2次系ポンプ分解検査	*高圧加減弁の点検を計画
	タービン動主給水ポンプ保安装置・調速装置 3A	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	121 2次系ポンプ機能検査	
		分解点検		52M	—	11回		
	タービン動主給水ポンプ3B	機能・性能試験	G3	6C	—	11回	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:3M)
		分解点検		78M	—	11回		
	主給水ポンプタービン3B	機能・性能試験	G3	4C	—	12回	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
		分解点検		52M	—	12回	120 2次系ポンプ分解検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	タービン動主給水ポンプ保安装置・調速装置 3B	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	121 2次系ポンプ機能検査	
		分解点検		52M	—	11回		
	補助給水タンク3号	開放点検	G3	104M	—	12回		
	第6高圧給水加熱器3A	開放点検	G3	52M	—	12回	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	—	12回	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	—	12回	125 2次系熱交換器検査	
	第6高圧給水加熱器3B	開放点検	G3	52M	—	13回	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	—	13回	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	—	13回	125 2次系熱交換器検査	
	復水脱塩塔3A	開放点検	G3	130M	—	10回	124 2次系容器検査	
	復水脱塩塔3B	開放点検	G3	130M	—	11回	124 2次系容器検査	
	復水脱塩塔3C	開放点検	G3	130M	—	7回	124 2次系容器検査	
	復水脱塩塔3D	開放点検	G3	130M	—	8回	124 2次系容器検査	
	復水脱塩塔3E	開放点検	G3	130M	○	9回	124 2次系容器検査	
	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン[蒸気ター ビンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並 びに給水処理設備] その他機器 一式	分解点検 他	G3,G4	13M～ 195M	○	13回		(振動診断:1M[アンモニア注入ポンプ] 電動機,希ドレジン注入ポンプ電動 機] (振動診断:1C[濃ヒラジン注入ポ ンプ電動機,予備薬注ポンプ電動 機]) (振動診断:1C,油分析:1C[蒸気 発生器水張ポンプ,蒸気発生器水 張ポンプ電動機])
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する 管等]	主な配管(主蒸気系統・再熱蒸気系統・抽 気系統) 一式	開放点検(非破壊試験)	G3	※1	○	13回	128 蒸気タービン開放検査	※1 2次系配管肉厚検査計画に よる。
		目視点検		1C	○	13回	128 蒸気タービン開放検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	2次系配管等※2(上記以外の主蒸気系統・再熱蒸気系統・抽気系統・復水系統・給水系統・トリップ系統・その他の系統) 一式 ※2 配管の他,ポンプ,熱交換器,弁等を含む。	非破壊試験	G3	※1	○	13回	126 2次系配管検査	※1 2次系配管肉厚検査計画による。
		外観点検		1C	○	13回	126 2次系配管検査	
	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する管等] その他機器 一式	開放点検 他	G3,G4	52M～104M	○	13回		
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [その他設備]	蒸気タービンおよびその附属設備	機能・性能試験	G1,G3	1C	○	13回	55 総合負荷性能検査	定検起動後
		機能・性能試験		1C	○	13回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	一部定検起動後
	主蒸気タンク弁3A 3TCV-500A	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	61 主蒸気タンク弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		13M	○	13回	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		78M	—	13回		
	主蒸気タンク弁3B 3TCV-500B	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	61 主蒸気タンク弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		13M	○	13回	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		78M	—	13回		
	主蒸気タンク弁3C 3TCV-500C	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	61 主蒸気タンク弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		52M	—	11回	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		78M	—	13回		
		グラントパッキン取替		13M	○	13回		
	主蒸気タンク弁3D 3TCV-500D	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	61 主蒸気タンク弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		52M	—	11回	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		78M	—	13回		
		グラントパッキン取替		13M	○	13回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	主蒸気タンク弁3E 3TCV-500E	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	61 主蒸気タンク弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		52M	○	10回	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		78M	—	13回		
		グラントパッキン取替		13M	—	13回		
	主蒸気タンク弁3F 3TCV-500F	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	61 主蒸気タンク弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		52M	○	10回	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		78M	—	13回		
		グラントパッキン取替		13M	—	13回		
	主蒸気タンク弁3G 3TCV-500G	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	61 主蒸気タンク弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		52M	—	12回	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		78M	—	13回		
		グラントパッキン取替		13M	○	13回		
	主蒸気タンク弁3H 3TCV-500H	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	61 主蒸気タンク弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		52M	—	12回	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		78M	—	13回		
		グラントパッキン取替		13M	○	13回		
	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン[その他 設備]その他の弁 一式	分解点検 他	G3,G4	13M～ 390M	○	13回	122 2次系弁検査 123 2次系安全弁検査	
	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン[その他 設備] その他機器 一式	分解点検 他	G2～G4	13M～ 260M	○	13回		(タービン)油ポンプ電動機 振動診 断:6M 他) 一部点検実施 有効性評価No.4,17,34,36の反映

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
計測制御系統施設 [制御材]	制御棒クラス 48体	機能・性能試験	G2	1C	○	13回	106 制御棒クラス動作検査	
	制御棒クラス バーナブルボイスン ブランキングデバイス 2次中性子源 ※一式 ※一式 ※一式	外観点検	G3	1C	○	13回	107 制御棒クラス検査	※ 炉心設計による
計測制御系統施設 [制御棒駆動装置]	制御棒駆動系 48本	機能・性能試験	G2	1C	○	13回	30 制御棒駆動系機能検査	
		機能・性能試験		1C	○	13回	106 制御棒クラス動作検査	
	制御棒駆動用電源M-Gセット3A 発電機	分解点検	G3	39M	—	13回		(振動診断:1M, 油分析:1C, 赤 外線診断:1M) 有効性評価No.17,34の反映
		潤滑油入替		26M	○	13回		
	制御棒駆動用電源M-Gセット3A 電動機	分解点検	G3	39M	—	13回		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M) 有効性評価No.17の反映
	制御棒駆動用電源M-Gセット3B 発電機	分解点検	G3	39M	○	13回		(振動診断:1M, 油分析:1C, 赤 外線診断:1M) 有効性評価No.17,34の反映
		潤滑油入替		26M	○	13回		
	制御棒駆動用電源M-Gセット3B 電動機	分解点検	G3	39M	○	13回		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M) 有効性評価No.17の反映
	ほう酸ポンプ3A	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	31-2 ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:2C)
		分解点検		156M	—	7回	31-1 ほう酸ポンプ分解検査	
		メカニカルシール取替		78M	—	13回		
	ほう酸ポンプ3A電動機	分解点検	G3	156M	—	11回		(振動診断:1M)
	ほう酸ポンプ3B	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	31-2 ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:2C)
		分解点検		156M	—	8回	31-1 ほう酸ポンプ分解検査	
		メカニカルシール取替		78M	—	13回		
	ほう酸ポンプ3B電動機	分解点検	G3	156M	—	13回		(振動診断:1M)
計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備]	1次系補給水ポンプ3A	機能・性能試験	G3	10C	—	13回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:2C)
		分解点検		130M	—	13回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	1次系補給水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G3	6C	○	12回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
		分解点検		78M	○	12回		
	1次系補給水ポンプ3B	機能・性能試験	G3	10C	—	13回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析:2C)
		分解点検		130M	—	13回		
	1次系補給水ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G3	6C	○	13回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
		分解点検		78M	○	13回		
	ほう酸タンク3A	開放点検	G3	195M	○	—		14回にて初回点検を計画
	ほう酸タンク3B	開放点検	G3	195M	—	2回		
	1次系純水タンク3号	開放点検	G3	195M	—	9回		
	ほう酸フィルタ3号	開放点検	G3	130M	—	9回		
計測制御系統施設 [制御用空気設備]	計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3,G4	13M～ 195M	○	13回	84 1次系弁検査 86 1次系逆止弁検査 87 1次系真空破壊弁検査	有効性評価No.1,2の反映
	計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備] その他機器 一式	漏えい試験	G3	10YP	—	13回		
	制御用空気圧縮機3A	機能・性能試験	G2	1C	○	13回	32 制御用空気圧縮系機能検査	(振動診断:1M, 油分析:1C, 赤 外線診断:1M) 有効性評価No.17,33の反映
		部分点検		13M	○	13回		
		分解点検		26M	○	13回		
	制御用空気圧縮機3A電動機	分解点検	G3	130M	—	13回		(振動診断:1M)
	制御用空気圧縮機3B	機能・性能試験	G2	1C	○	13回	32 制御用空気圧縮系機能検査	(振動診断:1M, 油分析:1C, 赤 外線診断:1M) 有効性評価No.17,33の反映
		部分点検		13M	○	13回		
		分解点検		26M	○	13回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	制御用空気圧縮機3B電動機	分解点検	G3	130M	—	13回		(振動診断:1M)
	計測制御系統施設 [制御用空気設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3,G4	13M～ 312M	○	13回	85 1次系安全弁検査 84 1次系弁検査	
	計測制御系統施設 [制御用空気設備] その他機器 一式	分解点検 他	G2,G3	13M～ 39M	○	13回		
計測制御系統施設 [その他設備]	1.原子炉保護系ロジック回路 27回路 2.安全防護系ロジック回路 34回路	機能・性能試験	G2	1C	○	13回	33 安全保護系機能検査	
	1.原子炉トリップ,工学的安全施設の始動,原 子炉格納容器隔離等を行うためのすべて の伝送器,設定器及び保護継電器 (1)1次冷却材等計測装置 伝送器 55個 設定器(保護継電器含む) 132個 (2)核計装装置 設定器 20個 2.重要な指示計器 (1)1次冷却材等計測装置 中央指示計 16個 現場指示計 9個 現場記録計 4個 (2)核計装装置 中央指示計 8個 現場記録計 1個	特性試験	G1～G4	13M	○	13回	34 安全保護系設定値確認検査	一部13回にて設置
	事故時監視計器 圧力監視計器 7個 水位監視計器 20個 流量監視計器 9個 温度監視計器 10個	特性試験 他	G2,G4	13M	○	13回	35 プラント状態監視設備機能検査	
	事故時試料採取設備 格納容器雰囲気ガス試料採取設備 1台	機能・性能試験	G3	13M	○	13回	35 プラント状態監視設備機能検査	
	1.制御棒制御系 2.加圧器水位制御系 3.加圧器圧力制御系 4.蒸気発生器水位制御系 一式	機能・性能試験	G2,G3	1C	○	13回	71 計測制御系機能検査	
	1.1次系計測制御装置 2.2次系計測制御装置 一式	特性試験	G1～G4	12M～ 104M	○	13回	72 計測制御系監視機能検査	一部プラント運転中 一部13回にて設置

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	炉外核計測装置 1.線源領域計測装置 2台 2.中間領域計測装置 2台 3.出力領域計測装置 4台	特性試験	G1,G2	13M～ 26M	○	13回	105 核計装設備検査	一部起動後
	炉内核計測装置 一式	機能・性能試験	G2	1C	○	13回	105 核計装設備検査	
	制御棒位置指示装置 48個	特性試験	G2	13M	○	13回	108 制御棒位置指示装置設定値検査	
	IISシンプ'ルチューブ' 50本	非破壊試験	G3	78M	—	9回	109 炉内計装用シンプ'ルチューブ'体積検査	
	パーミッシ'ロジック回路 1.原子炉保護系ロジック関連 5回路 2.安全保護系ロジック関連 2回路	機能・性能試験	G2	1C	○	13回	110 安全保護系機能検査 (パーミッシ 'ロジック検査)	
	総合インターロック 1.原子炉トリップ'によるタービン, 発電機トリップ' 検査 2.タービントリップ'による原子炉, 発電機トリップ' 検査 3.発電機トリップ'による原子炉, タービントリップ' 検査 一式	機能・性能試験	G1～G3	1C	○	13回	112 総合インターロック検査	
	計測制御系統施設 その他機器 一式	単体調整試験 他	G1～G5	12M～ 169M	○	13回		一部プラント運転中 一部13回にて設置 一部BDMあり
計測制御系統施設[発 電用原子炉の運転を管 理するための制御装 置]	中央制御室外原子炉停止盤補機操作回路 44回路	機能・性能試験	G2	1C	○	13回	73 原子炉の停止制御回路健全性確認 検査	
放射性廃棄物の廃棄 施設[気体, 液体又は 固体廃棄物貯蔵設備]	放射性廃棄物の廃棄施設 [気体, 液体又は固体廃棄物貯蔵設備] 一 式	開放点検	G3,G5	216M	—	2012年		プラント運転中 一部BDMあり
放射性廃棄物の廃棄 施設[気体, 液体又は 固体廃棄物処理設備]	ガス圧縮装置 2台	機能・性能試験(電動機含む)	G4	1C	○	13回	42 気体廃棄物処理系機能検査	
		分解点検 他		78M～ 156M	—	13回		(振動診断:1C, 油分析:2C)
	ガス圧縮装置電動機 2台	分解点検	G4	130M	—	12回		
	水素再結合ガス圧縮装置 1台	機能・性能試験(電動機含む)	G4	1C	○	13回	42 気体廃棄物処理系機能検査	
		分解点検 他		104M～ 208M	—	11回		(振動診断:1C, 油分析:2C)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	水素ガス圧縮装置電動機 1台	分解点検	G4	130M	—	11回		(振動診断:1C)
	水素再結合装置 1台	機能・性能試験	G4	1C	○	13回	42 気体廃棄物処理系機能検査	
	ガス減衰タンク圧力制御弁 6台	機能・性能試験(駆動部含む)	G3	1C	○	13回	42 気体廃棄物処理系機能検査	
		機能・性能試験(駆動部含む)		52M～ 144M	○	13回	84 1次系弁検査	
		分解点検(弁本体)		144M	—	2012年		
		分解点検(駆動部)		52M	○	13回		
	ほう酸回収装置 1基	機能・性能試験	G4	2Y	○	2016年	64 液体廃棄物処理系機能検査	プラント運転中
	廃液蒸発装置 2基	機能・性能試験	G4	2Y	○	2016年	64 液体廃棄物処理系機能検査	プラント運転中
	ガス圧縮装置3A気水分離器破壊板	分解点検	G4	195M	○	—	88 1次系破壊板検査	14回にて初回点検を計画
	ガス圧縮装置3B気水分離器破壊板	分解点検	G4	195M	○	—	88 1次系破壊板検査	14回にて初回点検を計画
	水素再結合ガス圧縮装置気水分離器破壊板	分解点検	G4	195M	○	—	88 1次系破壊板検査	14回にて初回点検を計画
	水素再結合装置破壊板	分解点検	G4	195M	—	—	88 1次系破壊板検査	15回にて初回点検を計画
	モニタタンクホップ3A	機能・性能試験	G4	B	—	1996年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 油分析:2C)
		分解点検		CBM	—	1996年		
	モニタタンクホップ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1996年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1996年		
	モニタタンクホップ3B	機能・性能試験	G4	B	—	—	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 油分析:2C)
		分解点検		CBM	—	—		分解未実施
	モニタタンクホップ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1996年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1996年		
	ほう酸回収装置給水ホップ3A	機能・性能試験	G4	B	—	1995年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 油分析:2C)
		分解点検		CBM	—	1995年		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	ほう酸回収装置給水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1995年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1995年		
	ほう酸回収装置給水ポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	—	—	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 油分析:2C)
		分解点検		CBM	—	—		分解未実施
	ほう酸回収装置給水ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1998年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1998年		
	廃液蒸留水ポンプ3A	機能・性能試験	G4	B	—	1998年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 油分析:2C)
		分解点検		CBM	—	1998年		
	廃液蒸留水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1998年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1998年		
	廃液蒸留水ポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	—	—	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 油分析:2C)
		分解点検		CBM	—	—		分解未実施
	廃液蒸留水ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	—	2002年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	2002年		
	洗浄排水ポンプ3A	機能・性能試験	G4	B	—	1995年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 油分析:2C)
		分解点検		CBM	—	1995年		
	洗浄排水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1995年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1995年		
	洗浄排水ポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	—	—	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 油分析:2C)
		分解点検		CBM	—	—		分解未実施
	洗浄排水ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1996年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1996年		
	洗浄排水モニタポンプ3A	機能・性能試験	G4	B	—	1998年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 油分析:2C)
		分解点検		CBM	—	1998年		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	洗浄排水モニターポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1995年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1995年		
	洗浄排水モニターポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	—	—	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 油分析:2C)
		分解点検		CBM	—	—		分解未実施
	洗浄排水モニターポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	—	2002年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	2002年		
	強酸ドレンポンプ3号(電動機含む)	機能・性能試験	G4	B	—	—	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (ヘアリングモニタにより監視)
		分解点検		CBM	—	—		分解未実施
	格納容器冷却材ドレンポンプ3A	機能・性能試験	G3	15C	—	7回	96 液体廃棄物処理系設備検査	(振動診断:1C, 油分析:2C)
		分解点検		195M	—	7回		
	格納容器冷却材ドレンポンプ3A電動機	機能・性能試験	G3	15C	—	11回	96 液体廃棄物処理系設備検査	(振動診断:1C)
		分解点検		195M	—	11回		
	格納容器冷却材ドレンポンプ3B	機能・性能試験	G3	15C	—	3回	96 液体廃棄物処理系設備検査	(振動診断:1C, 油分析:2C)
		分解点検		195M	—	3回		
	格納容器冷却材ドレンポンプ3B電動機	機能・性能試験	G3	15C	○	3回	96 液体廃棄物処理系設備検査	(振動診断:1C)
		分解点検		195M	○	3回		
	格納容器サンプポンプ3A	機能・性能試験	G4	6C	—	9回	96 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		78M	—	9回		
	格納容器サンプポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	6C	—	9回	96 液体廃棄物処理系設備検査	
		電動機取替		78M	—	9回		
	格納容器サンプポンプ3B	機能・性能試験	G4	6C	—	9回	96 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		78M	—	9回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	格納容器サンプポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	6C	—	9回	96 液体廃棄物処理系設備検査	
		電動機取替		78M	—	9回		
	補助建屋サンプタンクポンプ3A	機能・性能試験	G4	B	—	1995年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (モータの振動により解析)
		分解点検		CBM	—	1995年		
	補助建屋サンプタンクポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1995年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1995年		
	補助建屋サンプタンクポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	—	—	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (モータの振動により解析)
		分解点検		CBM	—	—		分解未実施
	補助建屋サンプタンクポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1999年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1999年		
	廃液給水ポンプ3A	機能・性能試験	G4	B	—	1995年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 油分析:2C)
		分解点検		CBM	—	1995年		
	廃液給水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1995年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1995年		
	廃液給水ポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	—	—	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 油分析:2C)
		分解点検		CBM	—	—		分解未実施
	廃液給水ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1996年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1996年		
	セメント固化装置	機能・性能試験	G4	2Y	○	2017年	115 固体廃棄物処理系セメント固化装置機能検査	プラント運転中
	放射性廃棄物の廃棄施設 [気体, 液体又は固体廃棄物処理設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3,G4	52M～ 195M	○	13回	84 1次系弁検査 86 1次系逆止弁検査 85 1次系安全弁検査 87 1次系真空破壊弁検査	一部プラント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	放射性廃棄物の廃棄施設 [気体, 液体又は固体廃棄物処理設備] その他機器 一式	開放点検 他	G3～G5	12M～ 444M	○	2016年		一部プラント運転中 一部BDMあり 有効性評価No.31の反映
放射性廃棄物の廃棄 施設 [原子炉格納容器本体 外の廃棄物貯蔵設備 又は廃棄物処理設備 からの流体状の放射性 廃棄物の漏えいの検出 装置又は自動警報装 置]	流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装 置及び警報装置 一式	機能・性能試験 他	G4	5Y	○	2014年	68 流体状の放射性廃棄物の漏えいの 検出装置及び警報装置機能検査 72 計測制御系監視機能検査	プラント運転中
	液体廃棄物貯蔵設備および処理設備の漏 えい防止に係わる警報装置 一式	機能・性能試験	G4	52M～ 60M	○	13回	118 液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の 警報機能検査	一部プラント運転中
放射線管理施設 [放射線管理用計測装 置]	格納容器高レンジエアモニタ 4個	特性試験	G2	13M	○	13回	63-2 エアモニタ機能検査	
	1.エアモニタ 15台 2.プロセスモニタ 22台	特性試験	G2～G4	13M	○	13回	76 放射線監視装置機能検査	前回は,63 エリア・プロセスモニタ機能 検査として一部実施
	モニタリングステーション及びモニタリングポスト専用の 5台 無線伝送装置	機能・性能試験	G4	2Y	○	2016年	62 野外モニタ機能検査	
	放射線管理施設 [放射線管理用計測装置] その他機器 一式	単体調整試験 他	G2,G3	13M～ 65M	○	13回		
放射線管理施設 [換気設備]	中央制御室非常用循環系	機能・性能試験	G3,G4	1C	○	13回	40 中央制御室非常用循環系機能検 査	前回は,77 1次系換気空調設備 検査として一部実施
	中央制御室再循環ファン3A	機能・性能試験	G3	—	—	7回		
	分解点検			156M	—	7回		
	中央制御室再循環ファン3A電動機	機能・性能試験	G3	6C	○	13回		(振動診断:1M)
	分解点検			78M	○	13回		
	中央制御室再循環ファン3B	機能・性能試験	G3	—	—	3回		
	分解点検			156M	—	3回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	中央制御室再循環ファン3B電動機	機能・性能試験	G3	6C	○	13回		(振動診断:1M)
		分解点検		78M	—	13回		
	中央制御室空調ファン3A	機能・性能試験	G3	—	—	7回		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M) 有効性評価No.17の反映
		分解点検		195M	—	7回		
	中央制御室空調ファン3A電動機	機能・性能試験	G3	6C	○	13回		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M) 有効性評価No.17の反映
		分解点検		78M	○	13回		
	中央制御室空調ファン3B	機能・性能試験	G3	—	—	9回		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M) 有効性評価No.17の反映
		分解点検		195M	—	9回		
	中央制御室空調ファン3B電動機	機能・性能試験	G3	6C	—	13回		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M) 有効性評価No.17の反映
		分解点検		78M	—	13回		
	中央制御室非常用給気ファン3A	分解点検	G3	390M	—	1回		(振動診断:1M) 有効性評価No.9の反映
	中央制御室非常用給気ファン3A電動機	分解点検	G3	156M	—	11回		(振動診断:1M) 有効性評価No.9の反映
	中央制御室非常用給気ファン3B	分解点検	G3	390M	—	2回		(振動診断:1M) 有効性評価No.9の反映
	中央制御室非常用給気ファン3B電動機	分解点検	G3	156M	—	12回		(振動診断:1M) 有効性評価No.9の反映
	中央制御室空調ユニット3A	開放点検	G3	78M	—	10回		
	中央制御室空調ユニット3B	開放点検	G3	78M	—	10回		
	中央制御室非常用給気フィルタユニット3号	機能・性能試験(よう素除去効 率)	G3	1C	○	13回	41 中央制御室非常用循環系フィルタ性 能検査	
		機能・性能試験(漏えい率)		1C	○	13回	41 中央制御室非常用循環系フィルタ性 能検査	
		機能・性能試験		—	—	1回		
		開放点検		390M	—	1回		
	格納容器給気ファン3A	機能・性能試験	G4	B	—	1995年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (電動機の振動により解析) 有効性評価No.11の反映
		分解点検		CBM	—	1995年		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	格納容器給気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	B	—	2016年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C) 有効性評価No.9,18,30の反映
		分解点検		CBM	—	2016年		プラント運転中 有効性評価No.30の反映
	格納容器給気ファン3B	機能・性能試験	G4	B	—	1999年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (電動機の振動により解析) 有効性評価No.11の反映
		分解点検		CBM	—	1999年		
	格納容器給気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	B	—	2011年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C) 有効性評価No.9,18,30の反映
		分解点検		CBM	—	2011年		プラント運転中 有効性評価No.30の反映
	格納容器排気ファン3A	機能・性能試験	G4	B	—	1996年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C) 有効性評価No.9,18の反映
		分解点検		CBM	—	1996年		
	格納容器排気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	B	—	2016年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C) 有効性評価No.9,18,30の反映
		分解点検		CBM	—	2016年		プラント運転中 有効性評価No.30の反映
	格納容器排気ファン3B	機能・性能試験	G4	B	—	2000年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C) 有効性評価No.9,18の反映
		分解点検		CBM	—	2000年		
	格納容器排気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	B	—	2012年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C) 有効性評価No.9,18,30の反映
		分解点検		CBM	—	2012年		プラント運転中 有効性評価No.30の反映
	格納容器再循環ファン3A	分解点検	G4	156M	—	13回		有効性評価No.14の反映
	格納容器再循環ファン3A電動機	分解点検	G4	52M	—	13回		(振動診断:1M, 油分析:1C) 有効性評価No.14の反映
	格納容器再循環ファン3B	分解点検	G4	156M	—	6回		有効性評価No.14の反映
	格納容器再循環ファン3B電動機	分解点検	G4	52M	○	13回		(振動診断:1M, 油分析:1C) 有効性評価No.14の反映
	格納容器再循環ファン3C	分解点検	G4	156M	—	13回		有効性評価No.14の反映
	格納容器再循環ファン3C電動機	分解点検	G4	52M	—	13回		(振動診断:1M, 油分析:1C) 有効性評価No.14の反映
	格納容器再循環ファン3D	分解点検	G4	156M	—	6回		有効性評価No.14の反映
	格納容器再循環ファン3D電動機	分解点検	G4	52M	○	13回		(振動診断:1M, 油分析:1C) 有効性評価No.14の反映

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	格納容器空気浄化ファン3A	機能・性能試験	G4	B	—	1995年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (電動機の振動により解析)
		分解点検		CBM	—	1995年		
	格納容器空気浄化ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1996年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1996年		
	格納容器空気浄化ファン3B	機能・性能試験	G4	B	—	1999年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (電動機の振動により解析)
		分解点検		CBM	—	1999年		
	格納容器空気浄化ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1999年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1999年		
	補助建屋給気ファン3A	機能・性能試験	G4	22Y	—	2001年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
		分解点検		22Y	—	2001年		プラント運転中
	補助建屋給気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	7Y	○	2012年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		7Y	○	2012年		プラント運転中
	補助建屋給気ファン3B	機能・性能試験	G4	22Y	—	2004年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
		分解点検		22Y	—	2004年		プラント運転中
	補助建屋給気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	7Y	○	2011年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		7Y	○	2011年		プラント運転中
	補助建屋排気ファン3A	機能・性能試験	G4	B	—	2013年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M) 有効性評価No.28の反映
		分解点検		CBM	—	2013年		プラント運転中 有効性評価No.28の反映
	補助建屋排気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	7Y	○	2013年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		7Y	○	2013年		プラント運転中
	補助建屋排気ファン3B	機能・性能試験	G4	B	—	2014年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M) 有効性評価No.28の反映
		分解点検		CBM	—	2014年		プラント運転中 有効性評価No.28の反映

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	補助建屋排気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	7Y	—	2014年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		7Y	—	2014年		プラント運転中
	補助建屋排気ファン3C	機能・性能試験	G4	B	—	2016年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M) 有効性評価No.28の反映
		分解点検		CBM	—	2016年		プラント運転中 有効性評価No.28の反映
	補助建屋排気ファン3C電動機	機能・性能試験	G4	7Y	—	2017年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		7Y	—	2017年		プラント運転中
	燃料取扱建屋空気浄化系	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	77 1次系換気空調設備検査	
	放射線管理室給気ファン3A	機能・性能試験	G4	15Y	—	2011年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
		分解点検		15Y	—	2011年		プラント運転中
	放射線管理室給気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	15Y	○	2004年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		15Y	○	2004年		プラント運転中
	放射線管理室給気ファン3B	機能・性能試験	G4	15Y	—	2014年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
		分解点検		15Y	—	2014年		プラント運転中
	放射線管理室給気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	15Y	—	2007年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		15Y	—	2007年		プラント運転中
	放射線管理室排気ファン3A	機能・性能試験	G4	15Y	—	2011年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		15Y	—	2011年		プラント運転中
	放射線管理室排気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	15Y	○	2004年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		15Y	○	2004年		プラント運転中
	放射線管理室排気ファン3B	機能・性能試験	G4	15Y	○	2010年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		15Y	○	2010年		プラント運転中
	放射線管理室排気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	15Y	○	2003年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		15Y	○	2003年		プラント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	ベイヤ排気ファン3号	機能・性能試験	G4	B	—	—	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (モータの振動により解析)
		分解点検		CBM	—	—		
	ベイヤ排気ファン3号電動機	機能・性能試験	G4	B	—	2004年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1Y) 有効性評価No.32の反映
		分解点検		CBM	—	2004年		
	セメント固化装置オフガスファン3A	機能・性能試験	G4	B	—	1996年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M) 有効性評価No.9,17の反映
		分解点検		CBM	—	1996年		
	セメント固化装置オフガスファン3A電動機	機能・性能試験	G4	B	—	2001年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M) 有効性評価No.9,17の反映
		分解点検		CBM	—	2001年		
	セメント固化装置オフガスファン3B	機能・性能試験	G4	B	—	—	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M) 有効性評価No.9,17の反映
		分解点検		CBM	—	—		
	セメント固化装置オフガスファン3B電動機	機能・性能試験	G4	B	—	2002年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M) 有効性評価No.9,17の反映
		分解点検		CBM	—	2002年		
	廃棄物処理室給気ファン3A	機能・性能試験	G4	15Y	—	2014年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	廃棄物処理室給気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	7Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		7Y	—	2015年		プラント運転中
	廃棄物処理室給気ファン3B	機能・性能試験	G4	15Y	—	2014年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	廃棄物処理室給気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	7Y	—	2014年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		7Y	—	2014年		プラント運転中
	廃棄物処理室排気ファン3A	機能・性能試験	G4	15Y	—	2013年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M) 有効性評価No.9,17の反映
		分解点検		CBM	—	1998年		
	廃棄物処理室排気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	B	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M) 有効性評価No.17,29の反映
		分解点検		CBM	—	2015年		プラント運転中 有効性評価No.29の反映

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	廃棄物処理室排気ファン3B	機能・性能試験	G4	15Y	—	2013年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M) 有効性評価No.9,17の反映
		分解点検		CBM	—	2004年		
	廃棄物処理室排気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	B	—	2016年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M) 有効性評価No.17,29の反映
		分解点検		CBM	—	2016年		プラント運転中 有効性評価No.29の反映
	廃棄物処理室排気ファン3C	機能・性能試験	G4	15Y	—	2013年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M) 有効性評価No.9,17の反映
		分解点検		CBM	—	2004年		
	廃棄物処理室排気ファン3C電動機	機能・性能試験	G4	B	—	2007年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M) 有効性評価No.17,29の反映
		分解点検		CBM	—	2007年		プラント運転中 有効性評価No.29の反映
	換気空調設備のその他のファン 一式	分解点検 他	G3,G4	12M～ 300M	○	13回		一部プラント運転中 有効性評価No.17,32の反映
	格納容器給気ユニット3A	開放点検	G4	7Y	—	2014年		プラント運転中
	格納容器給気ユニット3B	開放点検	G4	7Y	—	2014年		プラント運転中
	格納容器排気フィルタユニット3A	機能・性能試験	G4	18Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
		開放点検		18Y	—	2015年		プラント運転中
	格納容器排気フィルタユニット3B	機能・性能試験	G4	18Y	—	2016年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
		開放点検		18Y	—	2016年		プラント運転中
	補助建屋給気ユニット3号(Aバンク側)	開放点検	G4	7Y	—	2015年		プラント運転中
	補助建屋給気ユニット3号(Bバンク側)	開放点検	G4	7Y	—	2015年		プラント運転中
	補助建屋排気フィルタユニット3A	機能・性能試験	G4	18Y	—	2013年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	補助建屋排気フィルタユニット3B	機能・性能試験	G4	18Y	—	2013年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	放射線管理室給気ユニット3号	開放点検	G4	7Y	—	2014年		プラント運転中
	放射線管理室排気フィルタユニット3A	機能・性能試験	G4	15Y	—	2011年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	放射線管理室排気フィルタユニット3B	機能・性能試験	G3	15Y	—	2011年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	ペイラ排気フィルタユニット3号	機能・性能試験	G4	B	—	—	77 1次系換気空調設備検査	ファン(CBM)の機能・性能試験に合 わせて実施

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	廃棄物処理室排気フィルタユニット3号(Aバンク側)	機能・性能試験	G4	15Y	—	2012年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	廃棄物処理室排気フィルタユニット3号(Bバンク側)	機能・性能試験	G4	15Y	—	2012年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	格納容器空気浄化フィルタユニット3号	機能・性能試験	G3	B	—	—	77 1次系換気空調設備検査	ファン(CBM)の機能・性能試験に合わせて実施
	格納容器減圧排気フィルタユニット3号	機能・性能試験	G4	15C	—	3回	77 1次系換気空調設備検査	
		開放点検		195M	—	3回		
	セメント固化装置オフガスフィルタユニット3A	機能・性能試験	G4	B	—	—	77 1次系換気空調設備検査	ファン(CBM)の機能・性能試験に合わせて実施
	セメント固化装置オフガスフィルタユニット3B	機能・性能試験	G4	B	—	—	77 1次系換気空調設備検査	ファン(CBM)の機能・性能試験に合わせて実施
	中央制御室	漏えい試験	高	6YP	—	13回	139 中央制御室の居住性確認検査	13回定検にて初回検査を計画
		外観点検(貫通部)		1C	○	13回		13回定検にて初回点検を計画
	タンバ(タンバオペレータ, 防火タンバ, 手動タンバ含む) 一式	機能・性能試験	G3,G4	13M～ 264M	○	13回	77 1次系換気空調設備検査	一部プラント運転中
	放射線管理施設 [換気設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3,G4	26M～ 195M	○	13回	85 1次系安全弁検査	一部プラント運転中 有効性評価No.24,25の反映
	放射線管理施設 [換気設備] その他AM弁 一式	分解点検	G3	195M	—	3回		
	放射線管理施設 [換気設備] その他機器 一式	分解点検 他	G2～G4	12M～ 300M	○	13回		一部プラント運転中 有効性評価 No.17,19,20,21,22,23,24,26の反映
原子炉格納施設 [原子炉格納容器]	原子炉格納容器	漏えい率試験	G3	3C	—	13回	43 原子炉格納容器全体漏えい率検査	
	1個 通常用エアロック	漏えい率試験	G3	2C/3C	○	11回	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
		開放点検		130M	—	6回		
		部分点検		1C	○	13回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	非常用エアロック 1個	漏えい率試験	G3	2C/3C	○	11回	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
		開放点検		130M	—	6回		
		部分点検		1C	○	13回		
	格納容器機器搬入口 1個	漏えい率試験	G3	2C/3C	○	11回	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
		開放点検		13M	○	13回		
	配管貫通部(伸縮式配管貫通部、貫通配管フランジ部) 一式	漏えい率試験	G3	2C/3C	○	11回	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	電気配線用貫通部 一式	漏えい率試験	G3	2C/3C	○	11回	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	配管貫通部(伸縮式配管貫通部、貫通配管フランジ部)及び電気配線用貫通部 一式	開放点検	G3	13M～ 104M	○	13回		
	原子炉格納容器隔離弁 一式	漏えい率試験	G3	2C/3C	○	11回	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	格納容器隔離(T・V信号及びT+UV信号)により隔離される弁 65個	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	45 原子炉格納容器隔離弁機能検査	
	格納容器隔離(P・V信号)により隔離される弁 16個	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	45 原子炉格納容器隔離弁機能検査	
	格納容器冷却材トレンホンプ出口ライン第1隔離弁3号 3LCV-1000	分解点検(弁本体)	G3	130M	—	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		52M	—	13回		
	SG-3Aサンプリング隔離弁 3V-BD-009A	分解点検(弁本体)	G3	78M	○	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M	—	13回		
	SG-3Bサンプリング隔離弁 3V-BD-009B	分解点検(弁本体)	G3	78M	○	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M	—	13回		
	SG-3Cサンプリング隔離弁 3V-BD-009C	分解点検(弁本体)	G3	78M	○	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M	—	13回		
	SG-3Aフロータウン隔離弁 3V-BD-030A	分解点検(弁本体)	G3	78M	○	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M	○	12回		
	SG-3Bフロータウン隔離弁 3V-BD-030B	分解点検(弁本体)	G3	78M	○	9回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M	—	13回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	SG-3Cブローダウン隔離弁 3V-BD-030C	分解点検(弁本体)	G3	78M	○	9回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M	—	13回		
	C/V再循環ユニット3A,3B冷却水入口隔離弁 3V-CC-189A	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	6回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回		
		分解点検(電動機)		195M	—	7回		
	C/V再循環ユニット3C,3D冷却水入口隔離弁 3V-CC-189B	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	7回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	7回		
		分解点検(電動機)		195M	—	5回		
	C/V再循環ユニット3A冷却水出口隔離弁 3V-CC-198A	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	8回		
		分解点検(電動機)		195M	—	4回		
	C/V再循環ユニット3B冷却水出口隔離弁 3V-CC-198B	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	12回		
		分解点検(電動機)		195M	—	4回		
	C/V再循環ユニット3C冷却水出口隔離弁 3V-CC-198C	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	6回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回		
		分解点検(電動機)		195M	—	5回		
	C/V再循環ユニット3D冷却水出口隔離弁 3V-CC-198D	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	6回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回		
		分解点検(電動機)		195M	—	5回		
	CRDMおよび余剰抽出クーラ冷却水入口隔離弁3号 3V-CC-342	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	9回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	9回		
		分解点検(電動機)		195M	—	5回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	CRDMおよび余剰抽出クーラ冷却水出口隔離弁3号 3V-CC-349	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	6回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回		
		分解点検(電動機)		195M	—	5回		
	RCP冷却水入口第2隔離弁3号 3V-CC-401	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	8回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	8回		
		分解点検(電動機)		195M	—	5回		
	RCP冷却水入口第1隔離弁3号 3V-CC-403	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	10回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	10回		
		分解点検(電動機)		195M	—	5回		
	RCP冷却水出口第1隔離弁3号 3V-CC-427	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	7回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	7回		
		分解点検(電動機)		195M	—	3回		
	RCP冷却水出口第2隔離弁3号 3V-CC-429	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	7回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回		
		分解点検(電動機)		195M	—	5回		
	DRPI冷却ユニット3号入口隔離弁 3V-CH-404	分解点検(弁本体)	G3	104M	○	10回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M	—	13回		
		グラントパッキン取替		52M	—	13回		
	DRPI冷却ユニット3号出口隔離弁 3V-CH-410	分解点検(弁本体)	G3	52M	○	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M	—	13回		
	抽出オフイス隔離弁3A 3V-CS-004A	分解点検(弁本体)	G3	52M	○	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M	○	13回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	抽出オフィス隔離弁3B 3V-CS-004B	分解点検(弁本体)	G3	52M	○	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M	○	12回		
	抽出オフィス隔離弁3C 3V-CS-004C	分解点検(弁本体)	G3	52M	○	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M	○	13回		
	抽出ライン隔離弁3号 3V-CS-007	分解点検(弁本体)	G3	104M	—	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		52M	—	13回		
		グラントパッキン取替		52M	—	13回		
	封水戻りライン第1隔離弁3号 3V-CS-213	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	10回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	10回		
		分解点検(電動機)		195M	—	8回		
	封水戻りライン第2隔離弁3号 3V-CS-214	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	10回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	10回		
		分解点検(電動機)		195M	—	4回		
	格納容器減圧装置第1隔離弁3号 3V-DP-001	分解点検(弁本体)	G3	130M	○	4回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		52M	—	13回		
	格納容器減圧装置第2隔離弁3号 3V-DP-002	分解点検(弁本体)	G3	130M	○	4回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		52M	—	13回		
	消火系格納容器隔離弁3号 3V-FS-503	分解点検(弁本体)	G3	104M	—	12回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		52M	—	13回		
		グラントパッキン取替		52M	—	13回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	制御用空気供給ヘッダ'3A格納容器隔離弁 3V-IA-508A	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回		
		分解点検(電動機)		195M	—	4回		
	制御用空気供給ヘッダ'3B格納容器隔離弁 3V-IA-508B	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回		
		分解点検(電動機)		195M	—	5回		
	炉内核計装装置ガス'ライン第2隔離弁3号 3V-IG-008	分解点検(弁本体)	G3	130M	—	11回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		52M	○	13回		
	炉内核計装装置ガス'ライン第1隔離弁3号 3V-IG-009	分解点検(弁本体)	G3	130M	○	4回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		52M	○	13回		
	加圧器逃がしタンクガス分析ライン第1隔離弁3号 3V-RC-077	分解点検(弁本体)	G3	26M	○	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		104M	—	13回		
	加圧器逃がしタンクガス分析ライン第2隔離弁3号 3V-RC-078	分解点検(弁本体)	G3	52M	○	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		104M	—	13回		
	加圧器逃がしタンク窒素隔離弁3号 3V-RC-084	分解点検(弁本体)	G3	104M	—	11回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		104M	—	13回		
		グラント'バックン取替		52M	—	13回		
	加圧器逃がしタンク補給水隔離弁3号 3V-RC-095	分解点検(弁本体)	G3	104M	—	12回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M	—	13回		
		グラント'バックン取替		52M	—	13回		
	格納容器空気モニタリンク'第1隔離弁3号 3V-RM-001	分解点検(弁本体)	G3	156M	○	7回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	10回		
		分解点検(電動機)		195M	—	9回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	格納容器空気モニタリング第2隔離弁3号 3V-RM-002	分解点検(弁本体)	G3	52M	○	11回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		104M	○	11回		
	格納容器空気モニタリング戻り隔離弁3号 3V-RM-018	分解点検(弁本体)	G3	52M	—	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		104M	—	13回		
	安全注入テストライン第1戻り弁3号 3V-SI-144	分解点検(弁本体)	G3	104M	○	10回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		104M	○	12回		
		グラントパッキン取替		52M	—	13回		
	蓄圧タンク補給ライン隔離弁3号 3V-SI-145	分解点検	G3	52M	○	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		104M	—	12回		
	安全注入テストライン第2戻り弁3号 3V-SI-147	分解点検(弁本体)	G3	52M	○	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		104M	—	12回		
	蓄圧タンク窒素隔離弁3号 3V-SI-165	分解点検(弁本体)	G3	78M	—	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M	—	13回		
	加圧器気相部サンプリング隔離弁3号 3V-SS-503	分解点検(弁本体)	G3	52M	○	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M	—	13回		
	加圧器液相部サンプリング隔離弁3号 3V-SS-523	分解点検(弁本体)	G3	26M	○	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M	—	9回		
	ループ3A高温側および加圧器サンプリング隔離弁 3V-SS-524	分解点検(弁本体)	G3	26M	○	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M	—	9回		
	ループ3A高温側サンプリング隔離弁 3V-SS-543A	分解点検(弁本体)	G3	130M	○	9回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	9回		
		分解点検(電動機)		195M	○	7回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	ループ3B高温側サンプリング第1隔離弁 3V-SS-543B	分解点検(弁本体)	G3	130M	○	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回		
		分解点検(電動機)		195M	—	8回		
	ループ3B高温側サンプリング第2隔離弁 3V-SS-544	分解点検(弁本体)	G3	26M	○	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M	—	9回		
	蓄圧タンク3Aサンプリング隔離弁 3V-SS-563A	分解点検(弁本体)	G3	104M	—	12回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M	—	13回		
	蓄圧タンク3Bサンプリング隔離弁 3V-SS-563B	分解点検(弁本体)	G3	78M	○	12回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M	○	12回		
	蓄圧タンク3Cサンプリング隔離弁 3V-SS-563C	分解点検(弁本体)	G3	78M	○	12回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M	—	13回		
	蓄圧タンクサンプリング隔離弁3号 3V-SS-564	分解点検(弁本体)	G3	78M	—	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		104M	○	10回		
	格納容器真空逃がし装置3A隔離弁 3V-VR-001A	分解点検(弁本体)	G3	130M	—	10回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		52M	—	13回		
	格納容器真空逃がし装置3B隔離弁 3V-VR-001B	分解点検(弁本体)	G3	130M	○	4回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		52M	—	13回		
	格納容器真空逃がし弁3A 3V-VR-003A	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	47 原子炉格納容器真空逃がし弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		156M	—	10回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		156M	○	10回		
	格納容器真空逃がし弁3B 3V-VR-003B	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	47 原子炉格納容器真空逃がし弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		156M	—	10回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		156M	○	10回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	格納容器冷却材ドレンポンプ出口ライン第2隔離弁3号 3V-WL-032	分解点検(弁本体)	G3	130M	—	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		52M	—	13回		
	格納容器冷却材ドレンタンクガス分析ライン第1隔離弁3号 3V-WL-078	分解点検(弁本体)	G3	52M	○	11回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		104M	○	11回		
	格納容器冷却材ドレンタンクガス分析ライン第2隔離弁3号 3V-WL-079	分解点検(弁本体)	G3	52M	—	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		104M	—	12回		
	格納容器冷却材ドレンタンクヘント第1隔離弁3号 3V-WL-084	分解点検(弁本体)	G3	130M	—	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		52M	○	13回		
	格納容器冷却材ドレンタンクヘント第2隔離弁3号 3V-WL-085	分解点検(弁本体)	G3	130M	—	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		104M	—	11回		
	格納容器冷却材ドレンタンク窒素隔離弁3号 3V-WL-090	分解点検(弁本体)	G3	130M	—	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		104M	—	11回		
	格納容器サンプポンプ出口第1隔離弁3号 3V-WL-124	分解点検(弁本体)	G3	130M	—	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		52M	—	13回		
	格納容器サンプポンプ出口第2隔離弁3号 3V-WL-125	分解点検(弁本体)	G3	130M	—	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		52M	—	13回		
原子炉格納施設[原子炉格納容器] その他の弁 一式	原子炉格納施設[原子炉格納容器] その他の弁 一式	分解点検 他	G3	13M～ 208M	○	13回	84 1次系弁検査 86 1次系逆止弁検査	
		開放点検	G3	1C	○	13回		[対象設備] ・アニュラスシール
	原子炉格納施設[原子炉格納容器] その他の機器 一式							
原子炉格納施設[圧力 低減設備その他の安全 設備]	原子炉格納容器スプレイ系	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	48 原子炉格納容器安全系機能検査 147 その他原子炉注水系機能検査	48 原子炉格納容器安全系機能 検査は、前回、48 原子炉格納容器 スプレイ系機能検査として実施 147 その他原子炉注水系機能検 査は、13回定検より検査追加
		機能・性能試験(状態監視含 む)		6M	○	13回	137 運転中安全系ポンプ機能検査	プラント運転中 [対象設備] ・格納容器スプレイポンプ3A,3B

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	格納容器スプレイ冷却器3A	開放点検	G3	195M	○	—	91 1次系熱交換器検査	14回にて初回点検を計画
		非破壊試験		390M	○	—	91 1次系熱交換器検査	14回にて初回点検を計画
	格納容器スプレイ冷却器3B	開放点検	G3	195M	—	—	91 1次系熱交換器検査	15回にて初回点検を計画
		非破壊試験		390M	—	—	91 1次系熱交換器検査	15回にて初回点検を計画
	格納容器スレイポンプ3A	分解点検	G3	195M	○	1回	49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解 検査	(振動診断:1M, 油分析:2C) 前回は,49 原子炉格納容器スプレ イ系ポンプ分解検査として実施
	格納容器スレイポンプ3A電動機	分解点検	G3	130M	—	9回		(振動診断:1M, 油分析:1C)
		潤滑油入替		26M	—	13回		
	格納容器スレイポンプ3B	分解点検	G3	195M	—	13回	49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解 検査 145 その他原子炉注水系ポンプ分解 検査	(振動診断:1M, 油分析:2C) 49 原子炉格納容器安全系ポン プ分解検査は,前回,49 原子炉格 納容器スレイ系ポンプ分解検査と して実施 145 その他原子炉注水系ポンプ 分解検査は,13回定検より検査追 加
	格納容器スレイポンプ3B電動機	分解点検	G3	130M	—	13回		(振動診断:1M, 油分析:1C)
		潤滑油入替		26M	—	13回		
	よう素除去薬品タンク3号	開放点検	G3	390M	—	—	89 1次系容器検査	30回にて初回点検を計画
	格納容器スレイポンプ3A入口弁 3V-CP-001A	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	13回	50 原子炉格納容器安全系主要弁分解 検査	前回は,50 原子炉格納容器スプレ イ系主要弁分解検査として実施
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回		
		分解点検(電動機)		195M	—	6回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	格納容器スプレイポンプ3B入口弁 3V-CP-001B	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	11回	50 原子炉格納容器安全系主要弁分解 検査 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	50 原子炉格納容器安全系主要 弁分解検査は,前回,50 原子炉格 納容器スプレイ系主要弁分解検査 として実施 146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回		
		分解点検(電動機)		195M	—	6回		
	格納容器スプレイ冷却器3A出口弁 3V-CP-021A	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	13回	50 原子炉格納容器安全系主要弁分解 検査	前回は,50 原子炉格納容器スプレ イ系主要弁分解検査として実施
		分解点検(駆動部)		130M	—	12回		
		分解点検(電動機)		195M	—	4回		
	格納容器スプレイ冷却器3B出口弁 3V-CP-021B	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	13回	50 原子炉格納容器安全系主要弁分解 検査 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	50 原子炉格納容器安全系主要 弁分解検査は,前回,50 原子炉格 納容器スプレイ系主要弁分解検査 として実施 146 その他原子炉注水系主要弁 分解検査は,13回定検より検査追 加
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回		
		分解点検(電動機)		195M	—	4回		
	よう素除去薬品タンク出口第1弁3A 3V-CP-054A	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	8回	50 原子炉格納容器安全系主要弁分解 検査	前回は,50 原子炉格納容器スプレ イ系主要弁分解検査として実施
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回		
		分解点検(電動機)		195M	—	7回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	よう素除去薬品タンク出口第1弁3B 3V-CP-054B	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	7回	50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	前回は、50 原子炉格納容器スプレイ系主要弁分解検査として実施
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回		
		分解点検(電動機)		195M	—	6回		
	原子炉格納施設[圧力低減設備その他の安全設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3,G4	13M～390M	○	13回	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査 86 1次系逆止弁検査 87 1次系真空破壊弁検査	
	原子炉格納施設[圧力低減設備その他の安全設備] その他AM弁 一式	分解点検	G3	130M	—	13回	86 1次系逆止弁検査	
	格納容器再循環ユニット3A	開放点検	G3	78M	—	9回	77 1次系換気空調設備検査	14回定検より検査追加
	格納容器再循環ユニット3B	開放点検	G3	78M	—	9回	77 1次系換気空調設備検査	14回定検より検査追加
	アニュラス循環排気系	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	38 アニュラス循環排気系機能検査	
	アニュラス排気ファン3A	分解点検	G3	260M	—	5回		(振動診断:1M) 有効性評価No.34の反映
	アニュラス排気ファン3A電動機	分解点検	G3	156M	—	11回		(振動診断:1M) 有効性評価No.9の反映
	アニュラス排気ファン3B	分解点検	G3	260M	—	7回		(振動診断:1M) 有効性評価No.34の反映
	アニュラス排気ファン3B電動機	分解点検	G3	156M	—	13回		(振動診断:1M) 有効性評価No.9の反映
	アニュラス排気フィルタユニット3A	機能・性能試験(よう素除去効率)	G3	1C	○	13回	39 アニュラス循環排気系フィルタ性能検査	
		機能・性能試験(漏えい率)		1C	○	13回	39 アニュラス循環排気系フィルタ性能検査	
		機能・性能試験		30C	—	3回	77 1次系換気空調設備検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	アニュラス排気フィルタユニット3B	機能・性能試験(よう素除去効 率)	G3	1C	○	13回	39 アニュラス循環排気系フィルタ性能検査	
		機能・性能試験(漏えい率)		1C	○	13回	39 アニュラス循環排気系フィルタ性能検査	
		機能・性能試験		30C	—	3回	77 1次系換気空調設備検査	
	アニュラス排気弁3A	分解点検(弁本体)	G3	78M	—	—	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分 解検査	13回定検より検査追加 15回にて初回点検を計画
		分解点検(駆動部)		78M	—	13回		
	アニュラス排気弁3B	分解点検(弁本体)	G3	78M	—	—	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分 解検査	13回定検より検査追加 19回にて初回点検を計画
		分解点検(駆動部)		78M	—	13回		
	アニュラス全量排気弁3A	分解点検(弁本体)	G3	78M	—	—	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分 解検査	13回定検より検査追加 16回にて初回点検を計画
		分解点検(駆動部)		78M	—	13回		
	アニュラス全量排気弁3B	分解点検(弁本体)	G3	78M	○	—	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分 解検査	13回定検より検査追加 14回にて初回点検を計画
		分解点検(駆動部)		78M	○	13回		
	アニュラス少量排気弁3A	分解点検(弁本体)	G3	78M	—	—	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分 解検査	13回定検より検査追加 19回にて初回点検を計画
		分解点検(駆動部)		78M	—	13回		
	アニュラス少量排気弁3B	分解点検(弁本体)	G3	78M	—	—	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分 解検査	13回定検より検査追加 15回にて初回点検を計画
		分解点検(駆動部)		78M	—	13回		
	アニュラス戻り弁3A	分解点検(弁本体)	G3	78M	—	—	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分 解検査	13回定検より検査追加 15回にて初回点検を計画
		分解点検(駆動部)		78M	—	13回		
	アニュラス戻り弁3B	分解点検(弁本体)	G3	78M	—	—	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分 解検査	13回定検より検査追加 19回にて初回点検を計画
		分解点検(駆動部)		78M	—	13回		
	安全補機室空気浄化系	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	77 1次系換気空調設備検査	
	安全補機室排気ファン3A	分解点検	G3	260M	—	6回		(振動診断:6M)
	安全補機室排気ファン3A電動機	分解点検	G3	156M	—	13回		(振動診断:6M)
	安全補機室排気ファン3B	分解点検	G3	260M	—	7回		(振動診断:6M)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	安全補機室排気ファン3B電動機	分解点検	G3	156M	—	12回		(振動診断:6M)
	安全補機室排気フィルタユニット3号	機能・性能試験	G3	20C	—	3回	77 1次系換気空調設備検査	
		開放点検		260M	—	3回		
	タンパ(タンパオペレータ含む) 一式	機能・性能試験	G3	13M～ 144M	○	13回	77 1次系換気空調設備検査	一部プラント運転中
	原子炉格納施設[圧力低減設備その他の 安全設備] その他機器 一式	開放点検 他	G3	390M	—	—	89 1次系容器検査	[対象設備] ・PH調整剤貯蔵タンク 30回にて初回点検を計画
原子炉施設 [その他設備]	クラス1機器(供用期間中検査対象) 一式	非破壊試験	G1,G3	10YP	○	13回	1 クラス1機器供用期間中検査 144 重大事故等クラス2機器供用期間中 検査	クラス1機器供用期間中検査10年 計画[別紙-1] 144 重大事故等クラス2機器供用 期間中検査は、13回定検より検査 追加
	(重大事故等クラス2機器供用期間中検査対 象を含む)	漏えい試験		1C	○	13回		
	クラス2機器(供用期間中検査対象) 一式	非破壊試験	G3	10YP	○	13回	5 クラス2機器供用期間中検査 144 重大事故等クラス2機器供用期間中 検査	クラス2機器供用期間中検査10年 計画[別紙-2] 144 重大事故等クラス2機器供用 期間中検査は、13回定検より検査 追加
	(重大事故等クラス2機器供用期間中検査対 象を含む)	漏えい試験		10YP	○	13回		
	クラス3機器(供用期間中検査対象) 一式	非破壊試験	G3	10YP	○	13回	104 クラス3機器供用期間中検査	クラス3機器供用期間中検査10年 計画[別紙-3] 一部プラント運転中
	(重大事故等クラス3機器供用期間中検査対 象を含む)	漏えい試験		10YP	○	13回		
	クラス1機器Ni基合金使用部位 一式 (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対 象を含む)	非破壊試験	G3	5YP～ 10YP	—	13回	98 供用期間中特別検査のうちクラス1機 器Ni基合金使用部位特別検査 144 重大事故等クラス2機器供用期間中 検査	クラス1機器Ni基合金使用部位特 別検査10年計画[別紙-4] 144 重大事故等クラス2機器供用 期間中検査は、13回定検より検査 追加
	クラス2管(原子炉格納容器内) 一式 (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対 象を含む)	非破壊試験	G3	10YP	○	13回	98 供用期間中特別検査のうちクラス2管 (原子炉格納容器内)特別検査 144 重大事故等クラス2機器供用期間中 検査	クラス2管(原子炉格納容器内)特別 検査10年計画[別紙-5] 144 重大事故等クラス2機器供用 期間中検査は、13回定検より検査 追加
	クラスMC容器(供用期間中検査対象)機器搬 入口の圧力保持用ボルト締付け部(ボルト、ナツ ト、ワッシャ、フランジ面) 一式 (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対 象を含む)	非破壊試験	G3	10YP	—	13回	79 原子炉格納容器供用期間中検査	原子炉格納容器供用期間中検 査10年計画[別紙-6]
	レストレイント 一式	外観点検	G3	10YP	—	12回	113 レストレイント検査	
	クラス2機器及びクラス3機器(供用期間中検査 対象外)、クラス4管の耐圧部並びに排気筒 一式	外観点検	G3	10YP	○	13回	103 構造健全性検査	格納容器排気筒、補助建屋排気 筒は5定検で100%検査 一部プラント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	原子炉施設[その他設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3,G4	52M～ 260M	○	13回	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査 86 1次系逆止弁検査	
	原子炉施設[その他設備] その他AM弁 一式	分解点検	G3	156M	—	13回		
	原子炉施設[その他設備] その他機器 一式	機能・性能試験	G3	12M～13M	○	2017年		プラント運転中
	耐震クラスS,Bに属する支持構造物 一式	外観点検	G1～G3	10YP	○	13回	102 耐震健全性検査	クラス1,2,3機器供用期間中検査対 象機器を除く
その他発電用原子炉の 附属施設(非常用電源 設備) [非常用発電装置]	ディーゼル発電機 2台	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	53-1 非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査) 53-2 非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機定格容量検査)	
	安全注入信号および格納容器スプレイ信号 発信時に非常用ディーゼル発電機に電源を 求める機器 48台	機能・性能試験	G2～G4	1C	○	13回	53-1 非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査)	
	非常用ディーゼル発電機3A	分解点検	G3	52M	○	13回		
	非常用ディーゼル発電機3B	分解点検	G3	52M	—	13回		
	非常用ディーゼル機関3A	外観点検	G3	13M	○	13回	133 非常用予備発電機付属設備検査	(油分析:1C, 赤外線診断:1C) 有効性評価No.18の反映
		非常調速装置試験		13M	○	13回	133 非常用予備発電機付属設備検査	
		計測装置試験		13M	○	13回	133 非常用予備発電機付属設備検査	
	ディーゼル機関A号機シリンダ(ピストン、連接棒、 シリンダカバー、クランク軸、吸気弁、排気弁、燃 料噴射弁)	分解点検	G3	13M～ 104M	○	13回	54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	非常用ディーゼル機関3B	外観点検	G3	13M	○	13回	133 非常用予備発電機付属設備検査	(油分析:1C, 赤外線診断:1C) 有効性評価No.18の反映
		非常調速装置試験		13M	○	13回	133 非常用予備発電機付属設備検査	
		計測装置試験		13M	○	13回	133 非常用予備発電機付属設備検査	
	ディーゼル機関B号機シリンダ(ピストン、連接棒、 シリンダカバー、クランク軸、吸気弁、排気弁、燃 料噴射弁)	分解点検	G3	13M～ 104M	○	13回	54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	重油タンクA	開放点検	G3	156M	○	—	124 2次系容器検査	13回にて設置 14回定検より検査追加
	重油タンクB	開放点検	G3	156M	○	—	124 2次系容器検査	13回にて設置 14回定検より検査追加
	重油タンクC	開放点検	G3	156M	○	—	124 2次系容器検査	13回にて設置 14回定検より検査追加

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	ディーゼル発電機附属設備 一式	分解点検 他	G3,G4	13M～ 260M	○	13回	133 非常用予備発電機付属設備検査	(油分析:1C[空気圧縮機,調速機]) (振動診断:1M[潤滑油プライミングポンプ,温水循環ポンプ,D/G潤滑油プライミングポンプ電動機]) (振動診断:1M[燃料弁冷却水ポンプ,D/G燃料弁冷却水ポンプ電動機]) (振動診断:1M[D/G燃料油移送ポンプ電動機]) 有効性評価No.9,10,17,18,34の反映
	その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備)[非常用発電装置] その他の弁 一式	分解点検 他	G3,G4	26M～ 390M	○	13回	133 非常用予備発電機付属設備検査 85 1次系安全弁検査	
	その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備)[非常用発電装置] その他機器 一式	分解点検 他	G2～G4	13M～ 52M	○	13回	133 非常用予備発電機付属設備検査	
その他発電用原子炉の 附属施設(非常用電源 設備) [その他の電源装置]	蓄電池(非常用) 2組(60個/組)	機能・性能試験	G3	1C	○	13回	53-3 直流電源系機能検査 159 直流電源系作動検査	53-3 直流電源系機能検査は, 前回,非常用予備発電装置機能 検査(直流電源系状態確認検査) として実施 159 直流電源系作動検査は,13 回定検より検査追加
		蓄電池点検		13M	○	13回		
	計装用電源装置 4台	機能・性能試験 他	G3	13M	○	13回	111 インバータ機能検査	
	その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備) [その他の電源装置] その他機器 一式	電気試験 他	G3	13M～ 78M	○	13回		
その他発電用原子炉の 附属施設(非常用電源 設備) [その他機器]	遮断器 一式	遮断器点検 他	G3	39M～ 96M	○	13回		
	その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備) [その他機器] その他機器 一式	特性試験 他	G3,G4	13M～ 104M	○	13回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
その他発電用原子炉の 附属施設(常用電源設 備) [発電機]	発電機設備 一式	分解点検 他	G1,G3,G4	13M～ 130M	○	13回		有効性評価No.17,34,35の反映
その他発電用原子炉の 附属施設(常用電源設 備) [変圧器]	変圧器設備 一式	開放点検 他	G3	13M～ 195M	○	13回		一部プラント運転中
その他発電用原子炉の 附属施設(常用電源設 備) [しゃ断器]	しゃ断器 一式	遮断器点検 他	G3	26M～ 108M	○	13回		一部プラント運転中
その他発電用原子炉の 附属施設(常用電源設 備) [その他機器]	その他発電用原子炉の附属施設(常用電 源設備) その他機器 一式	内部・外部点検 他	G3,G4	12M～ 78M	○	13回		一部プラント運転中 有効性評価No.7の反映
その他発電用原子炉の 附属施設(補助ボイラー) [補助ボイラー]	補助ボイラー設備 一式	開放点検 他	G4	144M～ 216M※1	○	2016年	130 補助ボイラー開放検査※1 131 補助ボイラー性能検査※2 132 補助ボイラー設備検査※2	プラント運転中 (振動診断:6M[補助ボイラ給水ポン プ]) ※1 前回の点検後の運転時間が4 000時間,又は起動回数が120回 に達すると見込まれる時期までに定 期事業者検査を実施する。 ※2 補助ボイラー性能検査及び設 備検査は,補助ボイラー開放検査に 合わせて実施する。 有効性評価No.16の反映
その他発電用原子炉の 附属施設(補助ボイラー) [補助ボイラーに属する燃 料燃焼設備]	燃料噴燃ポンプ3A	分解点検	G4	12Y	—	2016年		プラント運転中 (振動診断:6M)
		機能・性能試験		12Y	—	2016年	132 補助ボイラー設備検査	
	燃料噴燃ポンプ3A電動機	分解点検	G4	CBM	—	2013年		(振動診断:6M)
		機能・性能試験		B	—	2013年	132 補助ボイラー設備検査	電動機分解点検時に実施
	燃料噴燃ポンプ3B	分解点検	G4	12Y	—	2016年		プラント運転中 (振動診断:6M)
		機能・性能試験		12Y	—	2016年	132 補助ボイラー設備検査	
	燃料噴燃ポンプ3B電動機	分解点検	G4	CBM	—	2013年		(振動診断:6M)
		機能・性能試験		B	—	2013年	132 補助ボイラー設備検査	電動機分解点検時に実施
	燃料噴燃ポンプ3C	分解点検	G4	12Y	—	2016年		プラント運転中 (振動診断:6M)
		機能・性能試験		12Y	—	2016年	132 補助ボイラー設備検査	
	燃料噴燃ポンプ3C電動機	分解点検	G4	CBM	—	2013年		(振動診断:6M)
		機能・性能試験		B	—	2013年	132 補助ボイラー設備検査	電動機分解点検時に実施

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
その他発電用原子炉の 附属施設(火災防護設 備) [消火設備]	消火ポンプ3A(電動)	機能・性能試験	G4	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 (振動診断:1M)
		分解点検		10Y	—	2016年		プラント運転中または定検停止中
	消火ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	1Y	○	2017年		
	消火ポンプ3Bディーゼルエンジン	機能・性能試験	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 (振動診断:1M, 油分析:1Y) 有効性評価No.34,37の反映
		部分点検		1Y	○	2016年		プラント運転中または定検停止中
	消火ポンプ3B(ディーゼル駆動)	機能・性能試験	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 (振動診断:1M) 有効性評価No.9の反映
		分解点検		10Y	—	2011年		プラント運転中または定検停止中
	消火系統機器(AM機能範囲)一式	取替	G3	CBM ※1	—	—		※1 巡視点検(1M)結果により取 替実施 一部プラント運転中
その他発電用原子炉の 附属施設(火災防護設 備) [その他設備]	全域ハロン消火設備 一式	機能・性能試験	G3	12M～ 13M	○	2016年		一部プラント運転中 13回にて設置 有効性評価No.27の反映
	防火ダンパ 一式	作動確認	G3, G4	130M～ 144M	—	—		プラント運転中 13回にて設置
	煙等流入防止装置 一式	分解点検	G3	130M	—	—	84 1次系弁検査	13回にて設置
	可搬型排煙装置(中央制御室)	作動確認	G3	1C	○	—		13回にて設置
	可搬型排煙装置(中央制御室)電動機	作動確認	G3	1C	○	—		
		分解点検(本体)	G3	130M	—	—		13回にて設置
	可搬型の排煙装置	作動確認	G4	1C	○	—		13回にて設置
	ほう酸ポンプ室耐火障壁	外観点検	G4	1C	○	—		13回にて設置
	貫通部シール	外観点検	G4	10C	—	—		13回にて設置
	その他発電用原子炉の附属施設(火災防 護設備)[その他設備] その他機器 一式	特性試験 他	G4	12M～ 130M	○	2016年		一部プラント運転中 13回にて設置
その他発電用原子炉の 附属施設(浸水防護施 設) [外郭浸水防護設備] [内郭浸水防護設備]	海水ポンプエリア水密ハッチ 一式	開放点検	G3	26M	○	—		13回にて設置
	海水ポンプエリア水密扉 一式	外観点検	G3	1Y	○	2016年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	原子炉補助建屋水密扉 一式	外観点検	G3	1Y	○	2016年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	原子炉建屋水密扉 一式	外観点検	G3	1Y	○	2016年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	海水ピットポンプ室防護壁3号	外観点検	G3	1C	○	—		13回にて設置

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	浸水防護堰 一式	外観点検	G3	1C	○	—		13回にて設置
その他発電用原子炉の 附属施設(浸水防護施 設) [その他設備]	ターミナルエレベーター 一式	外観点検	G4	5C	—	—		13回にて設置
	床ドレンライン逆止弁 一式	分解点検	G3	130M	—	—	84 1次系弁検査	13回にて設置 14回定検より検査追加
	海面監視カメラ(監視含む) 一式	特性試験	G4	13M	○	13回		13回にて設置
	耐震型海水ピット水位計(監視含む) 一式	特性試験	G4	13M	○	13回	72 計測制御系監視機能検査	13回にて設置
	蒸気漏えいの自動検知・遠隔隔離システム 一式	機能・性能試験 他	G4	13M～ 130M	○	13回	84 1次系弁検査	13回にて設置
	貫通部止水処置	外観点検	G3	1Y	○	2016年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
その他発電用原子炉の 附属施設(非常用取水 設備) [取水設備]	海水ピット堰3A	開放点検	G3	13M	○	—	167 海水ピット堰検査	13回にて設置 14回定検より検査追加
	海水ピット堰3B	開放点検	G3	13M	○	—	167 海水ピット堰検査	13回にて設置 14回定検より検査追加
その他発電用原子炉の 附属施設(緊急時対策 所)	緊急時対策所(EL.32m)	外観点検	高	1Y	○	2016年		プラント運転中または定検停止中
		非破壊試験		5Y	—	2016年		プラント運転中または定検停止中
		漏えい試験		6YP	—	—	140 緊急時対策所の居住性確認検査	13回にて設置 13回定検より検査追加
竜巻防護対策設備	補助給水タンクエリア防護壁3号	外観点検	G3	1C	○	—		13回にて設置
	重油タンクA(防護材)	外観点検	G3	1C	○	—		13回にて設置

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	重油タンクB(防護材)	外観点検	G3	1C	○	—		13回にて設置
	重油タンクC(防護材)	外観点検	G3	1C	○	—		13回にて設置
	建屋開口部防護壁 一式	外観点検	G3	1C	○	—		13回にて設置
土木建築設備	原子炉格納施設	外観点検	高,低	1C	○	13回		一部プラント運転中
		非破壊試験		5Y	○	2013年		一部プラント運転中 2013年にて初回点検を計画
	原子炉建屋	外観点検	高,低	1Y	○	2016年		プラント運転中または定検停止中
		非破壊試験		5Y	○	2013年		プラント運転中または定検停止中 2013年にて初回点検を計画
	原子炉補助建屋	外観点検	高,低	1Y	○	2016年		プラント運転中または定検停止中
		非破壊試験		5Y	○	2013年		プラント運転中または定検停止中 2013年にて初回点検を計画
	取放水設備 一式	外観点検 他	高,低	1Y～5Y	○	2016年		プラント運転中または定検停止中
プラント総合	原子炉及びその附属設備(非常用予備発電装置を除く)	総合性能試験	G3	1C	○	13回	55 総合負荷性能検査	定検起動後
全般機器	化学消防自動車	機能・性能試験	G3	1Y	○	2017年		13回にて設置 プラント運転中または定検停止中
	水槽付消防自動車	機能・性能試験	G3	1Y	○	2017年		13回にて設置 プラント運転中または定検停止中
	海水取水用水中ポンプ	外観点検	G4	1Y	○	13回		13回にて設置 プラント運転中または定検停止中
	諸機器	機能・性能試験 他	G3,G4	1Y	—	2017年		一部13回にて設置 プラント運転中または定検停止中

2.点検計画 重大事故等対処設備

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定 検回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料貯蔵設備]	使用済燃料ピット広域水位(AM)計測装置 一式	特性試験 他	G3	13M	○	—	72 計測制御系監視機能検査	13回にて設置 13回定検より検査追加
	使用済燃料ピット監視カメラ(可搬型の使用済燃料ピット監視カメラ冷却設備を含む。)一式	特性試験	G3	13M	○	—		13回にて設置
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]	大型ポンプ車	機能・性能試験	G3	1Y	○	—	161 可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中または定検停止中 13回にて設置 13回定検より検査追加 2017年点検実施
		分解点検		10Y	—	—		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	大型ポンプ車(泡混合機能付)	機能・性能試験	G3	1Y	○	—	161 可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中または定検停止中 13回にて設置 13回定検より検査追加 2017年点検実施
		分解点検		10Y	—	—		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	中型ポンプ車 7台	機能・性能試験	G3	1Y	○	—	161 可搬型重大事故等対処設備機能検査 162 可搬型注水等設備機能検査	プラント運転中または定検停止中 13回にて設置 13回定検より検査追加 2017年点検実施
		分解点検		10Y	—	—		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	加圧ポンプ車 3台	機能・性能試験	G3	1Y	○	—	161 可搬型重大事故等対処設備機能検査 162 可搬型注水等設備機能検査	プラント運転中または定検停止中 13回にて設置 13回定検より検査追加 2017年点検実施
		分解点検		10Y	—	—		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	大型放水砲 2台	外観点検	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	小型放水砲 3台	外観点検	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備] 水源確保用ホース 一式	外観点検	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定 検回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [その他設備]	小型船舶 一式	機能・性能試験	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	取水ビッドシルトフェンス 一式	外観点検	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	海水ビッドシルトフェンス 一式	外観点検	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	放水ビッドシルトフェンス 一式	外観点検	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	放水ビッドテントシート 一式	外観点検	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	雨水排水口海洋シルトフェンス 一式	外観点検	G3	1Y	○	2016年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	放射性物質吸着剤 一式	外観点検	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] 弁 一式	分解点検	G3	130M～ 156M	—	—		13回にて設置
	原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] ディスタンスピース 一式	外観点検	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備]	高圧注入ポンプ3B及び電動機冷却水屋外 放出用5mフレキシブルホース 一式	外観点検	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	マニホールド(原子炉補機冷却水サージタンク用) 一式	外観点検	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	原子炉補機冷却水サージタンク窒素供給用 14mフレキシブルホース 一式	外観点検	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	窒素ポンプ(原子炉補機冷却水サージタンク 用) 一式	外観点検	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	可搬型代替冷却水ポンプ接続用5mフレキシ ブルホース 一式	外観点検	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定 検回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	格納容器雰囲気ガスサンプル冷却器冷却水 屋外放出用21mフレキシブルホース 一式	外観点検	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	可搬型代替冷却水ポンプ 一式	機能・性能試験	G3	1C	○	—	161 可搬型重大事故等対処設備機能検査	13回にて設置 13回定検より検査追加
		外観点検		1C	○	—		13回にて設置
	可搬型代替冷却水ポンプ電動機 一式	機能・性能試験	G3	1C	○	—		13回にて設置
	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備] 弁 一式	分解点検 他	G3	130M～ 156M	—	—	85 1次系安全弁検査	13回にて設置 13回定検より検査追加
	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備] ディスタンスピース 一式	外観点検	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水 設備]	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備] 弁 一式	分解点検	G3	156M	—	—		13回にて設置
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属す る管等]	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する管等] 弁 一式	分解点検	G3	156M	—	—		13回にて設置
計測制御系統施設 [計測装置]	事故時監視計器 圧力監視計器 1個 水位監視計器 5個 流量監視計器 2個 温度監視計器 2個 水素濃度監視計器 2個	特性試験 他	G3	13M	○	—	35 プラント状態監視設備機能検査 72 計測制御系監視機能検査	13回にて設置 13回定検より検査追加(35) 14回定検より検査追加(72)
	計測制御系統施設 [計測装置] 弁 一式	分解点検	G3	156M	—	—		13回にて設置
	計測制御系統施設 [計測装置] その他機器 一式	外観点検	G3	13M	○	—		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定 検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕
計測制御系統施設 [工学的安全施設等の 作動信号]	ATWS緩和設備 一式	特性試験	G3	13M	○	—	149 重大事故時安全停止回路機能検査	13回にて設置 13回定検より検査追加
計測制御系統施設 [制御用空気設備]	計測制御系統施設 [制御用空気設備] 弁 一式	分解点検 他	G3	10C ～130M	—	—	85 1次系安全弁検査	13回にて設置 13回定検より検査追加
	窒素ボンベ(空気作動弁用) 一式	外観点検	G3	1Y	○	—		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	マニホールド(空気作動弁用) 一式	外観点検	G3	1Y	○	—		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	空気作動弁用フレキシブルホース 一式	外観点検	G3	1Y	○	—		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
計測制御系統施設 [その他設備]	代替格納容器雰囲気ガスサンプリング圧縮装 置 一式	機能・性能試験	G3	1C	○	—	161 可搬型重大事故等対処設備機能検査	13回にて設置 13回定検より検査追加 14回定検より検査変更
		外観点検		1C	○	—		13回にて設置
	代替格納容器雰囲気ガスサンプリング圧縮装 置電動機 一式	機能・性能試験	G3	1C	○	—		13回にて設置
	中央制御室用可搬型照明 8台	外観点検	G4	1Y	○	—		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	可搬型計測器 一式	計器校正	G3	1Y	○	—		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	酸素濃度計(中央制御室用)	単体調整試験	G3	1Y	○	—		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	二酸化炭素濃度計(中央制御室用)	単体調整試験	G3	1Y	○	—		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	緊急時用携帯型通話設備 (緊急時用携帯型通話装置) 一式	機能・性能試験	G3	1Y	○	—		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	無線通信設備(無線通信装置(可搬型)) 一式	機能・性能試験	G3	1Y	○	—		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	衛星電話設備(衛星電話(可搬型)) 一式	機能・性能試験	G3	1Y	○	—		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定 検回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	衛星電話設備(衛星電話(固定型)) 一式	機能・性能試験	G3	1Y	○	—		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	統合原子力防災ネットワークに接続する通信 連絡設備 一式	機能・性能試験	G3	1Y	○	—		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	計測制御系統施設 [その他設備] 弁 一式	分解点検	G3	156M	—	—		13回にて設置
放射線管理施設 [放射線管理用計装装 置]	緊急時対策所エアモニタ 一式	特性試験	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	可搬型使用済燃料ピットエアモニタ 一式	特性試験	G3	12M～ 13M	○	—	76 放射線監視装置機能検査	プラント運転中または定検停止中 13回にて設置 13回定検より検査追加
	可搬型代替モニタ 一式	特性試験	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	可搬型モニタ 一式	特性試験	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	可搬型放射線計測器 一式	特性試験	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	可搬型ダストサンプラ 一式	機能・性能試験	G4	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	可搬型気象観測設備 一式	特性試験	G4	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
放射線管理施設 [換気設備]	緊急時対策所空気浄化系	機能・性能試験	G3	1Y	○	—	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中 13回にて設置 13回定検より検査追加 2017年点検実施
	緊急時対策所空気浄化ファンA	機能・性能試験	G3	1Y	○	—	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中 13回にて設置 13回定検より検査追加 2017年点検実施
		分解点検		15Y	—	—		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	緊急時対策所空気浄化ファンA電動機	分解点検	G3	15Y	—	—		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定 検回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	緊急時対策所空気浄化ファンB	機能・性能試験	G3	1Y	○	—	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中 13回にて設置 13回定検より検査追加 2017年点検実施
		分解点検		15Y	—	—		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	緊急時対策所空気浄化ファンB電動機	分解点検	G3	15Y	—	—		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	緊急時対策所空気浄化ファンC	機能・性能試験	G3	1Y	○	—	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中 13回にて設置 13回定検より検査追加 2017年点検実施
		分解点検		15Y	—	—		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	緊急時対策所空気浄化ファンC電動機	分解点検	G3	15Y	—	—		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	緊急時対策所空気浄化フィルタユニットA	機能・性能試験(よう素 除去効率)	G3	1Y	○	—	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中 13回にて設置 13回定検より検査追加 2017年点検実施
		機能・性能試験(漏えい 率)		1Y	○	—	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中 13回にて設置 13回定検より検査追加 2017年点検実施
		機能・性能試験		30Y	—	—	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中 13回にて設置 13回定検より検査追加
		開放点検		30Y	—	—		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	緊急時対策所空気浄化フィルタユニットB	機能・性能試験(よう素 除去効率)	G3	1Y	○	—	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中 13回にて設置 13回定検より検査追加 2017年点検実施
		機能・性能試験(漏えい 率)		1Y	○	—	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中 13回にて設置 13回定検より検査追加 2017年点検実施
		機能・性能試験		30Y	—	—	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中 13回にて設置 13回定検より検査追加
		開放点検		30Y	—	—		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定 検回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	緊急時対策所空気浄化フィルタユニットC	機能・性能試験(よう素 除去効率)	G3	1Y	○	—	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中 13回にて設置 13回定検より検査追加 2017年点検実施
		機能・性能試験(漏えい 率)		1Y	○	—	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中 13回にて設置 13回定検より検査追加 2017年点検実施
		機能・性能試験		30Y	—	—	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中 13回にて設置 13回定検より検査追加
		開放点検		30Y	—	—		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	緊急時対策所空気浄化フィルタユニット電気 加熱コイル 一式	内部・外部点検	G3	1Y	○	—		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	タンパ(防火タンパ) 一式	作動確認	G3	12Y	—	—		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	タクト 一式	外観点検	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他 の安全設備]	緊急時対策所加圧装置機器 一式	分解点検 他	G3	1Y～12Y	○	2017年	85 1次系安全弁検査	プラント運転中または定検停止中 13回にて設置 14回定検より検査追加
	代替格納容器スプレイポンプ3号	機能・性能試験	G3	1C	○	—	48 原子炉格納容器安全系機能検査 147 その他原子炉注水系機能検査	13回にて設置 13回定検より検査追加 (振動診断: 1M, 油分析: 2C)
		分解点検		130M	—	—	49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	13回にて設置 13回定検より検査追加
	代替格納容器スプレイポンプ3号電動機	分解点検	G3	130M	—	—		13回にて設置 (振動診断: 1M)
	静的触媒式水素再結合装置3A	機能・性能試験	G3	3C	—	—	51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	13回にて設置 13回定検より検査追加
	静的触媒式水素再結合装置3B	機能・性能試験	G3	3C	—	—	51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	13回にて設置 13回定検より検査追加
	静的触媒式水素再結合装置3C	機能・性能試験	G3	3C	—	—	51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	13回にて設置 13回定検より検査追加
	静的触媒式水素再結合装置3D	機能・性能試験	G3	3C	—	—	51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	13回にて設置 13回定検より検査追加

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定 検回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	静的触媒式水素再結合装置3E	機能・性能試験	G3	3C	—	—	51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	13回にて設置 13回定検より検査追加
	静的触媒式水素再結合装置作動温度計 測装置 一式	特性試験	G3	13M	○	—	72 計測制御系監視機能検査	13回にて設置 13回定検より検査追加
	イグナイタ 13台	機能・性能試験	G3	1C	○	—	51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	13回にて設置 13回定検より検査追加
	イグナイタ作動温度計測装置 一式	特性試験	G3	13M	○	—	72 計測制御系監視機能検査	13回にて設置 13回定検より検査追加
	格納容器再循環系タウ開放機構 一式	作動確認	G3	10C	○	13回		
	原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] 弁 一式	分解点検 他	G3	13M～ 156M	○	—		13回にて設置
原子炉格納施設 [その他設備]	泡混合器 一式	外観点検	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	水成膜泡消火薬剤(泡コンテナ、希釈率1%) 一式	外観点検	G4	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
原子炉施設 [その他設備]	重大事故等クラス2機器(供用期間中検査 対象) 一式	非破壊試験	G3	10YP	○	13回	144 重大事故等クラス2機器供用期間中検査	一部13回にて設置 13回定検より検査追加 重大事故等クラス2機器供用期間 中検査10年計画[別紙-7]
		漏えい試験		1C,10YP	○	13回		
	重大事故等クラス3機器(供用期間中検査 対象) 一式	漏えい試験	G3	10Y	○	—	168 重大事故等クラス3機器供用期間中検査	13回にて設置 14回定検より検査追加 重大事故等クラス3機器供用期間 中検査10年計画[別紙-8]
その他発電用原子炉 の附属施設(非常用電 源設備) [非常用発電装置]	空冷式非常用発電装置3号	機能・性能試験	G3	1C	○	—	158 その他非常用発電装置の機能検査 160 その他非常用発電装置の付属設備検査	13回にて設置 13回定検より検査追加(158) 14回定検より検査追加(160)
		分解点検		52M	—	—	157 その他非常用発電装置の分解検査	13回にて設置 13回定検より検査追加
		潤滑油入替		26M	○	—		13回にて設置

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定 検回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	空冷式非常用発電装置4号	機能・性能試験	G3	1C	○	—	158 その他非常用発電装置の機能検査 160 その他非常用発電装置の付属設備検査	13回にて設置 13回定検より検査追加(158) 14回定検より検査追加(160)
		分解点検		52M	—	—	157 その他非常用発電装置の分解検査	13回にて設置 13回定検より検査追加
		潤滑油入替		26M	—	—		13回にて設置
	No.1 300kVA電源車	機能・性能試験	G3	1Y	○	—	163 可搬型代替電源設備検査	プラント運転中または定検停止中 13回にて設置 13回定検より検査追加 2017年点検実施
	No.2 300kVA電源車	機能・性能試験	G3	1Y	○	—	163 可搬型代替電源設備検査	プラント運転中または定検停止中 13回にて設置 13回定検より検査追加 2017年点検実施
	No.3 300kVA電源車	機能・性能試験	G3	1Y	○	—	163 可搬型代替電源設備検査	プラント運転中または定検停止中 13回にて設置 13回定検より検査追加 2017年点検実施
	No.1 75kVA電源車	機能・性能試験	G3	1Y	○	—	163 可搬型代替電源設備検査	プラント運転中または定検停止中 13回にて設置 13回定検より検査追加 2017年点検実施
	No.2 75kVA電源車	機能・性能試験	G3	1Y	○	—	163 可搬型代替電源設備検査	プラント運転中または定検停止中 13回にて設置 13回定検より検査追加 2017年点検実施
	No.3 75kVA電源車	機能・性能試験	G3	1Y	○	—	163 可搬型代替電源設備検査	プラント運転中または定検停止中 13回にて設置 13回定検より検査追加 2017年点検実施
	300kVA電源車用変圧器3A	内部・外部点検	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	300kVA電源車用変圧器3B	内部・外部点検	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	300kVA電源車用変圧器3C	内部・外部点検	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定 検回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
	300kVA電源車中継端子盤A-1	内部・外部点検	G3	1C	○	—		13回にて設置
	300kVA電源車中継端子盤A-2	内部・外部点検	G3	1C	○	—		13回にて設置
	300kVA電源車中継端子盤B-1	内部・外部点検	G3	1C	○	—		13回にて設置
	300kVA電源車中継端子盤B-2	内部・外部点検	G3	1C	○	—		13回にて設置
	300kVA電源車用電源接続ユニット1	コントロールセンタ点検	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	300kVA電源車用電源接続ユニット2	コントロールセンタ点検	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	300kVA電源車用電源接続ユニット3	コントロールセンタ点検	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	300kVA電源車用電源接続ユニット4	コントロールセンタ点検	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	緊急時対策所用発電機 6台	機能・性能試験	G3	1Y	○	—	163 可搬型代替電源設備検査	プラント運転中または定検停止中 13回にて設置 13回定検より検査追加 2017年点検実施
	軽油タンク3号	開放点検	G3	156M	—	—	124 2次系容器検査	13回にて設置 14回定検より検査追加
	ミニローラー(ミニローラー車載送油用 19.5m または、20mホースを含む) 5台	機能点検	G3	0.25Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備)[非常用発電装置] 燃料補給用ホース等 一式	外観点検	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備)[非常用発電装置] 弁 一式	分解点検	G3	156M	—	—		13回にて設置

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定 検回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
その他発電用原子炉 の附属施設(非常用電 源設備) [その他の電源設備]	代替動力変圧器3号	内部・外部点検	G3	4C	○	—		13回にて設置
	代替電気設備受電盤3号	遮断器点検	G3	52M	○	—		13回にて設置
	代替計装用変圧器盤3号	内部・外部点検	G3	1C	○	—		13回にて設置
	代替計装用分電盤3号	内部・外部点検	G3	1C	○	—		13回にて設置
	蓄圧タンク3B出口弁代替操作盤	内部・外部点検	G3	1C	○	—		13回にて設置
	蓄圧タンク3A,3C出口弁代替操作盤	内部・外部点検	G3	1C	○	—		13回にて設置
	緊急時対策所用発電機中継端子盤A	内部・外部点検	G3	1C	○	—		13回にて設置
	緊急時対策所コントロールセンタ	コントロールセンタ点検	G3	4C	—	—		13回にて設置
	緊急時対策所100V分電盤(1)	内部・外部点検	G3	1C	○	—		13回にて設置
	緊急時対策所100V分電盤(2)	内部・外部点検	G3	1C	○	—		13回にて設置
	緊急時対策所100V分電盤(3)	内部・外部点検	G3	1C	○	—		13回にて設置
	緊急時対策所100V分電盤(4)	内部・外部点検	G3	1C	○	—		13回にて設置
	緊急時対策所100V分電盤(5)	内部・外部点検	G3	1C	○	—		13回にて設置
	緊急時対策所100V分電盤(6)	内部・外部点検	G3	1C	○	—		13回にて設置
	緊急時対策所空調用分電盤	内部・外部点検	G3	1C	○	—		13回にて設置

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定 検回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
可搬型整流器3A	可搬型整流器3A	外観点検	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	可搬型整流器3B	外観点検	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	可搬型整流器3C	外観点検	G3	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	可搬型直流電源装置中継端子盤3号	内部・外部点検	G3	1C	○	—		13回にて設置
	可搬型直流電源装置切換盤3号	内部・外部点検	G3	1C	○	—		13回にて設置
	蓄電池切換盤3A	内部・外部点検	G3	1C	○	—		13回にて設置
	蓄電池切換盤3B	内部・外部点検	G3	1C	○	—		13回にて設置
	蓄電池(重大事故等対処用) 2組(60個/ 組)	機能・性能試験	G3	1C	○	—	53-3 直流電源系機能検査 159 直流電源系作動検査	13回にて設置 13回定検より検査追加
		蓄電池点検		13M	○	—		13回にて設置
その他発電用原子炉 の附属施設(浸水防護 施設) [内郭浸水防護設備]	その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備)[その他の電源装置] その他機器 一式	機能・性能試験 他	G3,G4	12M～ 13M	○	2017年	163 可搬型代替電源設備検査	プラント運転中または定検停止中 13回にて設置 13回定検より検査追加
	余熱除去冷却器室漏えい防止堰3A,3B	外観点検	G3	1C	○	—		13回にて設置
	格納容器スプレイ冷却器室漏えい防止堰 3A,3B	外観点検	G3	1C	○	—		13回にて設置
その他発電用原子炉 の附属施設(緊急時対 策所)	酸素濃度計(緊急時対策所用) (予備含む) 2台	単体調整試験	G3	1Y	○	—		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置
	二酸化炭素濃度計(緊急時対策所用) (予備含む) 2台	単体調整試験	G3	1Y	○	—		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定 検回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
全般機器	ホイールローダ 一式	機能・性能試験	G3	1Y	○	2016年		プラント運転中または定検停止中 13回にて設置

3. 点検計画(1,2,3号機共用設備)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定 検回数)	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [その他設備]	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [その他設備] その他の弁 一式	分解点検	G3	37Y	—	2010年		プラント運転中
	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [その他設備] その他機器 一式	目視点検	G4	5Y	—	2015年		プラント運転中
放射性廃棄物の廃棄 施設[気体,液体又は 固体廃棄物貯蔵設 備]	固体廃棄物貯蔵庫 (1,2,3号機共用) 2棟	外観点検 他	低	1Y～ 5Y	○	2016年		プラント運転中または定検停止 中
	蒸気発生器保管庫 (1,2,3号機共用) 1棟	外観点検 他	低	1Y～ 5Y	○	2016年		プラント運転中または定検停止 中
放射性廃棄物の廃棄 施設[気体,液体又は 固体廃棄物処理設 備]	雑固体焼却設備	機能・性能試験	G4	5Y	—	2017年	66 固体廃棄物処理系焼却炉機能検査	プラント運転中または定検停止 中
	放射性廃棄物の廃棄施設 [気体,液体又は固体廃棄物処理設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G4	4Y～ 16Y	○	2015年		プラント運転中または定検停止 中
	放射性廃棄物の廃棄施設 [気体,液体又は固体廃棄物処理設備] その他機器 一式	分解点検 他	G3～G5, 低	1Y～ 12Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止 中 一部CBMあり 一部BDMあり 一部点検実施
放射線管理施設 [放射線管理用計測 装置]	1.エリアモニタ 2.プロセスマニタ 3台 4台	特性試験	G3	13M	○	1-28回 (3-13回 相当)	76 放射線監視装置機能検査	プラント運転中または定検停止 中
	モニタリングステーション 1台	特性試験	G4	2Y	○	2016年	62 野外モニタ機能検査	プラント運転中または定検停止 中
	モニタリングポスト 4台	特性試験	G4	2Y	○	2016年	62 野外モニタ機能検査	プラント運転中または定検停止 中
	移動式モニタリング設備 2台	特性試験	G4	2Y	○	2011年	62 野外モニタ機能検査	プラント運転中または定検停止 中 2016年点検実施
	放射線管理施設 [放射線管理用計測装置] その他機器 一式	単体調整試験 他	G3	1Y～ 5Y	○	2016年		プラント運転中または定検停止 中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定 検回数)	検査名	備考 「()内は適用する 設備診断技術」
放射線管理施設 [換気設備]	前処理室排気ファン	機能・性能試験	G4	15Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中 (赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM	—	2002年		
	前処理室排気ファン電動機	機能・性能試験	G4	8Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中 (振動診断:1M,赤外線診断: 1M)
		分解点検		8Y	—	2015年		プラント運転中または定検停止 中
	焼却炉建家給気ファンA	機能・性能試験	G4	15Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中 (振動診断:1M,赤外線診断: 1M)
		分解点検		CBM	—	2002年		
	焼却炉建家給気ファンA電動機	機能・性能試験	G4	8Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中 (振動診断:1M,赤外線診断: 1M)
		分解点検		8Y	—	2015年		プラント運転中または定検停止 中
	焼却炉建家給気ファンB	機能・性能試験	G4	15Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中 (振動診断:1M,赤外線診断: 1M)
		分解点検		CBM	—	2002年		
	焼却炉建家給気ファンB電動機	機能・性能試験	G4	8Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中 (振動診断:1M,赤外線診断: 1M)
		分解点検		8Y	—	2015年		プラント運転中または定検停止 中
	焼却炉建家排気ファンA	機能・性能試験	G4	15Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中 (振動診断:1M,赤外線診断: 1M)
		分解点検		CBM	—	2002年		
	焼却炉建家排気ファンA電動機	機能・性能試験	G4	B	—	2007年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M,赤外線診断: 1M)
		分解点検		CBM	—	2007年		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定 検回数)	検査名	備考 「()内は適用する 設備診断技術」
	焼却炉建家排気ファンB	機能・性能試験	G4	15Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中 (振動診断:1M,赤外線診断: 1M)
		分解点検		CBM	—	2002年		
	焼却炉建家排気ファンB電動機	機能・性能試験	G4	B	—	2010年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M,赤外線診断: 1M)
		分解点検		CBM	—	2010年		
	焼却炉建家排気ファンC	機能・性能試験	G4	15Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中 (振動診断:1M,赤外線診断: 1M)
		分解点検		CBM	—	2002年		
	焼却炉建家排気ファンC電動機	機能・性能試験	G4	B	—	2010年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M,赤外線診断: 1M)
		分解点検		CBM	—	2010年		
	高圧圧縮棟給気ファンA	機能・性能試験	G4	15Y	—	—	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中 2009年にて設置 2024年にて初回試験を計画
		分解点検		CBM	—	—		
	高圧圧縮棟給気ファンA電動機	機能・性能試験	G4	6Y	○	2012年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中 (振動診断:1M,赤外線診断: 1M)
		分解点検		6Y	○	2012年		プラント運転中または定検停止 中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定 検回数)	検査名	備考 「()内は適用する 設備診断技術」
	高圧圧縮棟給気ファンB	機能・性能試験	G4	15Y	—	—	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中 2009年にて設置 2024年にて初回試験を計画
		分解点検		CBM	—	—		
	高圧圧縮棟給気ファンB電動機	機能・性能試験	G4	6Y	○	2012年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中 (振動診断:1M,赤外線診断: 1M)
		分解点検		6Y	○	2012年		プラント運転中または定検停止 中
	高圧圧縮棟排気ファンA	機能・性能試験	G4	15Y	—	—	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中 2009年にて設置 2024年にて初回試験を計画
		分解点検		CBM	—	—		
	高圧圧縮棟排気ファンA電動機	機能・性能試験	G4	6Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中 (振動診断:1M,赤外線診断: 1M)
		分解点検		6Y	—	2015年		プラント運転中または定検停止 中
	高圧圧縮棟排気ファンB	機能・性能試験	G4	15Y	—	—	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中 2009年にて設置 2024年にて初回試験を計画
		分解点検		CBM	—	—		
	高圧圧縮棟排気ファンB電動機	機能・性能試験	G4	6Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中 (振動診断:1M,赤外線診断: 1M)
		分解点検		6Y	—	2015年		プラント運転中または定検停止 中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定 検回数)	検査名	備考 「()内は適用する 設備診断技術」
	前処理室排気フィルタユニット	機能・性能試験	G4	15Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中
	焼却炉建家排気フィルタユニットA	機能・性能試験	G4	15Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中
	焼却炉建家排気フィルタユニットB	機能・性能試験	G4	15Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中
	高圧圧縮棟排気フィルタユニット	機能・性能試験	G4	15Y	—	—	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中 2009年にて設置 2024年にて初回試験を計画
	ダンパ(ダンパオペレータ,防火ダンパ,手動ダンパ含む) 一式	機能・性能点検 他	G4	4Y～ 15Y	○	2015年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止 中
その他発電用原子炉 の附属施設 [電気設備]	変圧器設備 一式	開放点検 他	G3	39M～ 182M	○	1-28回 (3-13回 相当)		プラント運転中または定検停止 中
	しゃ断器 一式	しゃ断器点検 他	G3	6Y	○	2013年		プラント運転中または定検停止 中
	その他発電用原子炉の附属施設[電気設備] その他機器 一式	内部・外部点検 他	G3	6Y	○	2013年		プラント運転中または定検停止 中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定 検回数)	検査名	備考 「()内は適用する 設備診断技術」
その他発電用原子炉 の附属施設(火災防 護設備) [消火設備]	ディーゼル駆動消火ポンプ [※] ディーゼルエンジン	機能・性能試験	G3	1Y	○	2016年		プラント運転中または定検停止 中 (振動診断:1M,油分析:1Y)
		分解点検		10Y	—	2013年		プラント運転中または定検停止 中
		部分点検		1Y	○	2016年		プラント運転中または定検停止 中
	ディーゼル駆動消火ポンプ [※]	機能・性能試験	G3	1Y	○	2016年		プラント運転中または定検停止 中 (振動診断:1M)
		分解点検		6Y	○	2011年		プラント運転中または定検停止 中
	電動消火ポンプ [※]	機能・性能試験	G4	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止 中
		分解点検		6Y	—	2016年		プラント運転中または定検停止 中
	電動消火ポンプ [※] 電動機	機能・性能試験	G4	1Y	○	2017年		プラント運転中または定検停止 中
	消火系統機器(AM機能範囲) 一式	取替	G3	CBM ※1	—	2010年		※1 巡視点検(1M)結果により 取替実施 一部プラント運転中

4.行政指導文書の点検指示による点検

	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定 検回数)	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
原子炉本体 [炉心]	再使用予定の燃料集合体 ※一式	外観点検(最下部支持格子内 の隙間確認)	G3	1C	○	13回		平成22・02・03原院第3号 (NISA-161a-10-1) ※漏えい事象に係る知見を踏 まえ選定

クラス1機器供用期間中検査10年計画

1. 原子炉容器 (1/2)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008※1					伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)													備考	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期			第2検査時期				第3検査時期				
								-	8回	9回	10回	11回	-	12回	13回 ※3	-	14回		15回 ※4
B2.111	B-B	上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	5%	1シーム	UT (内面)	5%								5%			(重大事故等クラス2機器)	
		下部胴とトランジションリングとの周溶接継手	体積	5%	1シーム	UT (内面)	5%							5%			(重大事故等クラス2機器)		
		トランジションリングと下部鏡板との周溶接継手	体積	5%	1シーム	UT (内面)	5%							5%			(重大事故等クラス2機器)		
B3.105	B-C	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積	100%	1シーム	UT (内面)	100%								100%			(重大事故等クラス2機器)	
B3.106	B-C	上部鏡板と上部蓋フランジとの溶接継手	体積	100%	1シーム	UT	100%			<15%>	<15%>	<10%>		<15%>	<15%>			第14回定検にて、継手溶接線が無い一体構造の上部ふたに取替を実施 (重大事故等クラス2機器)	
B3.10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積	100%	3箇所	UT (内面)	100%								3箇所			(重大事故等クラス2機器)	
		冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	100%	3箇所	UT (内面)	100%								3箇所			(重大事故等クラス2機器)	
B3.20	B-D	冷却材入口管台内面の丸みの部分	体積	100%	3箇所	UT (内面)	100%								3箇所			(重大事故等クラス2機器)	
		冷却材出口管台内面の丸みの部分	体積	100%	3箇所	UT (内面)	100%								3箇所			(重大事故等クラス2機器)	
B5.10	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面 (※2)	100% (※2)	3箇所	PT (外面)	100%		C					B			A	(重大事故等クラス2機器)	
						UT (外面)	100%		C				A, B, C			A	600系Ni基合金使用部位であるため、検査間隔は、き裂進展評価結果に基づき7年[磨]とする。なお、UTは内面と外面のどちらでもよい。 (重大事故等クラス2機器)		
						UT (内面)	100%							A, B, C					
		冷却材出口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面 (※2)	100% (※2)	3箇所	PT (外面)	100%			B			A					C	(重大事故等クラス2機器)
						UT (外面)	100%			B			A, B, C				C	600系Ni基合金使用部位であるため、検査間隔は、き裂進展評価結果に基づき4年[運転年数]とする。なお、UTは内面と外面のどちらでもよい。 (重大事故等クラス2機器)	
						UT (内面)	100%								A, B, C				

(注) 項目番号B1.101 B1.102, B1.103 B-A/B2.112, B2.121, B2.122 B-B/B5.20, B5.30 B-Fについては該当なし。

※1 12回以前はJSME S NA1-2002を適用。

※2 NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(原規技発第1408063号(平成26年8月6日 原子力規制委員会決定))に従う。

なお、13回以前は、NISA文書「発電用原子力設備における破壊を引き起こすき裂その他の欠陥の解釈について(内規)」(平成21年12月25日付け平成21・11・18原院第1号)に従う。

※3 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※4 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

< >は旧設備の検査実績を示す。

1. 原子炉容器 (2/2)

適用規格： 維持規格 JSME S NA1-2008※1					伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)													備 考	
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数	検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期				第3検査時期				
								-	8回	9回	10回	11回	-	12回	13回 ※2	-	14回		15回 ※3
B6.10	B-G-1	上蓋用ナット	VT-1	100%	58個	VT-1	100%			16個		8個		8個	8個		9個	9個	(重大事故等クラス2機器)
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体積	100%	58本	UT	100%			16本		8本		8本	8本		9本	9本	(重大事故等クラス2機器)
B6.40	B-G-1	胴フランジネジ穴のネジ部	体積	100%	58箇所	UT	100%			14箇所		15箇所			14箇所			15箇所	(重大事故等クラス2機器)
B6.50	B-G-1	上蓋用ワッシャ	VT-1	100%	58個	VT-1	100%			16個		8個		8個	8個		9個	9個	(重大事故等クラス2機器)
B7.10	B-G-2	T/Cハウジングのマーマン カップリング用ボルト、ナット	VT-1	25%	4組	VT-1	25% (1組)											1組 # 53	(重大事故等クラス2機器)
B14.10	B-0	制御棒駆動ハウジング溶接継手	体積又は 表面	最外周の 25%	65箇所	PT	最外周の 25% (6箇所)		1箇所 # 58	2箇所 # 60, 62				1箇所 # 64	1箇所 # 46			1箇所 # 48	最外周：24箇所 (重大事故等クラス2機器)
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	25%	6箇所	VT-3	25% (2箇所)			B出口		A出口							(重大事故等クラス2機器)
G1.10	G-P-1	原子炉容器の内部	VT-3	7.5%	1基	VT-3 (水中TV)	100% (可能範囲)			33 1/3%		33 1/3%			33 1/3%				(重大事故等クラス2機器)
G1.40		原子炉容器の内部取付け物	VT-3	7.5%	1基	VT-3 (水中TV)	100% (可能範囲)								100%				(重大事故等クラス2機器)
G1.40	G-P-1 G-P-2	上部炉心支持構造物	VT-3	7.5%	1基	VT-3 (水中TV)	100% (可能範囲)											100%	(重大事故等クラス2機器)
G1.50		下部炉心支持構造物	VT-3	7.5%	1基	VT-3 (水中TV)	100% (可能範囲)								100%				(重大事故等クラス2機器)

(注) 項目番号B6.20 B-G-1/B8.10 B-Hについては該当なし。

※1 12回以前はJSME S NA1-2002を適用。

※2 維持規格IA-2310 (4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※3 維持規格IA-2310 (2)の規定により、検査間隔延長を適用

2. 加圧器 (1/2)

適用規格： 維持規格 JSME S NA1-2008※1					伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)													備 考		
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数	検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期				第3検査時期					
								-	8回	9回	10回	11回	-	12回	13回 ※2	-	14回		15回 ※3	
B2.11	B-B	上部鏡板と上部胴との 周溶接継手	体積	5%	1シーム	UT	5%		5%										(重大事故等クラス2機器)	
		下部胴と下部鏡板との 周溶接継手	体積	5%	1シーム	UT	5%					5%							(重大事故等クラス2機器)	
B2.12		上部胴の長手溶接継手	体積	10%	2シーム	UT	10%		1シーム 10%						1シーム 10%				(重大事故等クラス2機器)	
		下部胴の長手溶接継手	体積	10%	2シーム	UT	10%					1シーム 10%					1シーム 10%		(重大事故等クラス2機器)	
B2.13		上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	5%	1シーム	UT	5%								5%				(重大事故等クラス2機器)	
B3.30	B-D	管 台 と 容 器 と の 溶 接 継 手	サージライン用管台	体積	管台数 の25%	1箇所	UT	管台数 の25% (2箇所)										1箇所		(重大事故等クラス2機器)
			スプレイライン用管台			1箇所							1箇所						(重大事故等クラス2機器)	
			逃がし弁用管台			1箇所													(重大事故等クラス2機器)	
			安全弁用管台			3箇所													(重大事故等クラス2機器)	
B3.40		管 台 内 面 の 丸 み の 部 分	サージライン用管台	体積	管台数 の25%	1箇所	UT	管台数 の25% (2箇所)										1箇所		(重大事故等クラス2機器)
			スプレイライン用管台			1箇所							1箇所							(重大事故等クラス2機器)
			逃がし弁用管台			1箇所														(重大事故等クラス2機器)
			安全弁用管台			3箇所														(重大事故等クラス2機器)

※1 12回以前はJSME S NA1-2002を適用。

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

2. 加圧器 (2/2)

適用規格： 維持規格 JSME S NA1-2008※1					伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)													備 考		
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所		検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数	検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期				第3検査時期				
									-	8回	9回	10回	11回	-	12回	13回 ※3	-		14回	15回 ※4
B5.40	B-F	管台とセーフエンドとの溶接継手	サージライン用管台	体積及び表面 (※2)	管台数の25% (※2)	1箇所	UT PT	管台数の25% (2箇所)										1箇所		3-9定検 加圧器管台廻り修繕工事において690系Ni基合金化されたため、検査間隔は10年[暦]とする。 (重大事故等クラス2機器)
		スプレイライン用管台	1箇所									1箇所								
		逃がし弁用管台	1箇所																	
		安全弁用管台	3箇所																	
B7.20	B-G-2	マンホールの取付けボルト		VT-1	25%	16本	VT-1	25% (4本)					1本			1本			2本	(重大事故等クラス2機器)
B8.20	B-H	支持スカート溶接継手		表面	7.5%	1シーム	PT	7.5%										7.5%		(重大事故等クラス2機器)
F1.41	F-A	支持構造物		VT-3	25%	1箇所	VT-3	25% (1箇所)											1箇所	(重大事故等クラス2機器)

(注) 項目番号B5.50, B5.60 B-F/B6.60, B6.70, B6.80 B-G-1については該当なし。

※1 12回以前はJSME S NA1-2002を適用。

※2 NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(原規技発第1408063号(平成26年8月6日 原子力規制委員会決定))に従う。

※3 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※4 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

3. 蒸気発生器

適用規格： 維持規格 JSME S NA1-2008※1					伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)													備 考
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数	検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期				
								-	8回	9回	10回	11回	-	12回	13回 ※4	-	14回	
B2.40	B-B	管板と水室鏡板との周溶接継手	体積	代表1基 の25%	1シ-ム/基 ×3基	UT	代表1基 の25%		A 5%			A 7.5%				A 12.5%		(重大事故等クラス2機器)
B3.60	B-D	冷却材出入口管台内面の 丸みの部分	体積	代表1基 の25%	2箇所/基 ×3基	UT	代表1基 の25% (1箇所)										1箇所 (A入口)	(重大事故等クラス2機器)
B5.70	B-F	冷却材入口管台と セーフエンドとの溶接継手	体積及び 表面 (※2)	代表1基 の25% (※2,3)	1箇所/基 ×3基	PT	代表1基 の25%			A								600系Ni基合金使用部位であるが、 第11回定検において検出限界のき 裂を想定したうえで応力腐食割れ 防止の有効性が実証された対策 (ECT+USP)を施したため、第12回定 検以降、検査計画を以下のとおり とする。 ・A号機入口管台を代表箇所とす る。 ・各検査方法における検査間隔は、 維持規格に従い10年とする。 (重大事故等クラス2機器)
			ECT (内表面) (※2)			UT			[C]	A, [B]								
						ECT (内表面)						《A, [B, C]》						
		冷却材出口管台と セーフエンドとの溶接継手	体積及び 表面 (※2)		1箇所/基 ×3基	PT						[A]						
						UT			[C]	[B]	[A]							
			ECT (内表面) (※2)			ECT (内表面)						《[A, B, C]》						
B7.30	B-G-2	冷却材出入口側マンホールの 取付けボルト	VT-1	代表1基 の25%	16本×2 /基 ×3基	VT-1	代表1基 の25% (8本)				A入口 2本			A入口 3本			A入口 3本	(重大事故等クラス2機器)
B8.30	B-H	支持部材の容器への取付け 溶接継手	表面	代表1基 の7.5%	4箇所/基 ×3基	PT	代表1基 の7.5% (1箇所)							B 1箇所				(重大事故等クラス2機器)
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1基 の25%	4箇所/基 ×3基	VT-3	代表1基 の25% (1箇所)							B 1箇所				(重大事故等クラス2機器)

(注) 項目番号B3.50 B-D/B5.80, B5.90 B-F/B6.90, B6.100, B6.110 B-G-1/B16.30 B-Qについては該当なし。
《 》は蒸気発生器出入口管台溶接部内表面検査 (「蒸気発生器出入口管台溶接部の内表面の点検実施について」(平成19年11月16日付け平成19・11・13原院第7号)および「定期事業者検査における超音波探傷試験の代替措置計画策定について(指示)」(平成20年2月5日付け平成20・02・05原院第5号)に基づき実施)における検査実績を示す。
項目番号B16.20 B-Q 「伝熱管」については、統合型保守管理システム (EAM) にて管理する。

※1 12回以前はJSME S NA1-2002を適用。
※2 NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(原規技発第1408063号(平成26年8月6日 原子力規制委員会決定))に従う。
なお、13回以前は、NISA文書「発電用原子力設備における破壊を引き起こすき裂その他の欠陥の解釈について(内規)」(平成21年12月25日付け平成21・11・18原院第1号)に従う。
※3 第11回定検までの検査範囲は、体積及び表面：代表1基の100%。
※4 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用
※5 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用
[]は定点サンプリング方式の検査箇所としては選定しない。

4. 配管 (1/5)

適用規格： 維持規格 JSME S NA1-2008※1						伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）													備 考	
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所		検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数	検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期				第3検査時期				
									-	8回	9回	10回	11回	-	12回	13回 ※2	-	14回		15回 ※3
B7.50	B-G-2	圧力保持用 ボルト、ナット	一次冷却材ポンプ 封水注入ライン	VT-1	25%	6箇所	VT-1	25% (2箇所)					1箇所				1箇所			
B9.11	B-J	配管の周溶接継手（呼び径100A以上）	一次冷却材管	体積	25%	36箇所	UT	25% (9箇所)		1箇所	2箇所		2箇所		1箇所	1箇所		1箇所	1箇所	（重大事故等クラス2機器）
			加圧器サージライン	体積	25%	7箇所	UT	25% (2箇所)						1箇所				1箇所		（重大事故等クラス2機器）
			加圧器安全弁ライン	体積	25%	27箇所	UT	25% (7箇所)		<1箇所>			2箇所		1箇所	1箇所		1箇所	2箇所	（重大事故等クラス2機器）
			加圧器逃がしライン	体積	25%	7箇所	UT	25% (2箇所)						1箇所				1箇所		（重大事故等クラス2機器）
			加圧器スプレイライン	体積	25%	51箇所	UT	25% (13箇所)		1箇所	2箇所		3箇所		2箇所	2箇所			3箇所	
			余熱除去ポンプ入口ライン	体積	25%	10箇所	UT	25% (3箇所)			1箇所				1箇所	1箇所				（重大事故等クラス2機器）
			蓄圧注入ライン	体積	25%	44箇所	UT	25% (11箇所)		1箇所	3箇所		2箇所		1箇所	2箇所		1箇所	1箇所	（重大事故等クラス2機器）
			高温側低圧注入ライン	体積	25%	31箇所	UT	25% (8箇所)		1箇所	2箇所		1箇所		1箇所	1箇所		1箇所	1箇所	（重大事故等クラス2機器）
			低温側低圧注入ライン	体積	25%	39箇所	UT	25% (10箇所)			2箇所	1箇所	2箇所		1箇所	2箇所		1箇所	1箇所	（重大事故等クラス2機器）
			高温側高圧注入ライン	体積	25%	16箇所	UT	25% (4箇所)			1箇所	1箇所	1箇所					1箇所		（重大事故等クラス2機器）

(注) 項目番号B5.130, B5.140, B5.150 B-F/B6.150, B6.160, B6.170 B-G-1/B9.12 B-J については該当なし。

※1 12回以前はJSME S NA1-2002を適用。

< >は旧設備の検査実績を示す。

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

4. 配管 (2/5)

適用規格： 維持規格 JSME S NA1-2008※1						伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)													備 考	
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所		検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数	検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期				第3検査時期				
									-	8回	9回	10回	11回	-	12回	13回 ※2	-	14回		15回 ※3
B9.21	B-J	配管の周溶接継手 (呼び径100A未満)	加圧器逃がしライン	表面	25%	12箇所	PT	25% (3箇所)				1箇所			1箇所	1箇所				(重大事故等クラス2機器)
			加圧器補助スプレイライン	表面	25%	15箇所	PT	25% (4箇所)			1箇所		1箇所		1箇所				1箇所	
			ドレンライン	表面	25%	27箇所	PT	25% (7箇所)		1箇所	[1箇所]		1箇所		1箇所	1箇所		1箇所	2箇所	
			充てんライン	表面	25%	16箇所	PT	25% (4箇所)		1箇所		1箇所				1箇所			1箇所	(重大事故等クラス2機器)
			一次冷却材ポンプ 封水注入ライン	表面	25%	14箇所	PT	25% (4箇所)				1箇所	1箇所		1箇所	1箇所				
			高温側高圧注入ライン	表面	25%	12箇所	PT	25% (3箇所)			1箇所		1箇所					1箇所		(重大事故等クラス2機器)
			低温側高圧注入ライン	表面	25%	54箇所	PT	25% (14箇所)		2箇所	1箇所	2箇所	1箇所		2箇所	2箇所		3箇所	1箇所	(重大事故等クラス2機器)
B9.31	B-J	母管と管台との溶接継手 (呼び径100A以上)	一次冷却材管	体積	25%	14箇所	UT	25% (4箇所)			1箇所		1箇所		1箇所		1箇所		(重大事故等クラス2機器)	
母管と管台との溶接継手 (呼び径100A未満)			一次冷却材管	表面	25%	8箇所	PT	25% (2箇所)				1箇所			1箇所				(重大事故等クラス2機器)	
		高温側低圧 注入ライン	表面	25%	2箇所	PT	25% (1箇所)							1箇所				(重大事故等クラス2機器)		
B9.40	B-J	溶 ソ ケ ツ 継 手 ト	加圧器補助スプレイライン	表面	25%	7箇所	PT	25% (2箇所)					1箇所					1箇所		
			ドレンライン	表面	25%	5箇所	PT	25% (2箇所)				1箇所							1箇所	

(注) 項目番号B9.22 B-Jについては該当なし。

※1 12回以前はJSME S NA1-2002を適用。

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

[]は定点サンプリング方式の検査箇所としては選定しない。

4. 配管 (3/5)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008※1						伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)													備 考		
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所		検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数		検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期					
										-	8回	9回	10回	11回	-	12回	13回 ※2	-		14回	15回 ※3
B9.40	B-J	ソ ケ ッ ト 溶 接 継 手	一次冷却材ポンプ 封水注入ライン	表面	25%	51箇所	PT	25% (13箇所)		1箇所	2箇所	2箇所	2箇所		2箇所	2箇所		2箇所			
			高温側高圧注入ライン	表面	25%	16箇所	PT	25% (4箇所)		1箇所		1箇所			1箇所			1箇所			(重大事故等クラス2機器)
			低温側高圧注入ライン	表面	25%	18箇所	PT	25% (5箇所)			1箇所		2箇所							2箇所	(重大事故等クラス2機器)
F1.10	F-A	支 																			

(注) 項目番号B9.110, B9.120, B9.130 B-J/B10.20 B-Fについては該当なし。

※1 12回以前はJSME S NA1-2002を適用。

※2 維持規格IA-2310 (4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※3 維持規格IA-2310 (2)の規定により、検査間隔延長を適用

< >は旧設備の検査実績を示す。

4. 配管 (4/5)

適用規格： 維持規格 JSME S NA1-2008※1						伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)													備 考			
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所		検 査 方 法	検 査 範 囲	設 備 数		検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期						
										-	8回	9回	10回	11回	-	12回	13回 ※2	-		14回	15回 ※3	
F1.10	F-A	支 持 構 造 物	ドレンライン	VT-3	25%	25 箇所	MS 6	VT-3	25% (7箇所)			1箇所							1箇所			
							RH 18				1箇所		2箇所							2箇所		
							SH 1															
			充てんライン	VT-3	25%	12 箇所	AN 1	VT-3	25% (3箇所)													(重大事故等クラス2機器)
							MS 5													1箇所		
							RH 6				1箇所				1箇所							
			一次冷却材ポンプ 封水注入ライン	VT-3	25%	28 箇所	MS 3	VT-3	25% (7箇所)					1箇所								
							RH 25				1箇所		2箇所			2箇所			1箇所			
			余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	25%	2 箇所	MS 2	VT-3	25% (1箇所)								1箇所					(重大事故等クラス2機器)
			蓄圧注入ライン	VT-3	25%	35 箇所	MS 14	VT-3	25% (9箇所)			1箇所		1箇所			1箇所					(重大事故等クラス2機器)
							RH 18						2箇所			2箇所			1箇所			
							SH 3													1箇所		

※1 12回以前はJSME S NA1-2002を適用。
※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用
※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

4. 配管 (5/5)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008※1						伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）														備 考		
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所		検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数		検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期						
										-	8回	9回	10回	11回	-	12回	13回 ※2	-	14回		15回 ※3	
F1.10	F-A	支 持 構 造 物	高温側低圧注入ライン	VT-3	25%	28 箇所	AN 1	VT-3	25% (7箇所)												(重大事故等クラス2機器)	
							HS 1															
							MS 7					1箇所		1箇所								
							RH 16				2箇所				1箇所			1箇所				
							SH 3												1箇所			
			低温側低圧注入ライン	VT-3	25%	40 箇所	AN 1	VT-3	25% (10箇所)								1箇所					(重大事故等クラス2機器)
							HS 3															
							MS 13					1箇所		2箇所								
							RH 21						2箇所			2箇所			2箇所			
							SH 2															
			高温側高圧注入ライン	VT-3	25%	29 箇所	AN 2	VT-3	25% (8箇所)											1箇所	(重大事故等クラス2機器)	
							MS 3									1箇所						
							RH 24				1箇所		2箇所			2箇所				1箇所		
			低温側高圧注入ライン	VT-3	25%	52 箇所	AN 3	VT-3	25% (13箇所)											1箇所	(重大事故等クラス2機器)	
							MS 12					1箇所		1箇所			1箇所					
							RH 34				<2箇所>		2箇所			3箇所			3箇所			
SH 3														1箇所								

(注) < >は旧設備の検査実績を示す。
※1 12回以前はJSME S NA1-2002を適用。
※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用
※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

5. 一次冷却材ポンプ

適用規格： 維持規格 JSME S NA1-2008※1					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）														備 考
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数	検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期				第3検査時期				
								-	8回	9回	10回	11回	-	12回	13回 ※2	-	14回	15回 ※3	
B6.180	B-G-1	主フランジボルト	体積	代表1台 の25%	24本/台 ×3台	UT	代表1台 の25% (6本)		A 2本			A 2本					A 2本		(重大事故等クラス2機器)
B6.190		主フランジ表面（開放時）	VT-1	代表1台 の25%	3台	VT-1	代表1台 の100%								B 100%				(重大事故等クラス2機器)
B6.200		主フランジナット及びワッシャ	VT-1	代表1台 の25%	24組/台 ×3台	VT-1	代表1台 の25% (6組)								B 6組				(重大事故等クラス2機器)
B12.20	B-L-2	ケーシングの内表面	VT-3	代表1台 の100%	3台	VT-3	代表1台 の100%								B 100%				(重大事故等クラス2機器)
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1台 の25%	3箇所/台 ×3台	VT-3	代表1台 の25% (1箇所)							B 1箇所					(重大事故等クラス2機器)

(注) 項目番号B7.60 B-G-2/B10.30 B-K/B12.10 B-L-1については該当なし。

※1 12回以前はJSME S NA1-2002を適用。

※2 維持規格IA-2310 (4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※3 維持規格IA-2310 (2)の規定により、検査間隔延長を適用

6. 弁 (1/3)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008※1						伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）													備 考
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数	検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期				第3検査時期				
								-	8回	9回	10回	11回	-	12回	13回 ※2	-	14回	15回 ※3	
B7.70	B-G-2	圧 力 保 持 用 ボ ル ト ・ ナ ツ ト	加圧器安全弁ライン (3V-RC-055, 056, 057)	VT-1	代表1台 の25%	12個/台 ×3台	VT-1	代表1台 の100%										1台	型式：6-RV58SB (重大事故等クラス2機器)
			加圧器逃がしライン(1) (3V-RC-054A, 054B)	VT-1	代表1台 の25%	10個/台 ×2台	VT-1	代表1台 の100%			1台								型式：3-GM58SM (重大事故等クラス2機器)
			加圧器逃がしライン(2) (3PCV-452A, 452B)	VT-1	代表1台 の25%	6個/台 ×2台	VT-1	代表1台 の100%						1台					型式：3-IA58R (重大事故等クラス2機器)
			加圧器スプレイライン (3PCV-451A, 451B)	VT-1	代表1台 の25%	8個/台 ×2台	VT-1	代表1台 の100%		1台									型式：4-RA58RB
			加圧器補助スプレイライン (3V-CS-156)	VT-1	代表1台 の25%	6個/台 ×1台	VT-1	代表1台 の100%				1台							型式：2-IA58R
			ドレンライン (3V-RC-020A, 020B, 020C)	VT-1	代表1台 の25%	8個/台 ×3台	VT-1	代表1台 の100%				1台							型式：2-T58B
			抽出ライン(1) (3V-RC-019)	VT-1	代表1台 の25%	10個/台 ×1台	VT-1	代表1台 の100%				1台							型式：3-G58
			抽出ライン(2) (3LCV-451, 452)	VT-1	代表1台 の25%	6個/台 ×2台	VT-1	代表1台 の100%							1台				型式：3-IA58R
			充てんライン (3V-CS-161, 162, 164, 165)	VT-1	代表1台 の25%	10個/台 ×4台	VT-1	代表1台 の100%						1台					型式：3-C58 (重大事故等クラス2機器)
			余熱除去ポンプ入口ライン (3PCV-420, 430)	VT-1	代表1台 の25%	18個/台 ×2台	VT-1	代表1台 の100%			1台								型式：12-GM58SMH (重大事故等クラス2機器)
			蓄圧注入ライン (3V-SI-134A, 134B, 134C, 136A, 136B, 136C)	VT-1	代表1台 の25%	16個/台 ×6台	VT-1	代表1台 の100%									1台		型式：12-C58Z (重大事故等クラス2機器)
			高温側低圧注入ライン (3V-RH-053A, 053B, 3V-SI-082A, 082B)	VT-1	代表1台 の25%	14個/台 ×4台	VT-1	代表1台 の100%							1台				型式：6-C58 (重大事故等クラス2機器)
			低温側低圧注入ライン (3V-RH-044A, 044B, 044C, 047A, 047B, 047C)	VT-1	代表1台 の25%	14個/台 ×6台	VT-1	代表1台 の100%									1台		型式：6-C58 (重大事故等クラス2機器)
			高温側高圧注入ライン (3V-SI-082C)	VT-1	代表1台 の25%	14個/台 ×1台	VT-1	代表1台 の100%						1台					型式：6-C58 (重大事故等クラス2機器)

(注) 項目番号B6.210, B6.220, B6.230 B-G-1 については該当なし。

※1 12回以前はJSME S NA1-2002を適用。

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

6. 弁 (2/3)

適用規格： 維持規格 JSME S NA1-2008※1					伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)														備 考	
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所		検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数	検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期				第3検査時期				
									-	8回	9回	10回	11回	-	12回	13回 ※2	-	14回		15回 ※3
B12.50	B-M-2	弁 本 体 内 表 面	加圧器安全弁ライン (3V-RC-055, 056, 057)	VT-3	同一 グループ で1台	3台	VT-3	同一 グループ で1台										1台		型式：6-RV58SB (重大事故等クラス2機器)
			余熱除去ポンプ入口ライン (3PCV-420, 430)	VT-3	同一 グループ で1台	2台	VT-3	同一 グループ で1台							1台					型式：12-QM58SMH (重大事故等クラス2機器)
			蓄圧注入ライン (3V-SI-134A, 134B, 134C, 136A, 136B, 136C)	VT-3	同一 グループ で1台	6台	VT-3	同一 グループ で1台							1台					型式：12-C58Z (重大事故等クラス2機器)
			高温側低圧注入ライン (3V-RH-053A, 053B, 3V-SI-082A, 082B)	VT-3	同一 グループ で1台	4台	VT-3	同一 グループ で1台								1台				型式：6-C58 (重大事故等クラス2機器)
			低温側低圧注入ライン (3V-RH-044A, 044B, 044C, 047A, 047B, 047C)	VT-3	同一 グループ で1台	6台	VT-3	同一 グループ で1台				1台								型式：6-C58 (重大事故等クラス2機器)
			高温側高圧注入ライン (3V-SI-082C)	VT-3	同一 グループ で1台	1台	VT-3	同一 グループ で1台					1台							型式：6-C58 (重大事故等クラス2機器)

(注) 項目番号B10.40 B-K/B12.30, B12.40 B-M-1 については該当なし。

- ※1 12回以前はJSME S NA1-2002を適用。
※2 維持規格IA-2310 (4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用
※3 維持規格IA-2310 (2)の規定により、検査間隔延長を適用

6. 弁 (3/3)

適用規格： 維持規格 JSME S NA1-2008※1					伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)														備 考	
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所		検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数	検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期				第3検査時期				
									-	8回	9回	10回	11回	-	12回	13回 ※2	-	14回		15回 ※3
F1.41	F-A	支 持 構 造 物	加圧器安全弁ライン (3V-RC-055, 056, 057)	VT-3	代表1台 の25%	2箇所/台 ×3台	VT-3	代表1台 の25% (1箇所)					1箇所							(重大事故等クラス2機器)
			加圧器逃がしライン (1) (3V-RC-054A, 054B)	VT-3	代表1台 の25%	2箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の25% (1箇所)				1箇所								(重大事故等クラス2機器)
			加圧器逃がしライン (2) (3PCV-452A, 452B)	VT-3	代表1台 の25%	2箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の25% (1箇所)										1箇所		(重大事故等クラス2機器)
			加圧器スプレイライン (3PCV-451A, 451B)	VT-3	代表1台 の25%	2箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の25% (1箇所)							1箇所					
			加圧器補助スプレイライン (3V-CS-156)	VT-3	代表1台 の25%	2箇所/台 ×1台	VT-3	代表1台 の25% (1箇所)					1箇所							
			抽出ライン (3LCV-451, 452)	VT-3	代表1台 の25%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の25% (1箇所)					1箇所							

※1 12回以前はJSME S NA1-2002を適用。
※2 維持規格IA-2310 (4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用
※3 維持規格IA-2310 (2)の規定により、検査間隔延長を適用

7. クラス1機器漏えい検査

適用規格： 維持規格 JSME S NA1-2008					伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)												備 考		
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数	検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期				第3検査時期				
								-	8回	9回	10回	11回	-	12回	13回 ※1	-		14回	15回 ※2
B15. 10	B-P	原子炉容器 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%	1式	VT-2	漏えい 試験時 100%		○	○	○	○		○	○		○	○	(重大事故等クラス2機器)
B15. 20	B-P	加圧器 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%	1式	VT-2	漏えい 試験時 100%		○	○	○	○		○	○		○	○	(重大事故等クラス2機器)
B15. 30	B-P	蒸気発生器 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%	1式	VT-2	漏えい 試験時 100%		○	○	○	○		○	○		○	○	(重大事故等クラス2機器)
B15. 50	B-P	配管 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%	1式	VT-2	漏えい 試験時 100%		○	○	○	○		○	○		○	○	(重大事故等クラス2機器)
B15. 60	B-P	一次冷却材ポンプ 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%	1式	VT-2	漏えい 試験時 100%		○	○	○	○		○	○		○	○	(重大事故等クラス2機器)
B15. 70	B-P	弁 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%	1式	VT-2	漏えい 試験時 100%		○	○	○	○		○	○		○	○	(重大事故等クラス2機器)

※1 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※2 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

クラス1 機器供用期間中検査 10 年計画（原子炉冷却材圧力バウンダリ範囲の見直しに伴う検査計画）

1. 配管

適用規格： 維持規格 J S M E S N A 1 - 2 0 0 8						伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）														備 考	
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所		検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数	検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期				第3検査時期					
									-	8回	9回	10回	11回	-	12回	13回 ※2	-	14回	15回 ※3		
B9.11	B-J	配管の周溶接 継手（呼び径 100A以上）	余熱除去ポンプ入口 ライン	体積	25%	19箇所	UT	25% ※1								19箇所				（重大事故等クラス2機器）	
B9.21	B-J	配管の周溶接 継手（呼び径 100A未満）	余熱除去ポンプ入口 ライン	表面	25%	6箇所	PT	25% ※1								6箇所				（重大事故等クラス2機器）	
B9.32	B-J	母管と管台と の溶接継手 （呼び径 100A未満）	余熱除去ポンプ入口 ライン	表面	25%	4箇所	PT	25% ※1								4箇所				（重大事故等クラス2機器）	
B10.20	B-K	配管の支持 部材取付け 溶接継手	余熱除去ポンプ入口 ライン	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% ※1								4箇所				（重大事故等クラス2機器）	
F1.10	F-A	支持構造物	余熱除去ポンプ入口 ライン	VT-3	25%	27	MS 12	VT-3	25% ※1								12箇所				（重大事故等クラス2機器）
							RH 12										12箇所				（重大事故等クラス2機器）
							SH 3										3箇所				（重大事故等クラス2機器）

※1 13回に全数検査実施

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

2. 弁

適用規格：維持規格 J S M E S N A 1 - 2 0 0 8						伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）													備 考	
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所		検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数	検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期				第3検査時期				
									-	8回	9回	10回	11回	-	12回	13回 ※2	-	14回		15回 ※3
B7.70	B-G-2	圧力保持用 ボルト・ ナット	余熱除去ポンプ入口 ライン (3V-RH-002A, 002B)	VT-1	代表1台 の25%	18個/台 ×2台	VT-1	代表1台 の100% ※1								2台				型式：12-GM58SMH (重大事故等クラス2機器)
B12.50	B-M-2	弁本体内表面	余熱除去ポンプ入口 ライン (3V-RH-002A, 002B)	VT-3	同一 グループ で1台	2台	VT-3	同一 グループ で1台 ※1								2台				型式：12-GM58SMH (重大事故等クラス2機器)
F1.41	F-A	支持構造物	余熱除去ポンプ入口 ライン (3V-RH-002A, 002B)	VT-3	代表1台 の25%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の25% ※1								2箇所				(重大事故等クラス2機器)

※1 13回に全数検査実施

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

クラス2機器供用期間中検査10年計画

1. 余熱除去冷却器

適用規格： 維持規格 JSME S NA1-2008					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）													備 考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期				
								-	13回 特4※1	-	-	14回	15回	-	16回	17回	18回	
C1.10	C-A	胴とフランジとの周溶接継手	体積	1つの 容器の 7.5%	1ｼｰﾑ/基 ×2基	UT	1つの 容器の 7.5%							A 7.5%			(重大事故等クラス2機器)	
C1.20		胴と鏡板との周溶接継手	体積	1つの 容器の 7.5%	1ｼｰﾑ/基 ×2基	UT	1つの 容器の 7.5%		A 7.5%								(重大事故等クラス2機器)	
C2.21	C-B	管側出入口管台と管側胴との 溶接継手	体積及び 表面	管台数の 7.5%	2箇所/基 ×2基	UT PT	管台数 の7.5% (1箇所)						A入口				(重大事故等クラス2機器)	

(注) 項目番号C1.30 C-A/C2.11, C2.22, C2.31, C2.32 C-B/C3.10 C-C/C4.10 C-D/F1.43 F-Aについては該当なし。

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

2. 配管 (1/5)

適用規格： 維持規格 J S M E S N A 1 - 2 0 0 8					伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)													備 考	
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数	検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期					
								-	13回 特4※1	-	-	14回	15回	-	16回	17回	18回		
C3. 20	C-C	配取 管付 のけ 支溶 持接 部継 材手	余熱除去ポンプ 入口ライン	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)					1箇所					(重大事故等クラス2機器)	
			余熱除去冷却器 出口ライン	表面	7.5%	17箇所	PT	7.5% (2箇所)				1箇所				1箇所		(重大事故等クラス2機器)	
			高温側低圧注入ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)					1箇所					(重大事故等クラス2機器)	
			低温側低圧注入ライン	表面	7.5%	3箇所	PT	7.5% (1箇所)		1箇所								(重大事故等クラス2機器)	
			高温側高圧注入ライン	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)							1箇所			(重大事故等クラス2機器)	
			低温側高圧注入ライン	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)									1箇所	(重大事故等クラス2機器)	
			高圧注入ポンプ 出口ライン	表面	7.5%	19箇所	PT	7.5% (2箇所)		1箇所							1箇所	(重大事故等クラス2機器)	
			格納容器再循環サンプ 出口ライン	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)		1箇所								(重大事故等クラス2機器)	
C5. 11	C-F	(呼 配 び 径 1 0 0 A 周 超、 溶肉 厚 接 9 ・ 5 m m 超) 手	余熱除去ポンプ 入口ライン (1)	体積及び 表面	7.5%	4箇所	UT PT	7.5% (1箇所)					1箇所					(重大事故等クラス2機器)	
			余熱除去ポンプ 入口ライン (2)	表面	7.5%	49箇所	PT	7.5% (4箇所)		1箇所			1箇所			1箇所	1箇所		(重大事故等クラス2機器)
			余熱除去冷却器 出口ライン	体積及び 表面	7.5%	57箇所	UT PT	7.5% (5箇所)		2箇所				1箇所		1箇所	1箇所		(重大事故等クラス2機器)
			高温側低圧注入ライン	体積及び 表面	7.5%	26箇所	UT PT	7.5% (2箇所)		1箇所				1箇所					(重大事故等クラス2機器)
			低温側低圧注入ライン	体積及び 表面	7.5%	21箇所	UT PT	7.5% (2箇所)						1箇所				1箇所	(重大事故等クラス2機器)
			高圧注入ポンプ 出口ライン	体積及び 表面	7.5%	31箇所	UT PT	7.5% (3箇所)		1箇所				1箇所				1箇所	(重大事故等クラス2機器)
			燃料取替用水タンク 出口ライン	表面	7.5%	12箇所	PT	7.5% (1箇所)						1箇所					(重大事故等クラス2機器)
			格納容器再循環サンプ 出口ライン	体積及び 表面	7.5%	2箇所	-	-											全箇所、格納容器貫通部のため検査不可 (重大事故等クラス2機器)

(注) 項目番号C4.20 C-Dについては該当なし。

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

2. 配管 (2 / 5)

適用規格： 維持規格 J S M E S N A 1 - 2 0 0 8						伊方発電所第 3 号機検査計画 （1 0 ヵ年）												備 考	
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所		検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数	検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期				
									-	13回 特4※1	-	-	14回	15回	-	16回	17回		18回
C5. 12	C-F	配管の長手 溶接継手 (呼び径 100A超、 肉厚 9.5mm超)	余熱除去ポンプ 入口ライン	表面	7.5%	14箇所	PT	7.5% (2箇所)		1箇所				1箇所					(重大事故等クラス2 機器)
			燃料取替用水 タンク出口ライン	表面	7.5%	10箇所	PT	7.5% (1箇所)		1箇所									(重大事故等クラス2 機器)
			格納容器再循環 サンプ出口ライン	体積及び 表面	7.5%	4箇所	-	-											全箇所、格納容器貫通部のため検査不可 (重大事故等クラス2 機器)
C5. 21		配管の周溶 接継手 (呼び径 50A以上 100A以下、 肉厚 5mm超)	高温側高圧注入 ライン	表面	7.5%	58箇所	PT	7.5% (5箇所)		1箇所				2箇所			2箇所		(重大事故等クラス2 機器)
			低温側高圧注入 ライン	表面	7.5%	43箇所	PT	7.5% (4箇所)					1箇所	1箇所		1箇所		1箇所	(重大事故等クラス2 機器)
			高圧注入ポンプ 出口ライン	表面	7.5%	112箇所	PT	7.5% (9箇所)		2箇所				3箇所		2箇所		2箇所	(重大事故等クラス2 機器)
			高圧注入ポンプ出口 封水注入ライン	表面	7.5%	19箇所	PT	7.5% (2箇所)					1箇所			1箇所			
C5. 30		溶 接 継 手	高温側高圧注入ライン	表面	7.5%	32箇所	PT	7.5% (3箇所)		1箇所				1箇所			1箇所		(重大事故等クラス2 機器)
			低温側高圧注入ライン	表面	7.5%	26箇所	PT	7.5% (2箇所)						1箇所			1箇所		(重大事故等クラス2 機器)
			高圧注入ポンプ出口 封水注入ライン	表面	7.5%	20箇所	PT	7.5% (2箇所)							1箇所			1箇所	

(注) 項目番号C5. 22, C5. 41, C5. 42 C-Fについては該当なし。

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

2. 配管 (3 / 5)

適用規格： 維持規格 JSME S NA1-2008						伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)													備 考			
項目 番号	カテ ゴリ	検 査 対 象 箇 所		検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数		検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期						
										-	13回 特4※1	-	-	14回	15回	-	16回	17回		18回		
F1.21	F-A	支 持 構 造 物	余熱除去ポンプ 入口ライン	VT-3	7.5%	36箇 所	HS 4	VT-3	7.5% (3箇所)										(重大事故等クラス2機器)			
							MS 5									1箇所						
							RH 25				1箇所				1箇所							
							SH 2															
			余熱除去ポンプ 出口ライン	VT-3	7.5%	16箇 所	HS 3	VT-3	7.5% (2箇所)											(重大事故等クラス2機器)		
							MS 1															
							RH 10				1箇所					1箇所						
							SH 2															
			余熱除去冷却器 入口ライン	VT-3	7.5%	6 箇所	MS 1	VT-3	7.5% (1箇所)											(重大事故等クラス2機器)		
							RH 5								1箇所							
			余熱除去冷却器 バイパスライン	VT-3	7.5%	6 箇所	MS 4	VT-3	7.5% (1箇所)					1箇所							(重大事故等クラス2機器)	
							RH 2															
			余熱除去冷却器 出口ライン	VT-3	7.5%	85箇 所	AN 3	VT-3	7.5% (7箇所)												(重大事故等クラス2機器)	
							HS 8				1箇所											
							MS 16									1箇所						
							RH 58				1箇所				1箇所	1箇所				2箇所		

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

2. 配管 (4/5)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008					伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)														備 考	
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所		検 査 方 法	検 査 範 囲	設 備 数		検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期				
										-	13回 特4※1	-	-	14回	15回	-	16回	17回		18回
F1.21	F-A	支 持 構 造 物	高温側低圧注入ライン	VT-3	7.5%	13箇 所	AN 1	VT-3	7.5% (1箇所)										(重大事故等クラス2機器)	
							HS 2													
							MS 3													
							RH 6			1箇所										
							SH 1													
			低温側低圧注入ライン	VT-3	7.5%	12箇 所	AN 1	VT-3	7.5% (1箇所)											(重大事故等クラス2機器)
							HS 3													
							MS 1													
							RH 7			1箇所										
			高温側高圧注入ライン	VT-3	7.5%	81箇 所	RH 81	VT-3	7.5% (7箇所)		1箇所			2箇所	2箇所		2箇所		(重大事故等クラス2機器)	
			低温側高圧注入ライン	VT-3	7.5%	56箇 所	AN 1	VT-3	7.5% (5箇所)						1箇所				(重大事故等クラス2機器)	
							RH 55			1箇所			1箇所		1箇所	1箇所				
			高圧注入ポンプ 出口ライン	VT-3	7.5%	109箇 所	AN 9	VT-3	7.5% (9箇所)										1箇所	(重大事故等クラス2機器)
							MS 1													
							RH 99			2箇所			3箇所		1箇所		2箇所			
			高圧注入ポンプ出口 封水注入ライン	VT-3	7.5%	26箇 所	RH 26	VT-3	7.5% (2箇所)						1箇所			1箇所		

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

2. 配管 (5 / 5)

適用規格： 維持規格 J S M E S N A 1 - 2 0 0 8						伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)													備 考	
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数		検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期					
									-	13回 特4※1	-	-	14回	15回	-	16回	17回	18回		
F1.21	F-A	支 持	燃料取替用水タンク 出口ライン	VT-3	7.5%	3 箇所	HS 1	VT-3	7.5% (1箇所)										(重大事故等クラス2機器)	
				RH 2			1箇所													
		構 造 物	格納容器再循環サンプ 出口ライン	VT-3	7.5%	26箇所	AN 2	VT-3	7.5% (2箇所)										(当該設備数の内、24箇所についてのみ重大事故等クラス2機器)	
							HS 8													
							RH 16							1箇所				1箇所		
		格納容器再循環サンプ 出口バイパスライン	VT-3	7.5%	2 箇所	RH 2	VT-3	7.5% (1箇所)										1箇所	(重大事故等クラス2機器)	

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

3. 充てんポンプ

適用規格：維持規格 J S M E S N A 1 - 2 0 0 8					伊方発電所第 3 号機検査計画（1 0 ヲ年）													備 考
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数	検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期				
								-	13回 特4※1	-	-	14回	15回	-	16回	17回	18回	
C3. 30	C-C	支持部材取付け溶接継手	表面	7. 5%	16箇所/台 ×3台	PT	7. 5% (4箇所)		A 1箇所 B 1箇所				A 1箇所				C 1箇所	(重大事故等クラス2機器)
C4. 30	C-D	ケーシングボルト	体積	代表1台 の7. 5%	16本/台 ×3台	UT	代表1台 の7. 5% (2本)						A2本					(重大事故等クラス2機器)
C6. 10	C-G	ポンプケーシング部の溶接継手	表面	代表1台 の7. 5%	1箇所/台 ×3台	PT	代表1台 の7. 5% (1箇所)								A 1箇所			(重大事故等クラス2機器)
F1. 43	F-A	支持構造物 ポンプ台板脚	VT-3	代表1台 の7. 5%	1箇所/台 ×3台	VT-3	代表1台 の7. 5% (1箇所)		A 1箇所									(重大事故等クラス2機器)

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

4. 余熱除去ポンプ

適用規格：維持規格 J S M E S N A 1 - 2 0 0 8					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）													備 考
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数	検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期				
								-	13回 特4※1	-	-	14回	15回	-	16回	17回	18回	
C6.10	C-G	ポンプケーシング部の溶接継手	表面	代表1台 の7.5%	2箇所/台 ×2台	PT	代表1台 の7.5% (1箇所)		A 1箇所									(重大事故等クラス2機器)
F1.43	F-A	支持構造物 ポンプ台板脚	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)					A 1箇所						(重大事故等クラス2機器)

(注) 項目番号C3.30 C-C/C4.30 C-Dについては該当なし。

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

5. 弁

適用規格：維持規格 J S M E S N A 1 - 2 0 0 8					伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)												備 考			
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数	検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期						
								-	13回 特4※1	-	-	14回	15回	-	16回	17回			18回	
F1.43	F-A	支 持 構 造 物	高圧注入ポンプ出口 封水注入ラインA (3V-SI-026A)	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/台 ×1台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)									1箇所			
			高圧注入ポンプ出口 封水注入ラインB (3V-SI-026B)	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/台 ×1台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)					1箇所							
			余熱除去冷却器 出口ライン(1) (3HCV-603, 613)	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)						1箇所					(重大事故等クラス2機器)	
			余熱除去冷却器 出口ライン(2) (3V-RH-051A, 051B)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)		1箇所									(重大事故等クラス2機器)	
			余熱除去冷却器 出口ライン(3) (3V-RH-040A, 040B)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)		1箇所									(重大事故等クラス2機器)	
			余熱除去冷却器 バイパスライン (3FCV-604, 614)	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)					1箇所							(重大事故等クラス2機器)
			高温側低圧注入 ライン (3V-RH-052A, 052B)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)						1箇所						(重大事故等クラス2機器)
			高圧注入ポンプ 出口ラインA (3V-SI-066A, 067A)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)									1箇所			(重大事故等クラス2機器)
			高圧注入ポンプ 出口ラインB (3V-SI-066B, 067B)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)								1箇所				(重大事故等クラス2機器)
			高圧注入ポンプ 出口ライン (3V-SI-062A, 062B)	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)											1箇所	(重大事故等クラス2機器)
			格納容器再循環サンプ 出口ライン (3V-SI-093A, 093B)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)						1箇所				(重大事故等クラス2機器)		
			格納容器再循環サンプ 出口バイパスライン (3V-SI-092)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×1台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)									1箇所	(重大事故等クラス2機器)		

(注) 項目番号C3.40 C-C/C4.40 C-D/C6.20 C-Gについては該当なし。

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

6. クラス2機器漏えい検査 (1/5)

適用規格： 維持規格 JSME S NA1-2008						伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備 考	
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	系 統 名	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 圧 力	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期					
						-	13回 特4※1	-	-	14回	15回	-	16回	17回	18回		
C7.30 C7.70	C-H	一次冷却系統	加圧器逃がしタンク 補給水ライン	VT-2	運 転 圧 力 以 上 又 は 機 能 試 験 時 の 圧 力 以 上								○				
C7.10 C7.30 C7.70		化学体積制御系統	抽出ライン(1)	VT-2						○							
C7.10 C7.30 C7.70			抽出ライン(2)	VT-2						○							
C7.10 C7.30 C7.70			体積制御タンク入口ライン	VT-2			○※2										
C7.10 C7.30 C7.70			体積制御タンク及び 出入口ライン	VT-2									○				(重大事故等クラス2機器)
C7.30 C7.50 C7.70			充てんポンプ3A出口ライン	VT-2								○					(重大事故等クラス2機器)
C7.30 C7.50 C7.70			充てんポンプ3B出口ライン	VT-2										○			(重大事故等クラス2機器)
C7.30 C7.50 C7.70			充てんポンプ3C出口ライン	VT-2								○					(重大事故等クラス2機器)
C7.10 C7.30 C7.70			充てん及び封水注入ライン	VT-2								○					(重大事故等クラス2機器)
C7.10 C7.30 C7.70			ほう酸混合器及び出入口 ライン	VT-2										○			
C7.30 C7.70			ほう酸ポンプ3A入口ライン	VT-2			○										(重大事故等クラス2機器)
C7.30 C7.70			ほう酸ポンプ3B入口ライン	VT-2			○										(重大事故等クラス2機器)
C7.30 C7.50 C7.70			ほう酸ポンプ3A出口ライン	VT-2			○										(重大事故等クラス2機器)
C7.30 C7.50 C7.70			ほう酸ポンプ3B出口ライン	VT-2			○										(重大事故等クラス2機器)
C7.30 C7.70			一次冷却材ポンプ 封水戻りライン	VT-2								○					

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査
※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用し、運転再開時に検査を実施した。

6. クラス2機器漏えい検査 (2/5)

適用規格： 維持規格 JSME S NA1-2008						伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備 考	
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	系 統 名	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 圧 力	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期					
						-	13回 特4※1	-	-	14回	15回	-	16回	17回	18回		
C7.30 C7.70	C-H	安全注入系統	高圧注入ポンプ3A、3B 入口ライン(1)	VT-2	運 転 圧 力 以 上 又 は 機 能 試 験 時 の 圧 力 以 上						○					(重大事故等クラス2機器)	
C7.30 C7.70			高圧注入ポンプ3A、3B 入口ライン(2)	VT-2							○					(重大事故等クラス2機器)	
C7.30 C7.50 C7.70			高圧注入ポンプ3A 出口ライン(1)	VT-2			○※2									(重大事故等クラス2機器)	
C7.30 C7.70			高圧注入ポンプ3A 出口ライン(2)	VT-2			○※2									(重大事故等クラス2機器)	
C7.30 C7.50 C7.70			高圧注入ポンプ3B 出口ライン(1)	VT-2							○					(重大事故等クラス2機器)	
C7.30 C7.70			高圧注入ポンプ3B 出口ライン(2)	VT-2							○					(重大事故等クラス2機器)	
C7.10 C7.30 C7.70			蓄圧タンク及び出入口ライン	VT-2			○※2									(重大事故等クラス2機器)	
C7.30 C7.70			蓄圧タンク水張りライン	VT-2							○						
C7.30 C7.70			蓄圧タンク窒素充てんライン	VT-2							○						
C7.30 C7.70			燃料取替用水タンク 出口ライン	VT-2							○					(重大事故等クラス2機器)	
C7.30 C7.70		余熱除去系統	余熱除去ポンプ3A入口ライン	VT-2						○						(重大事故等クラス2機器)	
C7.30 C7.70			余熱除去ポンプ3B入口ライン	VT-2							○					(重大事故等クラス2機器)	
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70			余熱除去ポンプ3A出口ライン	VT-2							○					(重大事故等クラス2機器)	
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70			余熱除去ポンプ3B出口ライン	VT-2									○			(重大事故等クラス2機器)	
C7.30 C7.70		格納容器スプレイ系統	格納容器スプレイポンプ 3A、3B入口ライン	VT-2						○							(重大事故等クラス2機器)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70			格納容器スプレイポンプ 3A出口ライン (1)	VT-2							○					(重大事故等クラス2機器)	
C7.30 C7.70			格納容器スプレイポンプ 3A出口ライン (2)	VT-2								○				(重大事故等クラス2機器)	

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用し、運転再開時に検査を実施した。

6. クラス2機器漏えい検査 (3/5)

適用規格： 維持規格 J S M E S N A 1－2 0 0 8						伊方発電所第 3 号機検査計画 （1 0 ヲ年）										備 考	
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	系 統 名	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 圧 力	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期					
						-	13回 特4※1	-	-	14回	15回	-	16回	17回	18回		
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	格納容器スプレイ系統	格納容器スプレイポンプ 3B出口ライン (1)	VT-2	運 転 圧 力 以 上 又 は 機 能 試 験 時 の 圧 力 以 上								○			(重大事故等クラス2機器)	
C7.30 C7.70			格納容器スプレイポンプ 3B出口ライン (2)	VT-2								○				(重大事故等クラス2機器)	
C7.10 C7.30 C7.70			よう素除去薬品タンク及び 出入口ライン	VT-2			○										
C7.30 C7.70			よう素除去薬品タンク 出口Aライン	VT-2						○							
C7.30 C7.70			よう素除去薬品タンク 出口Bライン	VT-2									○				
C7.10 C7.30 C7.70			pH調整剤貯蔵タンク及び 出入口ライン	VT-2			○										
C7.30 C7.70		試料採取系統	加圧器気相部、液相部及び 一次冷却材Aループ高温側 サンプリングライン	VT-2			○※2										
C7.30 C7.70			一次冷却材Bループ 高温側サンプリングライン	VT-2			○※2										
C7.30 C7.70			蓄圧タンク3A, 3B, 3C サンプリングライン	VT-2			○										
C7.30 C7.70		主蒸気系統	蒸気発生器3A蒸気出口ライン	VT-2												○	(重大事故等クラス2機器)
C7.30 C7.70			蒸気発生器3B蒸気出口ライン	VT-2												○	(重大事故等クラス2機器)
C7.30 C7.70			蒸気発生器3C蒸気出口ライン	VT-2												○	(重大事故等クラス2機器)
C7.10 C7.30 C7.70		主給水系統	蒸気発生器3A給水入口ライン	VT-2												○	(重大事故等クラス2機器)
C7.10 C7.30 C7.70			蒸気発生器3B給水入口ライン	VT-2												○	(重大事故等クラス2機器)
C7.10 C7.30 C7.70			蒸気発生器3C給水入口ライン	VT-2												○	(重大事故等クラス2機器)

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用し、運転再開時に検査を実施した。

6. クラス2機器漏えい検査 (4/5)

適用規格： 維持規格 JSME S NA1-2008						伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備 考		
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	系 統 名	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 圧 力	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期						
						-	13回 特4※1	-	-	14回	15回	-	16回	17回	18回			
C7.30 C7.70	C-H	蒸気発生器 ブローダウン系統	蒸気発生器3A ブローダウンライン	VT-2	運 転 圧 力 以 上 又 は 機 能 試 験 時 の 圧 力 以 上										○			
C7.30 C7.70			蒸気発生器3B ブローダウンライン	VT-2											○			
C7.30 C7.70			蒸気発生器3C ブローダウンライン	VT-2											○			
C7.30 C7.70			蒸気発生器3A ブローダウンサンプルライン	VT-2											○			
C7.30 C7.70			蒸気発生器3B ブローダウンサンプルライン	VT-2											○			
C7.30 C7.70			蒸気発生器3C ブローダウンサンプルライン	VT-2											○			
C7.30 C7.70		原子炉補機 冷却水系統	格納容器再循環ユニット 3A, 3B冷却水供給ライン	VT-2			○											(重大事故等クラス2機器)
C7.30 C7.70			格納容器再循環ユニット 3C, 3D冷却水供給ライン	VT-2						○								
C7.30 C7.70			格納容器再循環ユニット3A 冷却水戻りライン	VT-2			○											(重大事故等クラス2機器)
C7.30 C7.70			格納容器再循環ユニット3B 冷却水戻りライン	VT-2			○											(重大事故等クラス2機器)
C7.30 C7.70			格納容器再循環ユニット3C 冷却水戻りライン	VT-2						○								
C7.30 C7.70			格納容器再循環ユニット3D 冷却水戻りライン	VT-2						○								
C7.30 C7.70			制御棒クラス駆動装置冷却ユニット 及び余剰抽出冷却器冷却水 供給、戻りライン	VT-2						○								
C7.30 C7.70			一次冷却材ポンプ 冷却水供給、戻りライン	VT-2						○								

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

6. クラス2機器漏えい検査 (5/5)

適用規格： 維持規格 J S M E S N A 1－2 0 0 8						伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備 考		
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	系 統 名	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 圧 力	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期						
						-	13回 特4※1	-	-	14回	15回	-	16回	17回	18回			
C7.30 C7.70	C-H	空調用冷水設備系統	制御棒位置指示装置盤室冷却 ユニット冷却水供給、戻りライン	VT-2	運 転 圧 力 以 上 又 は 機 能 試 験 時 の 圧 力 以 上		○											
C7.30 C7.70		液体廃棄物処理系統	格納容器冷却材ドレンポンプ 出口ライン	VT-2							○							
C7.30 C7.70			格納容器サンプポンプ 出口ライン	VT-2										○				
C7.30 C7.70		燃料取替用水系統	原子炉キャビティ浄化 入口ライン	VT-2											○			
C7.30 C7.70			原子炉キャビティ浄化 出口ライン	VT-2										○				
C7.30 C7.70		原子炉補給水系統	原子炉補給水ライン	VT-2										○				
C7.30 C7.70		水消火設備系統	消火用水ライン	VT-2								○						
C7.30 C7.70		制御用空気系統	制御用空気3A供給ライン	VT-2										○			(重大事故等クラス2機器)	
C7.30 C7.70			制御用空気3B供給ライン	VT-2										○			(重大事故等クラス2機器)	
C7.30 C7.70		所内用空気系統	所内用空気ライン	VT-2												○		
C7.70		換気空調設備系統	安全補機室排気ファン 3A・3B出入口弁	VT-2												○		
C7.70			安全補機室排気フィルタ ユニットドレン弁	VT-2												○		

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

クラス3機器供用期間中検査10年計画

1. 容器

適用規格： 維持規格 JSME S NA1-2008						伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）													備 考
機 器 名	項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検査対象箇所	検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数	検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期				
									-	13回 特4※1	-	-	14回	15回	-	16回	17回	18回	
余熱除去冷却器 （胴側）	D1.10	D-A	胴と当板脚の 溶接継手	VT-3	1つの 容器の 7.5%	2箇所/基 ×2基	VT-3	1つの 容器の 7.5% (1箇所)		1箇所									
	F1.44	F-A	支持脚	VT-3	1つの 容器の 7.5%	2箇所/基 ×2基	VT-3	1つの 容器の 7.5% (1箇所)		1箇所									
原子炉補機 冷却水冷却器 （胴側）	D1.10	D-A	胴と当板の 溶接継手	VT-3	1つの 容器の 7.5%	3箇所/基 ×4基	VT-3	1つの 容器の 7.5% (1箇所)		1箇所									
	F1.44	F-A	支持脚	VT-3	1つの 容器の 7.5%	3箇所/基 ×4基	VT-3	1つの 容器の 7.5% (1箇所)		1箇所									
格納容器スレイ 冷却器（胴側）	D1.10	D-A	胴と当板脚の 溶接継手	VT-3	1つの 容器の 7.5%	2箇所/基 ×2基	VT-3	1つの 容器の 7.5% (1箇所)						1箇所					
	F1.44	F-A	支持脚	VT-3	1つの 容器の 7.5%	2箇所/基 ×2基	VT-3	1つの 容器の 7.5% (1箇所)						1箇所					
海水ストレーナ	D1.10	D-A	鏡板とスカート との溶接継手	VT-3	1つの 容器の 7.5%	1箇所/基 ×4基	VT-3	1つの 容器の 7.5% (1箇所)						1箇所					
	F1.44	F-A	支持構造物 （スカート）	VT-3	1つの 容器の 7.5%	1箇所/基 ×4基	VT-3	1つの 容器の 7.5% (1箇所)						1箇所					
清水冷却器 （タービナル 発電機）	D1.10	D-A	胴と当板との 溶接継手	VT-3	1つの 容器の 7.5%	2箇所/基 ×2基	VT-3	1つの 容器の 7.5% (1箇所)									1箇所		
	F1.44	F-A	取付脚	VT-3	1つの 容器の 7.5%	2箇所/基 ×2基	VT-3	1つの 容器の 7.5% (1箇所)									1箇所		
潤滑油冷却器 （タービナル 発電機）	D1.10	D-A	胴と当板との 溶接継手	VT-3	1つの 容器の 7.5%	2箇所/基 ×2基	VT-3	1つの 容器の 7.5% (1箇所)									1箇所		
	F1.44	F-A	取付脚	VT-3	1つの 容器の 7.5%	2箇所/基 ×2基	VT-3	1つの 容器の 7.5% (1箇所)									1箇所		

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

2. 配管 (1/2)

適用規格：維持規格 J S M E S N A 1 - 2 0 0 8					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）													備 考	
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検査対象箇所		検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数	検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期				
									-	13回 特4※1	-	-	14回	15回	-	16回	17回		18回
D1.20	D-A	配 管 の 支 持 部 材 取 付 け 溶 接 継 手	原子炉補機冷却水ポンプ A, B入口ライン	VT-3	7.5%	15箇所	VT-3	7.5% (2箇所)						1箇所				1箇所	
			原子炉補機冷却水ポンプ C, D入口ライン	VT-3	7.5%	9箇所	VT-3	7.5% (1箇所)							1箇所				
			原子炉補機冷却水ポンプ A, B出口ライン	VT-3	7.5%	15箇所	VT-3	7.5% (2箇所)		1箇所				1箇所					
			原子炉補機冷却水ポンプ C, D出口ライン	VT-3	7.5%	13箇所	VT-3	7.5% (1箇所)					1箇所						
			海水ポンプA, B出口ライン	VT-3	7.5%	28箇所	VT-3	7.5% (3箇所)		1箇所				1箇所		1箇所			
			海水ポンプC, D出口ライン	VT-3	7.5%	31箇所	VT-3	7.5% (3箇所)		1箇所				1箇所				1箇所	
			ディーゼル発電機A 冷却水ライン（海水）	VT-3	7.5%	7箇所	VT-3	7.5% (1箇所)										1箇所	
			ディーゼル発電機B 冷却水ライン（海水）	VT-3	7.5%	7箇所	VT-3	7.5% (1箇所)										1箇所	

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

2. 配管 (2/2)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008						伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）													備 考		
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検査対象箇所		検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数		検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期					
										-	13回 特4※1	-	-	14回	15回	-	16回	17回		18回	
F1.31	F-A	支 持 構 造 物	原子炉補機冷却水ポンプ A, B入口ライン	VT-3	7.5%	101 箇所	RH 96	VT-3	7.5% (8箇所)		2箇所				2箇所		2箇所	1箇所			
							AN 5				1箇所										
			原子炉補機冷却水ポンプ C, D入口ライン	VT-3	7.5%	76 箇所	RH 73	VT-3	7.5% (6箇所)		1箇所			1箇所	1箇所		1箇所	1箇所			
							AN 3				1箇所										
			原子炉補機冷却水ポンプ A, B出口ライン	VT-3	7.5%	106 箇所	RH 101	VT-3	7.5% (8箇所)		2箇所				2箇所		1箇所	2箇所			
							AN 5							1箇所							
			原子炉補機冷却水ポンプ C, D出口ライン	VT-3	7.5%	82 箇所	RH 76	VT-3	7.5% (7箇所)					2箇所	2箇所		1箇所	1箇所			
							AN 6							1箇所							
			海水ポンプA, B出口ライン	VT-3	7.5%	128 箇所	RH 107	VT-3	7.5% (10箇所)		3箇所				2箇所	2箇所		1箇所			
							AN 21							1箇所			1箇所				
			海水ポンプC, D出口ライン	VT-3	7.5%	109 箇所	RH 90	VT-3	7.5% (9箇所)		2箇所				1箇所		2箇所			2箇所	
							AN 19							1箇所					1箇所		
			ディーゼル発電機A 冷却水ライン（海水）	VT-3	7.5%	32 箇所	RH 25	VT-3	7.5% (3箇所)		1箇所				1箇所						
							AN 7													1箇所	
			ディーゼル発電機B 冷却水ライン（海水）	VT-3	7.5%	32 箇所	RH 25	VT-3	7.5% (3箇所)		1箇所				1箇所						
							AN 7													1箇所	

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

3. クラス3機器漏えい検査

適用規格： 維持規格 J S M E S N A 1－2 0 0 8						伊方発電所第3号機検査計画 （1 0 ャ年）										備 考		
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	系 統 名	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 圧 力	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期						
						－	13回 特4※1	－	－	14回	15回	－	16回	17回	18回			
D2. 30	D-B	原子炉補機冷却水系統	原子炉補機冷却水ポンプ A, B入口ライン	VT-2	運 転 圧 力 以 上 又 は 機 能 試 験 時 の 圧 力 以 上						○							
D2. 30			原子炉補機冷却水ポンプ C, D入口ライン	VT-2								○						
D2. 10 D2. 30			原子炉補機冷却水サージ タンク及び出入口ライン	VT-2							○							
D2. 10 D2. 30			原子炉補機冷却水ポンプ A, B出口ライン	VT-2							○							
D2. 10 D2. 30			原子炉補機冷却水ポンプ C, D出口ライン	VT-2									○					
D2. 10 D2. 30		原子炉補機冷却 海水系統	海水ポンプA, B出口ライン	VT-2			○											
D2. 10 D2. 30			海水ポンプC, D出口ライン	VT-2						○								
D2. 30		使用済燃料ピット水 浄化冷却系統	使用済燃料ピットポンプ 入口ライン	VT-2								○						
D2. 10 D2. 30			使用済燃料ピットポンプA 出口ライン	VT-2									○					
D2. 10 D2. 30			使用済燃料ピットポンプB 出口ライン	VT-2									○					
D2. 10 D2. 30			使用済燃料ピット冷却器C 出入口ライン	VT-2										○				
D2. 10 D2. 30		制御用空気圧縮機系統	制御用空気圧縮機A出口ライン	VT-2											○			
D2. 10 D2. 30			制御用空気圧縮機B出口ライン	VT-2												○		
D2. 10 D2. 30		ディーゼル発電機 始動空気系統	ディーゼル発電機3A 始動空気ライン	VT-2													○	
D2. 10 D2. 30			ディーゼル発電機3B 始動空気ライン	VT-2													○	

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

クラス1機器Ni 基合金使用部位特別検査10年計画

1. 原子炉容器

適用文書： NRA文書（※1）					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）														備 考	
項目 番号	カテ ゴリ	検 査 対 象 箇 所		検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数	検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期				第3検査時期				
									-	8回	9回	10回	11回	-	12回	13回 ※2	-	14回		15回 ※3
－	－	呼び径100A以上の管台とセーフエンドの溶接継手																		（重大事故等クラス2 機器）
		冷却材入口管台とセーフエンドとの溶接継手	BMV	100%	3箇所	BMV	100%		A	B				C						C管台については3-8 定検 ISI にてUT実施のため至近2定検以内でのBMV検査免除 （重大事故等クラス2 機器）
			冷却材出口管台とセーフエンドとの溶接継手	BMV	100%	3箇所	BMV	100%		A	C									B
－	－	原子炉容器の上蓋表面 （原子炉容器の上蓋管台廻り360°を含む）		BMV	100%/定検	1式	BMV	100%/定検		<100%>	<100%>	<100%>	<100%>		<100%>	<100%>				第14回定検 原子炉容器上蓋取替工事において690系Ni基合金化されるため、検査対象外とする。 （重大事故等クラス2 機器）
		原子炉容器の底部表面 （原子炉容器の底部管台廻り360°を含む）		BMV	100%/5年	1式	BMV	100%/5年					100%						100%	3-7 定検 ISI にてBMV実施のため至近1定検以内でのBMV検査免除 （重大事故等クラス2 機器）

※1 NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(原規技発第1408063号(平成26年8月6日 原子力規制委員会決定))に従う。

なお、13回以前は、NISA文書「発電用原子力設備における破壊を引き起こすき裂その他の欠陥の解釈について(内規)」(平成21年12月25日付け平成21・11・18原院第1号)に従う。

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

< >は旧設備の検査実績を示す。

2. 加圧器

適用文書： NRA文書（※1）					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）													備 考	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期			第2検査時期				第3検査時期				
								-	8回	9回	10回	11回	-	12回	13回※2	-	14回		15回※3
－	－	呼び径100A以上の管台とセーフエンドの溶接継手																	3-9定検 加圧器管台廻り修繕工事において690系Ni基合金化されたため、検査対象外 （重大事故等クラス2機器）
		サージライン用管台	BMV	100%/5年	1箇所	BMV	100%/5年		<1箇所>										
		スプレイライン用管台	BMV	100%/5年	1箇所	BMV	100%/5年		<1箇所>										
		逃がし弁用管台	BMV	100%/5年	1箇所	BMV	100%/5年		<1箇所>										
		安全弁用管台	BMV	100%/5年	3箇所	BMV	100%/5年		<3箇所>										

< >は旧設備の検査実績を示す。

※1 NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（原規技発第1408063号（平成26年8月6日 原子力規制委員会決定））に従う。
なお、13回以前は、NISA文書「発電用原子力設備における破壊を引き起こすき裂その他の欠陥の解釈について（内規）」（平成21年12月25日付け平成21・11・18原院第1号）に従う。

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

※3 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

3. 蒸気発生器

適用文書： NRA文書（※1）					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）													備 考	
項目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数	検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期				第3検査時期				
								-	8回	9回	10回	11回	-	12回	13回 ※3	-	14回		15回 ※4
-	-	呼び径100A以上の管台とセーフエンドの溶接継手																	(重大事故等クラス2 機器)
		冷却材出入口管台とセーフエンドとの溶接継手	BMV	- (※2)	2箇所/基 ×3基	BMV	-			A入口 A出口									600系Ni基合金使用部位であるが、第11回定検において検出限界のき裂を想定したうえで応力腐食割れ防止の有効性が実証された対策(ECT+USP)を施したため、第12回定検以降、検査対象外とする。 (重大事故等クラス2 機器)

※1 NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（原規技発第1408063号（平成26年8月6日 原子力規制委員会決定））に従う。
なお、13回以前は、NISA文書「発電用原子力設備における破壊を引き起こすき裂その他の欠陥の解釈について（内規）」（平成21年12月25日付け平成21・11・18原院第1号）に従う。
※2 第11回定検までの検査範囲は、100%。
※3 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用
※4 維持規格IA-2310(2)の規定により、検査間隔延長を適用

クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査10年計画

1. 配管

適用文書： NRA文書（※1）					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）												備 考	
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数	検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期				第3検査時期			
								12回	13回 ※2	14回	-	-	15回	16回	17回	-		18回
－	－	充てんライン溶接継手	体積	25%	71箇所	UT	25% (18箇所)	3箇所	2箇所	1箇所			2箇所	4箇所	4箇所		2箇所	(重大事故等クラス2 機器)
		抽出ライン溶接継手	体積	25%	20箇所	UT	25% (5箇所)	1箇所		1箇所				1箇所	2箇所			
		再生熱交換器連絡管溶接継手	体積	25%	36箇所	UT	25% (9箇所)		3箇所					2箇所		2箇所		2箇所

※1 NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（原規技発第1408063号(平成26年8月6日 原子力規制委員会決定)）に従う。

なお、13回以前は、NISA文書「発電用原子力設備における破壊を引き起こすき裂その他の欠陥の解釈について(内規)」（平成21年12月25日付け平成21・11・18原院第1号)に従う。

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用

参考1-別紙5-1
添2-252

原子炉格納容器供用期間中検査 10 年計画

原子炉格納容器

適用規格： 維持規格 JSME S NA1-2008					伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)													備 考
項目 番号	カテ ゴリ	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数	検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期				
								-	13回 特4※1	-	-	14回	15回	-	16回	17回	18回	
E8.10	E-G	圧力保持用ボルト締め付け部	VT-4	25%	1箇所 (72組)	VT-4	25% (18組)										25% (18組)	

(注) 項目番号 E1.12 E-A/E3.11, E3.12, E3.13 E-Bについては該当なし。
項目番号 E9.10, E9.20, E9.30, E9.40 E-P/F1.42 F-Aについては、全体漏えい率試験又は局部漏えい率試験にて別途実施。
※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画（クラス1機器供用期間中検査範囲）

1. 原子炉容器（1／2）

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）		備 考
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 範 囲			
B2.111	B-B	上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	5%			
		下部胴とトランジションリングとの周溶接継手	体積	5%			
		トランジションリングと下部鏡板との周溶接継手	体積	5%			
B3.105	B-C	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積	100%			
B3.106	B-C	上部鏡板と上部蓋フランジとの溶接継手	体積	100%			第14回定検にて、継手溶接線が無い一体構造の上部ふたに取替を実施
B3.10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積	100%			
		冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	100%			
B3.20	B-D	冷却材入口管台内面の丸みの部分	体積	100%			
		冷却材出口管台内面の丸みの部分	体積	100%			
B5.10	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	100%			600系Ni基合金使用部位であるため、検査間隔は、き裂進展評価結果に基づき7年[暦]とする。なお、UTは内面と外面のどちらでもよい。
		冷却材出口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	100%			600系Ni基合金使用部位であるため、検査間隔は、き裂進展評価結果に基づき4年[運転年数]とする。なお、UTは内面と外面のどちらでもよい。
					クラス1 機器供用期間中検査で管理		

クラス1機器供用期間中検査で管理

参考1 - 別紙7 - 1
添2-254

1. 原子炉容器 (2 / 2)

適用規格： 維持規格 J S M E S N A 1 - 2 0 0 8					伊方発電所第3号機検査計画 （10ヵ年）		備 考	
項目番号	カテゴリー	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	クラス1機器供用期間中検査で管理			
B6.10	B-G-1	上蓋用ナット	VT-1	100%				
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体積	100%				
B6.40	B-G-1	胴フランジネジ穴のネジ部	体積	100%				
B6.50	B-G-1	上蓋用ワッシャ	VT-1	100%				
B7.10	B-G-2	T/Cハウジングのマーマンカップリング用ボルト、ナット	VT-1	25%				
B14.10	B-0	制御棒駆動ハウジング溶接継手	体積又は表面	最外周の25%			最外周：24箇所	
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	25%				
G1.10	G-P-1	原子炉容器の内部	VT-3	7.5%				
G1.40		原子炉容器の内部取付け物	VT-3	7.5%				
G1.40 G1.50	G-P-1	上部炉心支持構造物	VT-3	7.5%				
	G-P-2	下部炉心支持構造物	VT-3	7.5%				

2. 加圧器 (1/2)

適用規格： 維持規格 JSME S NA1-2008					伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)		備 考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査方法	検査範囲		
B2.11	B-B	上部鏡板と上部胴との周溶接継手		体積	5%		
		下部胴と下部鏡板との周溶接継手		体積	5%		
上部胴の長手溶接継手		体積	10%				
下部胴の長手溶接継手		体積	10%				
B2.12		上部胴の長手溶接継手		体積	10%		
		下部胴の長手溶接継手		体積	10%		
B2.13		上部胴と下部胴との周溶接継手		体積	5%		
B3.30	B-D	管台と溶接継手との容器	サージライン用管台	体積	管台数の25%		
			スプレイライン用管台				
			逃がし弁用管台				
			安全弁用管台				
B3.40		管台の内面の丸み	サージライン用管台	体積	管台数の25%		
			スプレイライン用管台				
			逃がし弁用管台				
			安全弁用管台				
クラス1 機器供用期間中検査で管理							

2. 加圧器 (2 / 2)

適用規格： 維持規格 J S M E S N A 1 - 2 0 0 8					伊方発電所第 3 号機検査計画 （ 1 0 ヵ年）		備 考
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所		検 査 方 法	検 査 範 囲		
B5. 40	B-F	管 台とセーフ の溶接継手 と	サージライン用管台	体積及び 表面	管台数 の25%	クラス 1 機器供用期間中検査で管理	3-9定検 加圧器管台廻り 修繕工事において690系 Ni基合金化されたため、 検査間隔は10年[暦]とす る。
			スプレイライン用管台				
			逃がし弁用管台				
			安全弁用管台				
B7. 20	B-G-2	マンホールの取付けボルト		VT-1	25%		
B8. 20	B-H	支持スカート溶接継手		表面	7. 5%		
F1. 41	F-A	支持構造物		VT-3	25%		

3. 蒸気発生器

適用規格：維持規格 J S M E S N A 1 - 2 0 0 8					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）		備 考
項目番号	カテゴリー	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	クラス1 機器供用期間中検査で管理		
B2.40	B-B	管板と水室鏡板との周溶接継手	体積	代表1基の25%			
B3.60	B-D	冷却材出入口管台内面の丸みの部分	体積	代表1基の25%			
B5.70	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	代表1基の25%			
			ECT (内表面)				
		冷却材出口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面				
			ECT (内表面)				
B7.30	B-G-2	冷却材出入口側マンホールの取付けボルト	VT-1	代表1基の25%			
B8.30	B-H	支持部材の容器への取付け溶接継手	表面	代表1基の7.5%			
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1基の25%			
					600系Ni基合金使用部位であるが、第11回定検において検出限界のき裂を想定したうえで応力腐食割れ防止の有効性が実証された対策 (ECT+USP) を施したため、第12回定検以降、検査計画を以下のとおりとする。 ・A号機入口管台を代表箇所とする。 ・各検査方法における検査間隔は、維持規格に従い10年とする。		

4. 配管 (1/5)

適用規格： 維持規格 JSME S NA1-2008					伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)	備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	クラス1機器供用期間中検査で管理	
B9.11	B-J	配管の周溶接継手(呼び径100A以上)	一次冷却材管	体積		
			加圧器サージライン	体積		
			加圧器安全弁ライン	体積		
			加圧器逃がしライン	体積		
			余熱除去ポンプ入口ライン	体積		
			蓄圧注入ライン	体積		
			高温側低圧注入ライン	体積		
			低温側低圧注入ライン	体積		
			高温側高圧注入ライン	体積		

4. 配管 (2 / 5)

適用規格：維持規格 J S M E S N A 1 - 2 0 0 8					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）		備 考	
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所		検 査 方 法	検 査 範 囲			
B9. 21	B-J	呼び径100A未満（配管の周溶接継手）（呼	加圧器逃がしライン	表面	25%			
			充てんライン	表面	25%			
			高温側高圧注入ライン	表面	25%			
			低温側高圧注入ライン	表面	25%			
B9. 31		母管と管台との溶接継手（呼び径100A以上）	一次冷却材管	体積	25%	クラス1機器供用期間中検査で管理		
B9. 32		母管と管台との溶接継手（呼び径100A未満）	一次冷却材管	表面	25%			
			高温側低圧注入ライン	表面	25%			

4. 配管 (3 / 5)

適用規格： 維持規格 J S M E S N A 1－2 0 0 8						伊方発電所第3号機検査計画 （1 0 ヵ年）		備 考
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所		検 査 方 法	検 査 範 囲	クラス1 機器供用期間中検査で管理		
B9.40	B-J	ソ ケ ッ ト 溶 接 継 手	高温側高圧注入ライン	表面	25%			
			低温側高圧注入ライン	表面	25%			
F1.10	F-A	支 持 構 造 物	加圧器サージライン	VT-3	25%			
			加圧器逃がしライン	VT-3	25%			

4. 配管 (4 / 5)

適用規格：維持規格 J S M E S N A 1－2 0 0 8					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）		備 考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査方法	検査範囲		
F1.10	F-A	支持構造物	充てんライン	VT-3	25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
			余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	25%		
			蓄圧注入ライン	VT-3	25%		

4. 配管 (5 / 5)

適用規格： 維持規格 J S M E S N A 1 - 2 0 0 8						伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)		備 考
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所		検 査 方 法	検 査 範 囲	クラス1機器供用期間中検査で管理		
F1.10	F-A	支 持 構 造 物	高温側低圧注入ライン	VT-3	25%			
			低温側低圧注入ライン	VT-3	25%			
			高温側高圧注入ライン	VT-3	25%			
			低温側高圧注入ライン	VT-3	25%			

5. 一次冷却材ポンプ

適用規格： 維持規格 J S M E S N A 1 - 2 0 0 8					伊方発電所第3号機検査計画 （10ヵ年）		備 考
項目番号	カテゴリー	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	クラス1機器供用期間中検査で管理		
B6.180	B-G-1	主フランジボルト	体積	代表1台の25%			
B6.190		主フランジ表面（開放時）	VT-1	代表1台の25%			
B6.200		主フランジナット及びワッシャ	VT-1	代表1台の25%			
B12.20	B-L-2	ケーシングの内表面	VT-3	代表1台の100%			
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1台の25%			

6. 弁 (1 / 3)

適用規格：維持規格 J S M E S N A 1 - 2 0 0 8					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）		備 考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査方法	検査範囲		
B7.70	B-G-2	圧力保持用ボルト・ナット	加圧器安全弁ライン (3V-RC-055, 056, 057)	VT-1	代表1台の25%	クラス1 機器供用期間中検査で管理	型式：6-RV58SB
			加圧器逃がしライン(1) (3V-RC-054A, 054B)	VT-1	代表1台の25%		型式：3-GM58SM
			加圧器逃がしライン(2) (3PCV-452A, 452B)	VT-1	代表1台の25%		型式：3-IA58R
			充てんライン (3V-CS-161, 162, 164, 165)	VT-1	代表1台の25%		型式：3-C58
			余熱除去ポンプ入口ライン (3PCV-420, 430)	VT-1	代表1台の25%		型式：12-GM58SMH
			蓄圧注入ライン (3V-SI-134A, 134B, 134C, 136A, 136B, 136C)	VT-1	代表1台の25%		型式：12-C58Z
			高温側低圧注入ライン (3V-RH-053A, 053B, 3V-SI-082A, 082B)	VT-1	代表1台の25%		型式：6-C58
			低温側低圧注入ライン (3V-RH-044A, 044B, 044C, 047A, 047B, 047C)	VT-1	代表1台の25%		型式：6-C58
			高温側高圧注入ライン (3V-SI-082C)	VT-1	代表1台の25%		型式：6-C58

6. 弁 (2 / 3)

適用規格：維持規格 J S M E S N A 1 - 2 0 0 8					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）		備 考
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所		検 査 方 法	検 査 範 囲		
B12.50	B-M-2	弁 本 体 内 表 面	加圧器安全弁ライン (3V-RC-055, 056, 057)	VT-3	同一 グループ で1台	クラス1 機器供用期間中検査で管理	型式：6-RV58SB
			余熱除去ポンプ入口ライン (3PCV-420, 430)	VT-3	同一 グループ で1台		型式：12-GM58SMH
			蓄圧注入ライン (3V-SI-134A, 134B, 134C, 136A, 136B, 136C)	VT-3	同一 グループ で1台		型式：12-C58Z
			高温側低圧注入ライン (3V-RH-053A, 053B, 3V-SI-082A, 082B)	VT-3	同一 グループ で1台		型式：6-C58
			低温側低圧注入ライン (3V-RH-044A, 044B, 044C, 047A, 047B, 047C)	VT-3	同一 グループ で1台		型式：6-C58
			高温側高圧注入ライン (3V-SI-082C)	VT-3	同一 グループ で1台		型式：6-C58

6. 弁 (3 / 3)

適用規格： 維持規格 J S M E S N A 1－2 0 0 8					伊方発電所第3号機検査計画 （10ヵ年）		備 考
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所		検 査 方 法	検 査 範 囲	クラス1 機器供用期間中検査で管理	
F1. 41	F-A	支 持 構 造 物	加圧器安全弁ライン (3V-RC-055, 056, 057)	VT-3	代表1台 の25%		
			加圧器逃がしライン (1) (3V-RC-054A, 054B)	VT-3	代表1台 の25%		
			加圧器逃がしライン (2) (3PCV-452A, 452B)	VT-3	代表1台 の25%		

7. クラス1機器漏えい検査

適用規格： 維持規格 JSME S NA1-2008					伊方発電所第3号機検査計画 （10ヵ年）		備 考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	クラス1 機器供用期間中検査で管理		
B15.10	B-P	原子炉容器 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%			
B15.20	B-P	加圧器 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%			
B15.30	B-P	蒸気発生器 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%			
B15.50	B-P	配管 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%			
B15.60	B-P	一次冷却材ポンプ 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%			
B15.70	B-P	弁 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%			

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画
(クラス1機器供用期間中検査(原子炉冷却材圧力バウンダリ範囲の見直しに伴う検査)範囲)

1. 配管

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008						伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）		備 考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査方法	検査範囲	クラス1機器供用期間中検査で管理		
B9.11	B-J	配管の周溶接継手（呼び径100A以上）	余熱除去ポンプ入口ライン	体積	25%			
B9.21	B-J	配管の周溶接継手（呼び径100A未満）	余熱除去ポンプ入口ライン	表面	25%			
B9.32	B-J	母管と管台との溶接継手（呼び径100A未満）	余熱除去ポンプ入口ライン	表面	25%			
B10.20	B-K	配管の支持部材取付け溶接継手	余熱除去ポンプ入口ライン	表面	7.5%			
F1.10	F-A	支持構造物	余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	25%			

2. 弁

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）		備 考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査方法	検査範囲	クラス1 機器供用期間中検査で管理	
B7.70	B-G-2	圧力保持用ボルト・ナット	余熱除去ポンプ入口ライン (3V-RH-002A, 002B)	VT-1	代表1台の25%		
B12.50	B-M-2	弁本体内部表面	余熱除去ポンプ入口ライン (3V-RH-002A, 002B)	VT-3	同一グループで1台		
F1.41	F-A	支持構造物	余熱除去ポンプ入口ライン (3V-RH-002A, 002B)	VT-3	代表1台の25%		
型式：12-GM58SMH							
型式：12-GM58SMH							

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画（クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査範囲）

1. 原子炉容器

適用文書： NRA文書					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）	備 考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査で管理	
—	—	呼び径100A以上の管台とセーフエンドの溶接継手				
		冷却材入口管台とセーフエンドとの溶接継手	BMV	100%		C管台については3-8 定検 ISI にてUT実施のため至近2定検以内でのBMV検査免除
		冷却材出口管台とセーフエンドとの溶接継手	BMV	100%		B管台については 3-9 定検 ISI にてUT実施のため至近2定検以内でのBMV検査免除
—	—	原子炉容器の上蓋表面 （原子炉容器の上蓋管台廻り360°を含む）	BMV	100%/定検		第14回定検 原子炉容器上蓋取替工事において690系Ni基合金化されるため、検査対象外とする。
		原子炉容器の底部表面 （原子炉容器の底部管台廻り360°を含む）	BMV	100%/5年		3-7 定検 ISI にてBMV実施のため至近1定検以内でのBMV検査免除

2. 加圧器

適用文書： NRA文書					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）		備 考
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所		検 査 方 法	検 査 範 囲		
－	－	呼び径100A以上の管台とセーフ エンドの溶接継手				クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査で管理	3-9定検 加圧器管台廻り修 繕工事において690系Ni基合 金化されたため、検査対象 外
		サージライン用管台		BMV	100%/5年		
		スプレイライン用管台		BMV	100%/5年		
		逃がし弁用管台		BMV	100%/5年		
		安全弁用管台		BMV	100%/5年		

3. 蒸気発生器

適用文書： NRA文書					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）	備 考
項目番号	カテゴリー	検査対象箇所		検査方法	検査範囲	
－	－	呼び径100A以上の管台とセーフエンドの溶接継手				
			冷却材出入口管台とセーフエンドとの溶接継手	BMV	－	クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査で管理 600系Ni基合金使用部位であるが、第11回定検において検出限界のき裂を想定したうえで応力腐食割れ防止の有効性が実証された対策(ECT+USP)を施したため、第12回定検以降、検査対象外とする。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画（クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査範囲）

1. 配管

適用文書： NRA文書					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）		備 考
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 範 囲	クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査で管理		
－	－	充てんライン溶接継手	体積	25%			
		再生熱交換器連絡管溶接継手	体積	25%			

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

1. 原子炉補機冷却水ポンプ

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）												備 考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期			
								-	13回 特4※1	-	-	14回	15回	-	16回	17回	
F1.43	F-A	支持構造物 ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	1箇所/台×4台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)					A 1箇所					

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

2. 格納容器スプレイポンプ

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）												備 考
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数	検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期			
								-	13回 特4※1	-	-	14回	15回	-	16回	17回	
F1.43	F-A	支持構造物 ポンプ支持脚	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)					A 1箇所					

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

3. 充てんポンプ

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）		備 考
項目番号	カテゴリー	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	クラス2機器供用期間中検査で管理		
C3.30	C-C	支持部材取付け溶接継手	表面	7.5%			
C4.30	C-D	ケーシングボルト	体積	代表1台の7.5%			
C6.10	C-G	ポンプケーシング部の溶接継手	表面	代表1台の7.5%			
F1.43	F-A	支持構造物 ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%			

4. 余熱除去ポンプ

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）		備 考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	クラス2機器供用期間中検査で管理		
C6.10	C-G	ポンプケーシング部の溶接継手	表面	代表1台の7.5%			
F1.43	F-A	支持構造物 ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%			

5. 格納容器スプレイ冷却器

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）													備 考
項目 番号	カテ ゴリ	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数	検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期				
								-	13回 特4※1	-	-	14回	15回	-	16回	17回	18回	
C1.10	C-A	胴とフランジとの周溶接継手	体積	1つの 容器の 7.5%	1ｼｰﾑ/基 ×2基	UT	1つの 容器の 7.5%						A 7.5%					
C1.20		胴と鏡板との周溶接継手	体積	1つの 容器の 7.5%	1ｼｰﾑ/基 ×2基	UT	1つの 容器の 7.5%						A 7.5%					

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

6. 原子炉補機冷却水冷却器

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）													備 考
項目 番号	カテ ゴリ	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数	検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期				
								-	13回 特4※1	-	-	14回	15回	-	16回	17回	18回	
C1.10	C-A	胴とフランジとの周溶接継手	体積	1つの 容器の 7.5%	2ｼｰﾑ/基 ×4基	UT	1つの 容器の 7.5%						A 7.5%					
		胴の周溶接継手	体積	1つの 容器の 7.5%	2ｼｰﾑ/基 ×4基	UT	1つの 容器の 7.5%						A 7.5%					
C3.10	C-C	胴と当板の溶接継手	表面	1つの 容器の 7.5%	3箇所/基 ×4基	PT	1つの 容器の 7.5%						A 7.5%					
F1.43	F-A	支持脚	VT-3	1つの 容器の 7.5%	3箇所/基 ×4基	VT-3	1つの 容器の 7.5% (1箇所)						1 箇所					

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

7. 余熱除去冷却器

適用規格： 維持規格 J S M E S N A 1－2 0 0 8					伊方発電所第3号機検査計画 （1 0 ヶ年）		備 考
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 範 囲	クラス2 機器供用期間中検査で管理		
C1.10	C-A	胴とフランジとの周溶接継手	体積	1つの 容器の 7.5%			
C1.20		胴と鏡板との周溶接継手	体積	1つの 容器の 7.5%			
C2.21	C-B	管側出入口管台と管側胴との 溶接継手	体積及び 表面	管台数の 7.5%			

8. 配管 (1/6)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）													備 考		
項目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数	検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期						
								-	13回 特4※1	-	-	14回	15回	-	16回	17回	18回			
C3.20	C-C	配取 管付 のけ 支溶 持接 部継 材手	余熱除去ポンプ 入口ライン	表面	7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理														
			余熱除去冷却器 出口ライン	表面	7.5%															
			高温側低圧注入ライン	表面	7.5%															
			低温側低圧注入ライン	表面	7.5%															
			高温側高圧注入ライン	表面	7.5%															
			低温側高圧注入ライン	表面	7.5%															
			高圧注入ポンプ 出口ライン	表面	7.5%															
			格納容器再循環サンプ 出口ライン	表面	7.5%															
			スプレイング注入 ライン	表面	7.5%														2箇所	PT

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

8. 配管 (2/6)

適用規格：維持規格 J S M E S N A 1 - 2 0 0 8					伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)													備 考	
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所		検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数	検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期				
									-	13回 特4※1	-	-	14回	15回	-	16回	17回		18回
C5.11	C-F	(呼び径100A超、溶肉厚9.5mm超) 継手	余熱除去ポンプ 入口ライン (1)	体積及び 表面	7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理													
			余熱除去ポンプ 入口ライン (2)	表面	7.5%														
			余熱除去冷却器 出口ライン	体積及び 表面	7.5%														
			高温側低圧注入ライン	体積及び 表面	7.5%														
			低温側低圧注入ライン	体積及び 表面	7.5%														
			高圧注入ポンプ 出口ライン	体積及び 表面	7.5%														
			燃料取替用水タンク 出口ライン	表面	7.5%														
			格納容器再循環サンプ 出口ライン	体積及び 表面	7.5%														
			主蒸気逃がしライン	体積及び 表面	7.5%	6箇所	UT PT	7.5% (1箇所)							1箇所			全箇所、格納容器貫通部の ため検査不可	
C5.12	(呼び径100A超、肉厚9.5mm超)	配管の長手 溶接継手	余熱除去ポンプ 入口ライン	表面	7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理													
			燃料取替用水 タンク出口ライン	表面	7.5%														
			格納容器再循環 サンプ出口ライン	体積及び 表面	7.5%														
C5.21	(呼び径50A以上100A以下、肉厚5mm超)	配管の周溶 接継手	高温側高圧注入 ライン	表面	7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理													
			低温側高圧注入 ライン	表面	7.5%														
			高圧注入ポンプ 出口ライン	表面	7.5%														
C5.30	溶ソ 接ケ ツ 継手ト	高温側高圧注入ライン	表面	7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理														
		低温側高圧注入ライン	表面	7.5%															

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

8. 配管 (3/6)

適用規格：維持規格 J S M E S N A 1 - 2 0 0 8					伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査方法	検査範囲	クラス2機器供用期間中検査で管理	
F1.21	F-A	支 持 構 造 物	余熱除去ポンプ 入ロライン	VT-3	7.5%		
			余熱除去ポンプ 出ロライン	VT-3	7.5%		
			余熱除去冷却器 入ロライン	VT-3	7.5%		
			余熱除去冷却器 バイパスライン	VT-3	7.5%		
			余熱除去冷却器 出ロライン	VT-3	7.5%		

8. 配管 (4 / 6)

適用規格：維持規格 J S M E S N A 1－2 0 0 8					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）		備 考
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所		検 査 方 法	検 査 範 囲		
F1.21	F-A	支 持 構 造 物	高温側低圧注入ライン	VT-3	7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理	
			低温側低圧注入ライン	VT-3	7.5%		
			高温側高圧注入ライン	VT-3	7.5%		
			低温側高圧注入ライン	VT-3	7.5%		
			高圧注入ポンプ 出口ライン	VT-3	7.5%		

8. 配管 (5/6)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）														備 考		
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 範 囲	設備数	検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期							
								-	13回 特4※1	-	-	14回	15回	-	16回	17回	18回				
F1.21	F-A	支 持 構 造 物	燃料取替用水タンク 出口ライン	VT-3	7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理															
			格納容器再循環サンプ 出口ライン	VT-3	7.5%																
			格納容器再循環サンプ 出口バイパスライン	VT-3	7.5%																
			アニュラス空気再循環 ダクト	VT-3	7.5%	29 箇所	AN 22 RH 7	VT-3	7.5% (3箇所)					2箇所							
			格納容器再循環ユニット 出入口ライン（CV内）	VT-3	7.5%	42 箇所	AN 1 RH 41	VT-3	7.5% (4箇所)									1箇所			
			格納容器再循環ユニット 出入口ライン（CV外）	VT-3	7.5%	42 箇所	AN 1 RH 41	VT-3	7.5% (4箇所)					1箇所	2箇所				1箇所		
			原子炉補機冷却水戻り母管	VT-3	7.5%	6 箇所	RH 6	VT-3	7.5% (1箇所)					1箇所							
			原子炉補機冷却水冷却器 入口ライン	VT-3	7.5%	21 箇所	AN 4 RH 17	VT-3	7.5% (2箇所)												
格納容器再循環ユニット 出入口ライン（CV外）	VT-3	7.5%	51 箇所	AN 3 RH 48	VT-3	7.5% (4箇所)															
				</																	

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

8. 配管 (6 / 6)

適用規格：維持規格 J S M E S N A 1 - 2 0 0 8						伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）													備 考		
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所		検 査 方 法	検 査 範 囲	設 備 数		検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期					
										-	13回 特4※1	-	-	14回	15回	-	16回	17回		18回	
F1.21	F-A	支 持 構 造 物	格納容器スプレイポンプ 入口ライン	VT-3	7.5%	11 箇所	HS 1	VT-3	7.5% (1箇所)												
							RH 9										1箇所				
							SH 1														
			格納容器スプレイポンプ 出口ライン	VT-3	7.5%	11 箇所	RH 10	VT-3	7.5% (1箇所)									1箇所			
							SH 1														
			格納容器スプレイ冷却器 入口ライン	VT-3	7.5%	3 箇所	RH 3	VT-3	7.5% (1箇所)							1箇所					
			格納容器スプレイ冷却器 出口ライン	VT-3	7.5%	32 箇所	RH 32	VT-3	7.5% (3箇所)				1箇所	1箇所		1箇所					
			格納容器スプレイポンプ フルフローライン	VT-3	7.5%	3 箇所	RH 3	VT-3	7.5% (1箇所)										1箇所		
			代替格納容器スプレイ ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%	4 箇所	AN 1	VT-3	7.5% (1箇所)												
							RH 3							1箇所							
			スプレイリング注入ライン	VT-3	7.5%	19 箇所	MS 2	VT-3	7.5% (2箇所)												
							RH 17								1箇所		1箇所				
			スプレイリング立上り ライン	VT-3	7.5%	4 箇所	RH 4	VT-3	7.5% (1箇所)						1箇所						
			主蒸気逃がしライン	VT-3	7.5%	6 箇所	RH 6	VT-3	7.5% (1箇所)									1箇所			

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

9. 弁

適用規格：維持規格 J S M E S N A 1 - 2 0 0 8					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）													備 考
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 範 囲	設 備 数	検 査 方 法	検 査 範 囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期				
								-	13回 特4※1	-	-	14回	15回	-	16回	17回	18回	
F1. 43	F-A	余熱除去冷却器 出口ライン(1) (3HCV-603, 613)	VT-3	代表1台 の7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理													
		余熱除去冷却器 出口ライン(2) (3V-RH-051A, 051B)	VT-3	代表1台 の7.5%														
		余熱除去冷却器 出口ライン(3) (3V-RH-040A, 040B)	VT-3	代表1台 の7.5%														
		余熱除去冷却器 バイパスライン (3FCV-604, 614)	VT-3	代表1台 の7.5%														
		高温側低圧注入 ライン (3V-RH-052A, 052B)	VT-3	代表1台 の7.5%														
		高圧注入ポンプ 出口ラインA (3V-SI-066A, 067A)	VT-3	代表1台 の7.5%														
		高圧注入ポンプ 出口ラインB (3V-SI-066B, 067B)	VT-3	代表1台 の7.5%														
		高圧注入ポンプ 出口ライン (3V-SI-062A, 062B)	VT-3	代表1台 の7.5%														
		格納容器再循環サンプ 出口ライン (3V-SI-093A, 093B)	VT-3	代表1台 の7.5%														
		格納容器再循環サンプ 出口バイパスライン (3V-SI-092)	VT-3	代表1台 の7.5%														
		格納容器再循環ユニット 出入口ライン（C V外） (3TCV-2420, 2421)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)						1箇所					
		格納容器スプレイポンプ 入口ライン (3V-CP-001A, 001B)	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)									1箇所		
		格納容器スプレイ冷却器 出口ライン (3V-CP-021A, 021B)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)							1箇所				
		アニュラス空気再循環ダク ト(3V-VS-101A, 102A, 101B, 102B)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×4台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)					1箇所						
		主蒸気逃がしライン (3PCV-465, 475, 485)	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/台 ×3台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)								1箇所			

(注) 項目番号C3.40 C-C/C4.40 C-D/C6.20 C-Gについては該当なし。

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

10. 重大事故等クラス2機器漏えい検査 (1/6)

適用規格： 維持規格 JSME S NA1-2008					伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備 考	
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	系 統 名	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期					
					-	13回 特4※1	-	-	14回	15回	-	16回	17回	18回		
C7.30 C7.70	C-H	化学体積制御系統	体積制御タンク及び 出入口ライン	VT-2								○				
C7.30 C7.50 C7.70			充てんポンプ3A出口ライン	VT-2							○					
C7.30 C7.50 C7.70			充てんポンプ3B出口ライン	VT-2										○		
C7.30 C7.50 C7.70			充てんポンプ3C出口ライン	VT-2							○					
C7.10 C7.30 C7.70			充てん及び封水注入ライン	VT-2							○					
C7.30 C7.70			ほう酸ポンプ3A入口ライン	VT-2									○			
C7.30 C7.70			ほう酸ポンプ3B入口ライン	VT-2									○			
C7.30 C7.50 C7.70			ほう酸ポンプ3A出口ライン	VT-2									○			
C7.30 C7.50 C7.70			ほう酸ポンプ3B出口ライン	VT-2									○			
C7.30 C7.70			充てんポンプ3B自己冷却 供給ライン(1)	VT-2										○		
C7.30 C7.70			充てんポンプ3B自己冷却 戻りライン(1)	VT-2									○			

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

10. 重大事故等クラス2機器漏えい検査 (2/6)

適用規格： 維持規格 JSME S NA1-2008					伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備 考
項目 番号	カテ ゴリ	系 統 名	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期				
					-	13回 特4※1	-	-	14回	15回	-	16回	17回	18回	
C7.30 C7.70	C-H	安全注入系統	高圧注入ポンプ3A、3B 入口ライン(1)	VT-2						○					
C7.30 C7.70			高圧注入ポンプ3A、3B 入口ライン(2)	VT-2						○					
C7.30 C7.50 C7.70			高圧注入ポンプ3A 出口ライン(1)	VT-2							○				
C7.30 C7.70			高圧注入ポンプ3A 出口ライン(2)	VT-2							○				
C7.30 C7.50 C7.70			高圧注入ポンプ3B 出口ライン(1)	VT-2						○					
C7.30 C7.70			高圧注入ポンプ3B 出口ライン(2)	VT-2						○					
C7.10 C7.30 C7.70			蓄圧タンク及び出入口ライン	VT-2							○				
C7.30 C7.70			燃料取替用水タンク 出口ライン	VT-2						○					
C7.30 C7.70			代替炉心注入ライン(1)	VT-2						○					
C7.30 C7.70		余熱除去系統	余熱除去ポンプ3A入口ライン	VT-2								○			
C7.30 C7.70			余熱除去ポンプ3B入口ライン	VT-2						○					
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70			余熱除去ポンプ3A出口ライン	VT-2						○					
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70			余熱除去ポンプ3B出口ライン	VT-2							○				
C7.30 C7.70			代替再循環ライン	VT-2								○			
C7.30 C7.70		格納容器スプレイ系統	格納容器スプレイポンプ 3A、3B入口ライン	VT-2									○		
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	格納容器スプレイポンプ 3A出口ライン (1)		VT-2						○						
C7.30 C7.70	格納容器スプレイポンプ 3A出口ライン (2)		VT-2						○						

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

10. 重大事故等クラス2機器漏えい検査 (3/6)

適用規格： 維持規格 JSME S NA1-2008					伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備 考	
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	系 統 名	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期					
					-	13回 特4※1	-	-	14回	15回	-	16回	17回	18回		
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	格納容器スプレイ系統	格納容器スプレイポンプ 3B出口ライン (1)	VT-2								○				
C7.30 C7.70			格納容器スプレイポンプ 3B出口ライン (2)	VT-2							○					
C7.30 C7.70			代替炉心注入ライン(2)	VT-2						○						
C7.30 C7.70			代替格納容器スプレイ ポンプ入口ライン	VT-2						○						
C7.30 C7.50 C7.70			代替格納容器スプレイ ポンプ出口ライン	VT-2						○						
C7.30 C7.70		主蒸気系統	蒸気発生器3A蒸気出口ライン	VT-2											○	
C7.30 C7.70			蒸気発生器3B蒸気出口ライン	VT-2											○	
C7.30 C7.70			蒸気発生器3C蒸気出口ライン	VT-2											○	
C7.10 C7.30 C7.70		主給水系統	蒸気発生器3A給水入口ライン	VT-2											○	
C7.10 C7.30 C7.70			蒸気発生器3B給水入口ライン	VT-2											○	
C7.10 C7.30 C7.70	蒸気発生器3C給水入口ライン		VT-2											○		

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

10. 重大事故等クラス2機器漏えい検査 (4/6)

適用規格： 維持規格 JSME S NA1-2008					伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備 考	
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	系 統 名	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期					
					-	13回 特4※1	-	-	14回	15回	-	16回	17回	18回		
C7.30 C7.70	C-H	補助給水系統	タービン動補助給水ポンプ 蒸気入口ライン	VT-2								○				
C7.30 C7.70			補助給水タンク補給用屋外接続ライン (原子炉建屋側)	VT-2									○			
C7.30 C7.70			補助給水タンク補給用屋外接続ライン (原子炉補助建屋側)	VT-2									○			
C7.30 C7.70			電動補助給水ポンプ 3A入口ライン	VT-2								○				
C7.30 C7.70			電動補助給水ポンプ 3B入口ライン	VT-2										○		
C7.30 C7.50 C7.70			電動補助給水ポンプ 3A出口ライン	VT-2								○				
C7.30 C7.50 C7.70			電動補助給水ポンプ 3B出口ライン	VT-2										○		
C7.30 C7.70			タービン動補助給水ポンプ 入口ライン	VT-2								○				
C7.30 C7.50 C7.70			タービン動補助給水ポンプ 出口ライン	VT-2								○				
C7.30 C7.70			燃料取替用水補給配管 (1)	VT-2										○		
C7.30 C7.70			燃料取替用水補給配管 (2)	VT-2										○		
C7.30 C7.70		原子炉補機 冷却水系統	格納容器再循環ユニット 3A, 3B冷却水供給ライン	VT-2										○		
C7.30 C7.70			格納容器再循環ユニット3A 冷却水戻りライン	VT-2										○		
C7.30 C7.70			格納容器再循環ユニット3B 冷却水戻りライン	VT-2										○		
C7.30 C7.70			原子炉補機冷却水ポンプ A, B入口ライン	VT-2						○						
C7.30 C7.70			原子炉補機冷却水ポンプ C, D入口ライン	VT-2								○				
C7.10 C7.30 C7.70			原子炉補機冷却水サージ タンク及び出入口ライン	VT-2						○						
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70			原子炉補機冷却水ポンプ A, B出口ライン	VT-2						○						
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70			原子炉補機冷却水ポンプ C, D出口ライン	VT-2									○			

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

10. 重大事故等クラス2機器漏えい検査 (5/6)

適用規格： 維持規格 JSME S NA1-2008					伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備 考
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	系 統 名	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期				
					-	13回 特4※1	-	-	14回	15回	-	16回	17回	18回	
C7.30 C7.70	C-H	原子炉補機 冷却水系統	原子炉補機冷却水サージ タンク窒素供給ライン	VT-2						○					
C7.30 C7.70			原子炉補機冷却海水 供給ライン	VT-2									○		
C7.10 C7.30 C7.70			格納容器雰囲気ガスサンプ ル冷却器出入口ライン	VT-2									○		
C7.30 C7.70			高圧注入ポンプ冷却用 海水放出ライン(1)	VT-2						○					
C7.30 C7.70			格納容器再循環ユニット3 A, 3 B 出入口ライン	VT-2						○					
C7.30 C7.70			格納容器再循環ユニット3 A 海 水放出ライン	VT-2						○					
C7.30 C7.70			格納容器再循環ユニット3 B 海 水放出ライン	VT-2						○					
C7.30 C7.70			充てんポンプ3 B 自己冷却 供給ライン (2)	VT-2									○		
C7.30 C7.70			充てんポンプ3 B 自己冷却 戻りライン (2)	VT-2								○			
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70			原子炉補機冷却 海水系統	海水ポンプA, B 出口ライン	VT-2										○
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70		海水ポンプC, D 出口ライン		VT-2								○			
C7.30 C7.70		制御用空気系統	制御用空気3A供給ライン	VT-2									○		
C7.30 C7.70			制御用空気3B供給ライン	VT-2									○		
C7.30 C7.70			格納容器ガスサンプリングライン空 気作動弁窒素供給ライン (1)	VT-2									○		
C7.30 C7.70			格納容器ガスサンプリングライン空 気作動弁窒素供給ライン (2)	VT-2										○	
C7.30 C7.70	アニュラス排気系空気作動 弁窒素供給ラインA		VT-2									○			
C7.30 C7.70	アニュラス排気系空気作動 弁窒素供給ラインB		VT-2										○		

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

10. 重大事故等クラス2機器漏えい検査 (6/6)

適用規格： 維持規格 JSME S NA1－2008					伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備 考			
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	系 統 名	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期							
					－	13回 特4※1	－	－	14回	15回	－	16回	17回	18回				
C7.30 C7.70	C-H	制御用空気圧縮機系統	制御用空気圧縮機A出口ライン	VT-2									○					
C7.30 C7.70			制御用空気圧縮機B出口ライン	VT-2										○				
C7.30		換気空調設備系統	アニュラス排気ファン3 A 出入口ライン	VT-2								○						
C7.30			アニュラス排気ファン3 B 出入口ライン	VT-2										○				
C7.30			ダクト(中央制御室～中央制御 室)	※2								○						
C7.30 C7.70		湧水系統	高圧注入ポンプ冷却用 海水放出ライン(2)	VT-2										○				
C7.10 C7.30 C7.70		ディーゼル発電機 始動空気系統	ディーゼル発電機3A 始動空気ライン	VT-2												○		
C7.10 C7.30 C7.70			ディーゼル発電機3B 始動空気ライン	VT-2												○		
C7.30 C7.70		試料採取系統	格納容器雰囲気ガスサンプリング ライン (1)	VT-2									○					
C7.10 C7.30 C7.70			格納容器雰囲気ガスサンプリング ライン (2)	VT-2									○					
C7.30 C7.70			アニュラス水素濃度 (AM) 計測 ライン	VT-2											○			
C7.30 C7.70		緊急時対策所 (EL. 32m) 空 気浄化設備系統	緊急時対策所 (EL. 32m) 空気浄化ライン	VT-2									○					
C7.30 C7.70		緊急時対策所 (EL. 32m) 事 故時加圧設備系統	緊急時対策所 (EL. 32m) 事故時加圧ライン	VT-2											○			

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画（原子炉格納容器供用期間中検査範囲）

原子炉格納容器

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2008					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）												備 考
項目番号	カテゴリー	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期			
								-	13回 特4※1	-	-	14回	15回	-	16回	17回	
E8.10	E-G	圧力保持用ボルト締め付け部	VT-4	25%	1箇所 (72組)	VT-4	25% (18組)									25% (18組)	

(注) 項目番号 E1.12 E-A/E3.11, E3.12, E3.13 E-Bについては該当なし。
項目番号 E9.10, E9.20, E9.30, E9.40 E-P/F1.42 F-Aについては、全体漏えい率試験又は局部漏えい率試験にて別途実施。

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

1. 重大事故等クラス3機器漏えい検査(1/5)

適用規格：維持規格 J S M E S N A 1 - 2 0 0 8					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）											備 考
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 圧 力	設備数	第1検査時期			第2検査時期				第3検査時期			
						13回	-	14回	15回	-	16回	17回	18回	-	19回	
D2.10	D-B	300kVA電源車燃料タンク	VT-2	運 転 圧 力 以 上 又 は 機 能 試 験 時 の 圧 力 以 上	3								○		○	3台を2定検に分けて実施
		75kVA電源車燃料タンク	VT-2		3								○		○	3台を2定検に分けて実施
		大型ポンプ車燃料タンク(大型ポンプ車)	VT-2		1									○		
		大型ポンプ車燃料タンク(大型ポンプ車 (泡混合機能付))	VT-2		1								○			
		加圧ポンプ車燃料タンク	VT-2		3							○	○	○		
		中型ポンプ車燃料タンク	VT-2		7							○	○	○		
		緊急時対策所加圧装置	VT-2		447			○	○		○	○	○		○	
		緊急時対策所用発電機燃料タンク	VT-2		6								○		○	6台を2定検に分けて実施
		ミニローリー	VT-2		5								○			
		窒素ボンベ（アニュラス排気系空気作動 弁用）	VT-2		2				○							
		窒素ボンベ（加圧器逃がし弁用）	VT-2		3							○				
		窒素ボンベ（格納容器ガスサンプリング ライン空気作動弁用）	VT-2		3							○				
		窒素ボンベ（原子炉補機冷却水サージ タンク用）	VT-2		3				○							

1. 重大事故等クラス3機器漏えい検査（2／5）

適用規格：維持規格 J S M E S N A 1－2 0 0 8					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）										備 考				
項目 番号	カテ ゴリ	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 圧 力	設備数	第1検査時期			第2検査時期				第3検査時期						
						13回	－	14回	15回	－	16回	17回	18回	－		19回			
D2. 30	D-B	大型放水砲	VT-2	運 転 圧 力 以 上 又 は 機 能 試 験 時 の 圧 力 以 上	2								○	○					
		小型放水砲	VT-2		3						○								
		可搬型ダクト(緊急時対策所空気浄化ファン ～緊急時対策所空気浄化フィルタユニット)	VT-2		1式											○			
		可搬型ダクト(緊急時対策所緊急時対策 所空気浄化フィルタユニット ～緊急時対策所 (EL. 32m) 建屋接続口)	VT-2		1式											○			
		集合配管(緊急時対策所加圧装置用)	VT-2		1式				○										
		マニホールド(緊急時対策所加圧装置用)	VT-2		1式				○										
		マニホールド (アニュラス排気系空気作 動弁用)	VT-2		2					○									
		マニホールド (加圧器逃がし弁用)	VT-2		4								○						
		マニホールド (格納容器ガスサンプリ ングライン空気作動弁用)	VT-2		3								○						
		マニホールド (原子炉補機冷却水サー ジタンク用)	VT-2		2				○										
		加圧器逃がし弁窒素供給用9m, 20mフレ キシブルホース	VT-2		3									○					
		可搬型代替冷却水ポンプ接続用5mフレ キシブルホース	VT-2		3				○										

1. 重大事故等クラス3機器漏えい検査 (3/5)

適用規格：維持規格 J S M E S N A 1－2 0 0 8					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）										備 考	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査圧力	設備数	第1検査時期			第2検査時期				第3検査時期			
						13回	－	14回	15回	－	16回	17回	18回	－		19回
D2. 30	D-B	格納容器ガスサンプリングライン空気作動弁室素供給用 2m, 6mフレキシブルホース	VT-2	運転圧力以上又は機能試験時の圧力以上	3							○				
		格納容器水素濃度計測装置接続用1.5m, 3mフレキシブルホース	VT-2		3						○					
		格納容器雰囲気ガスサンプル冷却器冷却水屋外放出用 21mフレキシブルホース	VT-2		6			○								
		アニュラス水素濃度 (AM) 計測装置接続用1m, 2mフレキシブルホース	VT-2		3						○					
		アニュラス排気系空気作動弁室素供給用3mフレキシブルホース	VT-2		2				○							
		原子炉補機冷却水サージタンク室素供給用 14mフレキシブルホース	VT-2		2									○		
		高圧注入ポンプ3B及び電動機冷却水屋外放出用 5mフレキシブルホース	VT-2		2			○								
		代替格納容器雰囲気ガスサンプリング圧縮装置接続用 2mフレキシブルホース	VT-2		2							○				
		軽油移送配管EL. 10m接続口～ミニローリー送油用10mホース	VT-2		2			○								
		軽油タンク出口接続口～ミニローリー送油用10mホース	VT-2		10			○								
	重油タンク出口接続口～重油移送配管EL. 84m接続口 又はミニローリー送油用10mホース	VT-2	8			○										

1. 重大事故等クラス3機器漏えい検査（4／5）

適用規格：維持規格 J S M E S N A 1-2008					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）										備 考	
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 圧 力	設備数	第1検査時期			第2検査時期				第3検査時期			
						13回	-	14回	15回	-	16回	17回	18回	-		19回
D2.30	D-B	重油移送配管EL. 10m接続口又はミニローリー～燃料油貯油槽燃料油給油口送油用10mホース	VT-2	運転圧力以上又は機能試験時の圧力以上	6			○								
		重油移送配管EL. 44m接続口～ミニローリー送油用10mホース	VT-2		34			○								
		ミニローリー～軽油移送配管EL. 32m接続口送油用10mホース	VT-2		2			○								
		ミニローリー車載送油用19.5m, 20mホース	VT-2		5									○		
		大型ポンプ車又は大型ポンプ車（泡混合機能付） 出口ライン送水用5m, 10m, 50mホース	VT-2		5m：2 10m：11 50m：37						○	○	○			
		大型ポンプ車又は大型ポンプ車（泡混合機能付） 入口ライン取水用5m, 10m, 20mホース	VT-2		5m：5 10m：7 20m：3							○	○			
		加圧ポンプ車出口ライン送水用19m, 20mホース	VT-2		19m：5 20m：29							○	○			
		中型ポンプ車出口ライン送水用 10m, 20m, 50mホース	VT-2		10m：17 20m：21 50m：63							○	○	○		
		ホース（緊急時対策所加圧装置用高圧ホース）	VT-2		1式							○				
		ホース（緊急時対策所加圧装置用低圧ホース）	VT-2		1式							○				

1. 重大事故等クラス3機器漏えい検査（5／5）

適用規格： 維持規格 J S M E S N A 1 - 2 0 0 8					伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）										備 考	
項 目 番 号	カ テ ゴ リ	検 査 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 圧 力	設備数	第1検査時期			第2検査時期				第3検査時期			
						13回	-	14回	15回	-	16回	17回	18回	-		19回
D2. 30	D-B	300kVA電源車冷却水ポンプ	VT-2	運 転 圧 力 以 上 又 は 機 能 試 験 時 の 圧 力 以 上	3								○		○	3台を2定検に分けて実施
		75kVA電源車冷却水ポンプ	VT-2		3								○		○	3台を2定検に分けて実施
		大型ポンプ車	VT-2		1									○		
		大型ポンプ車（泡混合機能付）	VT-2		1								○			
		加圧ポンプ車	VT-2		3							○	○	○		
		中型ポンプ車	VT-2		7							○	○	○		
		可搬型代替冷却水ポンプ	VT-2		2							○				
		緊急時対策所用発電機冷却水ポンプ	VT-2		6								○		○	6台を2定検に分けて実施

保全に関する実施体制

保全に関する実施体制

1. 事業者の保守管理体制

事業者の第14保全サイクルにおける保守管理体制を下图に示す。

